

SONY®

SONY®


FWD-S46H2/S42H2

Flat Wide Display Monitor

取扱説明書 _____ **JP**Operating Instructions _____ **GB**Mode d'emploi _____ **FR**Bedienungsanleitung _____ **DE**Manual de instrucciones _____ **ES**Istruzioni per l'uso _____ **IT**使用说明书 _____ **CS**

FWD-S46H2/S42H2

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

<http://www.sony.net/>

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Sony Corporation Printed in Taiwan

© 2012 Sony Corporation

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～8ページの注意事項をよくお読みください。
9ページの「使用上のご注意（性能を保持するために）」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします（有料）。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

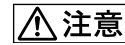
<ul style="list-style-type: none">・煙が出たら・異常な音、においがしたら・内部に水、異物が入ったら・製品を落としたりキャビネットを破損したときは	→	<ol style="list-style-type: none">① ディスプレイの電源を切る。② ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。
--	---	---

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

警告	4
注意	5
電池についての安全上のご注意	7
その他の安全上のご注意	8
使用上のご注意（性能を保持するために）	9
設置するときのご注意	10

各部の名称と働き

前面	12
後面	13
リモコン	18
ボタンの機能	18
リモコンの便利なボタン	20
ワイド切換を使う	20
2画面設定を使う	21
ID MODE ボタンを使う	22
オプションアダプター	23

JP

接続

スピーカーの接続	24
電源コードの接続	24
ケーブルを処理する	25

メニューの設定

メニュー一覧	26
画質 / 音質メニュー	27
画面メニュー	30
設定メニュー	33

ネットワーク機能

ネットワーク機能を使う準備をする	37
PC で操作する	39

その他の情報

故障かな？と思ったら	42
入力信号一覧表	44
仕様	46
索引	48



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けがにつながる**ことがあります。

規定の電源電圧で使う



指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない



禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物をいれない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置・取り付けは確実に



指示

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒してけがや火災・感電の原因となります。設置の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。壁面・天井・台上への設置、または転倒防止のためディスプレイを固定するなど、特殊な設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工事を依頼してください。

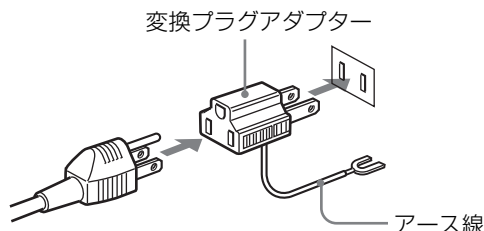
安全アースを接続する



アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合 付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合 付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ているアース線を、建物に備えられているアース端子に接続する。
- ・ アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高温部分に触れない



高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から10分間は触れないでください。



注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

重いディスプレイは、2人以上で開梱・運搬する



注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。

本体を持って運搬する



注意

ディスプレイを運ぶときは、スピーカー部分を持たず、必ず本体または本体にある取っ手部分を持ってください。スピーカーがディスプレイからはずれて落下し、けがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない



水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る



注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。ほかの電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 設置の項 (10 ページ) に従って設置してください。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物 (じゅうたんや布団など) の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや逆さまにしない。

設置時には転倒防止処置を行う



注意

本機を据え置きする際には、万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む



指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く



注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する



注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する



指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

変換プラグアダプターのアースキャップは幼児の手の届かないところに保管する



指示

万一、誤って飲み込んだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

電池についての安全 上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れ

により、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。



接触禁止

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。



指示

必ず次の処理をする

液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



禁止

使用済みの電池は、地域のルールに従って処分してください。



禁止

電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



注意

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。



禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。



指示

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておく、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

JP

その他の安全上のご注意

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

使用上のご注意（性能を保持するために）

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

画面のお手入れについて

ディスプレイの表面が傷つくことがありますので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。

また特殊な表面処理をしてあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- ・スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- ・アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- ・乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- ・アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- ・布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ・ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶画面について

- ・液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- ・液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- ・寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- ・静止画を継続的に表示した場合、焼きつきや残像を生じることがあります。残像は時間の経過とともに元に戻ります。焼きつきが発生したときは、本機のスクリーンセーバー機能を使用するか、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼きつきが軽度のときは、次第に目立たなくなることがありますが、一度発生した焼きつきは、完全には消えません。
- ・使用中に画面やキャビネット、フレームがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

JP

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

設置についてのご注意

- ・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- ・ほかの機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモコンの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

取扱説明書のイラストについて

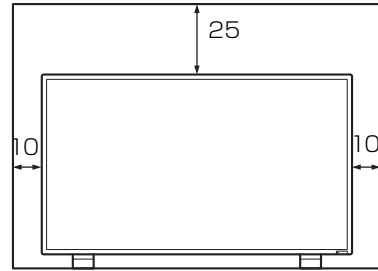
本書で使用しているディスプレイのイラストは、FWD-S46H2です。

設置するときのご注意

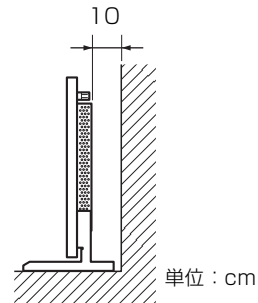
周囲に十分なスペースをとる

- ・ 内部の温度上昇を防ぐため、密閉状態にならないようにディスプレイの周囲に少なくとも下図に示す距離をあけて、通風を確保してください。
- ・ 周囲の温度は0℃～40℃の範囲でご使用ください。天井付近に設置する場合、周囲の温度は室温より高くなる場合がありますのでご注意ください。
- ・ スタンドを使用するときは、専用テーブルトップスタンドSU-S02（別売）をご使用ください。取り付け方法については、テーブルトップスタンドの取付説明書をご覧ください。
- ・ 壁への設置については、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
- ・ ブラケットやネジ、ボルトなどの設置機材について特定の製品を指定することはできません。実際の設置は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。設置についてはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- ・ 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上面、後面には手を触れないでください。

テーブルトップスタンドを使用する場合 前面



側面

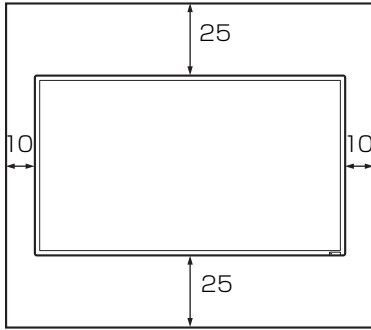


ご注意

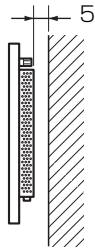
テーブルトップスタンド（別売）を取り付けたままの状態、運搬や設置を行うときは、2人以上で作業してください。

水平方向で使用する場合

前面



側面



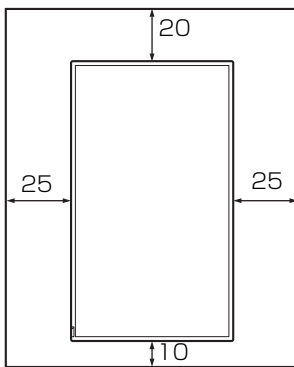
単位：cm

JP

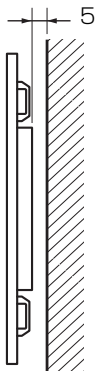
垂直方向で使用する場合

前面

設置の際は、必ず
(POWER)スイッチを
左下にして
ください。

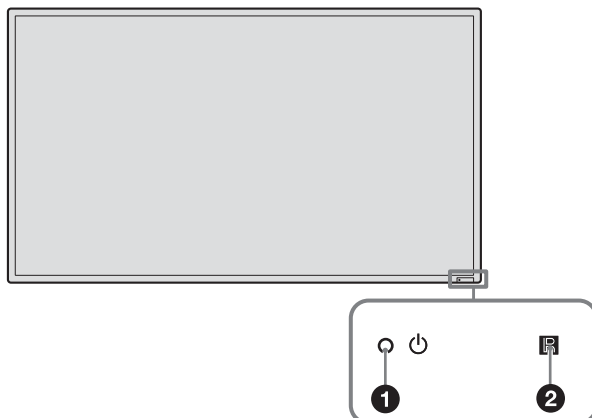


側面



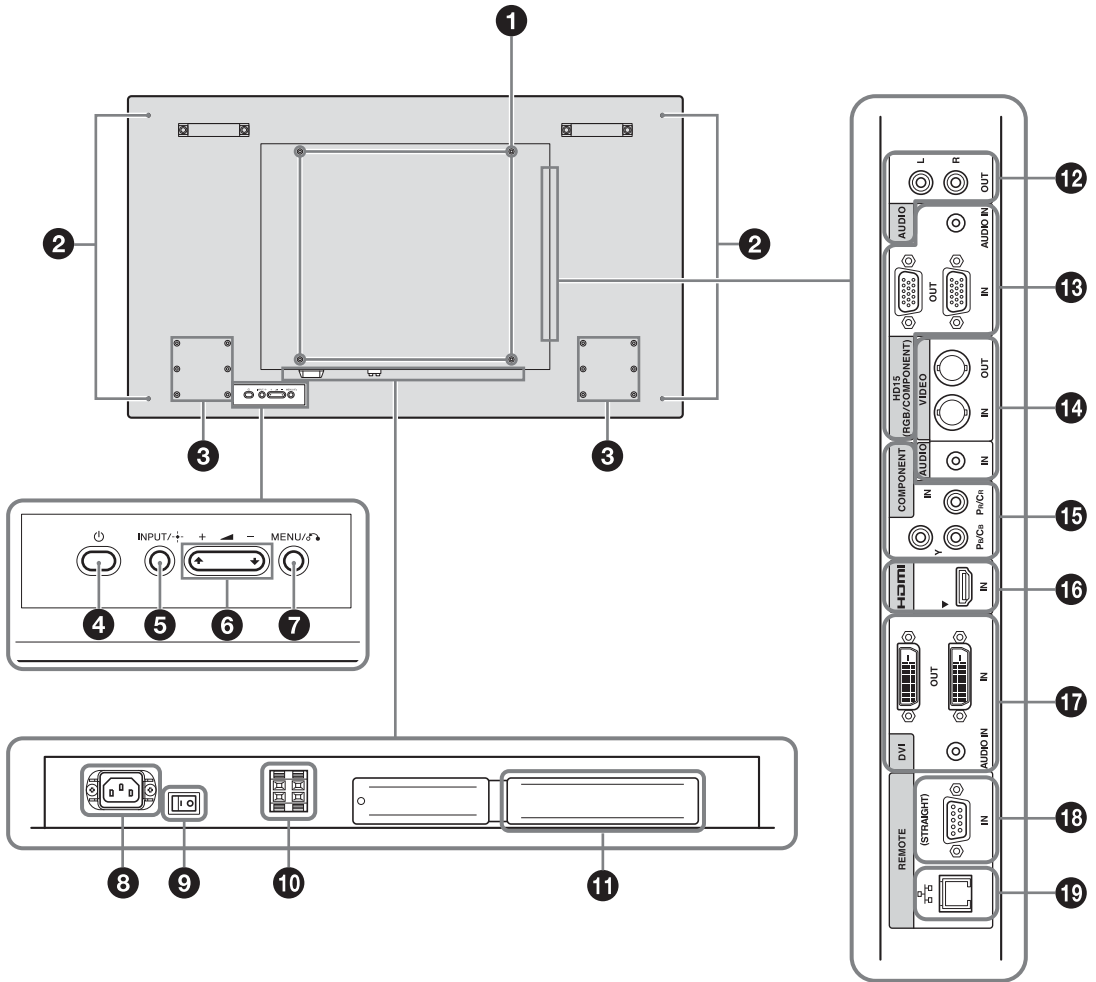
単位：cm

前面



名称	説明
① 電源/スタンバイ インジケータ	<ul style="list-style-type: none">・ 本機の電源を入れると緑色に点灯します。・ 本機がスタンバイ状態のとき、赤色に点灯します。また PC 入力するとき、パワーセービング状態になると、インジケータがオレンジ色に点灯します。 <p>電源インジケータが赤色で点滅したときは、42 ページをご覧ください。</p> <p>で注意</p> <p>「マルチディスプレイ設定」の「LED」が「切」で、「ポジション設定」が右下以外の場合は、ディスプレイの電源が入っていてもインジケータは緑点灯しません（無信号時/未対応信号時を除く）。</p>
② リモコンセンサー	リモコンの受光部です。

後面



JP

名称	説明
① 壁掛け金具取り付け用穴	VESA 規格に準拠したネジ穴です。(ピッチ：400mm × 400mm)
	<p>ご注意</p> <p>正しいサイズのネジを、適正トルクで締め付けてください。 ネジ径：M6 溝長：10mm 締め付けトルク：20kgf・cm</p>
② スピーカー取り付け用穴	スピーカー SS-SPG02 (別売) を取り付けます。
③ テーブルトップスタンド取り付け用穴	テーブルトップスタンド SU-S02 (別売) を取り付けるときに使用します。
④ ㊤ (POWER) スイッチ	本機の電源を入/切 (スタンバイ) します。 主電源スイッチが「入」(I 側) の状態で操作してください。
⑤ INPUT/ + (ENTER) ボタン	INPUT または OPTION 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> →ビデオ→Component→HD15→DVI→HDMI→OPTION← </div> の順に入力信号を切り換えます。 OPTION スロットに映像系のオプションアダプターがないときは、スキップします。 また、メニューで設定した内容を確定するときを使用します。
⑥ +/-/⏮/⏭ (音量調節/メニュー項目選択) ボタン	スピーカーから出る音量を調節するときを使用します。また、メニューを表示しているときは、メニュー項目の移動や数値などの設定をするときに使用します。
⑦ MENU/⏪ (RETURN) ボタン	画面にメニューを出すときに使用します。また、ひとつ前のメニュー画面に戻るときに使用します。

名称	説明
⑧ AC IN (電源入力) ソケット	付属の電源コードをこのソケットとコンセントに接続します (24 ページ)。 電源コードを接続し、主電源スイッチを「入」にすると、  インジケータが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。
⑨ O/I (主電源) スイッチ	本機設置時には「入」(I 側を押す) にします。 「切」(O 側を押す) にすると、消費電力を 0W にすることができます。
⑩ SPEAKER (スピーカー) 端子	スピーカー SS-SPG02 (別売) をこの端子に接続します。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。 また、スピーカーコードのまとめかたは、25 ページをご覧ください。
⑪ OPTION スロット (VIDEO/COM ポート)	オプションアダプター (BKM-FW シリーズなど) を装着すると、本機の機能を拡張することができます (23 ページ)。
⑫ AUDIO OUT (L/R) (RCA ピンジャック)	外部機器用音声モニター出力端子です。AUDIO IN 端子に入力した音声信号のうち、画面に表示されている信号の音声を出力します。「2 画面」表示時は、アクティブ* 画面の音声信号を出力します。
	ご注意
	<ul style="list-style-type: none"> ・「音質モード」、「スピーカー出力」の設定は反映されません。 ・リモコンで設定した消音状態は反映されません。
⑬ HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub 15 ピン)	<p>HD15 (RGB/COMPONENT) IN : 映像機器や PC のアナログ RGB 信号出力端子、またはコンポーネント信号出力端子と接続します (47 ページ)。</p> <p>HD15 (RGB/COMPONENT) OUT : 映像機器や PC のアナログ RGB 信号入力端子、またはコンポーネント信号入力端子と接続します (47 ページ)。上記 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 端子から入力された信号を出力します。</p> <p>AUDIO IN : 音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。</p>
	ご注意
	<ul style="list-style-type: none"> ・本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が接続されていないときは、HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子からは出力されません。 ・コンポーネント信号を入力する際は 13、14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

* 音声が出力され、入力の切り換えが可能な状態

名称	説明
⑭ VIDEO	<p>VIDEO IN (BNC 型) : 映像機器のビデオ信号出力端子と接続します。</p> <p>VIDEO OUT (BNC 型) : 映像機器のビデオ信号入力端子と接続します。VIDEO IN の映像を出力します。電源の入/切 (スタンバイ含む) に関係なく出力します。</p> <p>AUDIO IN (ステレオミニジャック) : 映像機器の音声出力端子と接続します。</p>
⑮ COMPONENT (RCA ピンジャック)	<p>COMPONENT (Y P_B/C_B P_R/C_R) IN : 映像機器や PC のコンポーネント信号出力端子と接続します。</p> <p>AUDIO IN : 音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。⑭ VIDEO にある端子を使用してください。</p>
⑯ HDMI	<p>HDMI IN : HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 端子は本機と HDMI 対応の音声/映像機器や PC とのインターフェースを提供します。高精細な映像と 2 チャンネルのデジタル音声をお楽しみいただけます。</p> <p>接続された機器によって、音声/映像機器または PC の適切なモードが自動選択されます。</p> <p>ご注意</p> <p>HDMI ケーブル (別売) は、必ず HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。ソニー製の HDMI ケーブル (ハイスピードタイプ) を推奨します。</p>

HDMI、High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

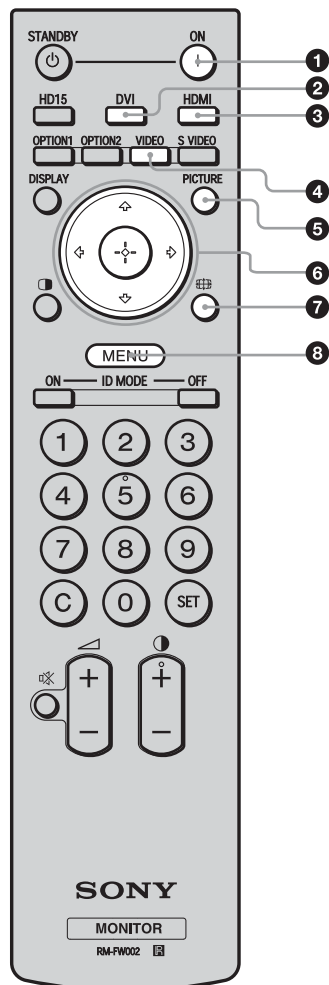
名称	説明
⑮ DVI (DVI-D 24ピン)	<p>DVI IN：映像機器や PC などのデジタル信号出力端子と接続します。HDCP のコンテンツ保護に対応しています。</p> <p>DVI OUT：映像機器や PC などのデジタル DVI 入力端子と接続します。本機の DVI IN 端子から入力された信号を出力します。</p> <p>AUDIO IN：音声信号を入力します。映像機器などの音声出力端子と接続します。</p> <p>ご注意</p> <p>本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が切になっているときは、DVI OUT 端子からは出力されません。</p>
⑯ REMOTE (STRAIGHT) (D-sub 9ピン)	<p>RS-232C プロトコルを使って本機を遠隔操作するときに使います。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。</p> <p>ご注意</p> <p>本端子を使用する際は、「ネットワークポート」の「RS-232C」を選択してください (35 ページ)。</p>
⑰ REMOTE ($\frac{R}{S}$) (10BASE-T/100BASE-TX)	<p>本機を 10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブルでネットワークと接続します。PC からネットワーク経由でディスプレイのコントロールおよび各種設定ができます。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。 ・ 本端子を使用する際は、「ネットワークポート」の「LAN」を選択してください (35 ページ)。

リモコン

ご注意

本機では S VIDEO ボタンおよび OPTION 2 ボタンは使用しません。

ボタンの機能



① ON (電源入) ボタン

押すと電源が入ります。
本機後面にある主電源スイッチが「入」の状態で作してください。

② DVI ボタン

DVI 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

③ HDMI ボタン

HDMI IN 端子に接続した映像機器からの入力信号を選びます。

④ VIDEO ボタン

VIDEO IN 端子と COMPONENT 端子に接続した映像機器からの入力信号を、順番に切り換えて選びます。

⑤ PICTURE ボタン

「画質モード」を切り換えます。ボタンを押すごとに、「ダイナミック」、「スタンダード」、「カスタム」、「カンファレンス」、「TC Control」の順に切り換わります。

⑥ 4/5/6/7/8 ボタン

4/5/6/7/8 ボタンで選択するメニュー項目を移動させたり、数値などを設定します。9 ボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。
「2 画面」表示時は、設定を詳細に変更することができます (21 ページ)。

⑦ 9 ボタン

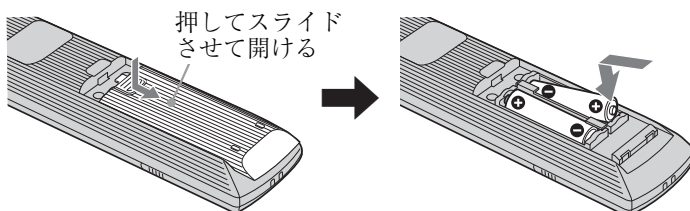
画面のアスペクト比を変更します (20 ページ)。

⑧ MENU ボタン

画面にメニューを表示するときに使用します。もう一度押すとメニュー表示が消えます (26 ページ)。

ご注意

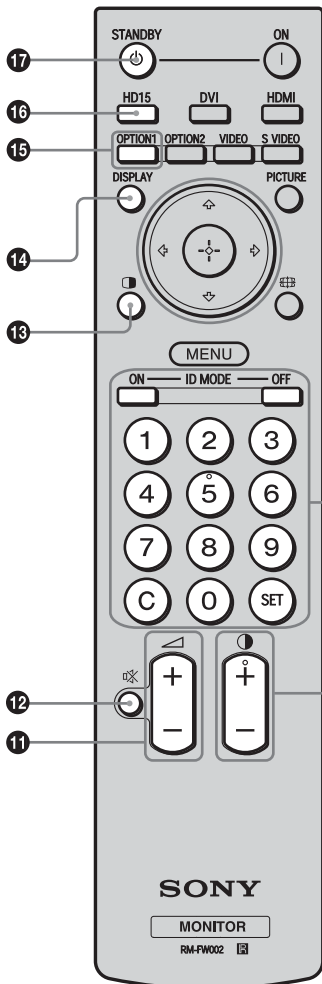
- ・ 数字ボタンの「5」および ① ボタンには、凸部 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。
- ・ 付属の単 3 形乾電池 2 本を、リモコンの電池挿入部内部の図を確認しながら、⊕ 極と ⊖ 極を正しく入れてください。
- ・ 指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。



電池の使用について

リモートコマンダー RM-FW002 には、単 3 型乾電池が 2 個必要です。

破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。



9 ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) ボタン

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

- ・ ON ボタン：「インデックス番号」を画面に表示します。
- ・ 0-9 ボタン：操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力します。
- ・ SET ボタン：入力した「インデックス番号」を設定します。
- ・ C ボタン：入力した「インデックス番号」をクリアします。
- ・ OFF ボタン：通常の画面に戻ります (22 ページ)。

10 +/- ボタン

画像のコントラストを調整します。

11 +/- ボタン

音量を調整します。

12 音消し ボタン

音を消します。もう一度押すと、音が出ます。

13 画面切り替え ボタン

「2 画面」表示に切り換えます。もう一度押すと、1 画面表示になります (21 ページ)。

14 DISPLAY ボタン

現在選択されている入力、入力されている信号の種類および「アスペクト」設定を画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態でしばらくたつと自動的に表示は消えます。

15 OPTION 1 ボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。
装着したオプションアダプターに入力が複数ある場合は、ボタンを押すたびに入力が切り換わります。

16 HD15 ボタン

HD15 (RGB/COMPONENT) 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。メニューの設定により RGB 信号がコンポーネント信号の自動選択またはマニュアル選択ができます。

17 STANDBY ボタン

押すとスタンバイ状態になります。

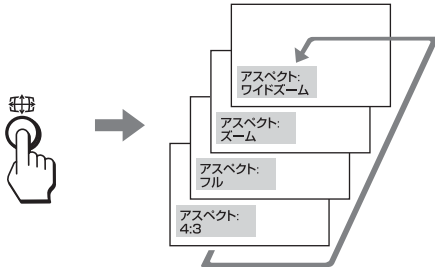
リモコンの便利なボタン

ワイド切換を使う

画面のアスペクト比を変更することができます。

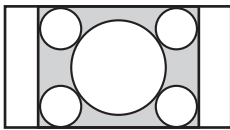
ちょっと一言

「画面」メニューからも「アスペクト」を設定することができます（32 ページ）。

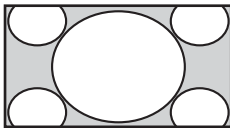


ビデオ、DVD などの映像機器からの入力の場合（PC 入力以外）

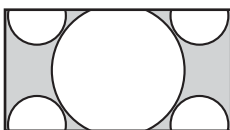
4:3 の映像ソース



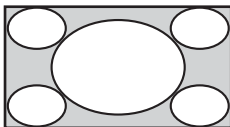
ワイド
ズーム



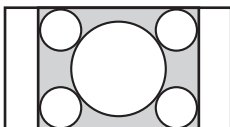
ズーム



フル



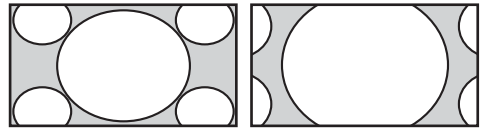
4:3



16:9 の映像ソース



ワイドズーム



ズーム



フル



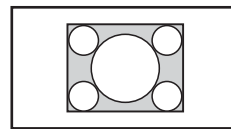
4:3



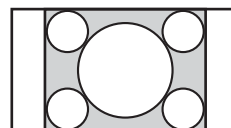
PC 入力の場合

以下のイラストは解像度 800 × 600 の入力を行った場合です。

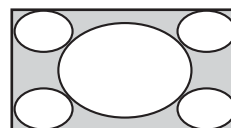
リアル



フル 1



フル 2



ご注意

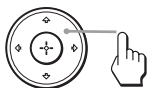
パネル解像度 (1,920 × 1,080) より高い解像度の信号を入力した場合、「リアル」は「フル 1」と同じように表示します。

2画面設定を使う

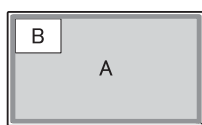
主画面の中に副画面を表示します。副画面は、表示位置や大きさを変えることができます。また「画面」メニューからも「2画面設定」を設定することができます（30ページ）。「2画面」表示をするときは、VIDEO IN 以外の映像入力端子を使用してください。

ご注意

VIDEO IN 端子からの入力信号（コンポジットビデオ信号）は、「2画面」表示に対応していません。

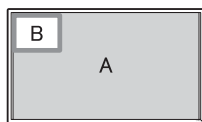


アクティブな画面を示すカーソル



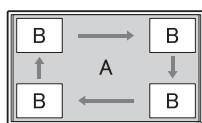
主画面（A）の中に副画面（B）が表示されます。

↓ ⇄ ボタンを押す



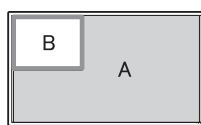
副画面（B）がアクティブな画像となります。

↓ ⊕ ボタンを押す



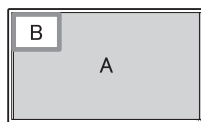
副画面（B）の位置が移動します。

⇄ ボタンを押す



副画面（B）の画面が大きくなります。

↓ ⇄ ボタンを押す



副画面（B）の画面が小さくなります。

ちょっと一言

- ・ アクティブな画面を示すカーソルは、5秒たつと表示が消えます。
- ・ 副画面の大きさは2段階で変えられます。

JP

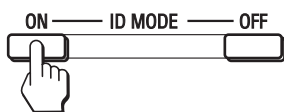
ID MODE ボタンを使う

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

1 ON ボタンを押す。

「インデックス番号」が、画面左下のメニューに黒い文字で表示されます（「インデックス番号」は、1 から 255 の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています）。

インデックス番号



2 リモコンの 0 から 9 のボタンで、操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力する。

すべてのディスプレイの「インデックス番号」の右に、入力した数字が表示されます。

入力された番号



3 SET ボタンを押す。

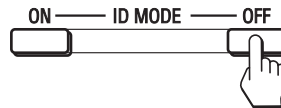
選択したディスプレイの文字が緑色に変わり、その他のディスプレイの文字は赤色に変わります。



これで特定のディスプレイ（文字が緑色に変わったディスプレイ）のみを操作できます（ON（電源入）ボタン、STANDBY ボタン、および ID MODE-OFF ボタンの操作だけは、ほかのディスプレイにも有効です）。

4 設定変更などの操作が終了したら、OFF ボタンを押す。

ディスプレイは通常の画面に戻ります。



インデックス番号を訂正するには

C ボタンを押して、現在入力されている「インデックス番号」を消去します。手順 2 に戻り、新しい「インデックス番号」を入力します。



ちょっと一言

ディスプレイの「インデックス番号」を変更するには、33 ページの「コントロール設定」の「インデックス番号」をご覧ください。

オプションアダプター

本機下面にある OPTION スロット ⑪ (15 ページ) の端子部はスロットイン方式になっていて、以下のオプションアダプター (別売) に付け換えることができます。

各アダプターの取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

機能拡張用オプションアダプターについては、それぞれの取扱説明書も合わせてご覧ください。

HD-SDI/SDI 入力アダプター BKM-FW16



映像機器の HD-SDI 信号出力端子と接続します。

JP

接続上のご注意

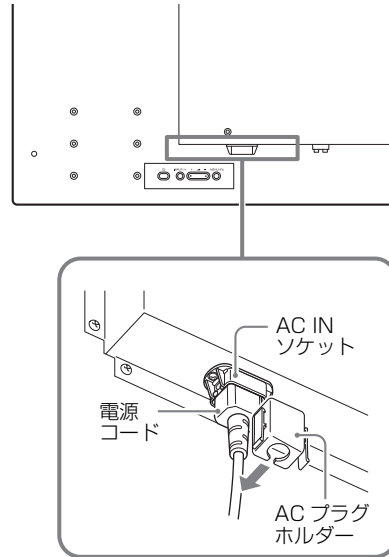
- ・ 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- ・ 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- ・ 接続ケーブルは端子にしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- ・ ケーブルを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。決してケーブルそのものを引っ張らないでください。
- ・ 接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ 電源コードのプラグは、AC IN ソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- ・ 付属の AC プラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

スピーカーの接続

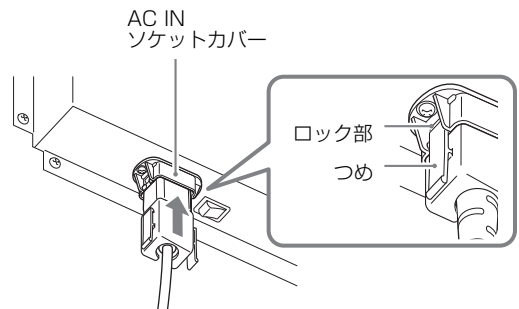
スピーカー SS-SPG02 (別売) を接続します。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。また、スピーカーコードのまとめかたは、25 ページをご覧ください。

電源コードの接続

- 1 電源コードを底部の AC IN ソケットに差し込み、AC プラグホルダー (付属) を電源コードに取り付ける。



- 2 AC プラグホルダーをスライドさせて、本体側の AC IN ソケットカバーにはめ込む。



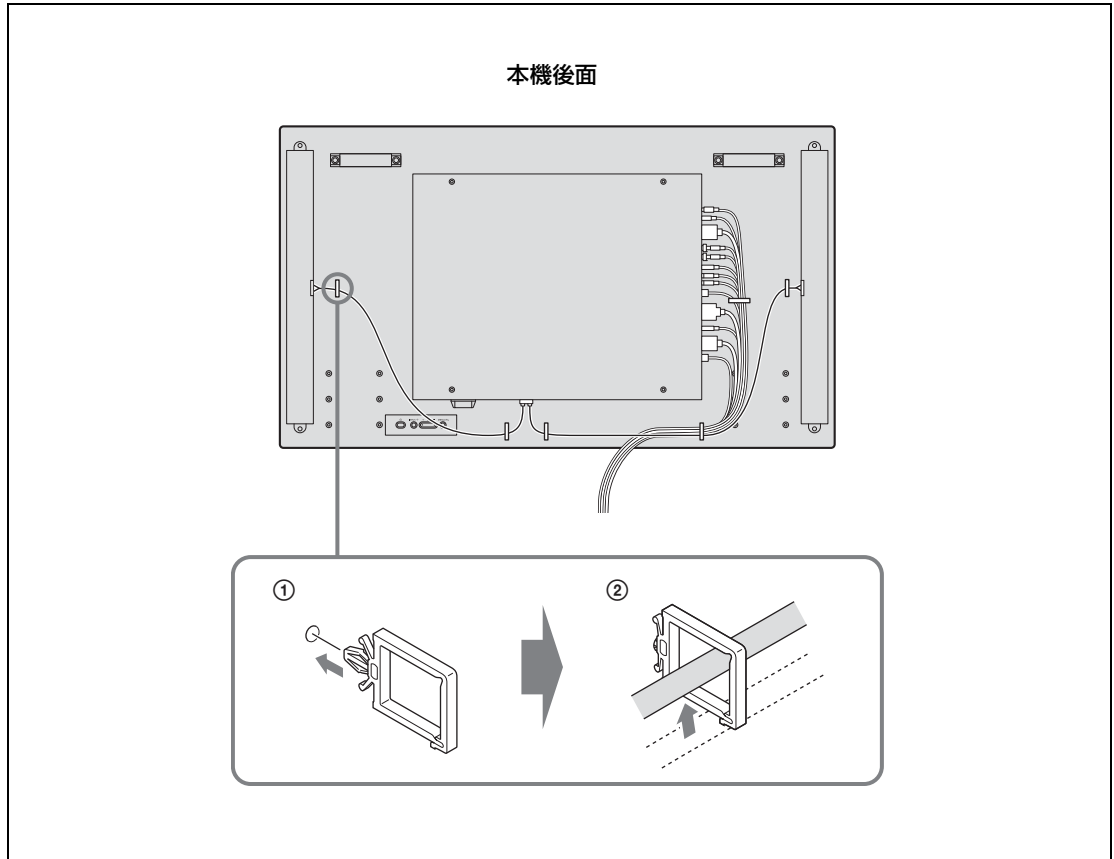
電源コードをはずすには

AC プラグホルダーのつめと AC IN ソケットカバーのロック部をはずしてから、電源コードのプラグをつかみ、電源コードを抜いてください。

ケーブルを処理する

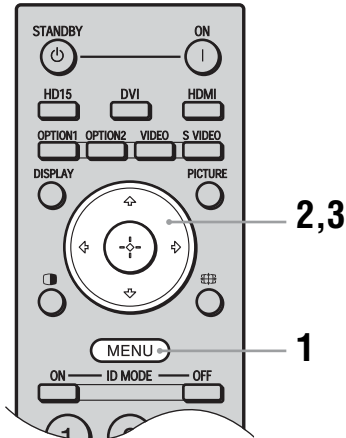
ケーブルホルダーを使う

付属のケーブルホルダー（6個）を使って、ケーブル類をすっきりとまとめることができます。ケーブルホルダーは、以下のように取り付けます。



JP

メニュー一覽



- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 上/下 ボタンで設定したいメニューのアイコンを選ぶ。
- 3 左/右 ボタンまたは 中央 ボタンを押す。
メニューの操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

メニュー表示の言語を変更する

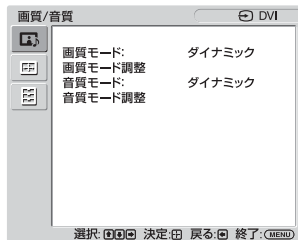
メニュー表示とメッセージの言語を、「English」、「Deutsch」、「Français」、「Español」、「Italiano」、「日本語」から選びます。初期設定では「English」（英語）に設定されています（33 ページ）。

メニュー画面から以下の項目を設定することができます。

メニュー画面

設定／変更できる項目

画質 / 音質

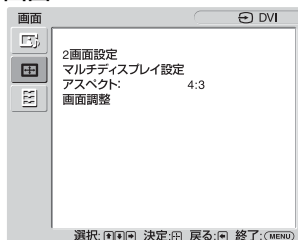


画質モード：(27 ページ)
画質モード調整 (27、28 ページ)
音質モード：(29 ページ)
音質モード調整 (29 ページ)

ご注意

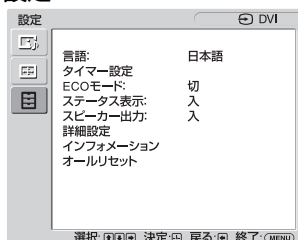
信号が無入力の際は「画質モード」と「画質モード調整」の設定／変更はできません。

画面



2画面設定 (30 ページ)
マルチディスプレイ設定 (31 ページ)
アスペクト：(32 ページ)
画面調整 (32 ページ)

設定



言語：(33 ページ)
タイマー設定 (33 ページ)
ECOモード (33 ページ)
ステータス表示：(33 ページ)
スピーカー出力：(33 ページ)
詳細設定 (33、34、35、36 ページ)
インフォメーション (36 ページ)
オールリセット (36 ページ)

* メニュー画面の下の方に表示されているアイコンは、設定項目によっては、働かないことがあります。

画質/音質メニュー

設定方法は、「メニュー一覧」(26 ページ)をご覧ください。

*: PC 信号入力時は選べません。

メニュー	機能と操作
画質モード	映像の種類や周囲の明るさに合わせて画質を選べます。 ちょっと一言 リモコンの PICTURE ボタン (18 ページ) でも、設定を切り換えることができます。
ダイナミック	映像の輪郭を強調し、コントラストが最大になります。
スタンダード	標準的な設定です。
カスタム	より細かく調整します。
カンファレンス	蛍光灯下でのビデオ会議に適した画質になります。 ご注意 ご使用の環境やビデオ会議システムによっては効果が少ない場合があります。その場合は、「画質モード調整」で画質を調整するか、「カンファレンス」以外の設定に切り換えてください。
TC Control	「True Color Control」(28 ページ) を設定します。「True Color Control」の設定をしないときは、「ダイナミック」相当の画質モードになります。 ご注意 「TC Control」を選ぶと、「明るさ強調」(28 ページ) は「切」になります。
画質モード調整	それぞれの「画質モード」で、より細かく画質を調整できます。ただし、設定された画質モードによりいくつかの項目の調整はできません。 ご注意 「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR」、「シネモーション」は、PC 信号入力時は調整できません。
バックライト	液晶画面の明るさを調整します。
コントラスト	コントラストの強弱を調整します。
明るさ	映像の明るさを調整します。
色の濃さ*	色の濃淡を調整します。
色あい*	映像の色調を調整します。 ご注意 映像信号のカラー方式が NTSC のときに調整できます。
シャープネス*	映像の輪郭の強弱を調整します。
NR*	接続した機器からのノイズを軽減します。高い設定ほど、ノイズが多いときに効果があります。
切/低/中/高	
シネモーション*	「自動」または「切」を選びます。「自動」を選ぶと、映画の映像素材を検知し、リバース 3-2 プルダウンまたはリバース 2-2 プルダウン処理によって、画面表示を自動的に最適化します。動画がより鮮明かつ自然に見えます。 ご注意 ・「2 画面」表示時は、設定が無効になります。 ・入力信号パターンによっては正しく処理されないことがあります。

JP

メニュー		機能と操作
画質モード調整	ダイナミックピクチャー	<p>「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VIDEO IN 端子からの信号（コンポジットビデオ信号）入力時のみ設定できます。 ・ 「画質モード」が「カンファレンス」または「TC Control」のときは、設定できません。
	ガンマ補正	<p>映像の明暗部分のバランスを調整します。高い設定ほど、ガンマ補正が大きくなります。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「画質モード」が「カンファレンス」時は設定できません。 ・ 「DICOM GSDF Sim.」は、医用におけるデジタル画像と通信（DICOM）規格のグレースケール標準関数（GSDF）に基づいたガンマ設定です。但し、本設定は参考用であり、医療診断には使えません。
	高／中／低／DICOM GSDF Sim.	
	色温度	<p>お好みに合わせて白色の色調を調整できます。初期設定は、標準値に設定されています。</p> <p>ちょっと一言 色調調整画面で「標準」を選ぶと、初期設定に戻すことができます。</p>
	高	青みがかった白色になります。
	中	中間の白色になります。
	低	赤みがかった白色になります。
	カスタム	色調調整画面で、より広い範囲で白色の色調を調整します。
	明るさ強調	<p>「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、明るさを強調した画質になります。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「画質モード」が「ダイナミック」時に設定できます。 ・ 「入」を選ぶと、「バックライト」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」の設定は変更できません。 ・ 「バックライト」が「最大」、かつ「ECO モード」が「切」のときに「入」にすると、輝度を最大にできます。
	True Color Control	<p>「赤」、「緑」、「黄」、「青」の4色それぞれについて、「色あい」と「色の濃さ」を調整することで、画像の中の特定の色を強調することができます。調整したい色を選択すると、現在の画像でどの部分が調整されようとしているのかを視認した後、ダイアログボックス上のマトリクスでその色を調整することができます。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「画質モード」が「TC Control」のときに調整することができます。 ・ 「2画面」表示時は、設定を行うことはできません。 ・ 「2画面」表示時は、設定が無効になることがあります。
標準	<p>「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、「画質モード調整」のすべての設定項目が初期設定に戻ります。</p>	

メニュー	機能と操作
音質モード	各種「音質モード」によって、スピーカー SS-SPG02（別売）から出力される音声を調整できます。
ダイナミック	高音と低音を強調します。
スタンダード	標準的な設定です。
カスタム	より細かく調整します。
音質モード調整	より細かく音質を調整できます。 ちょっと一言 「音質モード」で「カスタム」を選ぶと、「高音」または「低音」を調整できます。
高音	高音の強弱を調整します。
低音	低音の強弱を調整します。
バランス	スピーカーの左右出力バランスを調整します。
サラウンド	映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。
切	サラウンド出力をしません。
ホール	映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にします。
標準	「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、「音質モード調整」のすべての設定項目が初期設定に戻ります。

画面メニュー

設定方法は、「メニュー一覧」(26 ページ) をご覧ください。


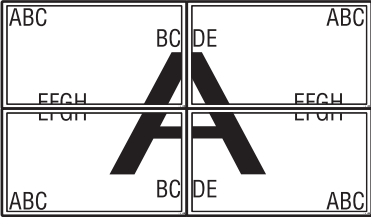
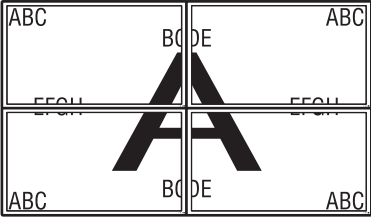
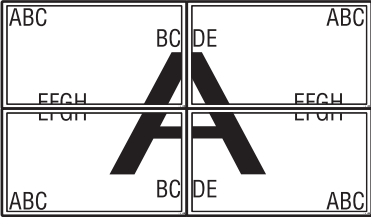
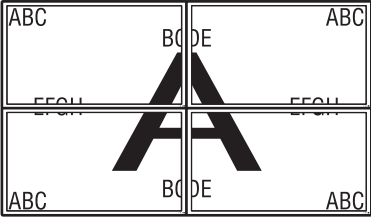
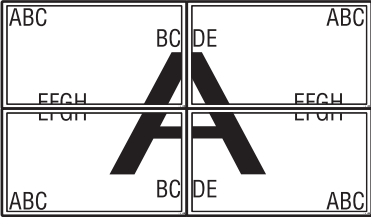
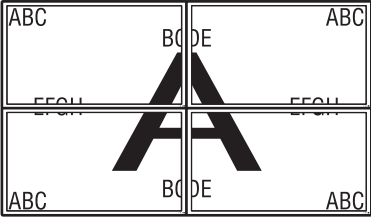

ご注意

信号を入力していないときは、「アスペクト」と「画面調整」の設定はできません。


メニュー	機能と操作
2 画面設定	2 種類の入力信号の映像を同時に表示します。詳しくは 21 ページをご覧ください。
2 画面	「切」と「PinP」から選びます。「PinP」を選ぶと、主画面の中に副画面を表示します。
操作画面	操作する画面を選びます。
主操作	主画面がアクティブとなり、操作可能になります。
副操作	副画面がアクティブとなり、操作可能になります。
画面入替	主画面と副画面を入れ替えます。
画面サイズ	副画面の大きさを設定します。「大」または「小」を選びます。
画面位置	副画面を表示させたい位置を設定します。↑/↓/←/→ ボタンで選び、⊕ ボタンで設定します。

利用可能な「2 画面」の組み合わせ

		ビデオ	COMPONENT	HD15		DVI	HDMI	OPTION
				RGB	YUV			HDSDI
ビデオ								
COMPONENT						○	○	○
HD15	RGB					○	○	○
	YUV					○	○	○
DVI			○	○	○			
HDMI			○	○	○			
OPTION	HD SDI		○	○	○			

メニュー	機能と操作										
マルチディスプレイ設定	<p>本機を複数台接続して、ビデオウォールの構成を設定できます。</p> <p>で注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2画面」機能を使用しているときは、設定できません。 ・ビデオ入力時は、現在設定している「アスペクト」に近い映像を表示しますが、PC入力時は、「アスペクト」の「フル2」の表示になります。 ・「ポジション設定」を右下に設定すると、「LED」を「切」にしても、インジケータが緑色に点灯します。インジケータは、無信号時/未対応信号時も含め、ディスプレイがオフ（スタンバイ）時、異常検出時、スリープ状態時にも点灯します。 										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="163 472 452 506">マルチディスプレイ</td> <td data-bbox="458 472 1225 506">ビデオウォールの構成を設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 506 452 540">切</td> <td data-bbox="458 506 1225 540">1画面表示になります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 540 452 651">2×2 3×3 4×4</td> <td data-bbox="458 540 1225 651">本機を縦横それぞれに2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 651 452 750">1×2 1×3 1×4</td> <td data-bbox="458 651 1225 750">本機を横に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 750 452 841">2×1 3×1 4×1</td> <td data-bbox="458 750 1225 841">本機を縦に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。</td> </tr> </table>	マルチディスプレイ	ビデオウォールの構成を設定します。	切	1画面表示になります。	2×2 3×3 4×4	本機を縦横それぞれに2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。	1×2 1×3 1×4	本機を横に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。	2×1 3×1 4×1	本機を縦に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。	
マルチディスプレイ	ビデオウォールの構成を設定します。										
切	1画面表示になります。										
2×2 3×3 4×4	本機を縦横それぞれに2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。										
1×2 1×3 1×4	本機を横に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。										
2×1 3×1 4×1	本機を縦に2、3、4台と複数台接続する場合に設定します。										
ポジション設定	個々のディスプレイの画面位置を設定します。										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="163 904 452 1245"> 出画形式 タイル </td> <td data-bbox="458 904 1225 1245"> <p>映像出力形式を選べます。画像位置が自動で調整され、最適な映像出力が得られます。</p> <p>それぞれの画面に、映像信号を完全に表示します。</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 1245 452 1542"> ウィンドウ </td> <td data-bbox="458 1245 1225 1542"> <p>ひとつの大きな映像を、複数の画面で自然に表示します。映像信号の一部は、ベゼルの後ろに隠れます。</p>  </td> </tr> </table>	出画形式 タイル	<p>映像出力形式を選べます。画像位置が自動で調整され、最適な映像出力が得られます。</p> <p>それぞれの画面に、映像信号を完全に表示します。</p> 	ウィンドウ	<p>ひとつの大きな映像を、複数の画面で自然に表示します。映像信号の一部は、ベゼルの後ろに隠れます。</p> 							
出画形式 タイル	<p>映像出力形式を選べます。画像位置が自動で調整され、最適な映像出力が得られます。</p> <p>それぞれの画面に、映像信号を完全に表示します。</p> 										
ウィンドウ	<p>ひとつの大きな映像を、複数の画面で自然に表示します。映像信号の一部は、ベゼルの後ろに隠れます。</p> 										
LED	<p>「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、本機前面の  インジケータ（12ページ）が点灯しつづけます。</p>										

* PC 信号入力時は選べません。
 ** PC 信号入力時に選べます。


メニュー	機能と操作																
アスペクト	<p>画面のアスペクト比を変更します。詳しくは 20 ページをご覧ください。</p> <p>ちょっと一言</p> <ul style="list-style-type: none"> リモコンの  ボタンでも設定を切り換えることができます。 ビデオ入力時、映画などの DVD 映像で、黒帯のある映像を画面いっぱいに見たいときは、「ズーム」を選んでください。 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2 画面」表示時は、アスペクト設定の変更ができません。「2 画面」表示を選択する直前のアスペクトで表示します。 「マルチディスプレイ」使用時は、「アスペクト」は設定できません。 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、ワイド切換機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。 本機は、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、ワイド切換をお選びください。 <table border="1" data-bbox="158 681 1224 1111"> <tr> <td>ワイドズーム *</td> <td>ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大し、画面いっぱいに表示します。</td> </tr> <tr> <td>ズーム *</td> <td>アスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。</td> </tr> <tr> <td>フル *</td> <td>4:3 の映像ソース（標準画質）を水平方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。16:9 の映像ソース（高画質）の場合は、そのままのアスペクト比で表示します。</td> </tr> <tr> <td>4:3 *</td> <td>すべての映像ソースを 4:3 のアスペクト比で表示します。</td> </tr> <tr> <td>フル 1 **</td> <td>アスペクト比を保ったまま、映像を画面垂直方向いっぱいに拡大します。映像の周囲に黒い帯が出る場合があります。</td> </tr> <tr> <td>フル 2 **</td> <td>映像を画面いっぱいに拡大します。</td> </tr> <tr> <td>リアル **</td> <td>映像を元のままのドット数で表示します。</td> </tr> </table> <p>ご注意</p> <p>パネル解像度（1,920 × 1,080）より高い解像度の信号を入力した場合、「フル 1」のように表示します。</p>	ワイドズーム *	ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大し、画面いっぱいに表示します。	ズーム *	アスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。	フル *	4:3 の映像ソース（標準画質）を水平方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。16:9 の映像ソース（高画質）の場合は、そのままのアスペクト比で表示します。	4:3 *	すべての映像ソースを 4:3 のアスペクト比で表示します。	フル 1 **	アスペクト比を保ったまま、映像を画面垂直方向いっぱいに拡大します。映像の周囲に黒い帯が出る場合があります。	フル 2 **	映像を画面いっぱいに拡大します。	リアル **	映像を元のままのドット数で表示します。		
ワイドズーム *	ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大し、画面いっぱいに表示します。																
ズーム *	アスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。																
フル *	4:3 の映像ソース（標準画質）を水平方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。16:9 の映像ソース（高画質）の場合は、そのままのアスペクト比で表示します。																
4:3 *	すべての映像ソースを 4:3 のアスペクト比で表示します。																
フル 1 **	アスペクト比を保ったまま、映像を画面垂直方向いっぱいに拡大します。映像の周囲に黒い帯が出る場合があります。																
フル 2 **	映像を画面いっぱいに拡大します。																
リアル **	映像を元のままのドット数で表示します。																
画面調整	<p>画面の大きさや位置を調整します。</p> <p>ご注意</p> <p>PC 信号をデジタル入力（DVI IN または HDMI IN）した場合は、「自動調整」、「画位相」、「ドットピッチ」は設定できません。</p> <table border="1" data-bbox="158 1252 1224 1766"> <tr> <td>自動調整 **</td> <td>「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、接続した PC からの入力信号を受けたとき、自動的に映像の位置や位相を調整します。入力信号の種類によっては、正しく働かない場合があります。その場合は、下記の項目を手動で調整してください。</td> </tr> <tr> <td>画位相 **</td> <td>画面がちらちらしているとき、位相を調整します。</td> </tr> <tr> <td>ドットピッチ **</td> <td>映像におかしな縞模様が出るとき、ピッチを調整します。</td> </tr> <tr> <td>水平サイズ</td> <td>映像の左右の大きさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>水平位置</td> <td>映像の左右の位置を調整します。</td> </tr> <tr> <td>垂直サイズ</td> <td>映像の上下の大きさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>垂直位置</td> <td>映像の上下の位置を調整します。</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、「画面調整」のすべての設定項目が初期設定に戻ります。</td> </tr> </table> <p>ご注意</p> <p>正しく調整できるように、画面全体が明るい映像を表示しながら調整してください。</p>	自動調整 **	「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、接続した PC からの入力信号を受けたとき、自動的に映像の位置や位相を調整します。入力信号の種類によっては、正しく働かない場合があります。その場合は、下記の項目を手動で調整してください。	画位相 **	画面がちらちらしているとき、位相を調整します。	ドットピッチ **	映像におかしな縞模様が出るとき、ピッチを調整します。	水平サイズ	映像の左右の大きさを調整します。	水平位置	映像の左右の位置を調整します。	垂直サイズ	映像の上下の大きさを調整します。	垂直位置	映像の上下の位置を調整します。	標準	「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、「画面調整」のすべての設定項目が初期設定に戻ります。
自動調整 **	「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、接続した PC からの入力信号を受けたとき、自動的に映像の位置や位相を調整します。入力信号の種類によっては、正しく働かない場合があります。その場合は、下記の項目を手動で調整してください。																
画位相 **	画面がちらちらしているとき、位相を調整します。																
ドットピッチ **	映像におかしな縞模様が出るとき、ピッチを調整します。																
水平サイズ	映像の左右の大きさを調整します。																
水平位置	映像の左右の位置を調整します。																
垂直サイズ	映像の上下の大きさを調整します。																
垂直位置	映像の上下の位置を調整します。																
標準	「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、「画面調整」のすべての設定項目が初期設定に戻ります。																




設定メニュー

設定方法は、「メニュー一覧」(26 ページ)をご覧ください。

メニュー	機能と操作
言語	メニュー表示する言語を設定します。「English」、「Deutsch」、「Français」、「Español」、「Italiano」、「日本語」の中から選びます。
タイマー設定	時刻合わせ、内蔵時計の表示、およびあらかじめ決めた時間に自動的に電源を入/切するタイマー機能を設定できます。 ご注意 長期間、主電源オフもしくは電源コードが抜かれていた場合、時刻が大幅にずれることがあります。 この場合には再度時計の設定を行ってください。
時刻設定	年月日と時刻を設定します。
日付設定	年月日を設定します。曜日は自動設定します。
時間設定	時刻を設定します。
時計表示	「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、リモコンの DISPLAY ボタンを押したときに、設定した現在時刻を表示します。
電源タイマー	自動的に電源を入/切する時間や曜日を設定します。 ご注意 「時刻設定」が設定されていないと使用できません。
ECO モード	バックライトの明るさを変化させて、消費電力を減らします。「低」、「高」の順に消費電力が小さくなります。
切/低/高	
ステータス表示	「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、電源を入れたときに入力信号と「アスペクト」の設定情報を、画面に約 5 秒間表示します。また、入力信号を切り換えると、入力信号の情報を約 5 秒間表示します。 ちょっと一言 リモコンの DISPLAY ボタンを押すと、入力信号と「アスペクト」の設定情報を表示できます。
スピーカー出力	「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、スピーカーから音声を出力します。
詳細設定	より詳細な項目について設定します。
コントロール設定	本機およびリモコンの操作に関して設定します。
インデックス番号	必要に応じて、本機のインデックス番号を変更します。本体の \uparrow/\downarrow ボタンでインデックス番号を設定し $+$ ボタンで確定します。 ご注意 リモコンでは設定できません。
コントロールモード	本機を、リモコンまたは本体のいずれかから操作するように設定します。 ご注意 この項目を設定するとき、リモコンで行う場合と、本体のボタンで行う場合とは、選べるモードが異なります。リモコンの \oplus ボタンで設定するときは、「本体+リモコン」か「リモコンのみ」を選べます。本体の $+$ ボタンで設定するときは、「本体+リモコン」か「本体のみ」を選べます。

JP

メニュー		機能と操作
詳細設定	本体+リモコン	本体ボタンおよびリモコンでの操作を有効にします。
	本体のみ	本体ボタンでのみ操作を有効にします。本体ボタンでのみ、この項目を設定できます。
	リモコンのみ	リモコンでのみ操作を有効にします。リモコンでのみ、この項目を設定できます。
	自動画面調整	「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、各入力信号ごとに調整値（サイズ、位置など）を保存し、最後の調整値を自動的に適用します。 ご注意 RGB 入力時のみ有効です。
	オートシャットオフ	「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、DVI 入力、HDMI 入力、HD15 (RGB/COMPONENT) 入力、COMPONENT 入力に無信号の状態が約 30 秒続いた場合、自動的にスタンバイ状態またはパワーセービング状態になります。 VIDEO 入力に無信号の状態が約 5 分続いた場合、自動的にスタンバイ状態になります。 ちょっと一言 ・「スクリーンセーバー」が「切」のときに、設定が有効になります。 ・「DPMS」を「入」にするとパワーセービング状態を有効にするための設定を、選択できます。
	DPMS	「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、DVI 入力、HDMI 入力、HD15 (RGB) 入力に無信号の状態が約 30 秒続いた場合、自動的にパワーセービング状態になります。 「切」を選ぶと、DVI 入力、HDMI 入力、HD15 (RGB) 入力に無信号の状態が約 30 秒続いた場合、自動的にスタンバイ状態になります。 ちょっと一言 ・スタンバイ時に  ボタンまたはリモコンの ON ボタンを押すと、電源が入ります。またパワーセービング時に信号が入力されると、自動的に電源が入ります。 ・「スクリーンセーバー」が「切」のときに、設定が有効になります。 ・「オートシャットオフ」が「入」のときに、設定が有効となります。
	オーバースキャン	オーバースキャンとジャストスキャンのどちらで画像を表示するかを設定します。
	自動	DTV 信号を自動的に判別し、オーバースキャンして表示します。
	入	オーバースキャンして画像を表示します。
	切	ジャストスキャンして画像を表示します。 ご注意 DTV 信号入力時は、PC 信号を入力したときの画面表示になる場合があります。 例 480P → 720 × 480/60
同期モード	HD15 (RGB/COMPONENT) IN 端子の 13 番ピンに入力する信号の種類を設定します (47 ページ)。 ご注意 ・HD15 にアナログ RGB 信号を入力時のみ有効です。 ・「同期信号」しか選べない入力があります。その場合は、水平・垂直同期信号を 13、14 ピンに入力してください。 ・本機は 576/60p の 3 値シンクには対応していません。 ・「映像信号」を選んだ場合、設定できる信号は、575/50i、480/60i のみです。	
同期信号	水平同期信号を設定します。	
映像信号	映像信号を設定します。	
RGB/YUV	HD15 (RGB/COMPONENT) 端子に接続した映像機器や PC の信号の種類を設定します。	
自動	アナログ RGB またはコンポーネント信号を自動的に設定します。	
RGB	アナログ RGB 信号入力時に設定します。	
YUV	コンポーネント信号入力時に設定します。	

メニュー	機能と操作	
詳細設定	カラー方式	<p>「自動」を選ぶと、入力信号のカラー方式を自動的に判別します。「NTSC」または「PAL」から映像信号のカラー方式を選びます。</p> <p>ご注意</p> <p>VIDEO IN 端子からの信号（コンポジットビデオ信号）入力時に設定できます。</p>
	RGB 信号	<p>1280 × 720/60、720 × 480/60 または 1920 × 1080/60 の RGB 入力信号を、映像信号として表示するか、PC 信号として表示するかを設定します。入力端子に応じて「HD15」、「DVI」、「HDMI」を選び、それぞれ「PC」または「映像信号」から選んでください。「HD15」、「DVI」、「HDMI」の各設定は、それぞれ以下の入力端子に対応しています。</p> <p>「HD15」：HD15（RGB/COMPONENT）IN 端子 「DVI」：DVI IN 端子 「HDMI」：HDMI IN 端子</p>
	HD15/DVI/HDMI	
	スクリーンセーバー	<p>画面の焼きつきや残像の発生を補正したり、軽減するために設定します。</p>
	切	スクリーンセーバー機能は働きません。
	オールホワイト	全白画面を表示します。（約 30 分で自動的に終了し、スタンバイ状態になります。）
	スイープ	白いバーが画面上をスクロールします。
	スタンバイ	<p>「タイマー設定」で指定した時間、スタンバイ状態（12 ページ）でスクリーンセーバーを作動します。（スクリーンセーバー作動中、画面は表示しません。）終了後、通常のスタンバイ状態になります。</p>
	メニュー位置	メニュー画面の向きを、本機の設置方向に合わせて変更します。
	横位置	メニュー画面を横方向に表示します。
縦位置	メニュー画面を縦方向に表示します。	
ネットワークポート	<p>PC を使って本機を操作するときに接続する端子を設定します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 端子を併用することはできません。 「IP Address Setup」または「Speed Setup」の設定をするときは、「LAN」を選んでください。 	
RS-232C	REMOTE（STRAIGHT）端子で接続するときに選びます。	
LAN	REMOTE（ ) 端子で接続するときに選びます。	
IP Address Setup	<p>本機の REMOTE（) 端子と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器とが通信できるように IP アドレスを設定します。</p> <p>詳しい設定方法は、「ネットワーク機能を使う準備をする」（37 ページ）をご覧ください。</p>	
Speed Setup	<p>本機の REMOTE（) 端子と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器との間の通信速度を設定します。</p> <p>詳しい設定方法は、「ネットワーク機能を使う準備をする」（37 ページ）をご覧ください。</p>	
パワーオンディレイ	<p>電源を入れてから、本機が実際にパワーオンになるまでの時間を調整します。「切」、1 ～ 120 秒で設定できます。複数台を接続した場合の電源設備への急激な負荷変動を抑制します。</p>	

メニュー		機能と操作
詳細設定	HDMI 機器制御	<p>HDMI 入力端子に、HDMI 機器制御対応の機器を接続すると、それぞれの機器間で連動した操作ができます。</p> <p>ご注意 本機や接続機器の電源の入／切はリモコンで操作してください。</p>
	HDMI 機器制御	<p>「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、HDMI 機器制御が有効になり、「オフ連動」と「オン連動」の設定ができるようになります。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続した機器が HDMI 機器制御に対応していて、HDMI 機器制御ができるように設定されている必要があります。 ・ HDMI 機器によっては本機と連動しない場合があります。
	オフ連動	<p>「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、本機の電源を切るときに、接続した HDMI 機器の電源も連動して切れます。</p>
	オン連動	<p>「入」または「切」を選びます。「入」を選ぶと、接続した HDMI 機器で再生などの操作をしたときに、本機の電源も連動して入ります。</p>
インフォメーション		<p>「日付」、「機種名」、「シリアル番号」、「累積通電時間」、「ソフトウェアバージョン」、および「IP Address」を表示します。</p>
オールリセット		<p>「取消」または「実行」を選びます。「実行」を選ぶと、すべての調整値、設定値が初期設定に戻ります。</p> <p>ご注意 「インフォメーション」に含まれる一部内容と、「インデックス番号」はリセットされません。</p>

ネットワーク機能を使う準備をする

使用上のご注意

- ・ 本機のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ・ アプリケーションソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部異なる場合があります。
- ・ 安全のために該当ポートには過電圧が加わる恐れのないネットワークに接続してください。
- ・ このマニュアルに記載されている操作方法は、下記の環境下でのみ動作を保証しています。

オペレーティングシステム：

Microsoft Windows XP/Windows Vista/
Windows 7

ブラウザ：

Microsoft Internet Explorer 7.0 以上

- ・ ネットワーク上の安全のために、ユーザー名とパスワードを設定して使用することを推奨します。設定方法について詳しくは“Setup画面”（40 ページ）をご覧ください。セキュリティの設定については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

IP アドレスを設定する

本機は、10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブルでネットワークに接続することができます。

本機を LAN に接続して使用するときは、次のどちらかの方法で本機の IP アドレスを設定します。IP アドレスの割り当てについては、サーバーの管理者にお問い合わせください。

- ・ 固定の IP アドレスを本機に設定する
通常はこの方法で使用することを推奨します。
- ・ IP アドレスを自動取得する
本機を接続するネットワーク上に DHCP サーバーがある場合に、本機の IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得して使用することもできます。この場合、本機を取り付けたディスプレイの電源を入れるたび IP アドレスが変わる場合があるのでご注意ください。

IP アドレスを設定する前に、本機に LAN ケーブルでネットワークに接続し、電源を入れて 30 秒ほど待ってから設定を開始してください。

・ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・ その他記載された商品名、会社名などは、各社の商標または登録商標です。

固定の IP アドレスを本機に設定する

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。
- 2 「設定」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 3 「詳細設定」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 4 「ネットワークポート」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 5 「LAN」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 6 「IP Address Setup」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 7 「Manual」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 8 「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」、「Primary DNS」、「Secondary DNS」の中から設定する項目を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 9 本機の \leftarrow/\rightarrow ボタンまたはリモコンの数字ボタンで、最初の枠に 3 桁の値 (0 ~ 255) を入力し、 \oplus ボタンまたは \rightarrow ボタンを押す。
- 10 4 つの枠にそれぞれ 3 桁の値 (0 ~ 255) を入力し、 \oplus ボタンを押す。手順 6 に戻り \leftarrow/\rightarrow ボタンで次に設定したい項目を選び、 \oplus ボタンを押す。
- 11 設定したいすべての項目に値を入力したら、 \leftarrow/\rightarrow ボタンで「Execute」を選び、 \oplus ボタンを押す。

「Execute」を選んで、 \oplus ボタンを押すと、IP アドレスが手動で設定されます。

IP アドレスを自動取得する

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。
- 2 「設定」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 3 「詳細設定」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 4 「IP Address Setup」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 5 「DHCP」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。

「Execute」を選ぶと、自動的に IP アドレスを設定します。

「Cancel」を選ぶと、実行されません。

ご注意

IP アドレスが正しく設定されていないと、原因に応じて、次のようなエラーコードが表示されます。

Error 1 : 通信エラー

Error 2 : IP アドレスがほかで使われている

Error 3 : IP アドレスの設定不備

Error 4 : Gateway address の設定不備

Error 5 : Primary DNS の設定不備

Error 6 : Secondary DNS の設定不備

Error 7 : Subnet mask の設定不備

自動取得した IP アドレスを確認する

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。
- 2 「設定」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 3 「インフォメーション」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。

現在取得されている IP アドレスが表示されます。

ちょっと一言

IP アドレスが正常に取得できなかったときは、前回正常に取得できた IP アドレスが「インフォメーション」や「IP Address Setup」の「Manual」に表示されます。

通信速度を設定する

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。
- 2 「設定」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 3 「詳細設定」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 4 「Speed Setup」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 5 「Auto」、「10Mbps Half」、「10Mbps Full」、「100Mbps Half」、「100Mbps Full」の中から設定する通信速度を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 6 「Execute」を \leftarrow/\rightarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押すと、設定が反映されません。

「Auto」を選ぶとネットワーク構成に適切な通信速度が自動的に設定されます。

PC で操作する

ディスプレイをコントロールする

PC の画面上でディスプレイの各種設定ができます。

本機、PC、ルーターまたはハブがネットワークケーブルで接続されていることを確認し、ディスプレイと PC、ルーターまたはハブの電源を入れてください。

ディスプレイコントロール画面は、機能別に Information 画面、Configure 画面、Control 画面、Setup 画面の 4 画面を表示できます。

◆ボタンの動きについて詳しくは、ディスプレイ各機能の説明をご覧ください。

- 1 PC のブラウザ（Internet Explorer 7.0 以上）を起動する。
- 2 アドレスに前ページで設定した IP アドレスを「http://xxx.xxx.xxx.xxx」と入力し、キーボードの Enter キーを押す。
ユーザー名とパスワードが設定されていると、Network Password（ネットワークパスワード）入力画面が表示されます。設定したユーザー名とパスワードを入力してから、次の手順に進んでください。
- 3 画面上部の機能タブをクリックして表示したい画面を選ぶ。

各画面の設定項目

本機の LAN 機能を使用した場合

Information 画面

Model Name（モデル名）や Serial No.（シリアル番号）などのディスプレイの情報や、POWER（電源）や INPUT（入力信号）などのディスプレイの現在の状態などを表示します。この画面は確認のみで、設定の変更はできません。

Configure 画面

Timer（タイマー）

タイマーを設定します。
設定後「Apply」をクリックします。

Screen Saver（スクリーンセーバー）

スクリーンセーバーを設定します。
設定後「Apply」をクリックします。

Picture and Picture（2 画面）

2 画面の設定をします。
設定後「Apply」をクリックします。

で注意

「Timer」の設定を行うときは、あらかじめ Setup 画面（40 ページ）で時刻の設定をしておいてください。

Control 画面

POWER（電源）

ディスプレイの電源の入／切を切り換えます。

INPUT（入力切換）

入力信号を切り換えます。

PICTURE MODE（ピクチャーモード）

ピクチャーモードを切り換えます。

ASPECT（アスペクト）

画面の縦横比を切り換えます。

Contrast（コントラスト） +/- ボタン

コントラストを調整します。

Brightness（ブライトネス） +/- ボタン

画像の明るさを調整します。

Chroma（色の濃さ） +/- ボタン

色の濃さを調整します。

Phase（色あい） +/- ボタン

色あいを調整します。

Reset（リセット） ボタン

「Contrast（コントラスト）」から「Phase（色あい）」の設定値を出荷状態に戻します。

ご注意

- ・ 入力信号がビデオで、映像信号のカラー方式が NTSC でない場合、「Phase」は調整できません。
- ・ 「Chroma」、「Phase」は、PC 入力時は調整できません。
- ・ 「ASPECT」における「Normal」はビデオ入力時の「4:3」、PC 入力時の「リアル」にあたります。

Setup 画面

Network Password（ネットワークパスワード）を設定するための画面が表示されます。お買い上げ時は、次のように設定されています。

Name : root
Password : pudadm

各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「Apply」をクリックすると反映されます。

特殊文字、日本語は使用できません。

Owner Information

Owner（所有者）

所有者の情報を入力します。

Display Location（ディスプレイ設置場所）

ディスプレイの Location（設置場所）を入力します。

ご注意

入力する文字列にスペースは使用しないでください。ファイル名が正しく表示されないことがあります。

Memo（メモ）

メモを入力しておくことができます。

Time

Time（時刻）

時刻、曜日と年、月、日を入力設定します。

Network

Internet Protocol (TCP/IP)（インターネットプロトコル）

「Specify an IP address（IP アドレスを手動で設定する）」を選び、各数値を設定します。

「Obtain an IP address (DHCP)（IP アドレスを自動的に設定する）」を選び、DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得することもできます。この場合、本機の電源を入れるたびに IP アドレスが変わることがあるのでご注意ください。

ご注意

ディスプレイのメニューからも設定できます。詳しくは「IP Address Setup」（35 ページ）をご覧ください。

Password（パスワード）

管理者、ユーザーそれぞれに名前とパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。

最大入力文字数は、それぞれ 8 文字です。

ユーザー名とパスワードを設定すると、本機のディスプレイコントロール画面を呼び出したときに、Network Password（ネットワークパスワード）入力画面が表示されるようになります。ネットワーク上の安全のために、ユーザー名とパスワードを設定して使用することを推奨します。

Mail Report（メールレポートの設定）

Error Report（エラーレポート）

ディスプレイの機能にエラーが発生した場合、すぐにメールで通知します（エラー通知）。

Status Report（ステータスレポート）

設定したインターバルで設定時刻の Display の status をメールでレポートできます。

Address（送信先）

各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に 4 か所に送信できます。各アドレスの最大入力文字数は 64 文字です。

Mail Account（メールアカウント）

Mail Address（メールアドレス）：

割り当てられたメールアドレスを入力します。

最大入力文字数は 64 文字です。

Outgoing Mail Server (SMTP)（送信メールサーバー）：

メールサーバーのアドレスを設定します。

最大入力文字数は 64 文字です。

Send Test Mail（テストメール送信）：

指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「Apply」をクリックすると送信されます。

ご注意

以下の項目が設定されていないか、設定が正しくない場合には、エラーメッセージが表示され、テストメールは送信できません。

- ・ 送信先のアドレス
- ・ メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー (SMTP)

Advanced (高度な設定)

ネットワーク上で各種アプリケーションを利用可能にする高度な設定を行います。ご利用のアプリケーションの設定要求とあわせてご確認ください。

Advertisement

ネットワーク上での Advertisement、Broadcast の設定を行います。

ID Talk

ID Talk の設定を行います。ID Talk とは、ネットワーク経由で本機を操作するためのプロトコルです。ID Talk によって、色温度やガンマなどさまざまな調整や設定ができるようになります。

使用可能な ID Talk コマンドについて詳しくはサービスセンターにお問い合わせください。

SNMP

本機は SNMP に対応したネットワーク機器です。標準 MIB-II の他に、ソニーの Enterprise MIB に対応しています。この画面では、SNMP (Simple Network Management Protocol) に関する設定を行います。

使用可能な SNMP コマンドについて詳しくはサービスセンターにお問い合わせください。

初期化するには

「Setup」画面で入力した設定値を初期化するには、「オールリセット」で初期設定に戻し、再度ネットワークの設定を行ってください。

故障かな？と思ったら

⦿ インジケーターが赤く点滅していないか確認する。

点滅している場合



自己診断機能が働いています。

- 1 ⦿ インジケーターの点滅回数および消灯時間をはかる。
たとえば、2 回点滅→3 秒消灯→2 回点滅となります。
- 2 本機の ⦿ (POWER) スイッチおよび主電源スイッチを押して電源を切り、電源コードを抜く。
お買い上げ店またはソニーサービス窓口にインジケーターの点滅状態（点滅回数および消灯時間）をお知らせください。

点滅していない場合

- 1 以下の表の項目を点検する。
- 2 それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

こんなときは	原因と対処のしかた
本機の電源スイッチおよびコントロールボタンが働かない。	・「コントロール設定」を確認してください（33 ページ）。
⦿ (POWER) スイッチまたはリモコンの ON (電源入) ボタンを「入」にしても、電源が入らない。	・主電源スイッチが「切」になっていないか確認してください（15 ページ）
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子から映像信号が出力されません。	・本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が Off しているときは HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子から出力されません。
BKM-FW16 の HD-SDI OUT 端子から信号が出力されない。	・本機がスタンバイ状態や AC 電源が Off しているときは HD-SDI OUT 端子から出力されません。
DVI OUT 端子から信号が出力されない。	・本機がスタンバイ状態や AC 電源が Off しているときは DVI OUT 端子から出力されません。
画像が出ない。	・映像機器と本機の接続を確認してください。 ・「RGB/YUV」の設定を確認してください（34 ページ）。 ・本機の INPUT ボタンまたはリモコンで入力を切り換えてみてください（14、18 ページ）。
本機の電源が自動的に切れる。	・「タイマー設定」が有効になっていないか確認してください（33 ページ）。 ・「オートシャットオフ」が「入」になっていないか確認してください（34 ページ）。 ・周囲温度が 40 度以上になっていないか確認してください。
電源が自動的に入る／切れる	・「HDMI 機器制御」の設定を確認してください（36 ページ）。

こんなときは	原因と対処のしかた
<p>画像が見にくい。</p> <p>色がつかない／画像が暗い／画像が明るすぎる／色がおかしい／画像が徐々に暗くなる／画像に横方向のノイズが走る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PICTURE ボタンを押してご希望の「画質モード」に切り換えてください (18 ページ)。 ・ 「画質/音質」メニューで「画質モード調整」の項目を調整してください (27、28 ページ)。 ・ 接続ケーブルの状態を点検してください。 ・ 周囲温度が 40 度以上になっていないか確認してください。 ・ 「ECO モード」の設定を確認してください (33 ページ)。
<p>画面全体が緑や紫になっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「RGB/YUV」の設定を確認してください (34 ページ)。
<p>音が出ない／音にノイズが混じる。</p> <p>画像は表示されているが、音声が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音量を確認してください。 ・ リモコンの  または  + を押して「消音」を画面から消してください (19 ページ)。 ・ 「スピーカー出力」の設定を確認してください (33 ページ)。
<p>リモコンが動かない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電池の + / - が正しく挿入されているか確認してください。もしくは電池を交換してください。 ・ リモコンを本機のリモコンセンサーに向けてください。 ・ リモコンセンサーのまわりに障害物を置かないようにしてください。 ・ 「コントロール設定」を確認してください (33 ページ)。 ・ 蛍光灯によってリモコンの操作に障害が出る場合があります。蛍光灯を消してみてください。
<p>ネットワークに接続できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ REMOTE 端子にケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 ・ PC のネットワーク設定を確認してください。 ・ 「設定」メニューの「オールリセット」で初期設定に戻し、再度ネットワークの設定を行ってください。 ・ 「ネットワークポート」の設定を確認してください (35 ページ)。
<p>ディスプレイコントロール画面（本機の GUI が表示される Web 画面）が表示されない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラウザーで Web ページの更新を行ってください。 ・ IP アドレスが正しいか確認してください。 ・ ブラウザーは Internet Explorer 7.0 以上を使用してください。 ・ ブラウザーのキャッシュをクリアしてください。

入力信号一覧表

PC 信号

	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac ^{b)} 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA ^{c)} STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT ^{d)})	29.8	60
16	848 × 480@85 Hz (CVT)	43.0	85
17	1280 × 720@60 Hz (CVT)	44.8	60
18	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47.8	60
19	1280 × 768@75 Hz (CVT)	60.3	75
20	1280 × 960@60 Hz (CVT)	59.7	60
21	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47.7	60
22	800 × 600@60 Hz (CVT)	37.4	60
23	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47.8	60
24	1280 × 1024@60 Hz (CVT)	63.7	60

	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
25	1400 × 1050@60 Hz (CVT)	65.3	60
26	1600 × 1200@60 Hz (CVT)	74.5	60
27	1920 × 1080@60Hz	66.6	60

TV/ビデオ信号

	解像度	利用可能な入力				
		ビデオ	コンポーネント	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p		○	○	○	
10	1080/60p		○	○	○	
11	1080/24psf		○			

a) VGA は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

b) Mac (Macintosh) は Apple Inc. の登録商標です。

c) VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

d) VESA Coordinated Video Timing

ご注意

- ・ HDTV 信号を入力する場合、同期信号は 3 値同期信号を HD15 (RGB/COMPONENT) IN 端子 (D-sub 15 ピンコネクタ) の 2 番ピンに入力してください。
- ・ 本機で DVD 信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、「画質/音質」メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
- ・ 位相を再調整すると解像度が低下します。
- ・ Mac の信号は、デジタル RGB 信号入力では、保証されません。
- ・ コンポジットシンク信号は左記の信号一覧の 2、4、5、7、12、13、14 に対応します。
- ・ カラーバーストのないビデオ信号は保証されません。

入力信号／ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640 × 480/60 (例)	PC 信号が入力されています。
480/60i (例)	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC (例)	ビデオ信号が入力されていません。
標準信号ではありません。	標準信号でない信号が入力されています。
信号がありません。	入力信号がありません。
Component	Component 入力を選択されています。
HD15	HD15 入力を選択されています。「RGB/YUV」は「自動」に設定されています。
HD15 RGB	HD15 入力を選択されています。「RGB/YUV」は「RGB」に設定されています。
HD15 Component	HD15 入力を選択されています。「RGB/YUV」は「YUV」に設定されています。
DVI	DVI 入力を選択されています。
HDMI	HDMI 入力を選択されています。
Video	コンポジットビデオが選択されています。
Option HD SDI	Option 入力の HD SDI が選択されています。

仕様

映像処理系

パネル方式	a-Si : TFT Active Matrix LCD Panel
解像度	FWD-S46H2 1,920 ドット (水平) × 1,080 ライン (垂直) FWD-S42H2 1,920 ドット (水平) × 1,080 ライン (垂直)
サンプリング周波数	13.5 MHz ~ 165 MHz
カラー方式	NTSC/PAL
入力信号	44 ページをご覧ください。
ピクセルピッチ	FWD-S46H2 0.53 (水平) mm × 0.53 (垂直) mm FWD-S42H2 0.4845 (水平) mm × 0.4845 (垂直) mm
有効表示寸法	FWD-S46H2 1,018.1 (水平) mm × 572.7 (垂直) mm FWD-S42H2 930.2 (水平) mm × 523.3 (垂直) mm
画面サイズ	FWD-S46H2 : 46 (V) 型 (対角 1,168.1 mm) FWD-S42H2 : 42.02 (V) 型 (対角 1,067.3 mm)

入出力

REMOTE	ネットワーク端子 (10BASE-T/100BASE-TX) D-sub 9 ピン (凹) (× 1) (RS-232C)
AUDIO VIDEO	AUDIO OUT (L/R) RCA 型 VIDEO IN BNC 型 (× 1) VIDEO OUT BNC 型 (× 1) コンポジットビデオ 1 V _{p-p} ± 2 dB 同期負、75 Ω 自動終端
COMPONENT	AUDIO IN ステレオミニジャック (× 1) 500mVrms、ハイインピーダンス
HD15 (RGB/COMPONENT)	COMPONENT (Y P _B /C _B P _R /C _R) IN RCA 型
	HD15 (RGB/COMPONENT) IN D-sub 15 ピン (凹) (× 1) 47 ページをご覧ください。
	HD15 (RGB/COMPONENT) OUT D-sub 15 ピン (凹) (× 1) 47 ページをご覧ください。
	AUDIO IN ステレオミニジャック (× 1) 500 mVrms、ハイインピーダンス
DVI	DVI IN (DVI 規格 1.0 準拠)
	DVI OUT (DVI 規格 1.0 準拠)
	AUDIO IN ステレオミニジャック (× 1)

HDMI	500 mVrms、ハイインピーダンス HDMI IN (HDMI (1080p))
SPEAKER	スピーカー出力 (L/R) 6Ω 7W + 7W

その他

電源 AC	100 ~ 240 V、50/60 Hz FWD-S46H2 : 1.4 A (最大) FWD-S42H2 : 1.45 A (最大)
消費電力	FWD-S46H2 : 140 W (最大) FWD-S42H2 : 145 W (最大) 0.5 W (スタンバイ時最大)
動作条件	温度 : 0 ~ 40 °C 湿度 : 20 ~ 90 % (結露のないこと)
保存・輸送条件	温度 : - 10 ~ + 40 °C 湿度 : 20 ~ 90 % (結露のないこと)
外形寸法	FWD-S46H2 1,053.6 mm × 608.2 mm × 84 mm 1,053.6 mm × 656.3 mm × 292.6 mm (別売スタンド含む) (幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず) FWD-S42H2 967.8 mm × 560.7 mm × 88 mm 967.8 mm × 608.8 mm × 292.6 mm (別売スタンド含む) (幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず)
質量	FWD-S46H2 約 22.7 kg 約 24.5 kg (別売スタンド含む) FWD-S42H2 約 20.2 kg 約 22.0 kg (別売スタンド含む)
付属品	電源コード (1) AC プラグホルダー (2) ケーブルホルダー (6) 変換プラグアダプター (1) リモコン RM-FW002 (1) 単 3 形マンガン乾電池 (2) 取扱説明書 (1) 保証書 (ソニー業務用商品相談窓口のご案内) (1)

別売アクセサリ

ディスプレイスタンド SU-S02
スピーカー SS-SPG02
機能拡張用オプションアダプター
BKM-FW シリーズ

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

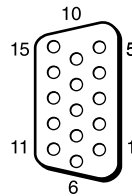
この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

HD15 (RGB/COMPONENT) 端子 (D-sub 15ピン)



ピン No.	信号
1	赤映像信号または C _R /P _R 信号
2	緑映像信号または Y 信号
3	青映像信号または C _B /P _B 信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号、コンポジット同期信号またはコンポジットビデオ信号 (同期信号として)
14	垂直同期信号
15	SCL

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は 13、14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

安全規格

電安法、VCCI クラス B

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

索引

あ

明るさ 27
明るさ強調 28
アスペクト 20, 26, 32
色あい 27
色温度 28
色の濃さ 27
インデックス番号 19, 22, 33
インフォメーション 26, 36
ウィンドウ 31
オートシャットオフ 34
オーバースキャン 34
オールリセット 26, 36
オフ連動 36
オン連動 36
音質モード 26, 29
音質モード調整 26, 29
音量ボタン 14, 19

か

画位相 32
画質/音質メニュー 26, 27
画質モード 26, 27
画質モード調整 26, 27
カスタム 27, 29
画面位置 30
画面入替 30
画面サイズ 30
画面調整 26, 32
画面メニュー 26, 30
カラー方式 35
カンファレンス 27
ガンマ補正 28
ケーブルホルダー 25
言語 26, 33
高音 29
コントラスト 27
コントラストボタン 19
コントロール設定 33
コントロールモード 33

さ

サラウンド 29
時刻設定 33
自動画面調整 34
自動調整 32
シネモーション 27
シャープネス 27
出画形式 31
主電源スイッチ 15
消音ボタン 19
詳細設定 26, 33
垂直位置 32
垂直サイズ 32
水平位置 32
水平サイズ 32
ズーム 20, 32
スクリーンセーバー 35
スタンダード 27, 29
ステータス表示 26, 33

スピーカー出力 26, 33
設定メニュー 26, 33
操作画面 30

た

ダイナミック 27, 29
ダイナミックピクチャー 28
タイマー設定 26, 33
タイル 31
低音 29
電源/スタンバイインジケーター 12
電源タイマー 33
同期モード 34
時計表示 33
ドットピッチ 32

な

入力信号 44
ネットワークポート 35

は

バックライト 27
バランス 29
パワーオンディレイ 35
標準 28, 29, 32
フル 20, 32
フル1 20, 32
フル2 20, 32
ポジション設定 31

ま

マルチディスプレイ設定 26, 31
メニュー位置 35

ら

リアル 20, 32
リモコンセンサー 12

わ

ワイド切換 20
ワイド切換ボタン 18, 20
ワイドズーム 20, 32

数字

2画面設定 21, 26, 30
2画面ボタン 19, 21
4:3 20, 32

A

AC INソケット 15, 24
Address (送信先) 40
Advanced 41
Advertisement 41
AUDIO OUT 端子 15
AUDIO IN 端子 15, 16, 17

C

Configure画面 39
Control画面 39

D

DISPLAYボタン 19
DPMS 34
DVI IN/OUT端子 17
DVI 端子 17
DVI ボタン 18

E

ECOモード 26, 33
ENTERボタン 14
Error Report 40

H

HD15 (RGB/COMPONENT) IN/
OUT 端子 15
HD15 (RGB/COMPONENT)端子 15
HD15ボタン 19
HDMI ボタン 18
HDMI 機器制御 36
HDMI 端子 16

I

ID MODEボタン 19, 22
ID Talk 41
Information画面 39
INPUTボタン 14
IP Address Setup 35

L

LED 31

M

Mail Account (メールアカウント) 40
Mail Report 40
MENUボタン 14, 18, 26

N

Network 40
NR (ノイズリダクション) 27

O

ON (電源入) ボタン 18
OPTION 1ボタン 19
OPTIONスロット 15
Owner Information 40

P

Password (パスワード) 40
PICTUREボタン 18
POWERスイッチ 14

R

REMOTE端子 17
RETURNボタン 14
RGB信号 35
RGB/YUV 34
RS-232C 17, 35

S

Setup画面 40
SNMP 41
SPEAKER端子 15
Speed Setup 35
STANDBYボタン 19
Status Report 40

T

TC Control 27

V

VIDEO IN端子 16
VIDEO ボタン 18

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. _____ Serial No. _____

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

On transportation

When you carry the display unit, hold the unit itself, not the speakers. If you fail to do so, the speakers may come out of the unit and the unit may fall. This can cause injury.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit.

If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	FWD-S46H2/S42H2
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.

If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.

DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT or SVT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5m (4 ft .11in.), Less than 2.5 m (8 ft. 3 in.)
Rating	Minimum 6A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.

To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

IMPORTANT INFORMATION

If a monitor is not positioned in a sufficiently stable location, it can be potentially hazardous due to falling. Many injuries, particularly to children, can be avoided by taking simple precautions such as:

- Using cabinets or stands recommended by the manufacturer of the monitor.
- Only using furniture that can safely support the monitor.
- Ensuring the monitor is not overhanging the edge of the supporting furniture.
- Not placing the monitor on tall furniture (for example, cupboards or bookcases) without anchoring both the furniture and the monitor to a suitable support.
- Not standing the monitors on cloth or other materials placed between the monitor and supporting furniture.
- Educating children about the dangers of climbing on furniture to reach the monitor or its controls.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.
--

GB

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

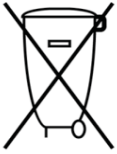
If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the Customers in Brazil only

DESCARTE DE PILHAS E BATERIAS



Após o uso, as pilhas e/ou baterias deverão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.

Bateria Primária

Atenção:

Verifique as instruções de uso do aparelho certificando-se de que as polaridades (+) e (-) estão no sentido indicado. As pilhas poderão vaziar ou explodir se as polaridades forem invertidas, expostas ao fogo, desmontadas ou recarregadas.

Evite misturar com pilhas de outro tipo ou com pilhas usadas, transportá-las ou armazená-las soltas, pois aumenta o risco de vazamento.

Retire as pilhas caso o aparelho não esteja sendo utilizado, para evitar possíveis danos na eventualidade de ocorrer vazamento.

As pilhas devem ser armazenadas em local seco e ventilado.

No caso de vazamento da pilha, evite o contato com a mesma. Lave qualquer parte do corpo afetado com água abundante. Ocorrendo irritação, procure auxílio médico.

Não remova o invólucro da pilha.

Mantenha fora do alcance das crianças. Em caso de ingestão procure auxílio médico imediatamente.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收



Table of Contents

Introduction

Precautions	6
Recommendations on Installation	8

Location and Function of Parts and Controls

Front.....	10
Rear	11
Remote Control	16
Button Description.....	16
Useful buttons on the Remote Control	18
Using the Wide Mode.....	18
Using the PAP Setting	19
Using the ID MODE button	20
Optional Adaptors	21

GB

Connections

Connecting the Speakers.....	22
Connecting the AC Power Cord	22
Cable Management.....	23

Using the Settings

Overview of the Menu	24
Picture/Sound Settings.....	25
Screen Settings.....	28
Setup Settings.....	31

Network Functions

Preparations for Using the Network Functions.....	35
PC Operation	37

Other Information

Troubleshooting	40
Input Signal Reference Chart.....	42
Specifications	44
Index	46

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.

Cleaning

Be sure to unplug the power cord before cleaning the display.

On cleaning the display

Do not allow hard objects to scrape, or pound the display screen surface, or allow objects to hit the screen surface because that can damage the screen surface.

The display screen has a special surface treatment.

Follow the instructions below to prevent impair performance because of improper handling when cleaning.

- Gently remove any dust from the screen surface with a soft cloth. A cleaning cloth or cloth for wiping glasses is preferred.
- If it is excessively dirty, clean the screen surface with a soft cleaning cloth slightly dampened with water.
- Never use alcohol, benzene, thinner, acid or alkaline cleaning solvent, abrasive cleaners, or chemically-treated cloths because they will damage the screen surface.

Cleaning the cabinet

- Gently wipe off stains using a dry, soft cloth. Wipe off grimy stains using a cloth slightly moistened with a mild detergent, then wipe the area again using a dry, soft cloth.
- Do not use alcohol, benzene, thinner or insecticide. Doing so may damage the finish of the surface or remove the markings on the unit.
- There is a danger that the screen will be damaged if wiped with a cloth that is dirty.
- Allowing the unit to come into prolonged contact with rubber or plastic products may alter the unit or cause the protective coating to come off.

On the LCD panel

- Keeping the LCD panel facing toward the sun for a long time will damage the panel. Take this into account when you install the unit outdoor or by a window.
- Do not forcefully press or scratch the LCD screen. Do not place objects on the screen. Doing so may disrupt the display or damage the LCD screen.
- You may find that the screen is showing horizontal stripes or that it has afterimage. The screen may also look darker when using the unit in a cool environment. These do not indicate a screen malfunction. The screen will return to normal when the ambient temperature is higher.
- If a static image is displayed for a long time, screen burn or a residual image may occur. A residual image will

disappear over time. If ghosting occurs, use the screensaver function, or use some kind of video or imaging software to provide constant movement on the screen. If light ghosting (image burn-in) occurs, it may become less conspicuous, but once burn-in occurs, it will never completely disappear.

- The panel surface, cabinet or frame may warm up during use. This does not a problem.

Bright spots and dark spots on the LCD screen

Although the LCD screen is manufactured by high technology with an effective resolution of at least 99.99%, it may show dark spots (pixel defects) or bright spots (red, blue, green, etc.) that are continuously lit or flashing. These are phenomenon of LCD screens that generated sometimes by pixel defects. These may occur after the device has been used for an extended period of time.

These are not screen malfunctions.

On installation

- Always verify that the unit is operating properly before use. **SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.**
- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the remote control, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials.

They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions on this unit, contact your authorized Sony dealers.

On the illustrations

The illustrations of the display in the Operating Instructions are of the FWD-S46H2.

GB

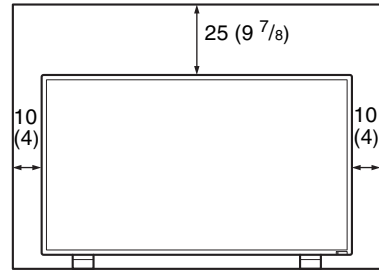
Recommendations on Installation

Provide an ample amount of space around the display

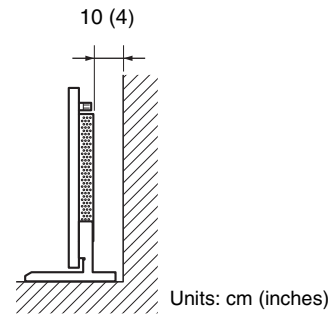
- To prevent internal heat buildup from sealing off the display, make sure to ensure proper ventilation by leaving open the minimum amount of space around the display, as illustrated below.
- The ambient temperature must be 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F). Be careful when installing the display near a ceiling. The temperature there can become much higher than the normal, lower-level room temperature.
- When using the stand, you use the applicable Tabletop Stand SU-S02 (not supplied). For the fitting method, see the installation manual of the Tabletop Stand.
- Consult with Sony qualified personnel for wall mount installation.
- Regarding the installation of hardware such as brackets, screws, or bolts, we cannot specify the products. Actual installation is up to the authorized local dealers. Consult with qualified Sony personnel for installation.
- While the display is on, a certain amount of heat builds up inside. This can cause burns. Avoid touching the top or rear of the display when it is powered on or just after it has entered standby mode.

When using the Tabletop Stand

Front



Side

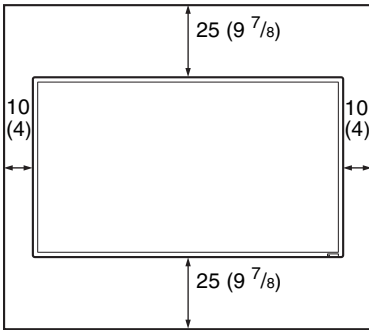


Note

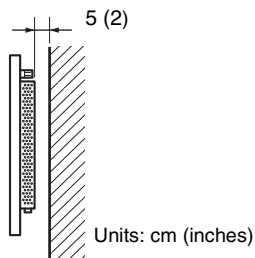
When moving or installing the display when it is attached to the tabletop stand (not supplied), do so with at least 2 people.

When mounting the display horizontally

Front



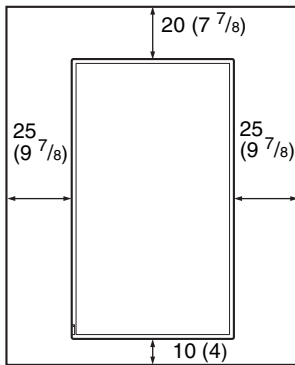
Side




GB

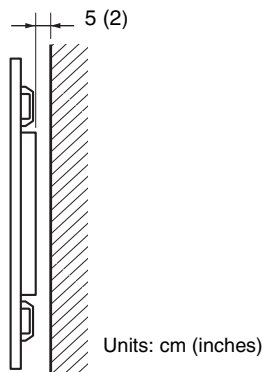
When mounting the display vertically

Front

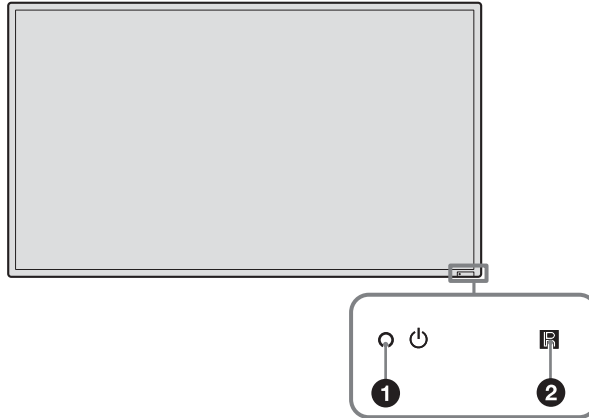





Make sure that the  (POWER) switch is at the lower left.

Side



Front

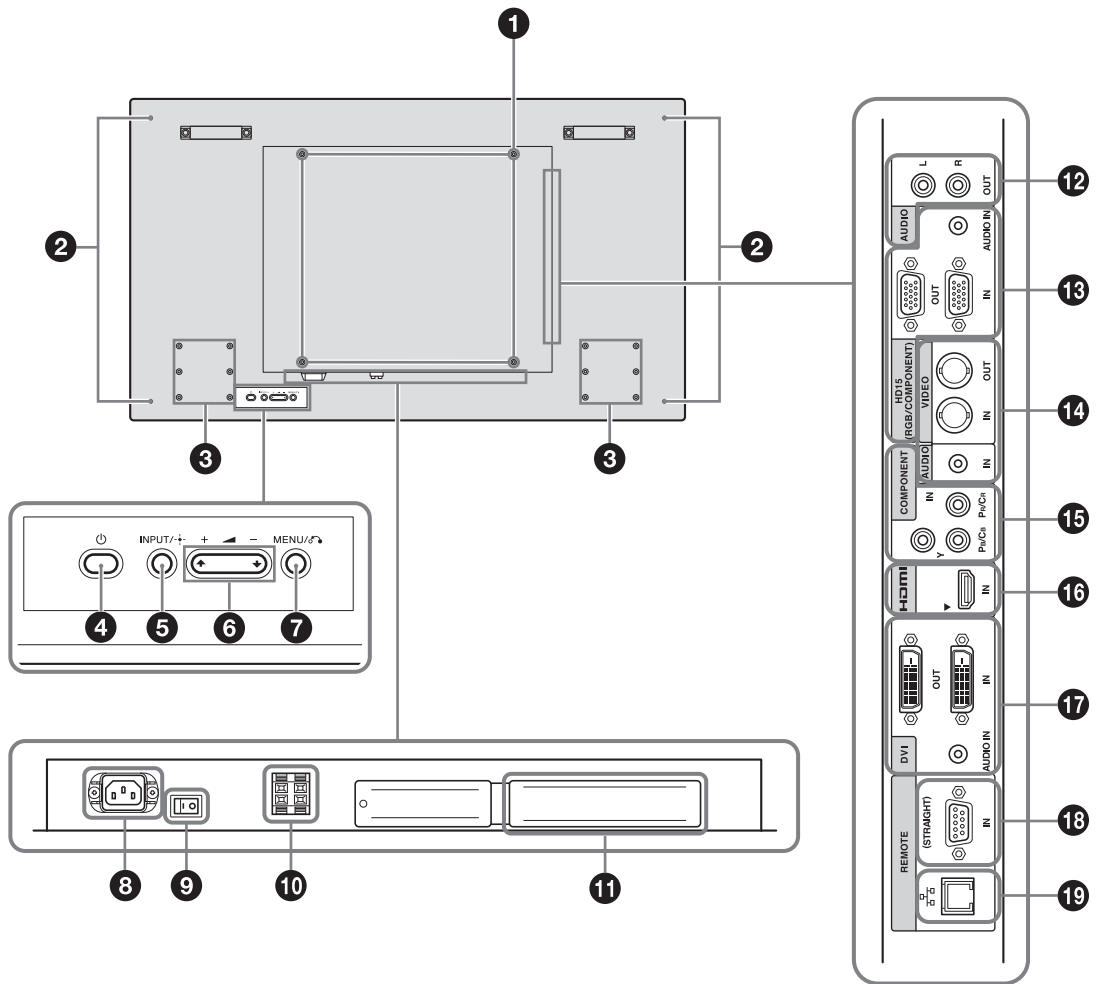


Parts	Description
1  (Power/Standby) indicator	<ul style="list-style-type: none">• Lights up in green when the display is switched on.• Lights up in red when the display is in standby mode. Lights up in orange when the display enters the power saving mode while a signal is input from a PC. When the  indicator blinks in red, see page 40.
2  Remote control sensor	Remote control light receptor.


Note


When the “LED” option in the “Multi Display” settings is set to “Off” and the “Position” option is not set to the right-bottom, the indicator does not light up in green even when the display is turned on, except for the case of no signal or an unsupported signal.

Rear



GB

Parts	Description
① Mounting bracket installation holes	Screw holes conforming to VESA standard. (Pitch: 400mm × 400mm) Note Use screws with the proper thread and length, and tighten to the proper torque. Diameter of thread: M6 Thread length: 10 mm Torque: 20 kgf·cm
② Speaker installation holes	For attaching the speakers SS-SPG02 (not supplied).
③ Tabletop stand installation holes	For attaching the tabletop stand SU-S02 (not supplied).
④  (POWER) button	Switches the display on or off (standby). Operate when the main power switch is “ON” (side).
⑤ INPUT/ + (ENTER) button	Press to select a signal to be input from the INPUT or OPTION connector. The signal to be input switches as follows each time you press the INPUT button. <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> → Video → Component → HD15 → DVI → HDMI → OPTION </div> When an optional adaptor supporting the video signal is not installed in the OPTION slot, OPTION will be skipped. Press to set your choice.
⑥ +/-/⏮/⏭ (volume/menu item selection) button	Press to control speaker volume. When the menu is displayed, press to select the menu item or set a value. Press to set your choice.
⑦ MENU/⏪ (RETURN) button	Press to show menus. This returns to the preceding menu screen.

Parts	Description
⑧ AC IN socket	Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet (page 22). Once you connect the AC power cord and turn on main power switch, the  indicator lights up in red and the display goes into the standby mode.
⑨ ○/ (main power) switch	Turn the main power switch to “ON”(press the side) when setting up the display. When the main power switch is turned “OFF” (press the ○ side), the power consumption is 0W.
⑩ SPEAKER socket	Connect the speakers SS-SPG02 (not supplied) to this socket. For more details on connecting the speakers, see the operating manual that came with the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 23.
⑪ OPTION slot (VIDEO/COM port)	Attach an optional adaptor (the BKM-FW series) in this slot to extend monitor functions (page 21).
⑫ AUDIO OUT (L/R) (RCA connector)	This is the audio monitor output terminal for external devices. Outputs an audio of the signal currently indicated on the screen. Outputs an audio signal corresponding to the active* picture when displaying Picture in Picture (PinP).

Notes

- Settings assigned in “Sound Mode” or “Speaker Out” will not be reflected.
- The noise reduction status set by the remote control is not reflected.

⑬ HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub 15-pin)	<p>HD15 (RGB/COMPONENT) IN: Connects to the analog RGB signal or component signal output of a piece of video equipment or PC (page 45).</p> <p>HD15 (RGB/COMPONENT) OUT: Connects to the analog RGB signal or component signal input of a piece of video equipment or PC (page 45). Signals input from the HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector above will be output.</p> <p>AUDIO IN: Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or PC.</p>
---------------------------------------	---

Notes

- When the display is not connected to an AC power or is in the standby mode, no signal is output from the HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.
- When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly.

* The status when the sound is output and the input signal can be switched.

Parts	Description
14 VIDEO	<p>VIDEO IN (BNC): Connects to the video output of a piece of video equipment.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): Connects to the video input of a piece of video equipment. Pictures input from VIDEO IN will be output. Output regardless of whether the power is on or off (including standby).</p> <p>AUDIO IN (Stereo mini jack): Connects to the audio output of a piece of video equipment.</p>
15 COMPONENT (RCA connector)	<p>COMPONENT (Y P_B/C_B P_R/C_R) IN: Connects to the component signal output of a piece of video equipment or PC.</p> <p>AUDIO IN: Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or PC. Use the same connector as in 14 VIDEO.</p>
16 HDMI	<p>HDMI IN: HDMI (High-Definition Multimedia Interface) provides an interface between the display and any HDMI-equipped audio/video equipment, as well as PC. You can enjoy enhanced or high-definition video, and two-channel digital audio. The appropriate mode for a piece of audio/video equipment or PC is automatically selected in accordance with the connected equipment.</p>
	<p>Note</p> <p>Be sure to use only an HDMI cable (not supplied) that bears the HDMI logo. We recommend that you use a Sony HDMI cable (high speed type).</p>

HDMI, High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

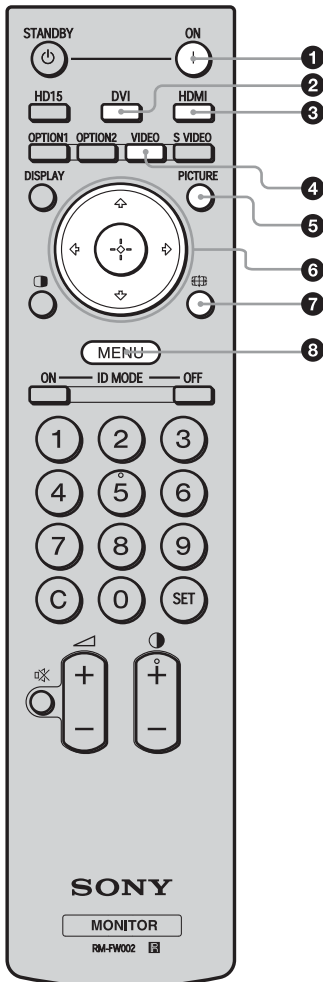
Parts	Description
17 DVI (DVI-D 24-pin)	<p>DVI IN: Connects to the digital signal output terminal of the video equipment or PC. Supports HDCP copy protection. Connects to the digital DVI input of a piece of video equipment or PC. Signals input from the DVI IN connector above will be output.</p> <p>DVI OUT: Connects to the digital DVI input of a piece of video equipment or PC. Signals input from the DVI IN connector above will be output.</p> <p>AUDIO IN: Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment, etc.</p> <p>Note</p> <p>When the display is in standby mode or switched off, no signal is output from DVI OUT.</p>
18 REMOTE (STRAIGHT) (D-sub 9-pin)	<p>This connector enables remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealer.</p> <p>Note</p> <p>When using this connector, select “RS-232C” in “Network Port”. (page 34)</p>
19 REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) (10BASE-T/100BASE-TX)	<p>Serves to connect the display to a network, using a 10BASE-T/100BASE-TX LAN cable. You can assign various settings and control the display via the network from a PC.</p> <p>Caution</p> <p>For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port. Follow the instructions for this port.</p> <p>Note</p> <p>When using this connector, select “LAN” in “Network Port”. (page 34)</p>

Remote Control

Note

You cannot use the S VIDEO button and the OPTION2 button on this display.

Button Description



1 ON (power-on) button

Press to turn the display on.

Operate when the main power switch on the rear of the display is “ON.”

2 DVI button

Press to select the signal input to the DVI port.

3 HDMI button

Press to select the signal input to the HDMI IN connector from a piece of video equipment.

4 VIDEO button

Press to switch between the input signals from VIDEO IN and COMPONENT IN

5 PICTURE button

Selects “Picture Mode”. Each press toggles between “Vivid”, “Standard”, “Custom”, “Conference”, and “TC Control”.

6 $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow/\oplus$ buttons

Press the $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow$ buttons to move the selected menu item and set the values.

Pressing \oplus sets the selected menu or setting items.

When displaying Picture in Picture (PiP), you can change the settings of the inset picture (page 19).

7 \square button

Press to change the aspect ratio (page 18).

8 MENU button

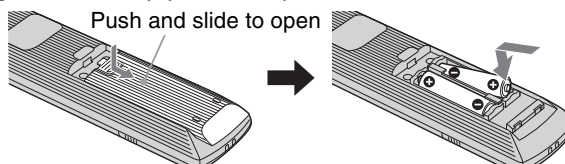
Press to show the menu on the screen. Press again to hide the menu (page 24).

Notes

- The 5 button and \bullet button have a tactile dot. Use the tactile dot as a reference when operating the display.
- Insert two size AA (R6) batteries (supplied) by matching the \oplus and \ominus on the batteries to the diagram inside the remote control’s battery compartment.

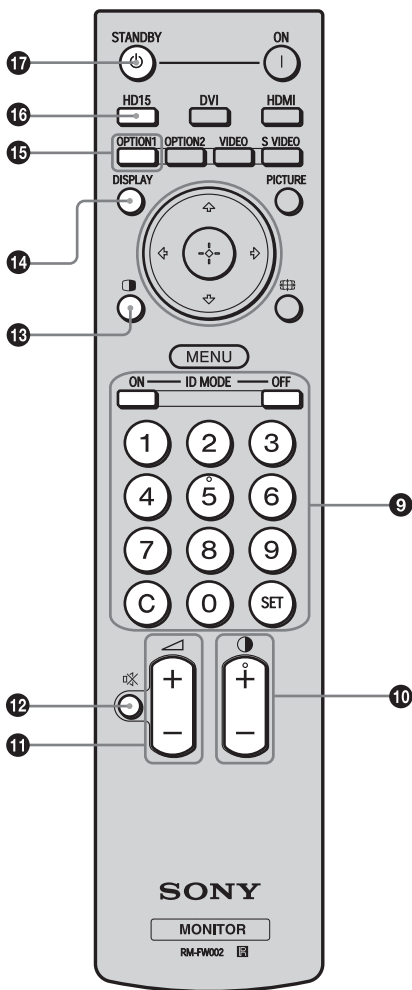
Caution

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.



Installing batteries

Two size AA (R6) batteries are supplied for Remote Control RM-FW002.
To avoid risk of explosion, use size AA (R6) manganese or alkaline batteries.



9 ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) buttons

You can operate a specific display by entering the "Index Number" of that display without affecting other displays installed at the same time.

- ON button: Press to show the "Index Number" on the screen.
- 0-9 button: Press to enter the "Index Number" of the display you want to operate.
- SET button: Press to set the input "Index Number".
- C button: Press to clear the input "Index Number".
- OFF button: Press to return to the normal mode (page 20).

10 +/- button

Adjusts the picture (contrast) level.

11 +/- button

Press to adjust the volume.

12 Mute button

Press to mute the sound. Press again to restore sound.

13 PinP button

Press to change the display from a single picture to Picture in Picture (PinP). Press again to display the single picture (page 19).

14 DISPLAY button

Press to display the currently selected input, the type of the input signal and the "Aspect" setting on the screen. Press again to hide them. If this displayed information is left undisturbed for a short time, it will disappear automatically.

15 OPTION1 button

When an optional adaptor is installed, selects an input signal from the equipment connected to the optional adaptor.
If the installed optional adaptor has multiple input connectors, each press of the button toggles between the input signals.

16 HD15 button

Press to select the input signal of the HD15 (RGB/COMPONENT) connector. The RGB signal or component signal is selected automatically or manually in accordance with the menu settings.

17 STANDBY button

Press to change the display to the standby mode.

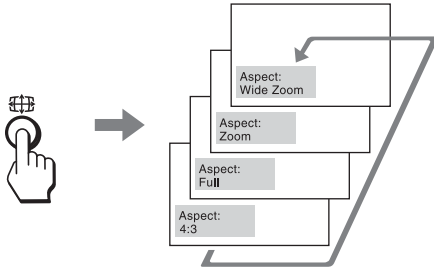
Useful buttons on the Remote Control

Using the Wide Mode

You can change the aspect ratio of the screen.

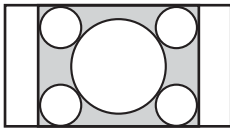
Tip

You can also access the “Aspect” settings in the “Screen” settings (page 30).

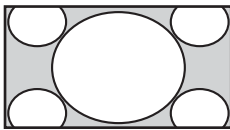


For input from video equipment such as Video, DVD, etc. (other than PC input)

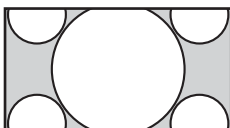
4:3 Original Source



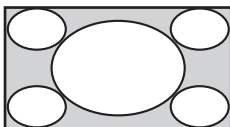
Wide Zoom



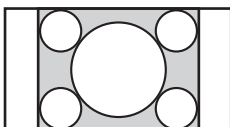
Zoom



Full



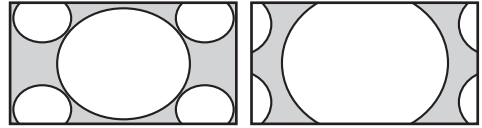
4:3



16:9 Original source



Wide Zoom



Zoom



Full



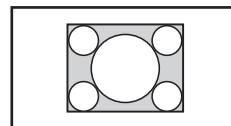
4:3



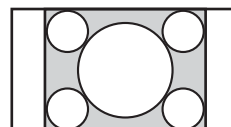
For PC Input

Illustrations below indicate the input resolution of 800×600

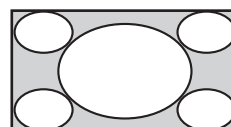
Real



Full 1



Full 2



Note

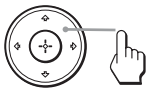
If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of “Real” is the same as “Full 1”.

Using the PAP Setting

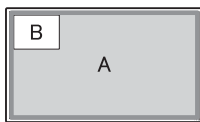
The inset picture is shown within the main picture. You can change the position and size of the inset picture. You can also access the “PAP Setting” in the “Screen” settings (page 28). Use a video input connector other than VIDEO IN for displaying Picture in Picture (PinP).

Note

A composite video signal from the VIDEO IN connector does not support PinP.

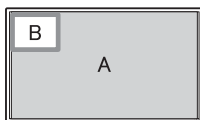


Cursor showing active picture



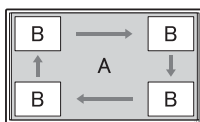
The inset picture (B) is shown within the main picture (A).

Press ⇄ button.



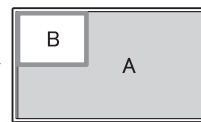
The inset picture (B) becomes the active picture.

Press ⊕ button.



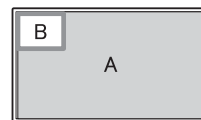
The position of the inset picture (B) will change.

Press ⇄ button.



The size of the inset picture (B) will become large.

Press ⊖ button.



The size of the inset picture (B) will become small.

GB

Tips

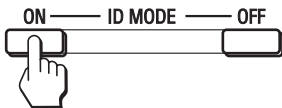
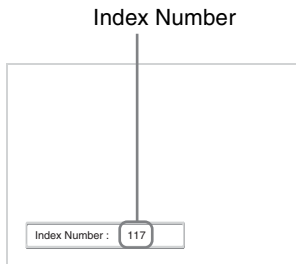
- The cursor indicating the active picture will disappear after 5 seconds.
- 2 sizes of inset picture can be selected.

Using the ID MODE button

You can operate a specific display by entering the "Index Number" of that display without affecting other displays installed at the same time.

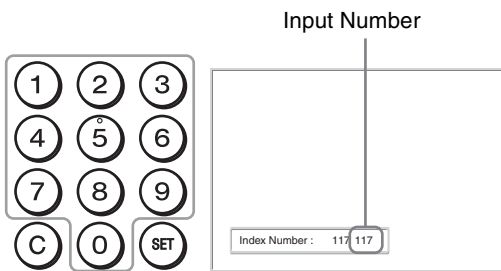
1 Press ON button.

Display's "Index Number" appears in black characters on the lower left menu on the screen. (Every display is allocated an individual preset "Index Number" from 1 to 255.)



2 Input the "Index Number" of the display you want to operate using the 0 - 9 buttons on the remote control.

The input number appears right next to the "Index Number" of each display.



3 Press SET button.

The characters on the selected display change to green while the others change to red.

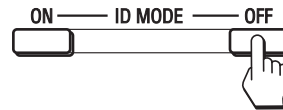


You can operate the specified display indicated with green characters only.

Only the operation of ON (power-on) button and STANDBY/ID MODE-OFF button is effective to other displays, as well.

4 When all of the setting changes have been completed, press OFF button.

The display returns to the normal screen.



To correct the Index Number

Press the **C** button to clear the current input "Index Number". Return to Step 2, and input a new "Index Number".



Tip

To change the "Index Number" of the display, see "Index Number" in "Control Setting" on page 31.

Optional Adaptors

The terminal of the OPTION slot ⑪ (page 13) on the rear of the display is a slot-in type. It can be switched to the following optional adaptor (not supplied).

For details on installation, consult your Sony dealers. For details on the optional adaptors for system expansion, see each instruction manual with this manual.

HD-SDI/SDI INPUT Adaptor BKM-FW16



Connects to the HD-SDI signal output of a piece of video equipment.

Before you start

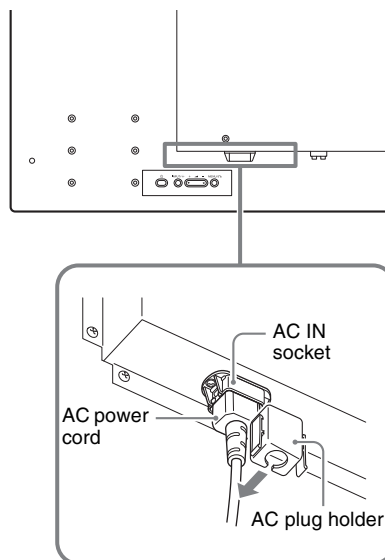
- First make sure that the power of each piece of equipment is turned off.
- Use cables suitable for the equipment to be connected.
- Connect the cables, fully inserting them into the connectors or jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- See the instruction manual of the equipment to be connected, too.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) to securely hold the AC plug.

Connecting the Speakers

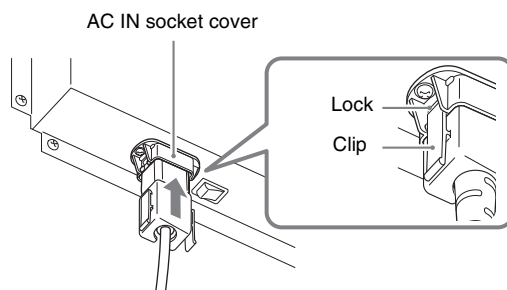
Connect the speakers SS-SPG02 (not supplied). Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual of the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 23.

Connecting the AC Power Cord

- 1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.



- 2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.



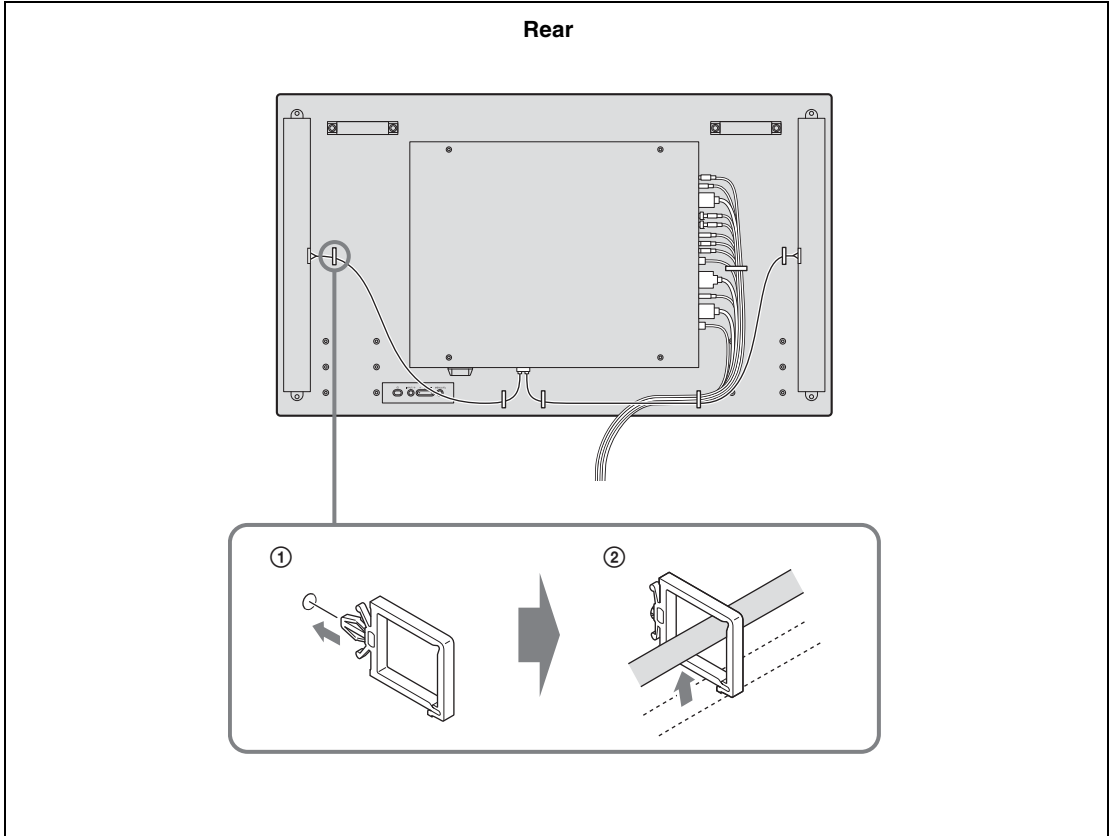
To remove the AC power cord

Release the clips of the AC plug holder from the lock of the AC IN socket cover, then hold the plug and pull out the AC power cord.

Cable Management

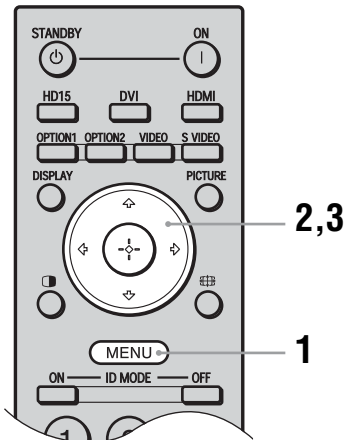
Using the cable holders

You can neatly bundle the cables with the cable holders (×6) provided. Attach the cable holders as shown in the illustrations below.



GB

Overview of the Menus



- 1 Press MENU button.
- 2 Press \uparrow/\downarrow to highlight the desired menu icon.
- 3 Press \oplus or \rightarrow .
To exit the menu, press MENU button.

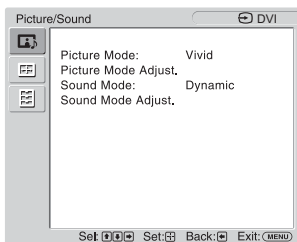
To change the on-screen language

Select the desired language for on-screen settings and messages from “English”, “Deutsch”, “Français”, “Español”, “Italiano” or “日本語”. “English” (English) is set for the default setting (page 31).

The settings provide you access to the following features:

Settings

Picture/Sound



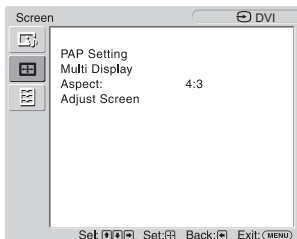
Allows you to set/change

Picture Mode: (page 25)
Picture Mode Adjust. (pages 25, 26)
Sound Mode: (page 27)
Sound Mode Adjust. (page 27)

Note

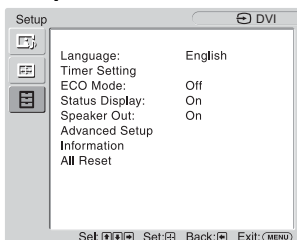
You cannot set or change “Picture Mode” or “Picture Mode Adjust.” when there is no signal input.

Screen



PAP Setting (page 28)
Multi Display (page 29)
Aspect: (page 30)
Adjust Screen (page 30)

Setup



Language: (page 31)
Timer Setting (page 31)
ECO Mode: (page 31)
Status Display: (page 31)
Speaker Out: (page 31)
Advanced Setup (pages 31, 32, 33, 34)
Information (page 34)
All Reset (page 34)

* Menu icons displayed at the bottom of the screen may not work, depending on the settings.

Picture/Sound Settings

For the setting method, see “Overview of the Menus” (page 24).

*: Not selected during PC input.

Menu	Function and operation
Picture Mode	You can choose a picture quality to match your picture type and surrounding brightness. Tip To change from one “Picture Mode” option to another, you can also use PICTURE button (page 16) on the remote control instead.
Vivid	Enhances picture sharpness, and maximizes contrast.
Standard	Flat setting.
Custom	Adjusts in more detail.
Conference	Adjusts the picture quality for video conferencing under fluorescent lights. Note “Conference” may not be effective depending on the environment of use or your video conference system. In this case, adjust the picture using “Picture Mode Adjust.” (page 25), or switch to a “Picture Mode” setting other than “Conference”.
TC Control	Selected when setting “True Color Control” (page 26). If you do not set “True Color Control”, the displayed image for “TC Control” is the same as that for “Vivid”. Note When you select “TC Control”, “Brightness Boost” (page 26) is set to “Off”.
Picture Mode Adjust.	You can adjust picture quality for each “Picture Mode” in more detail. You cannot adjust some “Picture Mode Adjust.” items depending on which “Picture Mode” is selected. Note During PC input, you cannot adjust “Chroma”, “Phase”, “Sharpness”, “Noise Reduction” or “CineMotion”.
Backlight	Adjusts LCD screen brightness.
Contrast	Adjusts to increase or decrease contrast.
Brightness	Adjusts picture brightness.
Chroma *	Adjusts color intensity.
Phase *	Adjusts the color tones of the picture. Note “Phase” is available if the video signal's color system is NTSC.
Sharpness *	Adjusts to sharpen or soften the picture.
Noise Reduction *	Reduces noise from connected equipment. Higher settings are effective when there is a lot of noise.
Off/Low/Mid/High	
CineMotion *	Select “Auto” or “Off”. If you select “Auto”, it optimizes the screen display automatically by detecting picture content and applying a reverse 3-2 or 2-2 pull-down process. The picture will appear clearer and more natural. Notes <ul style="list-style-type: none"> The setting of “CineMotion” is invalid when displaying Picture in Picture (PiP). “CineMotion” may not be correctly processed depending on the input signal pattern.

GB

Menu		Function and operation
Picture Mode Adjust.	Dynamic Picture	Select "On" or "Off". Select "On" to enhance contrast by making white brighter and black darker. Notes <ul style="list-style-type: none"> You can only set "Dynamic Picture" when a composite video signal from VIDEO IN is input. You cannot set "Dynamic Picture" when "Picture Mode" is set to "Conference" or "TC Control".
	Gamma Correct.	Balances the light and dark portions of pictures. Higher settings have larger gamma correction. Notes <ul style="list-style-type: none"> You cannot set "Gamma Correct." when "Picture Mode" is set to "Conference". "DICOM GSDF Sim." is the gamma setting based on the GSDF (Grayscale Standard Display Function) of the DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) standard. This setting is for reference only and cannot be used for medical diagnosis.
	High/Mid/Low/ DICOM GSDF Sim.	
	Color Temp.	White tone can be adjusted to suit your preference. Default settings are set when shipped from factory. Tip Restores the default settings by selecting "Reset" on the tone adjusting screen.
	Cool	Gives white colors a blue tint.
	Neutral	Gives white colors a neutral tint.
	Warm	Gives white colors a red tint.
	Custom	Enables a broader range of white tone to be set than above.
	Brightness Boost	Select "On" or "Off". If you select "On", then the picture quality is adjusted to emphasize brightness. Notes <ul style="list-style-type: none"> You can set "Brightness Boost" when "Picture Mode" is set to "Vivid". When "Brightness Boost" is set to "On", you cannot adjust the "Backlight", "Contrast", "Brightness" or "Color Temp." settings. When "Brightness Boost" is set to "On", with "Backlight" set to "Max" and "ECO Mode" set to "Off", the brightness is at its maximum.
	True Color Control	You can adjust the "Hue" and "Saturation" of 4 colors, "Red", "Green", "Yellow" and "Blue", in order to highlight specific colors in an image. Select the color you want to adjust, and look to see which part of the current image will be adjusted. You can then adjust it using the matrix dialog. Notes <ul style="list-style-type: none"> "True Color Control" can be adjusted when "Picture Mode" is set to "TC Control". You cannot set "True Color Control" when displaying Picture in Picture (PiP). The settings of "True Color Control" may be invalid when displaying Picture in Picture (PiP).
Reset	Select "Cancel" or "OK". If you select "OK", it resets all settings of "Picture Mode Adjust." to default settings.	

Menu	Function and operation
Sound Mode	You can adjust the sound output from the speakers SS-SPG02 (not supplied) with various “Sound Mode” settings.
Dynamic	Enhances treble and bass.
Standard	Flat setting.
Custom	For more detailed adjustment.
Sound Mode Adjust.	You can adjust sound tone in detail. Tip You can set “Treble” and “Bass” when the “Sound Mode” is set to “Custom”.
Treble	Adjusts to increase or decrease treble.
Bass	Adjusts to increase or decrease base.
Balance	Adjusts left/right speaker balance.
Surround	Select the surround mode according to the type of picture.
Off	No surround output.
Hall	When you want to get an even richer stereo sound from movies or music programs.
Reset	Select “Cancel” or “OK”. If you select “OK”, it resets all settings of “Sound Mode Adjust.” to default settings.

Screen Settings

For the setting method, see “Overview of the Menus” (page 24).


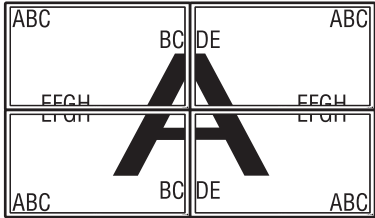
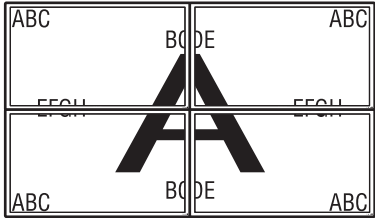

Note


If no signal is being input, “Aspect” and “Adjust Screen” cannot be set.

Menu	Function and operation
PAP Setting	Displays two types of video input signal simultaneously. For details, see page 19.
PAP	Select “Off” or “PinP”. Select “PinP” to display an inset picture within the main picture.
Active Picture	Selects the screen to operate.
Main	Activates the main picture so it can be operated.
Sub	Activates the inset picture so it can be operated.
Swap	Swaps the main and the inset pictures.
Picture Size	Selects the size of the inset picture. Select from “Large” or “Small”.
Picture Position	Adjust the position of the inset picture with $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow$, then press \oplus .

Available combinations for PinP

	Video	COMPONENT	HD15		DVI	HDMI	OPTION
			RGB	YUV			HDSI
Video							
COMPONENT					○	○	○
HD15	RGB				○	○	○
	YUV				○	○	○
DVI		○	○	○			
HDMI		○	○	○			
OPTION	HD SDI	○	○	○			

Menu	Function and operation
Multi Display	<p>Allows you to make settings for connecting multiple displays to form a video wall.</p> <p>Notes</p> <ul style="list-style-type: none"> You cannot set “Multi Display” when displaying Picture in Picture (PiP). During video input, “Multi Display” displays a picture as close as possible to the current “Aspect” setting. But during PC input, it displays with “Aspect” set to “Full 2”. When “Position” is set to the right-bottom, the  indicator lights up even if “LED” is set to “Off”. The indicator also lights up even when the display is off (standby), errors are detected, or the display is in sleep mode including the case of no signal or unsupported signal.
Multi Display	Do settings to form a video wall.
Off	Uses a single screen.
2x2 3x3 4x4	Settings to connect 2, 3 or 4 displays both vertically and horizontally.
1x2 1x3 1x4	Settings to connect 2, 3 or 4 displays horizontally.
2x1 3x1 4x1	Settings to connect 2, 3 or 4 displays vertically.
Position	Settings for the screen position of each display.
Output Format	You can select a picture output format. The picture position is automatically adjusted, and you can get a suitable picture output.
Tiles	Shows full signal on each screen. 
Window	Shows one large picture with multi display naturally. Part of the signal will go behind the bezel area. 
LED	Select “On” or “Off”. If you select “On”, the  indicator on the front panel (page 10) to be continually turned on.

Menu	Function and operation																
Aspect	<p>Change the screen's aspect ratio. For details, see page 18.</p> <p>Tips</p> <ul style="list-style-type: none"> To change from one "Aspect" option to another, you can also use  button on the remote control. Select "Zoom" to display movies and other DVD content with black bands, using the entire viewable area of the screen for video input. <p>Notes</p> <ul style="list-style-type: none"> You cannot change the aspect ratio during picture-in-picture (PinP) display. The image is displayed in the aspect ratio that was last used prior to PinP. You cannot set "Aspect" while using the "Multi Display" function. <table border="1" data-bbox="162 477 1224 925"> <tr> <td data-bbox="162 477 458 515">Wide Zoom *</td> <td data-bbox="458 477 1224 515">Enlarges to fill screen with minimum distortion.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 515 458 554">Zoom *</td> <td data-bbox="458 515 1224 554">Enlarges the picture, keeping the same aspect ratio.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 554 458 639">Full *</td> <td data-bbox="458 554 1224 639">Enlarges the picture horizontally to fill the screen when the picture source is 4:3 (Standard definition). When the picture source is 16:9 (High definition), it displays in the same 16:9 aspect ratio.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 639 458 677">4:3 *</td> <td data-bbox="458 639 1224 677">Displays all picture source in 4:3 aspect ratio.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 677 458 744">Full 1 **</td> <td data-bbox="458 677 1224 744">Enlarges the picture to fill the screen in the vertical direction, keeping the same aspect ratio. A black frame may appear around the picture.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 744 458 782">Full 2 **</td> <td data-bbox="458 744 1224 782">Enlarges the picture to fill the screen.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 782 458 925">Real **</td> <td data-bbox="458 782 1224 925"> <p>Displays the picture in its original number of dots.</p> <p>Note</p> <p>If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of "Real" is the same as "Full 1".</p> </td> </tr> </table>	Wide Zoom *	Enlarges to fill screen with minimum distortion.	Zoom *	Enlarges the picture, keeping the same aspect ratio.	Full *	Enlarges the picture horizontally to fill the screen when the picture source is 4:3 (Standard definition). When the picture source is 16:9 (High definition), it displays in the same 16:9 aspect ratio.	4:3 *	Displays all picture source in 4:3 aspect ratio.	Full 1 **	Enlarges the picture to fill the screen in the vertical direction, keeping the same aspect ratio. A black frame may appear around the picture.	Full 2 **	Enlarges the picture to fill the screen.	Real **	<p>Displays the picture in its original number of dots.</p> <p>Note</p> <p>If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of "Real" is the same as "Full 1".</p>		
Wide Zoom *	Enlarges to fill screen with minimum distortion.																
Zoom *	Enlarges the picture, keeping the same aspect ratio.																
Full *	Enlarges the picture horizontally to fill the screen when the picture source is 4:3 (Standard definition). When the picture source is 16:9 (High definition), it displays in the same 16:9 aspect ratio.																
4:3 *	Displays all picture source in 4:3 aspect ratio.																
Full 1 **	Enlarges the picture to fill the screen in the vertical direction, keeping the same aspect ratio. A black frame may appear around the picture.																
Full 2 **	Enlarges the picture to fill the screen.																
Real **	<p>Displays the picture in its original number of dots.</p> <p>Note</p> <p>If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of "Real" is the same as "Full 1".</p>																
Adjust Screen	<p>Adjust screen size and position.</p> <p>Note</p> <p>"Auto Adjustment", "Phase" and "Pitch" are not available when the PC signal is digitally input using a DVI IN or HDMI IN connector.</p> <table border="1" data-bbox="162 1068 1224 1553"> <tr> <td data-bbox="162 1068 458 1268">Auto Adjustment **</td> <td data-bbox="458 1068 1224 1268"> <p>Select "Cancel" or "OK". If you select "OK", the display automatically adjusts the position and phase of the picture when it receives an input signal from the connected PC. Note that "Auto Adjustment" may not work well with certain input signals. In such cases, manually adjust the options below.</p> <p>Note</p> <p>To adjust correctly, adjust while the entire screen displays a bright picture.</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1268 458 1306">Phase **</td> <td data-bbox="458 1268 1224 1306">Adjusts the phase when the screen flickers.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1306 458 1344">Pitch **</td> <td data-bbox="458 1306 1224 1344">Adjusts the pitch when the picture has unwanted vertical stripes.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1344 458 1382">H Size</td> <td data-bbox="458 1344 1224 1382">Adjusts the size of the picture horizontally.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1382 458 1420">H Shift</td> <td data-bbox="458 1382 1224 1420">Adjusts the picture position left and right.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1420 458 1458">V Size</td> <td data-bbox="458 1420 1224 1458">Adjusts the picture size vertically.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1458 458 1496">V Shift</td> <td data-bbox="458 1458 1224 1496">Adjusts the picture position up/down.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1496 458 1553">Reset</td> <td data-bbox="458 1496 1224 1553">Select "Cancel" or "OK". Select "OK" to reset all settings of "Adjust Screen" to default settings.</td> </tr> </table>	Auto Adjustment **	<p>Select "Cancel" or "OK". If you select "OK", the display automatically adjusts the position and phase of the picture when it receives an input signal from the connected PC. Note that "Auto Adjustment" may not work well with certain input signals. In such cases, manually adjust the options below.</p> <p>Note</p> <p>To adjust correctly, adjust while the entire screen displays a bright picture.</p>	Phase **	Adjusts the phase when the screen flickers.	Pitch **	Adjusts the pitch when the picture has unwanted vertical stripes.	H Size	Adjusts the size of the picture horizontally.	H Shift	Adjusts the picture position left and right.	V Size	Adjusts the picture size vertically.	V Shift	Adjusts the picture position up/down.	Reset	Select "Cancel" or "OK". Select "OK" to reset all settings of "Adjust Screen" to default settings.
Auto Adjustment **	<p>Select "Cancel" or "OK". If you select "OK", the display automatically adjusts the position and phase of the picture when it receives an input signal from the connected PC. Note that "Auto Adjustment" may not work well with certain input signals. In such cases, manually adjust the options below.</p> <p>Note</p> <p>To adjust correctly, adjust while the entire screen displays a bright picture.</p>																
Phase **	Adjusts the phase when the screen flickers.																
Pitch **	Adjusts the pitch when the picture has unwanted vertical stripes.																
H Size	Adjusts the size of the picture horizontally.																
H Shift	Adjusts the picture position left and right.																
V Size	Adjusts the picture size vertically.																
V Shift	Adjusts the picture position up/down.																
Reset	Select "Cancel" or "OK". Select "OK" to reset all settings of "Adjust Screen" to default settings.																

☰ Setup Settings

For the setting method, see the section of “Overview of the Menus” (page 24).

Menu	Function and operation
Language	Select from the language settings shown. Select “English”, “Deutsch”, “Français”, “Español”, “Italiano” or “日本語”.
Timer Setting	<p>You can adjust time, display the built-in clock, or set the timer to make the display power on/off at a predetermined time.</p> <p>Note</p> <p>If the main power switch is left turned off or the AC power cord removed for a long time, the built-in clock may lose or gain time significantly. In this case, reset the clock to the right time.</p>
Clock Set	Sets the date and the hour of the day.
Date Set	Sets the date (year, month, date). The day of the week is automatically set.
Time Set	Sets the time.
Clock Display	Select “On” or “Off”. If you select “On”, when the remote control’s DISPLAY button is pressed, it shows the current time which was set.
On/Off Timer	<p>Sets the day of the week and the hour of the day.</p> <p>Note</p> <p>This cannot be used unless the “Timer Setting” has been set.</p>
ECO Mode	Reduces power consumption by changing the brightness of the backlight. Selecting “High” reduces power consumption more than “Low”.
Off/Low/High	
Status Display	<p>Select “On” or “Off”. If you select “On”, the input signal and “Aspect” setting information show on the screen for about 5 seconds when the display is turned on. When you switch the input signal, the input signal information shows for about 5 seconds.</p> <p>Tip</p> <p>You can display the input signal and “Aspect” setting information by pressing DISPLAY button on the remote control.</p>
Speaker Out	Select “On” or “Off”. If you select “On”, sound is output from the speakers.
Advanced Setup	Enter more detailed settings.
Control Setting	This menu is used for settings of operation of the display and the remote control.
Index Number	<p>You can change the index number of the display if necessary. Select to set the index number of the display with ⏪/⏩ buttons on the display, and press + button to confirm the setting.</p> <p>Note</p> <p>The “Index Number” cannot be set with the remote control.</p>

GB

Menu		Function and operation
Advanced Setup	Control Mode	<p>Set to control the display from the remote control or from the display.</p> <p>Note</p> <p>When this item is operated, the available modes will differ depending on whether you select by the remote control or the display. When setting this item with \oplus button on the remote control, you can select only "Display+Remote" or "Remote Only". When setting this item with \oplus button on the display, you can select only "Display+Remote" or "Display Only".</p>
	Display+Remote	Enables operation of the display with the control buttons on the display and the remote control.
	Display Only	Enables operation of the display with the control buttons on the display. You can only use buttons on the display to enter this setting.
	Remote Only	Enables operation of the display with the remote control. You can only use the remote control to enter this setting.
Auto Screen Adjust		<p>Select "On" or "Off". If you select "On", it saves settings such as picture size and position for each input signal, and the last settings are automatically applied.</p> <p>Note</p> <p>The "Auto Screen Adjust" function only works during RGB input.</p>
Auto Shut Off		<p>Select "On" or "Off". When "On" is selected, the display automatically goes into standby mode or power saving mode if no signal is input from the DVI, the HDMI, the HD15 (RGB/COMPONENT) or the COMPONENT input connectors for about 30 seconds.</p> <p>If no signal is input from the VIDEO connector for about 5 minutes, the display automatically goes into standby mode.</p> <p>Tips</p> <ul style="list-style-type: none"> • This function is available when "Screen Saver" is set to "Off". • If "DPMS" is set to "On", you can select the settings for activating the power saving mode.
DPMS		<p>Select "On" or "Off". When "On" is selected, the display automatically goes into power saving mode if no signal is input from the DVI, the HDMI or the HD15 (RGB) input connectors for about 30 seconds.</p> <p>When "Off" is selected, the display automatically goes into standby mode if no signal is input from the DVI, the HDMI or the HD15 (RGB) input connectors for about 30 seconds.</p> <p>Tips</p> <ul style="list-style-type: none"> • While in the standby mode, press the \odot button on the display or the ON button on the remote control to turn the display on. In the power saving mode, the display is turned on automatically when a signal is input. • This function is available when "Screen Saver" is set to "Off". • This function is available when "Auto Shut Off" is set to "On".
Overscan		Selects whether to display images with overscan or justscan.
	Auto	Automatically determines whether it is a DTV signal, then overscans and displays the image.
	On	Displays image with overscan.
	Off	Displays image with justscan.
		<p>Note</p> <p>During DTV signal input, it may display a screen like when a PC signal is input. Example: 480P → 720 × 480/60</p>

Menu		Function and operation
Advanced Setup	Sync Mode	Set the type of signal input at pin 13 of the HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector (page 45). Notes <ul style="list-style-type: none"> • “Sync Mode” is available only when analog RGB signal is input to HD15 connector. • There are some inputs for which only “H/Comp” can be selected. In this case, input horizontal/vertical synchronization signals through the pin 13 or 14 of the connectors. • This display does not support the three value sync format of 576/60p. • When “Video” is selected in “Sync Mode”, you can only set the 575/50i and 480/60i signals.
	H/Comp	Sets a horizontal synchronous signal input.
	Video	Sets a video signal input.
	RGB/YUV	Sets the type of signal for a piece of video equipment or PC connected to the HD15 (RGB/COMPONENT) connector of the display.
	Auto	Automatically sets whether an analog RGB signal or a component signal is input from a connected device.
	RGB	Set when an analog RGB signal is input from a connected device.
	YUV	Set when a component signal is input from a connected device.
	Color System	Select “Auto” to set the color system automatically. Select “NTSC” or “PAL” to set the color system. Note “Color System” is available when the input signal is from a VIDEO IN connector (Composite video signal).
	RGB Signal	Set whether a 1280 × 720/60, 720 × 480/60 or 1920 × 1080/60 RGB input signal is displayed as a PC signal or a video signal. Select “HD15”, “DVI” or “HDMI” according to the input connector, and then select “PC” or “Video” for each. The following input connectors are valid for each setting “HD15”, “DVI” or “HDMI”. “HD15”: HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector “DVI”: DVI IN connector “HDMI”: HDMI IN connector
	Screen Saver	This is a setting to prevent or reduce screen burn or after-image that can occur by long periods of screen display of the same image.
Off	Disables the “Screen Saver” setting.	
All White	Displays an all-white screen. (Stops automatically after about 30 minutes and the display enters standby mode.)	
Sweep	Scrolls a white bar over the screen.	
Standby	Turns on a screensaver for the time set in “Timer Setting” in standby (page 10). (The display is blank during screensaver operation.) When the set time has passed, the display returns to the regular standby state.	
Menu Position	Changes the menu screen's orientation to match the display's installation orientation.	
Landscape	Show the menu screen horizontally.	
Portrait	Show the menu screen vertically.	

Menu		Function and operation
Advanced Setup	Network Port	Sets which terminal connects to the PC when the display is remote controlled by the PC. Notes <ul style="list-style-type: none"> You cannot use REMOTE (STRAIGHT) and REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) simultaneously. Select “LAN” when performing “IP Address Setup” or “Speed Setup”.
	RS-232C	Select when connecting the display and PC via the REMOTE (STRAIGHT) connector.
	LAN	Select when connecting the display and PC via the REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) connector.
	IP Address Setup	Sets an IP address to enable communication between the REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) connector of the display and a device such as a PC connected with a LAN cable. For details on how to make the settings, see the section of “Preparations for Using the Network Functions” (page 35).
	Speed Setup	Sets a communication speed between the REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) connector of the display and a device such as a PC connected with a LAN cable. For details on how to make the settings, see the section of “Preparations for Using the Network Functions” (page 35).
	Power On Delay	Adjusts the time from when the display is switched on until it actually turns on. Sets to “Off”, and 1 to 120 seconds. This suppresses a sudden load fluctuation to the power equipment when multiple units are connected.
	HDMI Control	If you connect HDMI control compatible equipment to the HDMI input connector of the display, then the equipment can be controlled together. Note You should use the remote control to switch on/off the display and connected equipment.
	HDMI Control	Select “On” or “Off”. If you select “On”, then HDMI equipment control works, and it can be set to “Auto Device Off” and “Auto Display On”. Notes <ul style="list-style-type: none"> If it does not work, also set HDMI settings on the connected equipment. To control it, the connected equipment must be HDMI control compatible, and it must be set to enable HDMI equipment control. Depending on the HDMI equipment, this may not operate together with this device in some cases.
	Auto Device Off	Select “On” or “Off”. If you select “On”, then when the display’s power is switched off, the connected HDMI equipment’s power is also switched off together.
	Auto Display On	Select “On” or “Off”. If you select “On”, then when connected HDMI equipment play or other control is selected, the display’s power also turns on together.
Information		Displays the “Date”, “Model Name”, “Serial Number”, “Operation Time”, “Software Version” and “IP Address” of your display.
All Reset		Select “Cancel” or “OK”. If you select “OK”, then all adjustments and settings reset to defaults. Note Some items of the “Information” option and the “Index Number” will not be reset.

Preparations for Using the Network Functions

Precautions

- The software specifications of this display are subject to change for improvements without notice.
- Screens shown by application software may differ slightly from the illustrations shown in this manual.
- For safety, connect the port of this display only to a network where there is no danger of excessive voltage or voltage surges.
- The steps described in this manual are guaranteed only for use under the following environment conditions.

Operating system:

Microsoft Windows XP/Windows Vista/
Windows 7

Browser:

Microsoft Internet Explorer 7.0 or later

- To ensure security on the network, setting a user name and password is recommended. For information on how to make these settings, see the section “Setup screen” (page 38).

For security settings, refer to your network administrator.

Setting an IP address

The display can be connected to a network with 10BASE-T/100BASE-TX LAN cable.

When connected to a LAN, the IP addresses of the display can be set using one of the following two methods. Consult your network administrator regarding details about IP address selection.

- Assigning a fixed IP address to the display
Normally this method should be used.
- Automatically obtaining an IP address
If the network to which the display is connected has a DHCP server, you can have the DHCP server automatically assign an IP address. Note that in this case the IP address may change every time the display in which the display is installed is turned on. Before setting the IP address, connect the LAN cable to the display to establish the network. After about 30 seconds, turn on the display, and then start making the desired settings.

-
- Microsoft and Windows are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States of America and/or other countries.
 - All other product names, company names, etc. mentioned in this manual are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Assigning a fixed IP address to the display

- 1 Press MENU to bring up the main menu.
- 2 Select "Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 3 Select "Advanced Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 4 Select "Network Port" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 5 Select "LAN" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 6 Select "IP Address Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 7 Select "Manual" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 8 Select an desired item to set from "IP Address", "Subnet Mask", "Default Gateway", "Primary DNS", "Secondary DNS" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 9 Set the three digit value (0 to 255) for each of the four box with $\triangleleft/\triangleright$ on the display or numeric keys on the remote control and press \oplus or \leftrightarrow .
- 10 Set the three digit value (0 to 255) for each of the four boxes and press \oplus . Repeat the same procedure as step 6 and select the next desired item to set with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 11 After values are set for all the desired items, select "Execute" with $\triangleleft/\triangleright$, then press \oplus .

Select "Execute" and press \oplus . An IP address is set manually.

Automatically obtaining an IP address

- 1 Press MENU to bring up the main menu.
- 2 Select "Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 3 Select "Advanced Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 4 Select "IP Address Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 5 Select "DHCP" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
Select "Execute" and press \oplus . An IP address is automatically set.
When "Cancel" is selected, the setting will not be executed.

Note

When an IP address is not set properly, the following error codes will be displayed in accordance with the error cause.

Error 1: Communication error

Error 2: The specified IP address is already used for other equipment

Error 3: IP address error

Error 4: Gateway address error

Error 5: Primary DNS address error

Error 6: Secondary DNS address error

Error 7: Subnet mask error

Checking the automatically assigned IP address

- 1 Press MENU to bring up the main menu.
- 2 Select "Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 3 Select "Information" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .

The IP address currently acquired is displayed.

Tip

When an IP address cannot be acquired properly, the previously acquired IP address is shown in "Information" and in "Manual" of "IP Address Setup".

Setting a communication speed

- 1 Press MENU to bring up the main menu.
- 2 Select "Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 3 Select "Advanced Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 4 Select "Speed Setup" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .
- 5 Select a desired communication speed to set from "Auto", "10Mbps Half", "10Mbps Full", "100Mbps Half", or "100Mbps Full" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus .

When "Auto" is selected, a communication speed appropriate for your network configuration is automatically set.

- 6 Select "Execute" with $\triangleleft/\triangleright$ and press \oplus to reflect the setting.

PC Operation

Controlling the display

You can make various display settings on the screen of the PC.

Make sure that the display, PC, and router or hub are properly connected with the network cable. Then turn on power to the display, the PC, and the router or hub. There are four display screens, divided by function: Information screen, Configure screen, Control screen, and Setup screen.

For details on the functions of buttons, see instructions for each function of the display.

- 1 Start the browser of the PC (Internet Explorer 7.0 or later).
- 2 Enter the IP address that was assigned to the display in the previous page as “http://xxx.xxx.xxx.xxx”, then press the ENTER key on the keyboard.
When a user name and password have been set, the “Network Password” screen appears. Enter the user name and password that were set, and then proceed to the next step.
- 3 Click the function tab at the top of the screen and select the desired screen.

Setting items on respective screens

When using the LAN function of the display

Information screen

This screen shows the model name, serial number and other display information, as well as the power status and the input signal selection.

The screen is for information only. There are no items that can be set.

Configure screen

Timer

Lets you make settings for the timer function. Click “Apply” when done.

Screen Saver

Lets you make settings for the screensaver function. Click “Apply” when done.

Picture and Picture

Lets you make settings for the Picture and Picture function.

Click “Apply” when done.

Note

Before setting the “Timer” function, make sure to configure the time setting on the Setup screen (page 38).

Control screen

POWER

Switches the display on or off.

INPUT

Lets you select the input signal.

PICTURE MODE

Lets you select the picture mode.

ASPECT

Lets you switch the aspect ratio of the image.

Contrast +/- buttons

Adjust the screen contrast.

Brightness +/- buttons

Adjust the picture brightness.

Chroma +/- buttons

Adjust the color intensity.

Phase +/- buttons

Adjust the color balance.

Reset button

Resets the settings from “Contrast” to “Phase” to their factory default values.

Notes

- If the input signal is Video and the color system of the video signal is not NTSC, “Phase” is not available.
- “Chroma” and “Phase” are not available for PC input.
- “Normal” at the ASPECT setting corresponds to “4:3” for video input or “Real” for PC input.

Setup screen

This screen lets you set up the Network Password. The factory default settings are as follows:

Name: root
Password: pudadm

After you have made any changes or entered information, click “Apply” at the bottom of each screen to enable the settings.

Special characters cannot be used in the text fields.

Owner Information

Owner

Enter owner information here.

Display Location

Enter information about the display installation location here.

Note

Do not use spaces when entering the information. Doing so may cause the file name to display incorrectly.

Memo

You can enter auxiliary information here.

Time

Time

Enter the time, day of the week, year, month, and day.

Network

Internet Protocol (TCP/IP)

Select “Specify an IP address” to enter each value in the IP address’s numeric string.

Select “Obtain an IP address (DHCP)” to acquire an IP address automatically from the DHCP server. Note that in this case the IP address may change every time the display in which the display is installed is turned on.

Note

The IP address can be set from the menu of the display. For details, see “IP Address Setup” (page 34).

Password

The administrator and user name and password information can be entered here. The administrator name is fixed to “root”.

Each can be a maximum of 8 characters long.

Once a user name and password are set, the “Network Password” screen appears whenever the display control screen of the display is called up. To ensure security on the network, setting a user name and password is recommended.

Mail Report

Error Report

When a display function error has occurred, an error report is immediately sent by e-mail (error notification).

Status Report

The status of the display can be reported via email according to the selected time interval.

Address

Enter the target e-mail address here. Up to four addresses can be specified, for simultaneous sending of an error report. The maximum length for each address is 64 characters.

Mail Account

Mail Address:

Enter the allocated mail address here.
The maximum length for the address is 64 characters.

Outgoing Mail Server (SMTP):

Enter the mail server address here.
The maximum length for the address is 64 characters.

Send Test Mail:

To test whether mail can be sent successfully to the specified address(es), select this check box and click “Apply”. A test mail will be sent.

Note

If any of the following items is not set or not set correctly, an error message appears, and test mail cannot be sent:

- Target address
- Mail account address and mail server address (SMTP)

Advanced

Gives access to advanced settings to enable use of various applications on the network. Make the settings as required by the respective application.

Advertisement

Lets you make settings for the Advertisement and Broadcast functions on the network.

ID Talk

Lets you make settings for the ID Talk function. ID Talk is a protocol that allows network-based control of the display. Controlled items includes various settings and adjustments such as color temperature and gamma. For information about supported ID Talk commands, contact your local Sony dealer.

SNMP

The display is a network equipment which supports SNMP (Simple Network Management Protocol). Besides standard MIB-II, Sony Enterprise MIB is also supported. This screen allows making settings for SNMP.

For information about supported SNMP commands, contact your local Sony dealer.

Returning to default settings



To reset all settings made on the “Setup” screen to the factory default condition, reset to the default settings by assigning the “All Reset” setting, and then assign the appropriate settings of the network again.

Troubleshooting

Check whether the indicator is flashing red.


When it is flashing



The self-diagnosis function is activated.

- 1 Check how many times the  indicator flashes and how long it stops flashing.
For example, the indicator flashes 2 times, stops flashing for 3 seconds, and flashes 2 times.
- 2 Press  (POWER) switch on the display and the main power switch to switch off the power, then disconnect the power cord.
Inform your dealer or Sony service center of how the indicator flashes (the number of flashes and the duration of light out).

When it is not flashing

- 1 Check the items in the table below.
- 2 If the problem still persists, have your display serviced by qualified personnel.

Problem	Possible Remedies
The power switch and control buttons on the display do not work.	<ul style="list-style-type: none"> • Check the settings of “Control Setting” (page 31).
The power will not come on even if the  (POWER) switch is turned ON, or the ON (power-on) button on the remote control is turned ON.	<ul style="list-style-type: none"> • Check that the main power switch is not turned “OFF” (page 13).
No video signal is output from the HD15 (RGB/COMPONENT) OUT terminal.	<ul style="list-style-type: none"> • There is no HD15 (RGB/COMPONENT) OUT output when this device is in standby status or the AC power supply is switched off.
No signal is output from the HD-SDI OUT terminal of the BKM-FW16.	<ul style="list-style-type: none"> • There is no HD-SDI OUT output when this device is in standby status or the AC power supply is switched off.
No signal is output from the DVI OUT terminal.	<ul style="list-style-type: none"> • There is no DVI OUT output when this device is in standby status or the AC power supply is switched off.
No picture.	<ul style="list-style-type: none"> • Check the connection between the video equipment and the display. • Check the settings of “RGB/YUV” (page 33). • Try switching input using the INPUT button of the display, or the remote control (pages 12, 16).
The display turns off automatically.	<ul style="list-style-type: none"> • Check if “Timer Setting” is activated (page 31). • Check if the “Auto Shut Off” function is set to “On” (page 32). • Check if the room temperature is not more than 40°C.
The display turns on or off automatically.	<ul style="list-style-type: none"> • Check the “HDMI Control” settings (page 34).

Problem	Possible Remedies
<p>Poor picture.</p> <p>No color/Dark picture/The picture is too bright/Color is not correct/The picture gradually becomes dark/Horizontal noise appears on the picture</p> <p>The whole screen is tinged green or purple.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Press PICTURE to select the desired “Picture Mode” (page 16). • Adjust the “Picture Mode Adjust.” options in the “Picture/Sound” settings (pages 25, 26). • Check the condition of the signal cable. • Check if the room temperature is not more than 40°C. • Check the settings in “ECO Mode” (page 31). <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • Check the settings of “RGB/YUV” (page 33).
<p>No sound/Noisy sound.</p> <p>Picture displayed, no sound.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Check the volume control. • Press  on the remote control or  + so that “Muting” disappears from the screen (page 17). • Check the setting of “Speaker Out” (page 31).
<p>Remote control does not operate.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Check the polarity of the batteries or replace the batteries. • Point the remote control at the remote control sensor of the display. • Keep the remote control sensor area clear from obstacles. • Check the settings of “Control Setting” (page 31). • Fluorescent lamps can interfere with remote control operation; try turning off the fluorescent lamps.
<p>Cannot connect to the network.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Plug the cable firmly into the REMOTE connector. • Check the network settings of the PC. • Reset to the default settings by assigning the “All Reset” setting on the “Setup” setting menu, and then assign the appropriate settings of the network again. • Check the settings of “Network Port” (page 34).
<p>The display control screen (the Web screen displaying the display’s GUI) does not appear.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Click the refresh or reload button on your Web browser. • Make sure the IP address is correct. • Use Internet Explorer 7.0 or later. • Clear the browser cache.

Input Signal Reference Chart

PC signals

	Resolution	horizontal frequency (kHz)	vertical frequency (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac ^{b)} 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA ^{c)} STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT ^{d)})	29.8	60
16	848 × 480@85Hz (CVT)	43.0	85
17	1280 × 720@60Hz (CVT)	44.8	60
18	1280 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
19	1280 × 768@75Hz (CVT)	60.3	75
20	1280 × 960@60Hz (CVT)	59.7	60
21	1360 × 768@60Hz (CVT)	47.7	60
22	800 × 600@60Hz (CVT)	37.4	60
23	1024 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
24	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63.7	60
25	1400 × 1050@60Hz (CVT)	65.3	60
26	1600 × 1200@60Hz (CVT)	74.5	60
27	1920 × 1080@60Hz	66.6	60

TV/Video signals

	Resolution	Available Inputs				
		Video	Component	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p		○	○	○	
10	1080/60p		○	○	○	
11	1080/24psf		○			

- a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
- b) Macintosh is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- c) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
- d) VESA Coordinated Video Timing

Notes

- For HDTV signals, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector.
- If colors appear too light after input of a DVD signal to the display, adjust "Chroma" in the "Picture/Sound" settings.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.
- The signals from the Macintosh computer will not be guaranteed for recognizing the digital RGB input.
- Composite synchronous signals correspond to no.2, 4, 5, 7, 12, 13 and 14 in the signal table shown in the left.
- Video signals without color burst signal are not guaranteed.

Actual on-screen display of the input signal and the display's status

On-screen display	Significance
640 × 480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is a PC signal.
480 / 60i (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is video signal.
Not Supported Signal	The selected input signal is non-supported signal.
No Signal	There is no input signal.
Component	The selected input signal is component video.
HD15	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "Auto".
HD15 RGB	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "RGB".
HD15 Component	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "YUV".
DVI	The selected input signal is DVI.
HDMI	The selected input signal is HDMI.
Video	The Composite Video signal is selected.
Option HD SDI	The HD SDI signal of Option input is selected.

Specifications

Video processing

Panel system	a-Si TFT Active Matrix LCD Panel
Display resolution	FWD-S46H2 1,920 dots (horizontal) × 1,080 lines (vertical)
	FWD-S42H2 1,920 dots (horizontal) × 1,080 lines (vertical)
Sampling rate	13.5 MHz to 165 MHz
Color system	NTSC/PAL
Input signal	See page 42.
Pixel pitch	FWD-S46H2 0.53 (horizontal) mm × 0.53 (vertical) mm ($\frac{1}{32}$ in. × $\frac{1}{32}$ in.)
	FWD-S42H2 0.4845 (horizontal) mm × 0.4845 (vertical) mm ($\frac{1}{32}$ in. × $\frac{1}{32}$ in.)
Picture size	FWD-S46H2 1,018.1 (horizontal) mm × 572.7 (vertical) mm (40 $\frac{1}{8}$ in. × 22 $\frac{5}{8}$ in.)
	FWD-S42H2 930.2 (horizontal) mm × 523.3 (vertical) mm (36 $\frac{3}{4}$ in. × 20 $\frac{5}{8}$ in.)
Panel size	FWD-S46H2: 46-inch (diagonal) 1,168.1 mm
	FWD-S42H2: 42 $\frac{1}{8}$ -inch (diagonal) 1,067.3 mm

Inputs and Outputs

REMOTE	Network port (10BASE-T/100BASE-TX) D-sub 9-pin (female) (× 1) (RS-232C)
AUDIO	AUDIO OUT (L/R) RCA connector
VIDEO	VIDEO IN BNC (× 1) VIDEO OUT BNC (× 1) Composite video, 1 Vp-p ± 2 dB sync negative, 75 Ω (automatic termination)
	AUDIO IN Stereo mini jack (× 1) 500 mVrms, high impedance
COMPONENT	COMPONENT (Y P _B /C _B P _R /C _R) IN RCA connector

HD15 (RGB/COMPONENT)

HD15 (RGB/COMPONENT) IN D-sub 15-pin (female) (× 1) (See page 45.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT D-sub 15-pin (female) (× 1) (See page 45.)

AUDIO IN Stereo mini jack (× 1) 500 mVrms, high impedance

DVI

DVI IN (DVI Specification Rev. 1.0 compliant)

DVI OUT (DVI Specification Rev. 1.0 compliant)
--

AUDIO IN Stereo minijack (× 1) 500 mVrms, high impedance
--

HDMI

HDMI IN (HDMI 1080p)

SPEAKER

Speaker output (L/R) 6 Ω 7W + 7W
--

General

Power requirements

100 V to 240 V AC, 50/60 Hz, FWD-S46H2: 1.4 A (Maximum) FWD-S42H2: 1.45 A (Maximum)

Power consumption

FWD-S46H2: 140 W (Maximum) FWD-S42H2: 145 W (Maximum) 0.5 W (maximum in standby mode)

Operating conditions

Temperature: 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F) Humidity: 20% to 90% (no condensation)
--

Storing/transporting conditions

Temperature: -10 °C to +40 °C (14 °F to 104 °F) Humidity: 20% to 90% (no condensation)

Dimensions

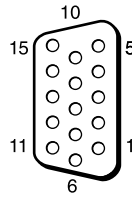
FWD-S46H2 1,053.6 mm × 608.2 mm × 84 mm (41 $\frac{1}{2}$ in. × 24 in. × 3 $\frac{3}{8}$ in.) 1,053.6 mm × 656.3 mm × 292.6 mm (41 $\frac{1}{2}$ in. × 25 $\frac{7}{8}$ in. × 11 $\frac{5}{8}$ in.) (including optional stands) (w/h/d, excluding projections)
FWD-S42H2 967.8 mm × 560.7 mm × 88 mm (38 $\frac{1}{8}$ in. × 22 $\frac{1}{8}$ in. × 3 $\frac{1}{2}$ in.) 967.8 mm × 608.8 mm × 292.6 mm (38 $\frac{1}{8}$ in. × 24 in. × 11 $\frac{5}{8}$ in.) (including optional stands) (w/h/d, excluding projections)

- Mass
- FWD-S46H2
 - Approx. 22.7 kg (50.0 lb.)
 - Approx. 24.5 kg (54.0 lb.)
 - (including optional stands)
 - FWD-S42H2
 - Approx. 20.2 kg (44.5 lb.)
 - Approx. 22.0 kg (48.5 lb.)
 - (including optional stands)
- Supplied accessories
- AC power cord (1)
 - AC plug holder (2)
 - Cable holder (6)
 - Remote Control RM-FW002 (1)
 - Size AA (R6) manganese batteries (2)
 - Operating instructions (1)
- Optional accessories
- Display stand SU-S02
 - Speakers SS-SPG02
 - Optional adaptors for system expansion, BKM-FW series
- Safety regulations
- UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

HD15 RGB/COMPONENT connector (D-sub 15-pin)



Pin No.	Signal
1	Red video or C _R /P _R
2	Green video or Y
3	Blue video or C _B /P _B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync, Composite sync or Composite Video (as sync signal)
14	V sync
15	SCL

GB

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly.

Index

Numerics

4:3 18, 30

A

AC IN socket 13, 22
Active Picture 28
Address 38
Adjust Screen 24, 30
Advanced 39
Advanced Setup 24, 31
Advertisement 39
All Reset 24, 34
Aspect 18, 24, 30
AUDIO IN connector 13, 14, 15
AUDIO OUT connector 13
Auto Adjustment 30
Auto Device Off 34
Auto Display On 34
Auto Screen Adjust 32
Auto Shut Off 32

B

Backlight 25
Balance 27
Bass 27
Brightness 25
Brightness Boost 26

C

Cable holder 23
Chroma 25
CineMotion 25
Clock Display 31
Clock Set 31
Color System 33
Color Temp. 26
Conference 25
Configure screen 37
Contrast 25
Contrast button 17
Control Mode 32
Control screen 37
Control Setting 31
Custom 25, 27

D

DISPLAY button 17
DPMS 32
DVI button 16
DVI connector 15
DVI IN/OUT connector 15
Dynamic 27
Dynamic Picture 26

E

ECO Mode 24, 31
ENTER button 12
Error Report 38

F

Full 18, 30
Full 1 18, 30

Full 2 18, 30

G

Gamma Correct. 26

H

H Shift 30
H Size 30
HD15 (RGB/COMPONENT)
connector 13
HD15 (RGB/COMPONENT) IN/
OUT connector 13
HD15 button 17
HDMI button 16
HDMI connector 14
HDMI Control 34

I

ID MODE buttons 17, 20
ID Talk 39
Index Number 17, 20, 31
Information 24, 34
Information screen 37
INPUT button 12
Input signal 42
IP Address Setup 34

L

Language 24, 31
LED 29

M

Mail Account 38
Mail Report 38
Main power switch 13
MENU button 12, 16, 24
Menu Position 33
Multi Display 24, 29
Muting button 17

N

Network 38
Network Port 34
Noise Reduction 25

O

ON (power-on) button 16
On/Off Timer 31
OPTION 1 button 17
OPTION slot 13
Output Format 29
Overscan 32
Owner Information 38

P

PAP button 17, 19
PAP Setting 19, 24, 28
Password 38
Phase 25, 30
PICTURE button 16
Picture Mode 24, 25
Picture Mode Adjust. 24, 25

Picture Position 28
Picture Size 28
Picture/Sound Settings 24, 25
Pitch 30
Position 29
POWER button 12
Power On Delay 34
Power/Standby Indicator 10

R

Real 18, 30
REMOTE connector 15
Remote control sensor 10
Reset 26, 27, 30
RETURN button 12
RGB Signal 33
RGB/YUV 33
RS-232C 15, 34

S

Screen Saver 33
Screen Settings 24, 28
Setup screen 38
Setup Settings 24, 31
Sharpness 25
SNMP 39
Sound Mode 24, 27
Sound Mode Adjust. 24, 27
Speaker Out 24, 31
SPEAKER socket 13
Speed Setup 34
Standard 25, 27
STANDBY button 17
Status Display 24, 31
Status Report 38
Surround 27
Swap 28
Sync Mode 33

T

TC Control 25
Tiles 29
Timer Setting 24, 31
Treble 27

V

V Shift 30
V Size 30
VIDEO button 16
VIDEO IN connector 14
Vivid 25
Volume button 12, 17

W

Wide Mode 18
Wide Mode button 16, 18
Wide Zoom 18, 30
Window 29

Z

Zoom 18, 30

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écartier tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

Transport

Lorsque que vous transportez l'écran, tenez le par l'appareil lui même et non par les haut parleurs. Dans le cas contraire, ces derniers peuvent se détacher et l'appareil risque de tomber. Ceci pourrait entraîner des blessures.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japon. Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Table des matières

Introduction

Précautions	4
Recommandations pour l'installation	6

Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant	8
Arrière	9
Télécommande	14
Description des touches.....	14
Touches utiles de la télécommande.....	16
Utilisation du Mode cinéma.....	16
Utilisation du réglage PAP	17
Utilisation de la touche ID MODE	18
Adaptateurs en option	19

FR

Raccordements

Raccordement des enceintes.....	20
Raccordement du cordon d'alimentation secteur.....	20
Rangement des câbles	21

Utilisation des réglages

Description générale des menus.....	22
Réglages Image/Son.....	23
Réglages Écran.....	26
Réglages Réglage.....	29

Fonctions réseau

Préparation à l'utilisation des fonctions réseau.....	33
Utilisation d'un ordinateur.....	35

Informations supplémentaires

Dépannage.....	38
Tableau de référence des signaux d'entrée	40
Spécifications	42
Index	44

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc., est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise murale si vous prévoyez de ne pas utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon d'alimentation secteur, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.

Nettoyage

Veillez à débrancher le cordon d'alimentation avant de nettoyer l'écran.

Nettoyage de l'écran

Ne laissez pas d'objets durs frotter ou cogner la surface de l'écran, ni d'objets entrer en contact avec la surface de l'écran car cela risquerait de l'endommager.

La surface de l'écran a bénéficié d'un traitement spécial. Suivez les instructions ci-dessous afin d'éviter tout dysfonctionnement résultant d'une mauvaise manipulation lors du nettoyage de l'écran.

- Nettoyez la surface de l'écran à l'aide d'un chiffon doux afin de le dépeussier. Il est conseillé d'utiliser un chiffon de nettoyage ou un chiffon à lunettes.
- Si l'écran est excessivement sale, nettoyez-le à l'aide d'un chiffon de nettoyage légèrement humidifié avec de l'eau.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence, de dissolvant, de détergent acide ou alcalin, de produits nettoyants abrasifs ou de chiffons traités chimiquement car cela risquerait d'endommager la surface de l'écran.

Nettoyage du châssis

- Éliminez doucement les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec. Éliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre, puis essuyez de nouveau la zone avec un chiffon doux et sec.
- N'utilisez pas d'alcool, d'essence, de dissolvant ou d'insecticide. Cela risquerait d'endommager le fini de la surface ou d'effacer les inscriptions sur l'appareil.
- Le nettoyage de l'écran avec un chiffon sale risque de l'endommager.
- Ne laissez pas l'appareil en contact prolongé avec des produits en caoutchouc ou en plastique car cela risquerait de l'endommager ou de détériorer le revêtement de protection.

Ecran LCD

- L'exposition de l'écran LCD au soleil pendant une période prolongée risque de l'endommager. Veillez à prendre en compte cette contrainte lorsque vous utilisez l'appareil à l'extérieur ou à proximité d'une fenêtre.

- N'exercez pas de pression sur l'écran LCD et ne l'érafflez pas. Ne posez pas d'objets sur l'écran. Cela risquerait de perturber l'affichage ou d'endommager l'écran LCD.
- Des lignes horizontales ou une image rémanente peuvent apparaître sur l'écran. Par temps très froid, l'écran risque également de paraître plus sombre. Il ne s'agit pas d'un problème de fonctionnement. L'écran redevient normal lorsque la température augmente.
- Si une image fixe reste longtemps affichée, des brûlures d'écran ou une image résiduelle peuvent apparaître. L'image résiduelle disparaît à long terme. Si une image fantôme apparaît, utilisez la fonction d'économiseur d'écran ou un logiciel vidéo ou de traitement des images pour obtenir un mouvement permanent sur l'écran. Si une image fantôme légère (image imprimée) se produit, elle peut s'atténuer mais ce phénomène ne disparaît jamais complètement.
- La surface du panneau, le coffret et le châssis peuvent chauffer durant l'emploi. C'est normal.

Points lumineux et points sombres sur l'écran LCD

Bien que l'écran LCD soit le produit d'une haute technologie et se caractérise par une résolution d'au moins 99,99%, il se peut que des points noirs (pixels défectueux) ou lumineux (rouges, bleus, verts, etc.) soient éclairés ou clignent continuellement. Ces phénomènes communs sur les écrans LCD sont générés par des défauts de pixels. Ils peuvent survenir après une utilisation prolongée de l'appareil. Ils ne s'agit en aucun cas d'une défectuosité.

Installation

- Assurez-vous toujours que cet appareil fonctionne correctement avant de l'utiliser. SONY DÉCLINE TOUTE RESPONSABILITÉ QUANT AUX DOMMAGES, QUELS QU'ILS SOIENT, Y COMPRIS MAIS SANS S'Y LIMITER, LA COMPENSATION OU LE REMBOURSEMENT DE PERTES DE BÉNÉFICES PRÉSENTS OU FUTURS DUS À UNE DÉFAILLANCE DE CET APPAREIL, QUE CE SOIT DANS LA PÉRIODE DE GARANTIE OU APRÈS L'EXPIRATION DE LA GARANTIE, OU POUR D'AUTRES RAISONS QUELLES QU'ELLES SOIENT.
- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de matériaux (rideaux, draperies) susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur, comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé aux rayons directs du soleil, à de la poussière excessive, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec l'appareil, des problèmes peuvent survenir selon leur position les uns par rapport aux autres, tels qu'un mauvais fonctionnement de la télécommande, l'apparition de parasites à l'écran ou sonores.

Remballage

Conservez le carton ainsi que les matériaux d'emballage.

Vous pourriez en avoir de nouveau besoin pour transporter l'appareil ultérieurement. Lors du transport de l'appareil, remballiez-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Illustrations

Les illustrations d'écran dans le mode d'emploi représentent le FWD-S46H2.

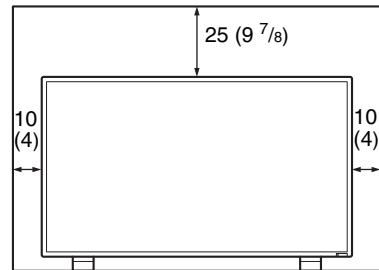
Recommandations pour l'installation

Laissez un espace suffisant autour de l'écran.

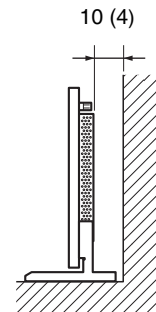
- Veillez à assurer une ventilation adaptée en laissant un espace suffisant autour de l'écran comme illustré ci-dessous afin d'éviter toute surchauffe interne.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et 40 °C (32 °F à 104 °F). Faites attention lorsque vous installez l'écran à proximité d'un plafond. La température peut largement y dépasser la température ambiante normale mesurée à un niveau inférieur.
- Si vous voulez utiliser un support, utilisez le support de table préconisé SU-S02 (non fourni). Pour la fixation de celui-ci, reportez-vous à sa notice d'installation.
- Consultez un personnel qualifié Sony pour l'installation du système de fixation au mur.
- Nous ne pouvons pas spécifier les produits utilisés en ce qui concerne l'installation du matériel tels que les supports de fixation, les vis ou les boulons. L'installation proprement dite est réservée aux revendeurs locaux agréés. Consultez un technicien Sony qualifié pour l'installation.
- Lorsque l'écran est sous tension, il chauffe à l'intérieur. Ceci peut provoquer des brûlures. Evitez de toucher le dessus ou l'arrière de l'écran lorsqu'il est sous tension ou juste après qu'il soit passé en mode de veille.

Utilisation du support de table

Avant



Côté



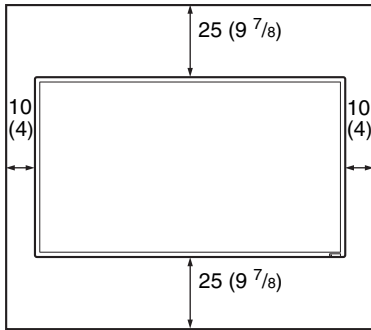
Unités : cm (pouces)

Remarque

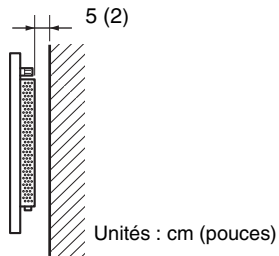
Le déplacement ou l'installation de l'écran lorsqu'il est fixé sur le support de table (non fourni) nécessite au moins 2 personnes.

Montage horizontal de l'écran

Avant



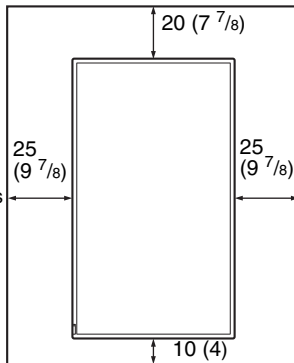
Côté




FR

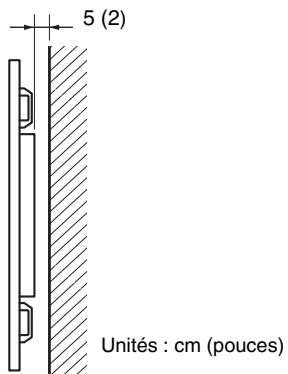
Montage vertical de l'écran

Avant

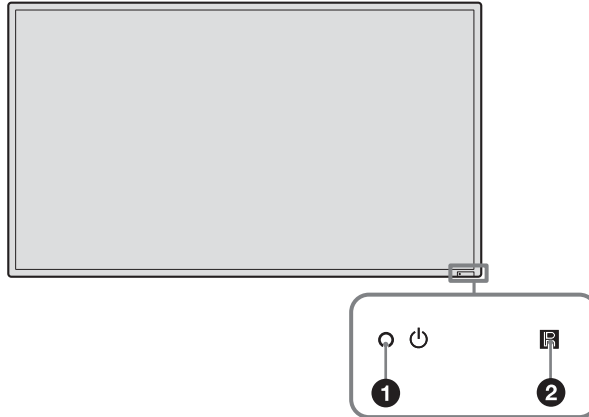





Assurez-vous que l'interrupteur  (POWER) se trouve en bas à gauche.

Côté

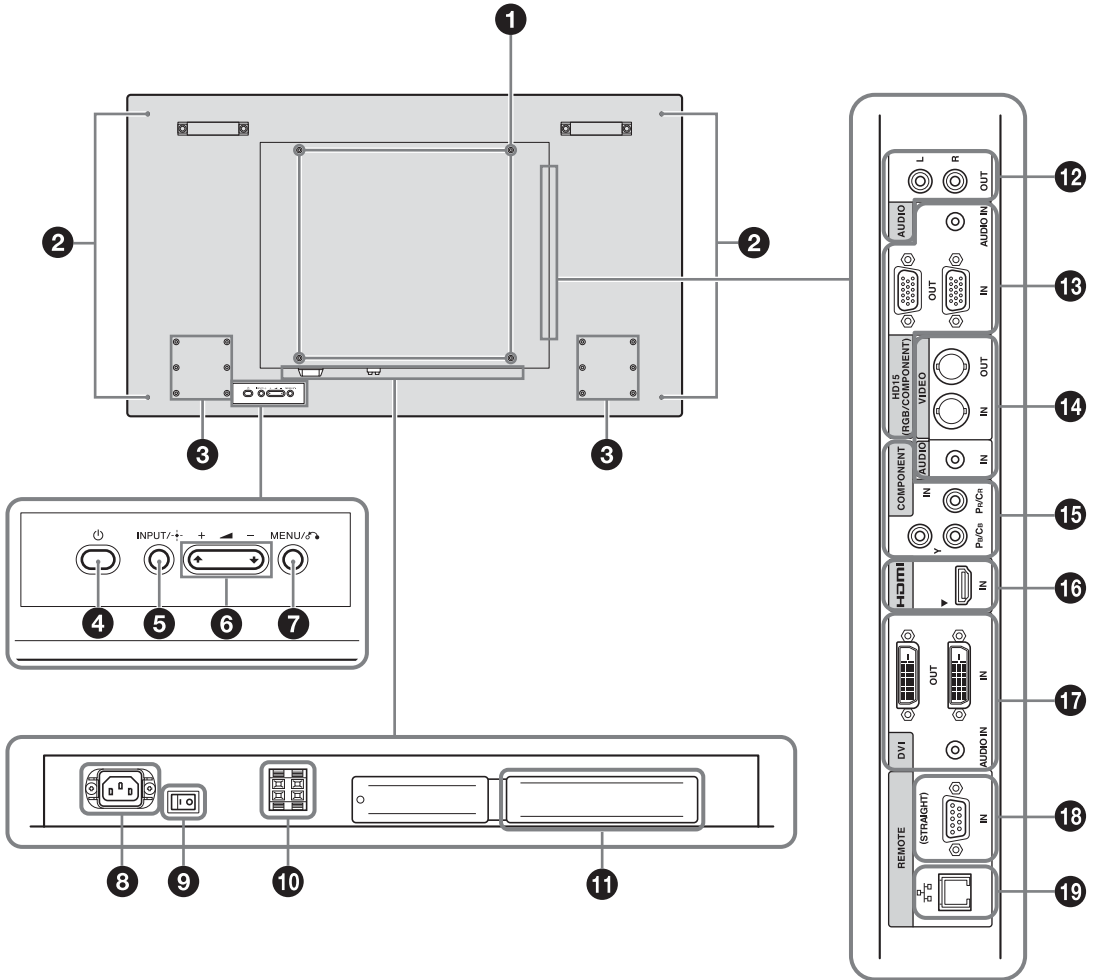


Avant








Pièces	Description
1  Témoin (Alimentation/ Veille)	<ul style="list-style-type: none">• S'allume en vert lors de la mise sous tension de l'écran.• S'allume en rouge lorsque l'écran est en mode de veille. S'allume en orange lorsque l'écran passe en mode d'économie d'énergie alors qu'il reçoit un signal provenant d'un ordinateur. Si le témoin  clignote en rouge, voir page 38.
2  Capteur de télécommande	<p>Remarque</p> Lorsque l'option « LED » des réglages « Affichage multiple » est réglée sur « Non » et l'option « Position » n'est pas réglée sur la position inférieure droite, le témoin ne s'allume pas en vert même si l'écran est allumé, sauf si aucun signal ou un signal non pris en charge est reçu.
	Reçoit les rayons infrarouges de la télécommande.

Arrière



FR

Pièces	Description
❶ Trous d'installation de la plaque de montage	<p>Trous pour vis conformes à la norme VESA. (Espace : 400 mm × 400 mm)</p> <p>Remarque</p> <p>Utilisez des vis de filetage et de longueur appropriés et serrez-les au couple approprié. Diamètre de la vis : M6 Longueur du filetage : 10 mm Torque : 20 kgf·cm</p>
❷ Trous d'installation des enceintes	Pour fixer les enceintes SS-SPG02 (non fournies).
❸ Trous d'installation du support de table	Pour fixer le support de table SU-S02 (non fourni).
❹ Touche  (POWER)	<p>Permet de mettre l'écran sous tension ou hors tension (veille). Utilisez-le lorsque l'interrupteur d'alimentation principal est sur « ON » (côté).</p>
❺ Touche INPUT/ + (ENTER)	<p>Appuyez sur cette touche pour sélectionner un signal à transmettre à partir du connecteur INPUT ou OPTION. Le signal est commuté comme suit chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT.</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">→ Video → Component → HD15 → DVI → HDMI → OPTION ←</p> <p>Si un adaptateur en option, qui prend en charge le signal vidéo, n'est pas inséré dans l'emplacement OPTION, OPTION n'est pas disponible. Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.</p>
❻ Touche +/-/⏮/⏭ (volume/sélection d'un élément du menu)	<p>Appuyez sur cette touche pour commander le volume des enceintes. Lorsque le menu est affiché, appuyez sur cette touche pour sélectionner un élément du menu ou définir une valeur. Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.</p>
❼ Touche MENU/  (RETURN)	<p>Appuyez sur cette touche pour afficher les menus. Permet de revenir à l'écran de menu précédent.</p>

Pièces	Description
8 Prise AC IN	Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale (page 20). Une fois le cordon d'alimentation raccordé et l'interrupteur d'alimentation activé, le témoin  s'allume en rouge et l'écran se met en veille.
9 Interrupteur  / (alimentation principale)	Mettez l'interrupteur d'alimentation principale sur « ON » (côté pressé) pour faire les réglages d'écran. Lorsque l'interrupteur d'alimentation principale est sur « OFF » (côté  pressé), la consommation est de 0 W.
10 Prise SPEAKER	Raccordez les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à cette prise. Pour plus de détails sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, voir page 21.
11 Emplacement OPTION (port VIDEO/COM)	Insérez un adaptateur en option (de la série BKM-FW) dans cet emplacement pour accroître les fonctions de votre appareil (page 19).
12 AUDIO OUT (G/D) (Connecteur RCA)	C'est la prise de sortie audio de l'écran à raccorder à des périphériques externes. Émet le son du signal indiqué à l'écran. Émet le signal audio de l'image active* lors de l'affichage d'une image dans l'image (PinP).
Remarques	
<ul style="list-style-type: none"> • Les réglages définis dans « Mode du son » ou « Sortie haut-p. » ne sont pas pris en compte. • La réduction de bruit activée par la télécommande n'est pas prise en compte. 	
13 Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub à 15 broches)	<p>Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN : Se raccorde à la sortie du signal analogique RVB ou du signal à composantes d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur (page 43).</p> <p>Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) OUT : Se raccorde à l'entrée du signal analogique RVB ou du signal à composantes d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur (page 43). Les signaux provenant du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN sont transmis.</p> <p>AUDIO IN : Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.</p>
Remarques	
<ul style="list-style-type: none"> • Si l'écran n'est pas raccordé à l'alimentation secteur ou s'il est en veille, aucun signal ne sera transmis par HD15 (RGB/COMPONENT) OUT. • Quand un signal à composantes est transmis, faire attention de ne pas transmettre des signaux synchronisés aux broches 13 et 14. Sinon, l'image peut ne pas s'afficher correctement. 	

*Vous pouvez permuter le signal d'entrée et l'état qui correspond à la reproduction du son.

Pièces	Description
14 VIDEO	<p>VIDEO IN (BNC) : se raccorde à la sortie vidéo d'un module d'équipement vidéo.</p> <p>VIDEO OUT (BNC) : se raccorde à l'entrée vidéo d'un module d'équipement vidéo. Les images provenant de VIDEO IN sont reproduites. La sortie est indépendante de la mise sous ou hors tension (veille comprise).</p> <p>AUDIO IN (mini-prise stéréo) : se raccorde à la sortie audio d'un module d'équipement vidéo.</p>
15 Connecteur COMPONENT (Connecteur RCA)	<p>COMPONENT (Y P_B/C_B P_R/C_R) IN : Se raccorde à la sortie du signal à composantes d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur. .</p> <p>AUDIO IN : Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur. Utilisez le même connecteur que sous 14 VIDEO.</p>
16 HDMI	<p>HDMI IN : HDMI (High-Definition Multimedia Interface) fournit une interface entre l'écran et un ordinateur ou tout équipement audio/vidéo compatible HDMI. Vous pouvez bénéficier de vidéos à définition améliorée ou haute définition et d'un son numérique deux canaux.</p> <p>Le mode approprié pour un module d'équipement audio/vidéo ou pour un ordinateur est automatiquement sélectionné selon l'appareil raccordé.</p>
	<p>Remarque</p> <p>Veillez à utiliser uniquement un câble HDMI (non fourni) portant le logo HDMI. Il est conseillé d'utiliser un câble HDMI Sony (type rapide).</p>

HDMI, High-Definition Multimedia Interface et le HDMI Logo sont des marques commerciales ou des marques déposées de HDMI Licensing LLC aux États-Unis et dans d'autres pays.

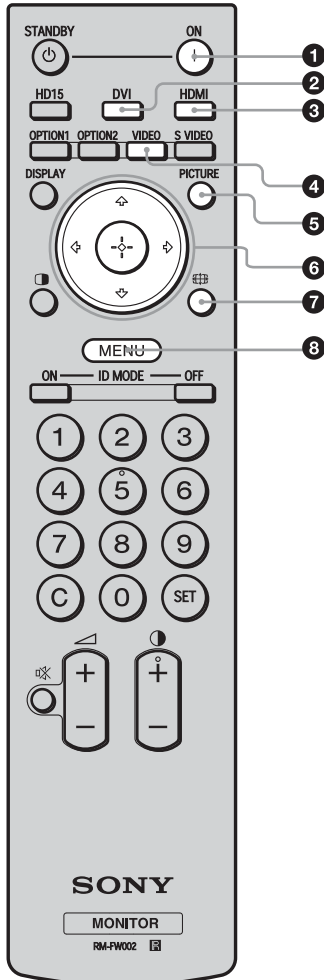
Pièces	Description
17 Touche DVI (DVI-D à 24 broches)	<p>DVI IN : Se raccorde à la prise de sortie du signal numérique de l'appareil vidéo ou de l'ordinateur. Prend en charge la protection contre la copie HDCP.</p> <p>DVI OUT : Se raccorde à l'entrée numérique DVI d'un appareil vidéo ou d'un ordinateur. Les signaux reçus par le connecteur DVI IN ci-dessus sont restitués.</p> <p>AUDIO IN : Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo, etc.</p> <p>Remarque</p> <p>Lorsque l'écran est en veille ou éteint, aucun signal ne sort de DVI OUT.</p>
18 REMOTE (STRAIGHT) (D-sub à 9 broches)	<p>Ce connecteur permet de commander l'écran à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur agréé Sony.</p> <p>Remarque</p> <p>Lorsque vous utilisez ce connecteur, sélectionnez « RS-232C » dans « Port réseau ». (page 32)</p>
19 REMOTE (10BASE-T) (10BASE-T/100BASE-TX)	<p>Permet de raccorder l'écran à un réseau à l'aide d'un câble LAN 10BASE-T/100BASE-TX.</p> <p>Vous pouvez affecter différents réglages et contrôler l'écran via le réseau à partir d'un ordinateur.</p> <p>Précaution</p> <p>Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port. Suivez les instructions pour ce port.</p> <p>Remarque</p> <p>Lorsque vous utilisez ce connecteur, sélectionnez « LAN » dans « Port réseau ». (page 32)</p>

Télécommande

Remarque

Vous ne pouvez pas utiliser la touche S VIDEO et la touche OPTION2 de cet écran

Description des touches



1 Touche ON (alimentation)

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran sous tension. Vous pouvez l'utiliser lorsque l'interrupteur d'alimentation principale à l'arrière de l'écran est sur « ON ».

2 Touche DVI

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal transmis au port DVI.

3 Touche HDMI

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal transmis au connecteur HDMI IN par un appareil vidéo.

4 Touche VIDEO

Appuyez sur cette touche pour basculer entre les signaux d'entrée VIDEO IN et COMPONENT IN.

5 Touche PICTURE

Permet de sélectionner le « Mode de l'image ». Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre « Éclatant », « Standard », « Personnalisé », « Conférence » et « TC Control ».

6 Touches $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow/\oplus$

Appuyez sur les touches $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ pour déplacer la sélection sur le menu et définir les valeurs.

Une pression sur \oplus valide la sélection ou les réglages.

Pendant l'affichage d'une image dans l'image (PinP), vous pouvez changer les réglages de l'image incrustée (page 17).

7 Touche $\text{[[[[[$

Appuyez sur cette touche pour changer de format d'écran (page 16).

8 Touche MENU

Appuyez sur cette touche pour afficher le menu à l'écran. Appuyez de nouveau pour le masquer (page 22).

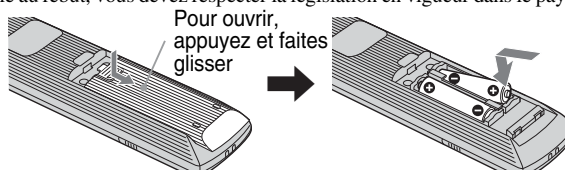
Remarques

- Les touches 5 et 1 sont dotées d'un point tactile. Utilisez le point tactile comme repère lors de l'utilisation de l'écran.
- Introduisez deux piles AA (R6) (fournies) en faisant correspondre la polarité \oplus et \ominus des piles avec celle du logement des piles.

Caution

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.

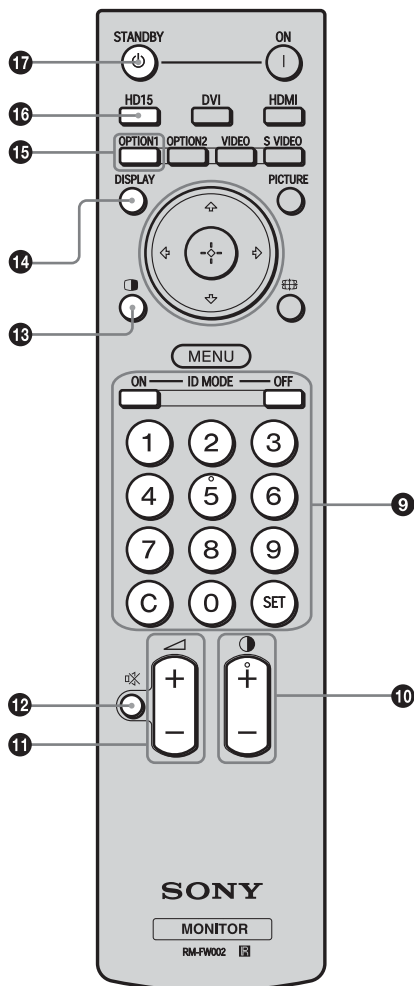
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.



Mise en place des piles

Deux piles de format AA (R6) sont fournies pour la télécommande RM-FW002.

Pour éviter tout risque d'explosion, utilisez des piles de format AA (R6) au manganèse ou des piles alcalines.



9 Touches ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Vous pouvez utiliser un écran précis en indiquant le « Numéro d'index » de cet écran sans agir sur d'autres écrans installés parallèlement.

- Touche ON : appuyez sur cette touche pour afficher le « Numéro d'index » à l'écran.
- Touches 0 à 9 : appuyez sur ces touches pour saisir le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez utiliser.
- Touche SET : appuyez sur cette touche pour valider le « Numéro d'index » saisi.
- Touche C : appuyez sur cette touche pour effacer le « Numéro d'index » saisi.
- Touche OFF : appuyez sur cette touche pour revenir en mode normal (page 18).

10 Touche +/-

Permet de régler le niveau de l'image (contraste).

11 Touche +/-

Appuyez sur cette touche pour régler le volume.

12 Touche

Appuyez sur cette touche pour couper le son. Appuyez de nouveau pour rétablir le son.

13 Touche

Appuyez sur cette touche pour basculer entre une seule image et une image dans l'image (PinP). Appuyez de nouveau pour revenir à une seule image (page 17).

14 Touche DISPLAY

Appuyez sur cette touche pour afficher l'entrée actuellement sélectionnée ainsi que le type du signal d'entrée et le réglage « Format » à l'écran. Appuyez de nouveau pour les masquer. Après être restées affichées pendant quelques instants, les informations disparaissent automatiquement.

15 Touche OPTION1

Si un adaptateur en option est installé, cette touche permet de sélectionner le signal d'entrée d'un appareil raccordé à l'adaptateur en option.

Si l'adaptateur en option que vous avez installé possède plusieurs connecteurs d'entrée, à chaque pression sur la touche le signal d'entrée change.

16 Touche HD15

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal d'entrée du connecteur Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT). Le signal RVB ou le signal à composantes est sélectionné automatiquement ou manuellement selon les réglages du menu.

17 Touche STANDBY

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

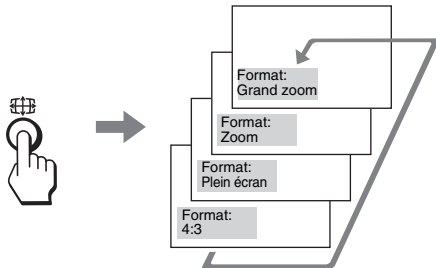
Touches utiles de la télécommande

Utilisation du Mode cinéma

Vous pouvez changer le format de l'écran.

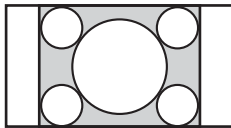
Conseil

Vous pouvez également accéder aux réglages « Format » dans les réglages « Écran » (page 28).

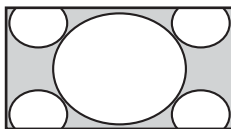


Pour un signal provenant d'un appareil vidéo tel qu'un magnéscope, un lecteur DVD, etc. (autre qu'un signal d'ordinateur)

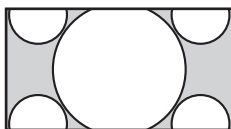
Source d'origine 4:3



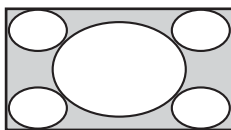
Grand zoom



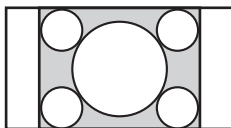
Zoom



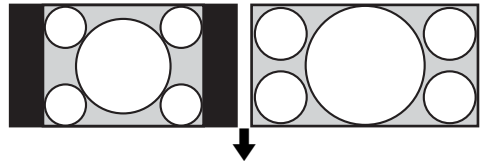
Plein écran



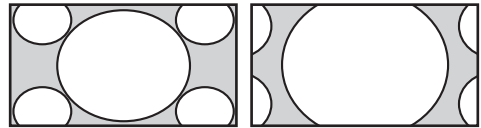
4:3



Source d'origine 16:9



Grand zoom



Zoom



Plein écran



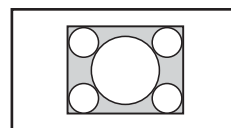
4:3



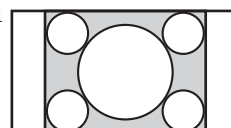
Pour un signal d'ordinateur

Les illustrations ci-dessous indiquent la résolution pour un signal 800x600

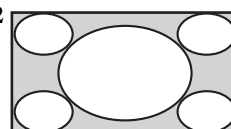
Réel



Plein écran 1



Plein écran 2



Remarque

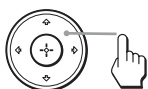
Si la résolution du signal est supérieure à la résolution de l'écran (1 920 x 1 080), l'affichage sera identique avec « Réel » et « Plein écran 1 ».

Utilisation du réglage PAP

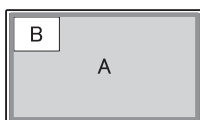
L'image incrustée apparaît dans l'image principale. Vous pouvez changer la position et la taille de l'image incrustée. Vous pouvez également accéder à l'option « Réglage PAP » dans les réglages « Écran » (page 26). Utilisez un autre connecteur d'entrée vidéo que VIDEO IN pour l'affichage de l'image dans l'image (PinP).

Remarque

Un signal vidéo composite transmis par le connecteur VIDEO IN ne prend pas en charge la fonction PinP.

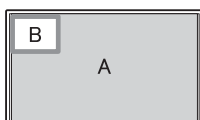


Curseur signalant l'image active



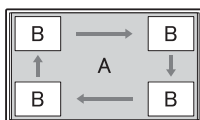
L'image (B) est incrustée dans l'image principale (A).

↓ Appuyez sur la touche ⇄/⇄.



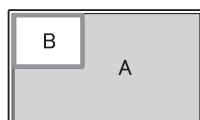
L'image incrustée (B) devient l'image active.

↓ Appuyez sur la touche ⊕.



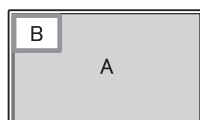
La position de l'image incrustée (B) change.

Appuyez sur la touche ⇄.



La taille de l'image incrustée (B) augmente.

↓ Appuyez sur la touche ⊖.



La taille de l'image incrustée (B) diminue.

Conseils

- Le curseur désignant l'image active disparaît après 5 secondes.
- Vous avez le choix entre 2 tailles d'image incrustée.

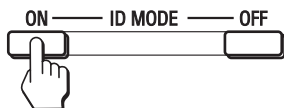
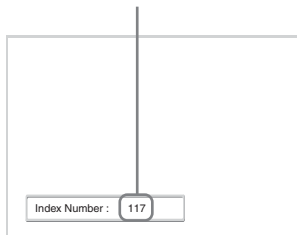
Utilisation de la touche ID MODE

Vous pouvez utiliser un écran précis en indiquant le « Numéro d'index » de cet écran sans agir sur d'autres écrans installés parallèlement.

1 Appuyez sur la touche **ON** .

Le « Numéro d'index » de l'écran s'affiche en caractères noirs dans le menu inférieur gauche de l'écran. (Chaque écran possède un « Numéro d'index » individuel fixe compris entre 1 et 255.)

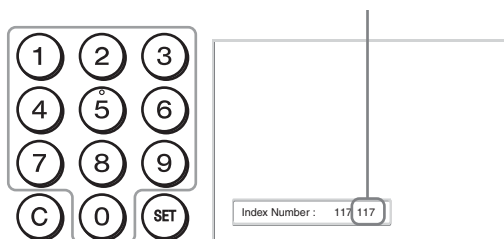
Numéro d'index



2 Saisissez le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez faire fonctionner à l'aide des touches 0 à 9 de la télécommande.

Le numéro saisi apparaît à droite du « Numéro d'index » de chaque écran.

Numéro saisi



3 Appuyez sur la touche **SET** .

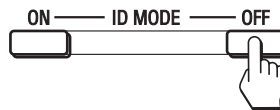
Les caractères sur l'écran sélectionné deviennent verts, tandis que les autres deviennent rouges.



Vous pouvez faire fonctionner l'écran particulier repéré par les caractères verts uniquement. Seuls la touche ON (alimentation) et la touche STANDBY/ID MODE-OFF fonctionnent également avec d'autres écrans.

4 Lorsque toutes les modifications de réglages sont terminées, appuyez sur la touche **OFF**.

L'affichage revient à l'écran normal.



Correction du Numéro d'index

Appuyez sur la touche **C** pour effacer le « Numéro d'index » saisi. Retournez à l'étape 2, puis saisissez un nouveau « Numéro d'index ».



Conseil

Pour modifier le « Numéro d'index » de l'écran, reportez-vous à « Numéro d'index » dans « Réglage commande », page 29.

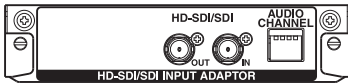
Adaptateurs en option

La prise de l'emplacement OPTION ⑪ (page 11) située au bas de l'arrière de l'écran est de type enfichable. Elle peut être raccordée à l'adaptateur en option suivant (non fourni).

Pour plus de détails sur l'installation, consultez votre revendeur Sony.

Pour plus de détails sur les adaptateurs en option permettant d'accroître les possibilités du système, reportez-vous aux autres modes d'emploi fournis avec ce manuel.

Adaptateur INPUT HD-SDI/SDI BKM-FW16



Se raccorde à la sortie du signal HD-SDI d'un module d'équipement vidéo.

Avant de commencer

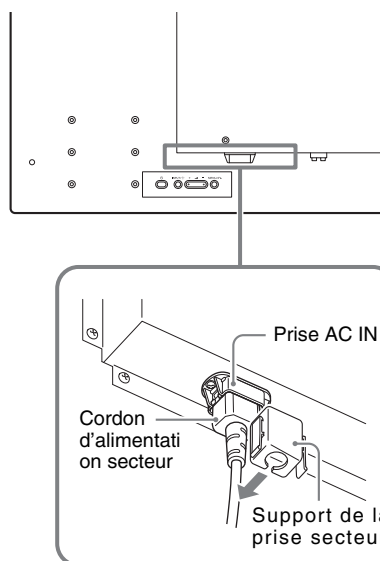
- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles adaptés aux appareils à raccorder.
- Insérez les câbles à fond dans les connecteurs ou les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Consultez également le mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien la fiche dans la prise AC IN.
- Utilisez l'un des deux supports de la fiche secteur (fournis) pour maintenir la fiche secteur en place.

Raccordement des enceintes

Raccordez les enceintes SS-SPG02 (non fournies). Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus de détails sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, voir page 21.

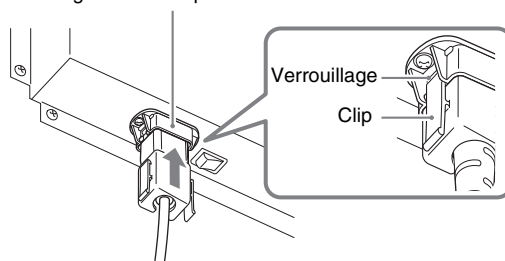
Raccordement du cordon d'alimentation secteur

- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur la prise AC IN. Fixez ensuite le support de la prise secteur (fourni) au cordon d'alimentation secteur.



- 2 Faites glisser le support de la prise secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise AC IN.

Logement de la prise AC IN



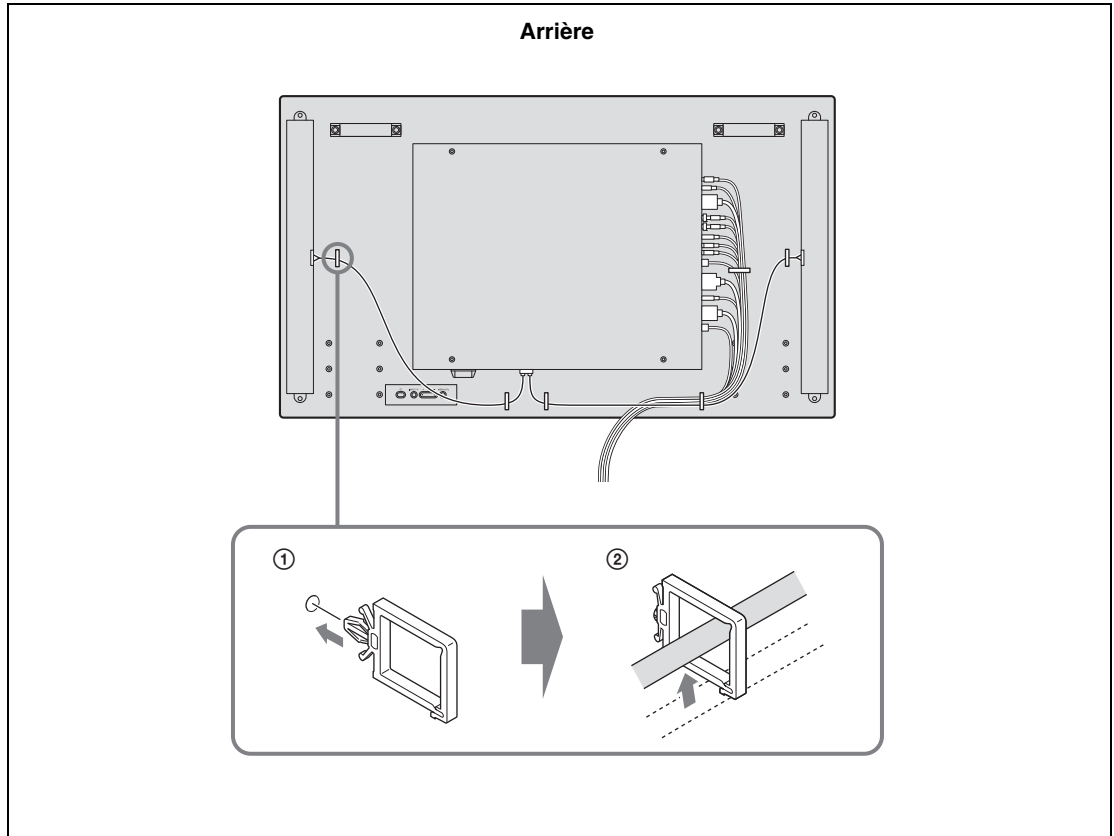
Retrait du cordon d'alimentation secteur

Libérez les clips sur le support de fiche secteur du verrouillage sur le logement de prise AC IN, puis saisissez la fiche et tirez sur le cordon d'alimentation.

Rangement des câbles

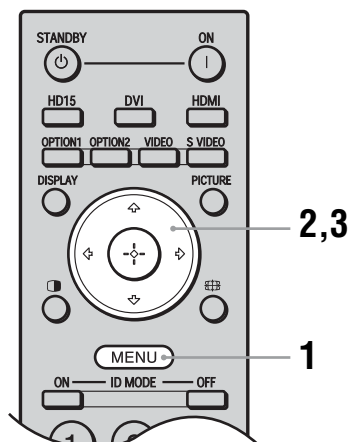
Utilisation des porte-câbles

Vous pouvez regrouper les câbles en un faisceau net avec les porte-câbles (x6) fournis. Fixez les porte-câbles comme indiqué dans l'illustration ci-dessous.



FR

Description générale des menus



- 1 Appuyez sur la touche MENU.
- 2 Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour sélectionner l'icône du menu de votre choix.
- 3 Appuyez sur \oplus ou \rightarrow .
Pour quitter le menu, appuyez sur la touche MENU.

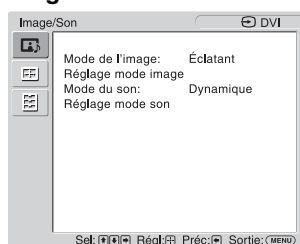
Pour modifier la langue d'affichage à l'écran

Sélectionnez la langue souhaitée pour l'affichage des messages et des réglages parmi les langues suivantes : « English », « Deutsch », « Français », « Español », « Italiano » ou « 日本語 ».
« English » (anglais) est la langue par défaut (page 29).

Les réglages permettent d'accéder aux fonctions suivantes :

Réglages

Image/Son



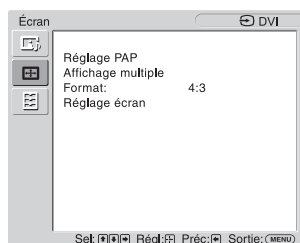
Réglages/modifications disponibles

- Mode de l'image: (page 23)
- Réglage mode image (pages 23, 24)
- Mode du son: (page 25)
- Réglage mode son (page 25)

Remarque

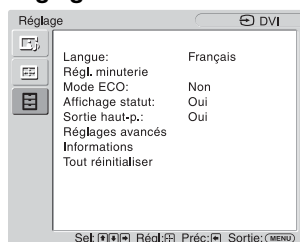
Vous ne pouvez pas régler ni changer « Mode de l'image » ou « Réglage mode image » si aucun signal n'est reçu.

Écran



- Réglage PAP (page 26)
- Affichage multiple (page 27)
- Format: (page 28)
- Réglage écran (page 28)

Réglage



- Langue: (page 29)
- Régl. minuterie (page 29)
- Mode ECO: (page 29)
- Affichage statut: (page 29)
- Sortie haut-p.: (page 29)
- Réglages avancés (pages 29, 30, 31, 32)
- Informations (page 32)
- Tout réinitialiser (page 32)

* Il est possible que les icônes de menu affichées en bas de l'écran ne fonctionnent pas selon les réglages.

Réglages Image/Son

Pour la méthode de réglage, voir « Description générale des menus » (page 22).

*: Non sélectionné dans le cas d'un signal d'ordinateur.

Menu	Fonction et opération
Mode de l'image	<p>Vous pouvez choisir une qualité d'image en fonction du type d'image et de la luminosité ambiante.</p> <p>Conseil Pour passer de l'option « Mode de l'image » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche PICTURE (page 14) sur la télécommande.</p>
Éclatant	Accentue la netteté de l'image et maximise le contraste.
Standard	Réglage plat.
Personnalisé	Règle plus précisément la qualité.
Conférence	<p>Règle la qualité de l'image pour les vidéoconférences sous un éclairage fluorescent.</p> <p>Remarque « Conférence » risque de ne pas être opérant selon l'environnement ou le système de vidéoconférence utilisé. Dans ce cas, réglez l'image avec « Réglage mode image » (page 23), ou basculez sur un autre « Mode de l'image » que « Conférence ».</p>
TC Control	<p>Sélectionné lors du réglage de « True Color Control » (page 25). Si vous ne réglez pas « True Color Control », l'image affichée pour « TC Control » sera la même que pour « Éclatant ».</p> <p>Remarque Lorsque vous sélectionnez « TC Control », « Plus lumineux » (page 24) a pour réglage « Non ».</p>
Réglage mode image	<p>Vous pouvez régler la qualité de l'image pour chaque « Mode de l'image » de façon plus détaillée.</p> <p>Vous ne pourrez pas régler certains éléments de « Réglage mode image » selon le « Mode de l'image » sélectionné.</p> <p>Remarque Dans le cas d'un signal d'ordinateur, « Chrominance », « Phase », « Netteté », « Réduction du bruit » ou « CineMotion » ne peuvent pas être ajustés.</p>
Rétro-éclairage	Ajuste la luminosité de l'écran LCD.
Contraste	Ajuste le contraste en l'augmentant ou le réduisant.
Luminosité	Ajuste la luminosité de l'image.
Chrominance *	Ajuste l'intensité des couleurs.
Phase *	<p>Ajuste les tons des couleurs de l'image.</p> <p>Remarque « Phase » est disponible si le standard couleur du signal vidéo est NTSC.</p>
Netteté *	Ajuste l'image en la rendant plus dure ou plus douce.
Réduction du bruit *	Réduit le bruit de l'appareil raccordé. Un réglage puissant agit en présence d'un bruit intense.
	Non/Bas/Moyen/Haut

FR

Menu		Fonction et opération							
Réglage mode image	CineMotion *	<p>Sélectionnez « Automatique » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Automatique », l'affichage sur l'écran est automatiquement optimisé, après détection du contenu de l'image, par ajustement inverse 3-2 ou 2-2. L'image apparaît alors plus nette et naturelle.</p> <p>Remarques</p> <ul style="list-style-type: none"> Le réglage de « CineMotion » est invalide pour l'affichage d'une image dans l'image (PinP). « CineMotion » peut ne pas être traité correctement selon le type de signal d'entrée. 							
	Image Dynamique	<p>Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Sélectionnez « Oui » pour améliorer le contraste en rendant le blanc plus lumineux et le noir plus sombre.</p> <p>Remarques</p> <ul style="list-style-type: none"> Vous pouvez spécifier « Image Dynamique » seulement quand un signal vidéo composite est fourni par VIDEO IN. Vous ne pouvez pas régler « Image Dynamique » lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « Conférence » ou « TC Control ». 							
	Correct. gamma	<p>Équilibre les parties claires et foncées de l'image. Un réglage élevé corrige plus fortement le gamma.</p> <p>Remarques</p> <ul style="list-style-type: none"> Vous ne pouvez pas régler « Correct. gamma » lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « Conférence ». « DICOM GSDF Sim. » est le réglage de gamma selon la GSDF (Grayscale Standard Display Function) des normes DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine). Ce réglage ne sert qu'à titre de référence et ne peut pas être utilisé pour le diagnostic médical. 							
	Haut/Moyen/Bas/ DICOM GSDF Sim.								
	Temp. couleur	<p>Le ton du blanc peut être ajusté selon ses préférences. Des réglages par défaut ont été définis en usine.</p> <p>Conseil</p> <p>Les réglages par défaut peuvent être rétablis en sélectionnant « Réinitialiser » sur l'écran de réglage des tons.</p>							
	<table border="1"> <tr> <td>Froide</td> <td>Donne aux couleurs blanches une teinte bleue.</td> </tr> <tr> <td>Neutre</td> <td>Donne aux couleurs blanches une teinte neutre.</td> </tr> <tr> <td>Chaude</td> <td>Donne aux couleurs blanches une teinte rouge.</td> </tr> <tr> <td>Personnalisé</td> <td>Permet d'obtenir une gamme des blancs plus large que celles mentionnées ci-dessus.</td> </tr> </table>	Froide	Donne aux couleurs blanches une teinte bleue.	Neutre	Donne aux couleurs blanches une teinte neutre.	Chaude	Donne aux couleurs blanches une teinte rouge.	Personnalisé	Permet d'obtenir une gamme des blancs plus large que celles mentionnées ci-dessus.
Froide	Donne aux couleurs blanches une teinte bleue.								
Neutre	Donne aux couleurs blanches une teinte neutre.								
Chaude	Donne aux couleurs blanches une teinte rouge.								
Personnalisé	Permet d'obtenir une gamme des blancs plus large que celles mentionnées ci-dessus.								
	Plus lumineux	<p>Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », la qualité de l'image sera ajustée pour accentuer la luminosité.</p> <p>Remarques</p> <ul style="list-style-type: none"> Vous pouvez régler « Plus lumineux » lorsque « Mode de l'image » a pour réglage « Éclatant ». Lorsque « Plus lumineux » a pour réglage « Oui », vous ne pouvez pas régler « Rétro-éclairage », « Contraste », « Luminosité » ou « Temp. couleur ». La luminosité est optimale, lorsque « Plus lumineux » a pour réglage « Oui » avec « Rétro-éclairage » réglé sur « Max » et « Mode ECO » sur « Non ». 							

Menu	Fonction et opération
True Color Control	<p>Vous pouvez ajuster les « Nuance » et « Saturation » de 4 couleurs, « Rouge », « Vert », « Jaune » et « Bleu » pour mettre en évidence certaines couleurs d'une image. En sélectionnant la couleur à régler, vous pourrez vérifier quelle partie de l'image sera modifiée.</p> <p>Vous pouvez ensuite régler la couleur choisie en utilisant la matrice couleur.</p> <p>Remarques</p> <ul style="list-style-type: none"> • « True Color Control » peut être réglé lorsque « Mode de l'image » a pour réglage « TC Control ». • Vous ne pouvez pas régler « True Color Control » pendant l'affichage d'une image dans l'image (PinP). • Les réglages de « True Color Control » peuvent être invalides pour l'affichage d'une image dans l'image (PinP).
Réinitialiser	Sélectionnez « Annuler » ou « OK ». Si vous sélectionnez « OK », tous les réglages par défaut de « Réglage mode image » sont rétablis.
Mode du son	Vous pouvez régler le son reproduit par les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à l'aide des différents réglages du « Mode du son ».
Dynamique	Accentue les aigus et les graves.
Standard	Réglage plat.
Personnalisé	Pour un réglage plus détaillé.
Réglage mode son	<p>Vous pouvez ajuster la tonalité du son de manière plus précise.</p> <p>Conseil</p> <p>Vous pouvez régler « Aigu » et « Grave » lorsque « Mode du son » a pour réglage « Personnalisé ».</p>
Aigu	Ajuste les aigus en les augmentant ou les réduisant.
Grave	Ajuste les graves en les augmentant ou les réduisant.
Balance	Ajuste la balance gauche/droite des enceintes.
Surround	Sélectionnez le mode ambiophonique selon le type d'image.
Non	Aucune sortie surround.
Hall	Lorsqu'on veut un son stéréo plus riche pour les films et programmes musicaux.
Réinitialiser	Sélectionnez « Annuler » ou « OK ». Si vous sélectionnez « OK », tous les réglages par défaut de « Réglage mode son » sont rétablis.

Réglages Écran

Pour la méthode de réglage, voir « Description générale des menus » (page 22).


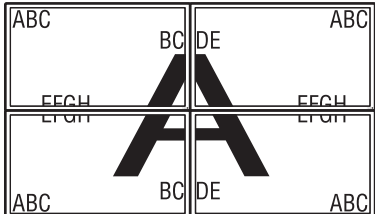
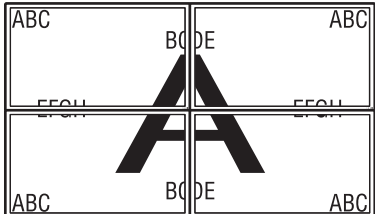

Remarque

Si aucun signal n'est reçu, « Format » et « Réglage écran » ne pourront pas être réglés.

Menu	Fonction et opération
Réglage PAP	Affiche deux types de signal d'entrée vidéo en même temps. Pour plus de détails, voir page 17.
PAP	Sélectionnez « Non » ou « PinP ». Sélectionnez « PinP » pour afficher une image incrustée dans l'image principale.
Image active	Sélectionne l'écran à utiliser.
Principal	Active l'image principale pour pouvoir agir dessus.
Sous	Active l'image incrustée pour pouvoir agir dessus.
Échanger	Permute l'image principale et l'image incrustée.
Taille image	Sélectionne la taille de l'image incrustée. Vous avez le choix entre « Grand » et « Petit ».
Position de l'image	Ajustez la position de l'image incrustée à l'aide de $\swarrow/\searrow/\nearrow/\nwarrow$, puis appuyez sur \oplus .

Combinaisons disponibles pour PinP

	Vidéo	COMPONENT	HD15		DVI	HDMI	OPTION
			RGB	YUV			HDSDI
Vidéo							
COMPONENT					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
HD15	RGB				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	YUV				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DVI		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
HDMI		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
OPTION	HD SDI	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

Menu	Fonction et opération
Affichage multiple	<p>Permet d'effectuer des réglages pour raccorder plusieurs écrans afin de former un mur vidéo.</p> <p>Remarques</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vous ne pouvez pas spécifier « Affichage multiple » pendant l'affichage d'une image dans l'image (PiP). • Quand un signal vidéo est transmis, « Affichage multiple » affiche une image aussi proche que possible du réglage « Format » actuel. Dans le cas d'un signal d'ordinateur, le « Format » de l'image se règle sur « Plein écran 2 ». • Si « Position » est réglé sur le bas à droite, le témoin  s'allume même si « LED » est réglé sur « Non ». Le témoin s'allume également même si l'écran est éteint (en veille), les erreurs sont détectées ou l'écran est en mode sommeil, ce qui inclut l'absence de signaux ou des signaux non pris en charge.
Affichage multiple	Permet d'effectuer les réglages pour obtenir un mur vidéo.
Non	Utilise un seul écran.
2x2 3x3 4x4	Réglages pour raccorder 2, 3 ou 4 affichages verticalement et horizontalement.
1x2 1x3 1x4	Réglages pour raccorder 2, 3 ou 4 affichages horizontalement.
2x1 3x1 4x1	Réglages pour raccorder 2, 3 ou 4 affichages verticalement.
Position	Réglages pour la position de chaque écran.
Format de sortie	Vous pouvez sélectionner le format de sortie de l'image. La position de l'image s'ajuste automatiquement et vous obtenez le format d'image approprié.
Tuiles	<p>Montre un signal complet sur chaque écran.</p> 
Fenêtre	<p>Affiche une grande image sur plusieurs écrans de façon naturelle. Une partie du signal disparaît derrière l'encadrement.</p> 
LED	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », le témoin  sur le panneau avant (page 8) sera continuellement allumé.

* Non sélectionné dans le cas d'un signal d'ordinateur.

** Sélectionné dans le cas d'un signal d'ordinateur.

Menu	Fonction et opération
Format	<p>Changez le format de l'écran. Pour plus de détails, voir page 16.</p> <p>Conseils</p> <ul style="list-style-type: none"> • Pour passer de l'option « Format » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche ⏏ de la télécommande. • Sélectionnez « Zoom » pour afficher des films ou toute autre donnée d'un DVD avec des bandes noires, en répartissant l'entrée vidéo sur la totalité de la surface utile de l'écran. <p>Remarques</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vous ne pouvez pas changer le format pendant l'affichage d'une image dans l'image (PinP). L'image apparaît dans le format utilisé en dernier avant l'affichage PinP. • Vous ne pouvez pas régler « Format » en utilisant la fonction « Affichage multiple ».
Grand zoom *	Agrandit l'image pour qu'elle remplisse l'écran avec un minimum de distorsion.
Zoom *	Agrandit l'image tout en gardant le même format.
Plein écran *	Agrandit l'image horizontalement pour remplir l'écran lorsque l'image originale est en 4:3 (définition standard). Lorsque l'image originale est en 16:9 (haute définition), elle apparaît dans le même format 16:9.
4:3 *	Affiche toute l'image originale dans le format 4:3.
Plein écran 1 **	Agrandit l'image verticalement pour remplir l'écran tout en conservant le même format 4:3. Un cadre noir peut apparaître autour de l'image.
Plein écran 2 **	Agrandit l'image pour remplir l'écran.
Réel **	<p>Affiche l'image avec son nombre de points d'origine.</p> <p>Remarque</p> <p>Si la résolution du signal est supérieure à la résolution de l'écran (1 920 × 1 080), l'affichage « Réel » sera identique à l'affichage « Plein écran 1 ».</p>
Réglage écran	<p>Ajustez la taille et la position de l'écran.</p> <p>Remarque</p> <p>« Réglage automatique », « Phase » et « Espacement » ne sont pas disponibles lorsque le signal de l'ordinateur est transmis numériquement par un connecteur DVI IN ou HDMI IN.</p>
Réglage automatique **	<p>Sélectionnez « Annuler » ou « OK ». Si vous sélectionnez « OK », la position de l'écran et la phase de l'image s'ajustent automatiquement lorsque l'écran reçoit un signal provenant de l'ordinateur raccordé. Notez que l'option « Réglage automatique » risque de ne pas fonctionner correctement avec certains signaux d'entrée. Dans ce cas, réglez manuellement les options ci-dessous.</p> <p>Remarque</p> <p>Pour que ce réglage soit correct, il faut l'effectuer quand une image lumineuse remplit tout l'écran.</p>
Phase **	Ajuste la phase lorsque l'écran scintille.
Espacement **	Ajuste l'espacement lorsque des bandes verticales indésirables apparaissent sur l'image.
Taille horizontale	Ajuste la taille de l'image horizontalement.
Pos. horizontale	Ajuste la position de l'image à gauche et à droite.
Taille verticale	Ajuste la taille de l'image verticalement.
Pos. verticale	Ajuste la position de l'image en haut et en bas.
Réinitialiser	Sélectionnez « Annuler » ou « OK ». Sélectionnez « OK » pour rétablir tous les réglages par défaut de « Réglage écran ».

☰ Réglages Réglage

Pour la méthode de réglage, voir la section de « Description générale des menus » (page 22).

Menu	Fonction et opération
Langue	Sélectionnez une des langues suivantes. Vous avez le choix entre « English », « Deutsch », « Français », « Español », « Italiano » ou « 日本語 ».
Régl. minuterie	Vous pouvez régler l'heure, afficher l'horloge intégrée ou régler la minuterie pour allumer ou éteindre l'écran à une heure pré-réglée. Remarque Si l'interrupteur d'alimentation principale reste hors service ou si le cordon d'alimentation secteur est retiré pendant un certain temps, l'horloge interne peut avancer ou retarder de manière significative. Dans ce cas, remettez l'horloge à l'heure.
Régl. horloge	Règle la date et l'heure du jour.
Réglage date	Règle la date (année, mois, jour). Le jour de la semaine se règle automatiquement.
Réglage heure	Règle l'heure.
Aff. horloge	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui » lorsque la touche DISPLAY de la télécommande est pressée, l'heure actuelle apparaîtra.
Minuterie M/A	Règle le jour de la semaine et l'heure du jour. Remarque La minuterie peut pas être utilisée si « Régl. minuterie » n'a pas été effectué.
Mode ECO	Réduit la consommation d'électricité en changeant la luminosité du rétro-éclairage. L'option « Haut » réduit plus la consommation que « Bas ».
Non/Bas/Haut	
Affichage statut	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », les infos concernant le signal d'entrée et le réglage « Format » apparaissent sur l'écran pendant 5 secondes environ lorsque l'écran est allumé. Lorsque vous changez de signal d'entrée, les infos concernant le signal apparaissent pendant 5 secondes environ. Conseil Vous pouvez aussi afficher les infos concernant le signal d'entrée et le réglage « Format » en appuyant sur la touche DISPLAY de la télécommande.
Sortie haut-p.	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », le son sortira des enceintes.
Réglages avancés	Accédez aux réglages plus détaillés.
Réglage commande	Ce menu est utilisé pour les réglages des commandes de l'écran et de la télécommande.
Numéro d'index	Vous pouvez changer le numéro d'index de l'écran, si nécessaire. Sélectionnez le numéro d'index de l'écran à l'aide des touches ⏪/⏩ de l'écran et appuyez sur la touche + pour le valider. Remarque Vous ne pouvez pas régler le « Numéro d'index » avec la télécommande.

FR

Menu		Fonction et opération
Réglages avancés	Mode de contrôle	Précisez si vous voulez agir sur l'écran depuis la télécommande ou l'écran. Remarque Lorsque vous choisissez ce paramètre, les modes disponibles varient selon que vous effectuez la sélection à partir de la télécommande ou de l'écran. Lors du réglage de cette option avec la touche ⊕ de la télécommande, vous pouvez sélectionner uniquement « Écran+Télec. » ou « Télécom. seule ». Lors du réglage de cette option avec la touche + de l'écran, vous pouvez sélectionner uniquement « Écran+Télec. » ou « Écran seul ».
	Écran+Télec.	Permet d'agir sur l'écran avec les touches de commande de l'écran et de la télécommande.
	Écran seul	Permet d'agir sur l'écran avec les touches de commande de l'écran. Vous pouvez aussi utiliser les touches de l'écran pour valider ce réglage.
	Télécom. seule	Permet d'agir sur l'écran avec la télécommande. Vous pouvez aussi utiliser la télécommande pour valider ce réglage.
	Régl. écran auto	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », les réglages tels que la taille et la position de l'image seront sauvegardés pour chaque signal d'entrée et les derniers réglages seront automatiquement appliqués. Remarque La fonction « Régl. écran auto » n'agit que dans le cas d'une entrée RVB.
	Arrêt auto	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Lorsque « Oui » est sélectionné, l'écran passe automatiquement en mode de veille ou en mode d'économie d'énergie si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée DVI, HDMI ou HD15 (RGB/COMPONENT) ou aux connecteurs d'entrée COMPONENT pendant 30 secondes environ. Si aucun signal n'est transmis au connecteur VIDEO pendant 5 minutes environ, l'écran passe automatiquement en mode de veille. Conseils <ul style="list-style-type: none"> • Cette fonction est disponible lorsque « Économiseur d'écran » a pour réglage « Non ». • Si « DPMS » est réglé sur « Oui », vous pouvez sélectionner les réglages permettant d'activer le mode d'économie d'énergie.
	DPMS	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Lorsque « Oui » est sélectionné, l'écran passe automatiquement en mode d'économie d'énergie si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée DVI, HDMI ou HD15 (RGB) pendant 30 secondes environ. Lorsque « Non » est sélectionné, l'écran passe automatiquement en mode de veille si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée DVI, HDMI ou HD15 (RGB) pendant 30 secondes environ. Conseils <ul style="list-style-type: none"> • En mode de veille, appuyez sur la touche ⏻ de l'écran ou sur la touche ON de la télécommande pour mettre l'écran sous tension. En mode d'économie d'énergie, l'écran s'allume automatiquement lorsqu'un signal est transmis. • Cette fonction est disponible lorsque « Économiseur d'écran » a pour réglage « Non ». • Cette fonction est disponible lorsque « Arrêt auto » a pour réglage « Oui ».
	Surbalayage	Sélectionne si les images doivent être affichées avec un surbalayage ou un balayage juste.
	Automatique	Détermine automatiquement si le signal est en DTV, puis surbalaye et affiche l'image.
	Oui	Affiche l'image avec surbalayage.
	Non	Affiche l'image avec balayage juste. Remarque Un signal entrant DTV peut s'afficher comme un signal d'ordinateur. Exemple : 480P → 720 × 480/60

Menu		Fonction et opération
Réglages avancés	Mode sync.	Désignez le type de signal transmis à la broche 13 du connecteur Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN (page 43). Remarques <ul style="list-style-type: none"> « Mode sync. » n'est disponible que lorsqu'un signal RVB analogique est transmis au connecteur HD15. Pour certaines entrées, « Comp. H » seulement peut être sélectionné. Dans ce cas, transmettez les signaux de synchronisation horizontale/verticale par l'intermédiaire de la broche 13 ou 14 des connecteurs. Cet écran ne prend pas en charge le format de synchronisation à trois valeurs de 576/60p. Lorsque l'option « Vidéo » est sélectionnée dans le « Mode sync. », vous ne pouvez spécifier que les signaux 575/50i et 480/60i.
	Comp. H	Spécifie l'entrée d'un signal synchrone horizontal.
	Vidéo	Spécifie l'entrée d'un signal vidéo.
RGB/YUV		Spécifie le type de signal pour un module d'équipement vidéo ou un ordinateur raccordé au connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) de l'écran.
	Automatique	Spécifie automatiquement si le dispositif raccordé transmet un signal RVB analogique ou un signal à composantes.
	RGB	Spécifiez ceci lorsque le dispositif raccordé transmet un signal RVB analogique.
	YUV	Spécifiez ceci lorsque le dispositif raccordé transmet un signal à composantes.
Standard couler	Sélectionnez « Automatique » pour régler automatiquement le standard couleur. Sélectionnez « NTSC » ou « PAL » pour régler le standard couleur. Remarque « Standard couler » est disponible lorsque le signal provient d'un connecteur VIDEO IN (signal vidéo composite).	
Signal RVB	Spécifiez si le signal reçu RVB 1280 × 720/60, 720 × 480/60 ou 1920 × 1080/60 s'affiche comme un signal d'ordinateur ou comme un signal vidéo. Sélectionnez « HD15 », « DVI » ou « HDMI » en fonction du connecteur d'entrée, puis sélectionnez « PC » ou « Vidéo » pour chacun. Les connecteurs d'entrée suivants sont disponibles pour chacun des réglages « HD15 », « DVI » ou « HDMI ». « HD15 » : Connecteur Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN « DVI » : Connecteur DVI IN « HDMI » : Connecteur HDMI IN	
Économiseur d'écran		Ce réglage permet de prévenir ou de réduire les phénomènes d'image rémanente ou persistante occasionnés par l'affichage prolongé de la même image.
	Non	Désactive le réglage « Économiseur d'écran ».
	All White	Affiche un écran complètement blanc. (S'arrête automatiquement au bout de 30 minutes environ et l'écran se met en veille.)
	Sweep	Fait défiler une barre blanche sur l'écran.
	Veille	Active un économiseur d'écran durant le temps défini dans « Régl. minuterie » quand l'écran est en veille (page 8). (L'écran est vide lorsque l'économiseur d'écran fonctionne.) Après l'écoulement de ce temps, l'écran revient en veille normale.
Position du menu	Change l'orientation du menu en fonction du sens dans lequel l'écran a été installé.	
	Paysage	Affiche l'écran horizontalement.
	Portrait	Affiche l'écran verticalement.

Menu		Fonction et opération
Réglages avancés	Port réseau	Désigne le terminal connecté à l'ordinateur quand l'écran est contrôlé par l'ordinateur. Remarques <ul style="list-style-type: none"> • Il n'est pas possible d'utiliser REMOTE (STRAIGHT) et REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) simultanément. • Sélectionnez « LAN » pour les réglages de « IP Address Setup » ou « Speed Setup ».
	RS-232C	Sélectionnez cette option lorsque l'écran est raccordé à l'ordinateur par le connecteur REMOTE (STRAIGHT).
	LAN	Sélectionnez cette option lorsque l'écran est raccordé à l'ordinateur par le connecteur REMOTE ($\frac{\square}{\square}$).
	IP Address Setup	Définit une adresse IP pour permettre la communication entre le connecteur REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) de l'écran et un dispositif, tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide du câble LAN. Pour plus d'informations sur ces réglages, reportez-vous à la section "Préparation à l'utilisation des fonctions réseau" (page 33).
	Speed Setup	Définit une vitesse de communication entre le connecteur REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) de l'écran et un dispositif, tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide d'un câble LAN. Pour plus d'informations sur ces réglages, reportez-vous à la section "Préparation à l'utilisation des fonctions réseau" (page 33).
	Délai d'activation	Ajuste le temps entre la mise sous tension de l'écran et le moment où il s'allume réellement. Se règle sur « Non » et 1 à 120 secondes. Cela permet de supprimer une fluctuation de charge subite lorsque plusieurs appareils sont raccordés.
	Commande HDMI	Si vous raccordez un appareil compatible avec la commande HDMI au connecteur d'entrée HDMI de l'écran, vous pourrez agir sur les deux appareils en même temps. Remarque Vous devez alors utiliser la télécommande pour allumer et éteindre l'écran et l'appareil raccordé.
	Commande HDMI	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », la commande HDMI de l'appareil fonctionne, et peut être réglée sur « Arrêt auto dispositif » et « Affichage auto ». Remarques <ul style="list-style-type: none"> • Si la commande ne fonctionne pas, faites aussi les réglages HDMI sur l'appareil raccordé. • L'appareil raccordé doit être compatible avec la commande HDMI pour que l'on puisse agir dessus, et il doit être réglé pour accepter la commande HDMI. • Avec certains appareils HDMI, la commande peut ne pas agir avec cet écran.
	Arrêt auto dispositif	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », lorsque vous éteindrez l'écran, l'appareil HDMI raccordé s'éteindra automatiquement.
	Affichage auto	Sélectionnez « Oui » ou « Non ». Si vous sélectionnez « Oui », lorsque vous sélectionnerez la lecture ou d'autres commandes sur l'appareil HDMI raccordé, l'écran s'allumera automatiquement.
Informations		Indique la « date », le « Nom modèle », le « Numéro de série », le « Temps de fonct. », la « Vers. Logiciel » et l'« IP Address » de votre écran.
Tout réinitialiser		Sélectionnez « Annuler » ou « OK ». Si vous sélectionnez « OK », tous les ajustements et réglages par défaut seront rétablis. Remarque Certains éléments de l'option « Informations » et le « Numéro d'index » ne sont pas réinitialisés.

Préparation à l'utilisation des fonctions réseau

Précautions

- Les spécifications logicielles de cet écran sont sujettes à modification sans préavis.
- Les écrans du logiciel d'application peuvent être légèrement différents des illustrations du présent manuel.
- Pour votre sécurité, raccordez exclusivement le port de cet écran à un réseau ne présentant aucun risque de tension excessive ou de surtension.
- Les étapes décrites dans le présent manuel sont garanties uniquement pour une utilisation dans les conditions d'environnement suivantes :

Système d'exploitation:

Microsoft Windows XP/Windows Vista/
Windows 7

Navigateur :

Microsoft Internet Explorer 7.0 ou une version ultérieure

- Pour garantir la sécurité du réseau, il est recommandé de définir un nom d'utilisateur et un mot de passe. Pour obtenir davantage d'informations sur ce réglage, reportez-vous à la section « Fenêtre Setup (Réglage) » (page 36).
Pour les paramètres de sécurité réseau, consultez votre administrateur réseau.

Définition d'une adresse IP

L'écran peut être connecté à un réseau à l'aide du câble LAN 10BASE-T/100BASE-TX.

En cas de raccordement à un réseau LAN, les adresses IP de l'écran peuvent être définies en utilisant l'une des deux méthodes suivantes. Consultez l'administrateur de votre réseau pour obtenir davantage d'informations concernant la sélection de l'adresse IP.

- Attribution d'une adresse IP fixe à l'écran
Vous devez normalement utiliser cette méthode.
- Obtention automatique d'une adresse IP
Si le réseau auquel l'écran est raccordé possède un serveur DHCP, celui-ci peut attribuer automatiquement une adresse IP. Notez qu'en pareil cas, l'adresse IP peut changer chaque fois que l'écran installé est mis sous tension.

Avant de définir l'adresse IP, raccordez le câble LAN à l'écran afin d'établir le réseau. Après 30 secondes environ, mettez l'écran sous tension, puis effectuez les réglages souhaités.

-
- Microsoft et Windows sont des marques déposées de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et/ou dans d'autres pays ou régions.
 - Tous les autres noms de produits, de sociétés, etc., mentionnés dans le présent manuel sont des marques commerciales ou des marques déposées de leurs propriétaires respectifs.

Attribution d'une adresse IP fixe à l'écran

- 1 Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
- 2 Sélectionnez « Réglage » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 3 Sélectionnez « Réglages avancés » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 4 Sélectionnez « Port réseau » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 5 Sélectionnez « LAN » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 6 Sélectionnez « IP Address Setup » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 7 Sélectionnez « Manual » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 8 Sélectionnez les options à définir parmi « IP Address », « Subnet Mask », « Default Gateway », « Primary DNS », « Secondary DNS » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 9 Définissez la valeur à trois chiffres (0 à 255) pour chacune des quatre zones à l'aide de \uparrow/\downarrow de l'écran ou des touches numériques de la télécommande et appuyez sur \oplus ou \rightarrow .
- 10 Définissez la valeur à trois chiffres (0 à 255) pour chacune des quatre zones et appuyez sur \oplus . Répétez la procédure de l'étape 6 et sélectionnez l'élément suivant à définir à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 11 Une fois que les valeurs sont définies pour tous les éléments, sélectionnez « Execute » à l'aide de \uparrow/\downarrow , puis appuyez sur \oplus .

Sélectionnez « Execute » et appuyez sur \oplus . Une adresse IP est définie manuellement.

Obtention automatique d'une adresse IP

- 1 Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
- 2 Sélectionnez « Réglage » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 3 Sélectionnez « Réglages avancés » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 4 Sélectionnez « IP Address Setup » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 5 Sélectionnez « DHCP » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .

Sélectionnez « Execute » et appuyez sur \oplus . Une adresse IP est définie automatiquement.

Lorsque « Cancel » est sélectionné, le paramètre n'est pas exécuté.

Remarque

Lorsqu'une adresse IP n'est pas définie correctement, les codes d'erreur suivants s'affichent, selon la cause de l'erreur.

Erreur 1 : erreur de communication

Erreur 2 : l'adresse IP spécifiée est déjà utilisée par un autre appareil

Erreur 3 : erreur d'adresse IP

Erreur 4 : erreur d'adresse de passerelle

Erreur 5 : erreur d'adresse de serveur de noms de domaine primaire

Erreur 6 : erreur d'adresse de serveur de noms de domaine secondaire

Erreur 7 : erreur de masque de sous-réseau

Vérification de l'adresse IP affectée automatiquement

- 1 Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
- 2 Sélectionnez « Réglage » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 3 Sélectionnez « Informations » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .

L'adresse IP actuellement acquise s'affiche.

Conseil

Si une adresse IP ne peut pas être acquise correctement, l'adresse IP acquise antérieurement est indiquée dans « Informations » et dans « Manual » de « IP Address Setup ».

Définition d'une vitesse de communication

- 1 Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
- 2 Sélectionnez « Réglage » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 3 Sélectionnez « Réglages avancés » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 4 Sélectionnez « Speed Setup » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 5 Sélectionnez une vitesse de communication souhaitée parmi « Auto », « 10Mbps Half », « 10Mbps Full », « 10Mbps Half » ou « 10Mbps Full » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .

Si « Auto » est sélectionné, une vitesse de communication adaptée à votre configuration réseau est automatiquement définie.

- 6 Sélectionnez « Execute » à l'aide de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus pour prendre en compte le réglage.

Utilisation d'un ordinateur

Contrôle de l'écran

Vous pouvez effectuer différents réglages de l'écran à partir de votre ordinateur.

Assurez-vous que l'écran, l'ordinateur et le routeur ou le concentrateur (hub) sont correctement connectés à l'aide du câble réseau. Mettez sous tension l'écran, l'ordinateur et le routeur ou le concentrateur (hub).

Il existe quatre fenêtres réparties selon leur fonction : la fenêtre Information, la fenêtre Configure, la fenêtre Control et la fenêtre Setup.

Pour plus d'informations sur les fonctions des touches, reportez-vous aux instructions de chacune des fonctions de l'écran.

- 1 Démarrez le navigateur sur l'ordinateur (Internet Explorer 7.0 ou version ultérieure).
- 2 Saisissez l'adresse IP qui a été attribuée à l'écran à la page précédente sous la forme « http://xxx.xxx.xxx.xxx », puis appuyez sur la touche ENTER du clavier. Lorsqu'un nom d'utilisateur et un mot de passe ont été définis, l'écran « Network Password » (Mot de passe réseau) s'affiche. Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe définis, puis passez à l'étape suivante.
- 3 Cliquez sur l'onglet de la fonction en haut de l'écran et sélectionnez la fenêtre de votre choix.

Configuration des paramètres sur chaque écran

En cas d'utilisation de la fonction LAN de l'écran

Fenêtre Information (Informations)

Cette fenêtre affiche le nom du modèle, le numéro de série et d'autres informations, ainsi que l'état de fonctionnement actuel de l'écran et la sélection du signal d'entrée.

Cette fenêtre ne fait qu'afficher des informations.

Vous ne pouvez pas en modifier les réglages.

Fenêtre Configure (Configurer)

Timer (Minuterie)

Permet de régler la fonction de minuterie.

Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Screen Saver (Économiseur d'écran)

Permet de régler la fonction de l'économiseur d'écran.

Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Picture and Picture (Image et Image)

Permet de régler la fonction Picture and Picture.

Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Remarque

Avant de régler la fonction « Timer » (Minuterie), assurez-vous de configurer le réglage de l'heure dans la fenêtre Setup (Réglage) (page 36).

Fenêtre Control (Commande)

POWER (Alimentation)

Met l'écran sous ou hors tension.

INPUT (Entrée)

Permet de sélectionner le signal d'entrée.

PICTURE MODE (Mode d'image)

Permet de sélectionner le mode d'image.

ASPECT (Format)

Permet de commuter le format de l'image.

Boutons Contrast (Contraste) +/-

Permettent de régler le contraste de l'écran.

Boutons Brightness (Luminosité) +/-

Permettent de régler la luminosité de l'écran.

Boutons Chroma (Chrominance) +/-

Permettent de régler l'intensité des couleurs.

Boutons Phase (Phase) +/-

Permettent de régler la balance des couleurs.

Bouton Reset (Réinitialisation)

Permet de rétablir les réglages par défaut de « Contrast » à « Phase ».

Remarques

- Si le signal d'entrée est vidéo et le standard couleur du signal vidéo n'est pas NTSC, « Phase » n'est pas disponible.
- « Chrominance » et « Phase » ne sont pas disponibles pour l'entrée provenant de l'ordinateur.
- « Normal » comme réglage « ASPECT » correspond à « 4:3 » pour un signal vidéo ou à « Réel » pour un signal d'ordinateur.

Fenêtre Setup (Réglage)

Cette fenêtre vous permet de définir le Network Password (Mot de passe réseau). Les paramètres réglés par défaut sont les suivants :

Name (Nom) : root

Password (Mot de passe) : pudadm

Une fois que vous avez effectué des modifications ou saisi des informations, cliquez sur « Apply » (Appliquer) en bas de chaque fenêtre pour activer les réglages.

Il est impossible d'utiliser des caractères spéciaux dans les zones de texte.

Owner Information (Informations concernant le propriétaire)

Owner (Propriétaire)

Saisissez ici les informations relatives au propriétaire.

Display Location (Emplacement de l'écran)

Saisissez ici les informations relatives à l'emplacement d'installation de l'écran.

Remarque

N'utilisez pas d'espace lorsque vous saisissez les informations. Sinon, il est possible que le nom du fichier ne s'affiche pas correctement.

Memo (Mémo)

Vous pouvez saisir des informations complémentaires ici.

Time (Heure)

Time (Heure)

Saisissez la date, le jour de la semaine, l'année, le mois et le jour.

Network (Réseau)

Internet Protocol (Protocole Internet) (TCP/IP)

Sélectionnez «Specify an IP address» (Spécifier une adresse IP) pour saisir chaque valeur dans la chaîne numérique de l'adresse IP.

Sélectionnez « Obtain an IP address (DHCP) »

(Obtenir une adresse IP (DHCP)) pour obtenir une adresse automatiquement auprès du serveur DHCP. Notez qu'en pareil cas, l'adresse IP peut changer chaque fois que l'écran installé est mis sous tension.

Remarque

L'adresse IP peut être définie à partir du menu de l'écran. Pour plus de détails, reportez-vous à « IP Address Setup » (page 32).

Password (Mot de passe)

Le nom d'administrateur, le nom d'utilisateur ainsi que les informations relatives au mot de passe peuvent être saisis ici. Le nom d'administrateur est toujours « root ».

Chaque nom peut contenir 8 caractères au maximum. Lorsqu'un nom d'utilisateur et un mot de passe ont été définis, l'écran « Network Password » (Mot de passe réseau) s'affiche dès que l'affichage de l'écran de contrôle de l'écran est activé. Pour garantir la sécurité du réseau, il est recommandé de définir un nom d'utilisateur et un mot de passe.

Mail Report (Rapport d'erreur)

Error Report (Rapport d'erreur)

Si une erreur de fonctionnement s'est produite au niveau de l'écran, un rapport d'erreur est immédiatement envoyé par e-mail (notification d'erreur).

Status Report (Rapport d'état)

L'état de l'écran peut être signalé par e-mail, à intervalle déterminé.

Address (Adresse)

Saisissez ici l'adresse e-mail de destination. Le rapport d'erreur peut être envoyé simultanément vers quatre destinations maximum. Chaque adresse peut contenir au maximum 64 caractères.

Mail Account (Compte de messagerie)

Mail Address (Adresse de messagerie) :

Saisissez ici l'adresse e-mail attribuée.

L'adresse peut contenir au maximum 64 caractères.

Outgoing Mail Server (Serveur de courrier sortant) (SMTP) :

Saisissez ici l'adresse du serveur de messagerie.

L'adresse peut contenir au maximum 64 caractères.

Send Test Mail (Envoyer courrier test) :

Afin de tester si l'e-mail peut être envoyé avec succès à l'adresse ou aux adresses spécifiées, cochez cette case et cliquez sur « Apply ». Un e-mail test sera envoyé.

Remarque

Si les éléments suivants ne sont pas définis ou si les réglages sont incorrects, un message d'erreur apparaît et il se peut que l'e-mail test ne soit pas envoyé :

- Adresse de destination
- Adresse du compte de messagerie et l'adresse du serveur de messagerie (SMTP)

Advanced (Réglages avancés)

Permet d'accéder aux réglages avancés pour utiliser différentes applications sur le réseau. Effectuez les réglages correspondants à chaque application respective.

Advertisement (Publicité)

Permet de régler les paramètres des fonctions Advertisement et Broadcast (Diffusion) sur le réseau.

ID Talk

Permet de régler les paramètres de la fonction ID Talk. ID Talk est un protocole permettant la commande de l'écran à partir du réseau. Les options commandées incluent divers réglages et ajustements comme la température des couleurs et le gamma. Pour plus de détails concernant les commandes ID Talk prises en charge, contactez votre revendeur Sony local.

SNMP

L'écran est un périphérique réseau prenant en charge le protocole SNMP (Simple Network Management Protocol). Outre le MIB-II standard, Sony Enterprise MIB est également pris en charge. Cette fenêtre permet également d'effectuer les réglages SNMP. Pour plus de détails sur les commandes SNMP prises en charge, contactez votre revendeur Sony local.

Réinitialisation aux valeurs par défaut


Pour rétablir les valeurs par défaut de tous les réglages effectués sur la fenêtre « Setup », validez le réglage « Tout réinitialiser », puis refaites les réglages appropriés pour le réseau.

Dépannage


Vérifiez si le témoin  clignote en rouge.

Lorsqu'il clignote

La fonction d'autodiagnostic est activée.

1 Comptez le nombre de fois où le témoin  clignote et mesurez la durée pendant laquelle il s'arrête de clignoter.

Par exemple, le témoin clignote 2 fois, s'arrête pendant 3 secondes, puis clignote de nouveau 2 fois.


2 Appuyez sur l'interrupteur  (POWER) sur l'écran et sur l'interrupteur d'alimentation principale pour le mettre hors tension, puis débranchez le cordon d'alimentation.

Contactez votre revendeur ou un centre de service Sony et indiquez la séquence de clignotement (nombre de clignotements et durée d'extinction).

Lorsqu'il ne clignote pas

1 Vérifiez les éléments dans le tableau ci-dessous.

2 Si le problème persiste, confiez votre écran à un personnel qualifié.

Problème	Solution possible
L'interrupteur d'alimentation et les touches de commande de l'écran ne fonctionnent pas.	<ul style="list-style-type: none"> Vérifiez les réglages de « Réglage commande » (page 29).
L'écran ne s'allume pas bien que l'interrupteur  (POWER) soit sur ON ou la touche ON (alimentation) de la télécommande soit sur ON.	<ul style="list-style-type: none"> Vérifiez si l'interrupteur d'alimentation principale n'est pas sur « OFF » (page 11).
Pas de signal vidéo sortant de la prise Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.	<ul style="list-style-type: none"> Aucun signal ne sort de Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) OUT lorsque cet appareil est en veille ou lorsque l'alimentation est coupée.
Aucun signal ne sort de la prise HD-SDI OUT du BKM-FW16.	<ul style="list-style-type: none"> Aucun signal ne sort de HD-SDI OUT lorsque cet appareil est en veille ou lorsque l'alimentation est coupée.
Aucun signal ne sort de la prise DVI OUT.	<ul style="list-style-type: none"> Aucun signal ne sort de DVI OUT lorsque cet appareil est en veille ou lorsque l'alimentation est coupée.
Pas d'image.	
Pas d'image.	<ul style="list-style-type: none"> Vérifiez le raccordement entre l'équipement vidéo et l'écran. Vérifiez les réglages de « RGB/YUV » (page 31). Changez d'entrée à l'aide de la touche INPUT de l'écran ou de la télécommande (pages 10, 14).
L'écran se met automatiquement hors tension.	<ul style="list-style-type: none"> Vérifiez si « Régl. minuterie » est activé (page 29). Vérifiez si la fonction « Arrêt auto » est réglée sur « Oui » (page 30). Vérifiez si la température de la pièce n'est pas supérieure à 40°C.
L'écran se met automatiquement sous ou hors tension.	<ul style="list-style-type: none"> Vérifiez les réglages de « Commande HDMI » (page 32).



Problème	Solution possible
Image de mauvaise qualité.	
Aucune couleur/Image sombre/ Image trop lumineuse/Couleurs incorrectes/L'image devient de plus en plus sombre/Des parasites horizontaux apparaissent sur l'image	<ul style="list-style-type: none"> • Appuyez sur PICTURE pour sélectionner le « Mode de l'image » de votre choix (page 14). • Réglez les options de « Réglage mode image » dans les réglages « Image/Son » (pages 23, 24). • Vérifiez l'état du câble de signal. • Vérifiez si la température de la pièce n'est pas supérieure à 40°C. • Vérifiez les réglages dans « Mode ECO » (page 29).
Toute l'image tend vers le vert ou le violet.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez les réglages de « RGB/YUV » (page 31).
Pas de son/Son parasité.	
Image affichée, pas de son.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez la commande du volume. • Appuyez sur  de la télécommande ou sur  + de sorte que « Muting » (Sourdine) disparaisse de l'écran (page 15). • Vérifiez le réglage de « Sortie haut-p. » (page 29).
La télécommande ne fonctionne pas.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez la polarité des piles ou changez les piles. • Dirigez la télécommande vers le capteur de télécommande de l'écran. • Ne placez pas d'obstacles dans la portée du capteur de télécommande. • Vérifiez les réglages de « Réglage commande » (page 29). • Des lampes fluorescentes peuvent interférer avec le fonctionnement de la télécommande. Éteignez les lampes fluorescentes.
Connexion impossible au réseau.	<ul style="list-style-type: none"> • Branchez fermement le câble sur le connecteur REMOTE. • Vérifiez les paramètres réseau de l'ordinateur. • Rétablissez les réglages par défaut en attribuant le réglage « Tout réinitialiser » du menu de réglage « Réglage » puis en attribuant de nouveau au réseau les réglages appropriés. • Vérifiez les réglages de « Port réseau » (page 32).
La fenêtre de contrôle de l'écran (la fenêtre Web qui affiche l'interface utilisateur graphique de l'écran) n'apparaît pas.	<ul style="list-style-type: none"> • Cliquez sur le bouton d'actualisation ou de rechargement de votre navigateur Web. • Assurez-vous que l'adresse IP est correcte. • Utilisez Internet Explorer 7.0 ou une version ultérieure. • Effacez le cache du navigateur.

Tableau de référence des signaux d'entrée

Signaux d'ordinateur

	Résolution	Fréquence horizontale (kHz)	Fréquence verticale (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac ^{b)} 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA ^{c)} STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT ^{d)})	29,8	60
16	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
17	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
18	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
19	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
20	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
21	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47,7	60
22	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
23	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
24	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
25	1400 × 1050@60 Hz (CVT)	65,3	60
26	1600 × 1200@60 Hz (CVT)	74,5	60
27	1920 × 1080@60Hz	66,6	60

Signaux TV/Vidéo

	Résolution	Entrées disponibles				
		Vidéo	Composantes	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p		○	○	○	
10	1080/60p		○	○	○	
11	1080/24psf		○			

- a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, États-Unis.
b) Macintosh est une marque commerciale de Apple Inc., déposée aux États-Unis et dans d'autres pays.
b) VESA est une marque déposée de la Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Synchronisation de vidéo coordonnée VESA)

Remarques

- Pour les signaux HDTV, émettez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la deuxième broche du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN.
- Si les couleurs sont très claires après la transmission d'un signal DVD vers l'écran, réglez « Chrominance » dans les réglages « Image/Son ».
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.
- Il n'est pas certain que les signaux provenant de l'ordinateur Macintosh reconnaissent l'entrée RVB numérique.
- Les signaux synchrones composites correspondent aux n° 2, 4, 5, 7, 12, 13 et 14 du tableau des signaux à gauche.
- Il n'est pas certain que les signaux vidéo sans signal de salve couleur soient reconnus.

Affichage à l'écran du signal d'entrée et du statut de l'écran

Affichage à l'écran	Signification
640 × 480 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal d'ordinateur.
480 / 60I (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo à composantes.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo.
Signal non pris en charge	Le signal d'entrée sélectionné n'est pas un signal pris en charge.
Pas de signal	Aucun signal d'entrée n'est reçu.
Composantes	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo à composantes.
HD15	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est réglé sur « Automatique ».
HD15 RGB	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est réglé sur « RGB ».
Composantes HD15	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est réglé sur « YUV ».
DVI	Le signal d'entrée sélectionné est DVI.
HDMI	Le signal d'entrée sélectionné est HDMI.
Vidéo	Le signal vidéo composite est sélectionné.
Option HD SDI	Le signal HD SDI de l'entrée Option est sélectionné.

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Système écran	Écran LCD a-Si TFT à matrice active
Résolution de l'écran	FWD-S46H2 1 920 points (horizontale) × 1 080 lignes (verticale) FWD-S42H2 1 920 points (horizontale) × 1 080 lignes (verticale)
Taux d'échantillonnage	13,5 MHz à 165 MHz
Standard couleur	NTSC/PAL
Signal d'entrée	Voir page 40.
Profondeur de pixels	FWD-S46H2 0,53 (horizontale) mm × 0,53 (verticale) mm ($1/32$ po. × $1/32$ po.) FWD-S42H2 0,4845 (horizontale) mm × 0,4845 (verticale) mm ($1/32$ po. × $1/32$ po.)
Taille d'image	FWD-S46H2 1 018,1 (horizontale) mm × 572,7 (verticale) mm ($40 1/8$ po. × $22 5/8$ po.) FWD-S42H2 930,2 (horizontale) mm × 523,3 (verticale) mm ($36 3/4$ po. × $20 5/8$ po.)
Taille de l'écran	FWD-S46H2 : 46 pouces (diagonale) 1 168,1 mm) FWD-S42H2 : 42 $1/8$ pouces (diagonale) 1 067,3 mm)

Entrées et sorties

REMOTE	Port réseau (10BASE-T/ 100BASE-TX) D-sub à 9 broches (femelle) (× 1) (RS-232C)
AUDIO	AUDIO OUT (G/D) Connecteur RCA
VIDEO	VIDEO IN BNC (× 1) VIDEO OUT BNC (× 1) Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB sync négative, 75 Ω (fin automatique) AUDIO IN Mini-prise stéréo (× 1) 500 mVrms, haute impédance
COMPONENT	COMPONENT (Y P _B /C _B P _R /C _R) IN Connecteur RCA
HD15 (RGB/COMPONENT)	HD15 (RGB/COMPONENT) IN D-sub à 15 broches (femelle) (× 1) (Voir page 43.) HD15 (RGB/COMPONENT) OUT D-sub à 15 broches (femelle) (× 1) (Voir page 43.)

AUDIO IN	Mini-prise stéréo (× 1) 500 mVrms, haute impédance
DVI	DVI IN (Compatible avec la spécification DVI rév. 1.0) DVI OUT (Compatible avec la spécification DVI rév. 1.0)
AUDIO IN	Mini-prise stéréo (× 1) 500 mVrms, haute impédance
HDMI	HDMI IN (HDMI (1080p))
SPEAKER	Sortie Enceintes (G/D) 6 Ω 7W + 7W

Caractéristiques générales

Alimentation requise	100 V à 240 V AC, 50/60 Hz, FWD-S46H2: 1,4 A (maximum) FWD-S42H2: 1,45 A (maximum)
Consommation électrique	FWD-S46H2 : 140 W (maximum) FWD-S42H2 : 145 W (maximum) 0,5 W (maximum en veille)
Conditions d'utilisation	Température : 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F) Humidité : 20% à 90% (sans condensation)
Conditions de stockage/transport	Température : -10 °C à +40 °C (14 °F à 104 °F) Humidité : 20% à 90% (sans condensation)
Dimensions	FWD-S46H2 1 053,6 mm × 608,2 mm × 84 mm (41 $1/2$ po. × 24 po. × 3 $3/8$ po.) 1 053,6 mm × 656,3 mm × 292,6 mm (41 $1/2$ po. × 25 $7/8$ po. × 11 $5/8$ po.) (support optionnel compris) (l/h/p, hors éléments saillants) FWD-S42H2 967,8 mm × 560,7 mm × 88 mm (38 $1/8$ po. × 22 $1/8$ po. × 3 $1/2$ po.) 967,8 mm × 608,8 mm × 292,6 mm (38 $1/8$ po. × 24 po. × 11 $5/8$ po.) (support optionnel compris) (l/h/p, hors éléments saillants)
Poids	FWD-S46H2 Environ 22,7 kg (50,0 lb.) Environ 24,5 kg (54,0 lb.) (support optionnel compris) FWD-S42H2 Environ 20,2 kg (44,5 lb.) Environ 22,0 kg (48,5 lb.) (support optionnel compris)

Accessoires fournis

- Cordon d'alimentation secteur (1)
- Support de fiche secteur (2)
- Porte-câbles (6)
- Télécommande RM-FW002 (1)
- Piles de format AA (R6) au manganèse (2)
- Mode d'emploi (1)

Accessoires en option

- Support d'écran SU-S02
- Enceintes SS-SPG02
- Adaptateurs en option pour l'extension du système, série BKM-FW

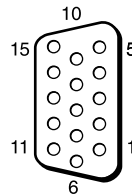
Règlements de sécurité

- UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Affectation des broches

Connecteur HD15 RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches)



N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou C _R /P _R
2	Vidéo verte ou Y
3	Vidéo bleue ou C _B /P _B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	H sync, sync composite ou vidéo composite (comme signal sync)
14	Sync V
15	SCL

Remarque

Quand un signal à composantes est transmis, faire attention de ne pas transmettre des signaux synchronisés aux broches 13 et 14. Sinon, l'image peut ne pas s'afficher correctement.

Index

Nombres

4:3 16, 28

A

Address (Adresse) 36

Advanced (Réglages avancés) 37

Advertisement (Publicité) 37

Aff. horloge 29

Affichage auto Oui 32

Affichage multiple 22, 27

Affichage statut 22, 29

Aigu 25

Arrêt auto 30

Arrêt auto dispositif 32

B

Balance 25

C

Capteur de télécommande 8

Chrominance 23

CineMotion 24

Commande HDMI 32

Conférence 23

Connecteur AUDIO IN 11, 12, 13

Connecteur AUDIO OUT 11

Connecteur DVI 13

Connecteur DVI IN/OUT 13

Connecteur HD15 (RGB/
COMPONENT) 11

Connecteur HD15 (RGB/
COMPONENT) IN/OUT 11

Connecteur HDMI 12

Connecteur REMOTE 13

Connecteur VIDEO IN 12

Contraste 23

Correct. gamma 24

D

Délai d'activation 32

DPMS 30

Dynamique 25

E

Échanger 26

Éclatant 23

Économiseur d'écran 31

Emplacement OPTION 11

Error Report (Rapport d'erreur) 36

Espacement 28

F

Fenêtre 27

Fenêtre Configure (Configurer) 35

Fenêtre Control (Commande) 35

Fenêtre Information (Informations)
35

Fenêtre Setup (Réglage) 36

Format 16, 22, 28

Format de sortie 27

G

Grand zoom 16, 28

Grave 25

I

ID Talk 37

Image active 26

Image Dynamique 24

Informations 22, 32

Interrupteur d'alimentation
principale 11

IP Address Setup (Réglage adresse
IP) 32

L

Langue 22, 29

LED 27

Luminosité 23

M

Mail Account (Compte de
messagerie) 36

Mail Report (Rapport d'erreur) 36

Minuterie M/A 29

Mode cinéma 16

Mode de contrôle 30

Mode de l'image 22, 23

Mode du son 22, 25

Mode ECO 22, 29

Mode sync. 31

N

Netteté 23

Network (Réseau) 36

Numéro d'index 15, 18, 29

O

Owner Information (Informations
concernant le propriétaire) 36

P

Password (Mot de passe) 36

Personnalisé 23, 25

Phase 23, 28

Plein écran 16, 28

Plein écran 1 16, 28

Plein écran 2 16, 28

Plus lumineux 24

Port réseau 32

Porte-câbles 21

Pos. horizontale 28

Pos. verticale 28

Position 27

Position de l'image 26

Position du Menu 31

Prise AC IN 11, 20

Prise SPEAKER 11

R

Réduction du bruit 23

Réel 16, 28

Régl. écran auto 30

Régl. horloge 29

Régl. minuterie 22, 29

Réglage automatique 28

Réglage commande 29

Réglage écran 22, 28

Réglage mode image 22, 23

Réglage mode son 22, 25

Réglage PAP 17, 22, 26

Réglages avancés 22, 29

Réglages écran 22, 26

Réglages Image/Son 22, 23

Réglages Réglage 22, 29

Réinitialiser 25, 28

Rétro-éclairage 23

RGB/YUV 31

RS-232C 13, 32

S

Signal d'entrée 40

Signal RVB 31

SNMP 37

Sortie haut-p. 22, 29

Speed Setup (Réglage vitesse) 32

Standard 23, 25

Standard couleur 31

Status Report (Rapport d'état) 36

Surbalayage 30

Surround 25

T

Taille horizontale 28

Taille image 26

Taille verticale 28

TC Control 23

Témoin d'alimentation/veille 8

Temp. couleur 24

Touche de contraste 15

Touche de sourdine 15

Touche de volume 10, 15

Touche DISPLAY 15

Touche DVI 14

Touche ENTER 10

Touche HD15 15

Touche HDMI 14

Touche INPUT 10

Touche MENU 10, 14, 22

Touche Mode cinéma 14, 16

Touche ON (alimentation) 14

Touche OPTION 11 15

Touche PAP 15, 17

Touche PICTURE 14

Touche POWER 10

Touche RETURN 10

Touche STANDBY 15

Touche VIDEO 14

Touches ID MODE 15, 18

Tout réinitialiser 22, 32

Tuiles 27

Z

Zoom 16, 28

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

Transport

Wenn Sie den Bildschirm transportieren, halten Sie ihn nicht an den Lautsprechern, sondern halten Sie das Gerät selbst. Andernfalls könnten sich die Lautsprecher vom Gerät lösen und das Gerät könnte herunterfallen. Dadurch kann es zu Verletzungen kommen.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan. Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/ Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Inhalt

Einführung

Sicherheitsmaßnahmen	4
Empfehlungen zur Installation	6

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite	8
Rückseite	9
Fernbedienung	14
Beschreibung der Tasten	14
Nützliche Tasten auf der Fernbedienung	16
Der Breitbildmodus	16
Einstellen von PAP	17
Die Taste ID MODE verwenden	18
Zusatzadapter	19

DE

Anschlüsse

Anschließen der Lautsprecher	20
Anschließen des Netzkabels	20
Umgang mit den Kabeln	21

Arbeiten mit den Menüeinstellungen

Übersicht über die Menüs	22
Bild/Ton Einstellungen	23
Bildschirm Einstellungen	26
Grundeinstellungen Einstellungen	29

Netzwerkfunktionen

Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen	33
PC-Betrieb	35

Weitere Informationen

Störungsbehebung	38
Diagramm der Eingangssignale	40
Technische Daten	42
Index	44

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.

Reinigung

Ziehen Sie vor dem Reinigen des Monitors unbedingt das Netzkabel aus der Netzsteckdose.

Reinigen des Monitors

Kratzen Sie nicht mit scharfen Gegenständen über die Bildschirmoberfläche und stoßen Sie nicht mit harten Gegenständen dagegen, um eine Beschädigung zu vermeiden. Die Bildschirmoberfläche ist mit einer Spezialbeschichtung versehen.

Beachten Sie die folgenden Anweisungen, damit sich nicht aufgrund einer fehlerhaften Reinigung die Bildqualität verringert.

- Entfernen Sie Staub von der Bildschirmoberfläche vorsichtig mit einem weichen Tuch. Es empfiehlt sich, ein Brillenreinigungstuch zu verwenden.
- Bei starken Verschmutzungen können Sie die Bildschirmoberfläche mit einem weichen Reinigungstuch, das Sie leicht mit Wasser angefeuchtet haben, abwischen.
- Verwenden Sie auf gar keinen Fall Alkohol, Benzin, Verdüner, säurehaltige oder alkalische Reinigungslösungen, Scheuermittel oder chemisch imprägnierte Reinigungstücher, da diese die Bildschirmoberfläche beschädigen.

Reinigen des Gehäuses

- Wischen Sie Flecken behutsam mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Bei stärkerer Verschmutzung verwenden Sie ein leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und wischen den Bereich anschließend mit einem trockenen, weichen Tuch trocken.
- Verwenden Sie auf keinen Fall Alkohol, Benzin, Verdüner oder Insektizide. Diese könnten die Gehäuseoberfläche angreifen oder die Markierungen davon entfernen.
- Der Bildschirm kann beschädigt werden, wenn Sie mit einem verschmutzten Tuch darüber wischen.
- Legen Sie nicht für längere Zeit Gummi- oder Kunststoffgegenstände auf dem Gerät ab. Andernfalls kann es zu Veränderungen kommen und die Schutzschicht kann sich lösen.

Der LCD-Bildschirm

- Wenn der LCD-Bildschirm lange Zeit auf die Sonne weist, führt dies zu Beschädigungen. Beachten Sie dies, wenn Sie das Gerät im Freien oder an einem Fenster aufstellen.
- Drücken Sie nicht zu stark auf den LCD-Bildschirm und zerkratzen Sie ihn nicht. Stellen Sie keine Gegenstände auf den Bildschirm. Andernfalls kann es zu Funktionsstörungen des Monitors oder einer Beschädigung des LCD-Bildschirms kommen.
- Auf dem Bildschirm sind möglicherweise horizontale Streifen oder Nachbilder zu sehen. In kalter Umgebung ist der Bildschirm außerdem möglicherweise dunkler als üblich. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion des Bildschirms. Der Bildschirm arbeitet wieder normal, wenn die Umgebungstemperatur ansteigt.
- Wenn ein Standbild längere Zeit angezeigt wird, kann es einbrennen, so dass Nachbilder zu sehen sind. Ein Nachbild verschwindet im Laufe der Zeit. Wenn Geisterbilder auftreten, verwenden Sie die Bildschirmschonerfunktion oder eine andere Video- oder Bildsoftware, die eine ständig bewegte Anzeige erzeugt. Wenn die durch das Einbrennen des Bildes entstandenen Nachbilder schwach sind, lassen sie möglicherweise auch wieder nach, doch vollständig verschwinden werden sie nicht.
- Die Bildschirmoberfläche, das Gehäuse oder der Rahmen kann sich während des Betriebs erwärmen. Dies ist keine Fehlfunktion.

Helle und dunkle Punkte auf dem LCD-Bildschirm

Der LCD-Bildschirm wird in Hochtechnologie hergestellt, die eine effektive Auflösung von mindestens 99,99% bietet. Trotzdem sind möglicherweise schwarze Punkte (defekte Pixel) oder helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün usw.) permanent auf dem Bildschirm zu sehen. Solche Pixelfehler können bei LCD-Bildschirmen herstellungsbedingt auftreten. Auch nach längerer Gebrauchsdauer des Geräts kann es zu solchen Fehlern kommen.

Bei diesen Phänomenen handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion des Bildschirms.

Aufstellung

- Bestätigen Sie vor dem Betrieb immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich

viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.

- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu Problemen wie Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen kommen.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg.

Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Über die Abbildungen

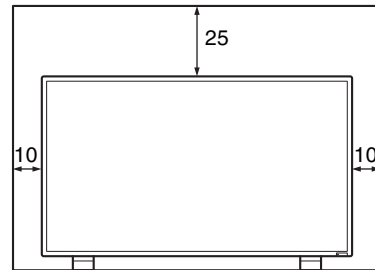
Die Abbildungen in der Anzeige der Bedienungsanleitung zeigen das Modell FWD-S46H2.

Empfehlungen zur Installation

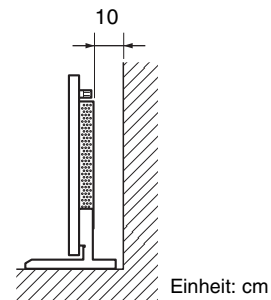
Lassen Sie um den Monitor herum viel Platz

- Um einen internen Wärmestau durch Zustellen des Monitors zu verhindern, achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, indem Sie mindestens so viel Platz wie in der Abbildung unten dargestellt um den Monitor herum frei lassen.
- Die Umgebungstemperatur muss zwischen 0 °C und 40 °C betragen. Seien Sie vorsichtig, wenn Sie den Monitor nahe an der Decke montieren. Die Temperatur kann dort sehr viel höher sein als die normale Raumtemperatur weiter unten.
- Verwenden Sie ausschließlich den Tischständer SU-S02 (nicht mitgeliefert), wenn Sie das Gerät aufstellen wollen. Zum Befestigungsverfahren siehe Installationsanleitung des Tischständers.
- Wenden Sie sich für die Installation der Wandbefestigung an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.
- Zu Metallteilen für die Montage wie Halterungen, Schrauben oder Bolzen können wir keine genauen Produktangaben machen. Die Installation ist Aufgabe der autorisierten Händler vor Ort. Wenden Sie sich für die Installation bitte an qualifiziertes Personal von Sony.
- Bei eingeschaltetem Monitor kommt es im Inneren zu einer gewissen Wärmeentwicklung. Dadurch kann es zu Verbrennungen kommen. Berühren Sie den Monitor nicht an der Ober- oder Rückseite, wenn er eingeschaltet ist oder gerade erst in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Aufstellung mithilfe des Tischständers Vorderseite



Seite

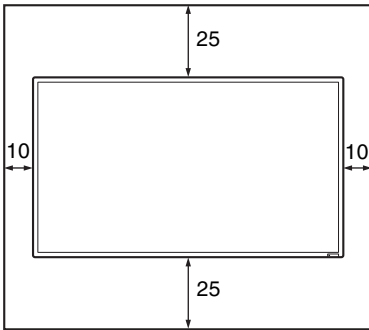


Hinweis

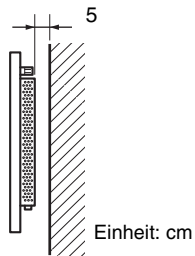
Zum Versetzen oder Montieren des Bildschirms mit angebrachtem Tischständer (nicht mitgeliefert) sind mindestens 2 Personen erforderlich.

Wenn Sie den Monitor horizontal installieren

Vorderseite



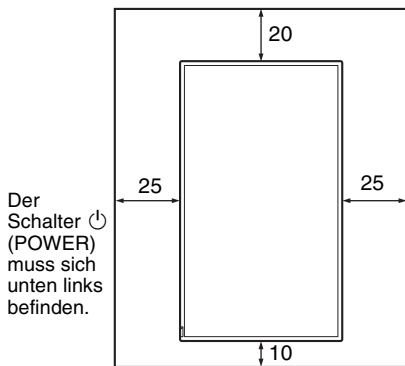
Seite



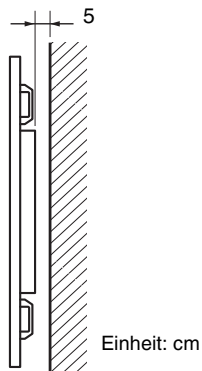
DE

Wenn Sie den Monitor vertikal installieren

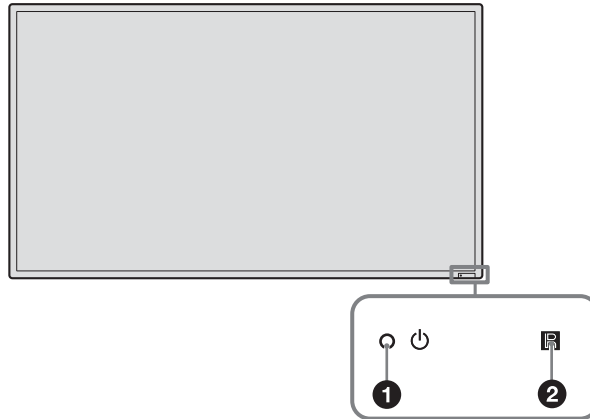
Vorderseite






Seite

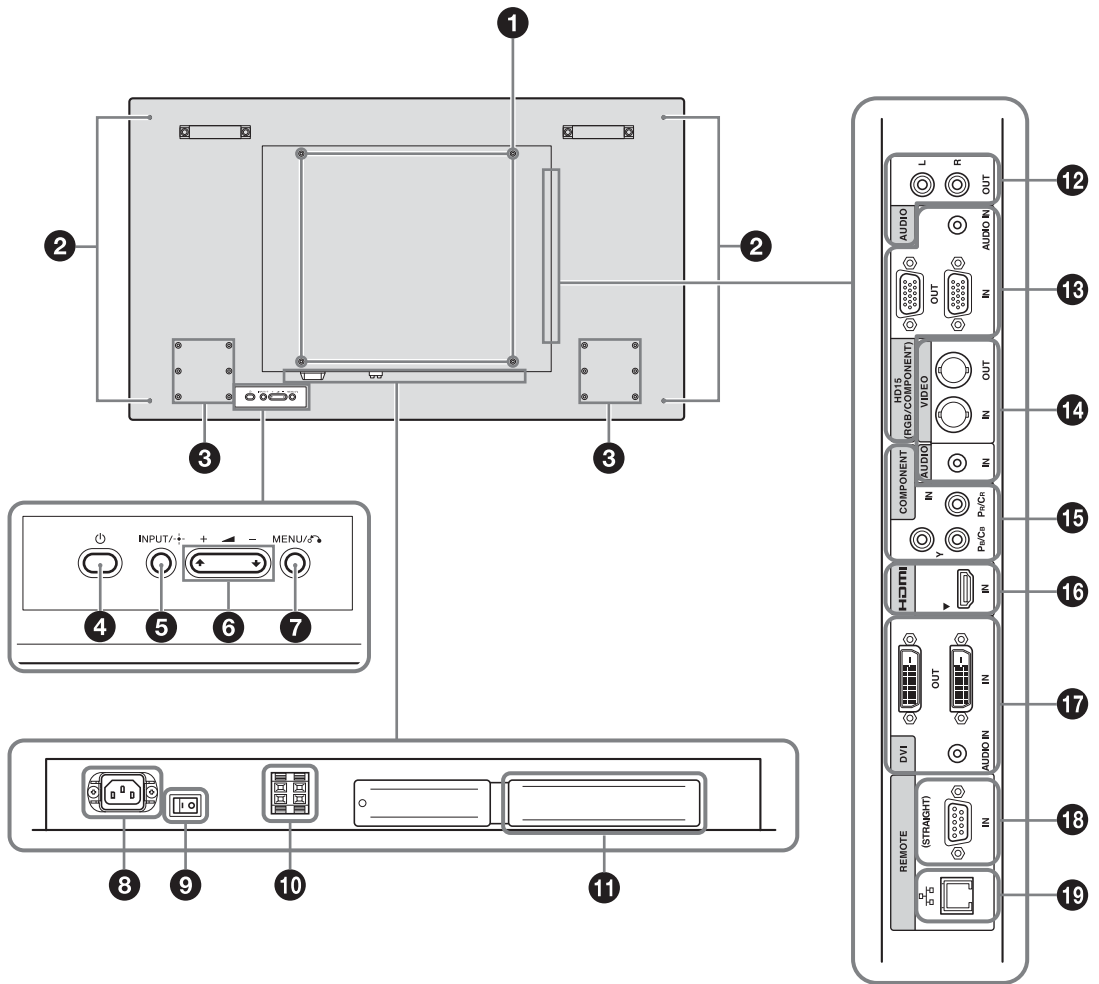


Vorderseite







Teile	Beschreibung
1  (Ein/Bereitschaft)-Anzeige	<ul style="list-style-type: none">• Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist.• Leuchtet rot, wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet. Leuchtet orangefarben, wenn der Monitor in den Energiesparmodus schaltet, während vom PC ein Signal eingeht. Wenn die Anzeige  rot blinkt, schlagen Sie auf Seite 38 nach. <p>Hinweis</p> <p>Wenn die Option „LED“ unter „Multi-Display“ auf „Aus“ gesetzt und für „Position“ etwas anderes als rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige beim Einschalten des Monitors nicht grün, es sei denn, dass kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.</p>
2  Fernbedienungssensor	Fernbedienungssensor-Lichtempfangsteil

Rückseite



DE


Teile	Beschreibung
1 Bohrungen für Montagehalterungsbefestigung	Die Schraubenbohrungen entsprechen der VESA-Norm. (Abstand: 400 mm × 400 mm)
	<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">Hinweis</div> <p>Verwenden Sie Schrauben mit dem richtigen Gewinde und der richtigen Länge, und ziehen Sie sie mit dem richtigen Anzugsmoment fest. Durchmesser des Gewindes: M6 Gewindelänge: 10 mm Anzugsmoment: 20 kgf-cm</p>
2 Lautsprecher-Installationsöffnungen	Zum Anbringen der Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert).
3 Bohrungen für Tischständerbefestigung	Zum Anbringen des Tischständers SU-S02 (nicht mitgeliefert).
4  (POWER)-Taste	Zum Ein- und Ausschalten (Bereitschaftsmodus) des Bildschirms. Betätigen Sie diese Taste, wenn der Hauptnetzschalter auf „ON“ steht (Seite).
5 INPUT/ + (ENTER) - Taste	Zum Auswählen eines Signals, das am INPUT- oder OPTION-Anschluss eingespeist werden soll. Das einzuspeisende Signal wechselt mit jedem Tastendruck auf die Taste INPUT folgendermaßen. <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> → Video → Component → HD15 → DVI → HDMI → OPTION </div> Wenn am OPTION-Anschlussbereich kein Zusatzadapter installiert ist, der Videosignale unterstützt, wird OPTION übersprungen. Zum Bestätigen der Auswahl.
6 +/-/⏮/⏭ (Lautstärke/Menüeintrag-Auswahl)-Taste	Zum Regulieren der Lautsprecherlautstärke. Bei eingeblendetem Menü dienen diese Tasten zum Auswählen des Menüeintrags bzw. zum Einstellen von Werten. Zum Bestätigen der Auswahl.
7 MENU/⏪ (RETURN) - Taste	Zum Aufrufen von Menüs. Zum Zurückschalten zum vorherigen Menübildschirm.

Teile	Beschreibung
8 AC IN Buchse	Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an (Seite 20). Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen und den Hauptnetzschalter eingeschaltet haben, leuchtet die Anzeige  rot und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.
9  / (Hauptnetz)-Schalter	Schalten Sie den Hauptnetzschalter auf „ON“ (drücken Sie die Seite), wenn der Monitor eingerichtet wird. Wenn der Hauptnetzschalter auf „OFF“ gestellt ist (drücken Sie die Seite ), ist die Leistungsaufnahme 0 W.
10 Buchse SPEAKER	Schließen Sie die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) an diese Buchse an. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf Seite 21.
11 OPTION -Anschlussbereich (VIDEO/COM-Anschluss)	Bei Installation eines Zusatzadapters (der BKM-FW-Serie) in diesem Anschlussbereich stehen weitere Monitorfunktionen zur Verfügung (Seite 19).
12 AUDIO OUT (L/R) (Cinchanschluss)	Dies ist die Audio-Monitorausgangsbuchse für externe Geräte. Zum Ausgeben des Tons zu dem Signal, das gerade auf dem Bildschirm angezeigt wird. Das ausgegebene Audiosignal entspricht im Modus Zusatzbild (PinP) dem aktiven* Bild.
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">Hinweise</div>	
<ul style="list-style-type: none"> • Unter „Ton-Modus“ oder „Lautspr.ausgang“ vorgenommene Einstellungen haben keine Wirkung. • Der von der Fernbedienung eingestellte Rauschverminderungsstatus wird nicht reflektiert. 	
13 HD15 (RGB/COMPONENT) (D-Sub, 15-polig)	<p>HD15 (RGB/COMPONENT) IN: Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang eines Videogeräts oder PCs (Seite 43).</p> <p>HD15 (RGB/COMPONENT) OUT: Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignaleingang eines Videogeräts oder PCs (Seite 43). Hier werden die Signale ausgegeben, die über den oben genannten Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT) IN eingespeist werden.</p> <p>AUDIO IN: Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts oder PCs.</p>
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">Hinweise</div>	
<ul style="list-style-type: none"> • Wenn der Monitor nicht an den Netzstrom angeschlossen ist oder sich im Bereitschaftsmodus befindet, wird über HD15 (RGB/COMPONENT) OUT kein Signal ausgegeben. • Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den Pins 13 und 14 einspeisen. Andernfalls wird das Bild möglicherweise nicht einwandfrei angezeigt. 	

* In diesem Status wird Ton ausgegeben und das Eingangssignal kann gewechselt werden.

Teile	Beschreibung
14 VIDEO	<p>VIDEO IN (BNC): Zum Anschließen an den Videosignalausgang eines Videogeräts.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): Zum Anschließen an den Videosignaleingang eines Videogeräts. Über VIDEO IN eingespeiste Bilder werden ausgegeben. Wird ausgegeben, ungeachtet ob die Stromversorgung ein- oder ausgeschaltet ist (einschließlich Bereitschaftsmodus).</p> <p>AUDIO IN (Stereominibuchse): Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.</p>
15 COMPONENT (Cinchanschluss)	<p>COMPONENT (Y P_B/C_B P_R/C_R) IN: Zum Anschließen an den Farbdifferenzsignalausgang eines Videogeräts oder PCs. .</p> <p>AUDIO IN: Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts oder PCs. Verwenden Sie den gleichen Anschluss wie bei 14 VIDEO.</p>
16 HDMI	<p>HDMI IN: Über die HDMI-Schnittstelle (High-Definition Multimedia Interface) können Sie den Monitor an ein HDMI-fähiges Audio-/Videogerät oder einen PC anschließen. So können Sie Videos in verbesserter bzw. HD-Qualität und zweikanaligen Digitalton wiedergeben lassen.</p> <p>Der geeignete Modus für das angeschlossene Audio-/Videogerät bzw. den PC wird automatisch ausgewählt.</p>
	<p>Hinweis</p> <p>Verwenden Sie unbedingt ein HDMI-Kabel (nicht mitgeliefert) mit HDMI-Logo. Wir empfehlen die Verwendung eines Sony HDMI-Kabels (Hgh-Speed-Typ).</p>

HDMI, High-Definition Multimedia Interface und das HDMI Logo sind Markenzeichen oder eingetragene Markenzeichen von HDMI Licensing LLC in den USA und anderen Ländern.

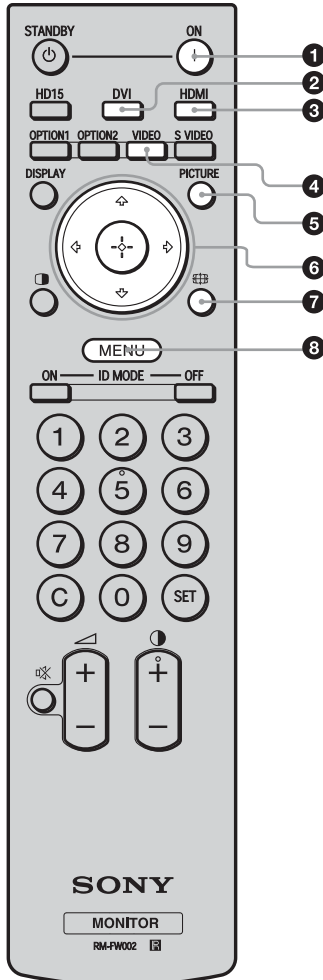
Teile	Beschreibung
17 DVI (DVI-D, 24-polig)	<p>DVI IN: Zum Anschließen an den digitalen Signalausgang eines Videogeräts oder PCs. Unterstützt HDCP als Kopierschutz.</p> <p>DVI OUT: Zum Anschließen an den digitalen DVI-Eingang eines Videogeräts oder PCs. Hier werden die Signale ausgegeben, die über den oben genannten DVI IN-Anschluss eingespeist werden.</p> <p>AUDIO IN: Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts usw.</p>
	<p>Hinweis</p> <p>Wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet oder ausgeschaltet ist, werden keine Signale von DVI OUT ausgegeben.</p>
18 REMOTE (STRAIGHT) (D-Sub, 9-polig)	<p>Mit diesem Anschluss können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.</p>
	<p>Hinweis</p> <p>Wählen Sie „RS-232C“ unter „Netzwerkanschluss“, wenn Sie diesen Anschluss verwenden. (Seite 32)</p>
19 REMOTE () (10BASE-T/100BASE-TX)	<p>Zum Anschließen des Monitors an ein Netzwerk mithilfe eines 10BASE-T/100BASE-TX-LAN-Kabels. Sie können den Monitor vom PC aus über das Netzwerk steuern und ihm diverse Einstellungen zuweisen.</p>
	<p>Vorsicht</p> <p>Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte. Folgen Sie den Anweisungen für diese Buchse.</p>
	<p>Hinweis</p> <p>Wählen Sie „LAN“ unter „Netzwerkanschluss“, wenn Sie diesen Anschluss verwenden. (Seite 32)</p>

Fernbedienung

Hinweis

Die Taste S VIDEO und die Taste OPTION2 können Sie bei diesem Monitor nicht verwenden.

Beschreibung der Tasten



1 ON (Einschalten)-Taste

Zum Einschalten des Monitors.
Betätigen Sie diese Taste, wenn der Hauptnetzschalter an der Rückseite des Monitors auf „ON“ steht.

2 DVI Taste

Zum Auswählen des Signals, das am DVI-Anschluss eingespeist wird.

3 HDMI Taste

Zum Auswählen des Signals von einem Videogerät, das am Anschluss HDMI IN eingespeist wird.

4 VIDEO Taste

Drücken Sie diese Taste zum Umschalten zwischen Eingangssignalen von VIDEO IN und von COMPONENT IN

5 PICTURE-Taste

Zum Auswählen von „Bild-Modus“. Mit jedem Tastendruck wird zwischen „Brilliant“, „Standard“, „Anwender“, „Konferenz“ und „TC Control“ gewechselt.

6 Tasten $\leftarrow/\rightarrow/\leftrightarrow/\oplus$

Drücken Sie die Tasten $\leftarrow/\rightarrow/\leftrightarrow$ zum Verschieben des gewählten Menüeintrags und zum Einstellen der Werte.

Durch Drücken von \oplus werden das gewählte Menü oder die Optionen eingestellt.

Bei Anzeige von Zusatzbild (PinP) können Sie die Einstellungen des Zusatzbildes (Seite 17) ändern.

7 \square Taste

Zum Wechseln des Bildformats (Seite 16).

8 MENU Taste

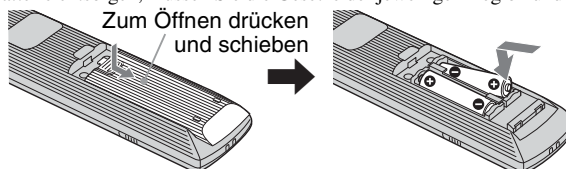
Drücken Sie diese Taste, um das Menü am Bildschirm anzuzeigen.
Drücken Sie zum Ausblenden des Menüs die Taste erneut (Seite 22).

Hinweise

- Die Tasten 5 und \ominus sind mit einem fühlbaren Punkt gekennzeichnet. Verwenden Sie den fühlbaren Punkt als Anhaltspunkt beim Bedienen des Monitors.
- Legen Sie zwei R6-Batterien der Größe AA (mitgeliefert) polaritätsrichtig in das Batteriefach der Fernbedienung ein: Plus- und Minus-Pol der Batterien müssen den Markierungen \oplus und \ominus im Batteriefach entsprechen.

Vorsicht

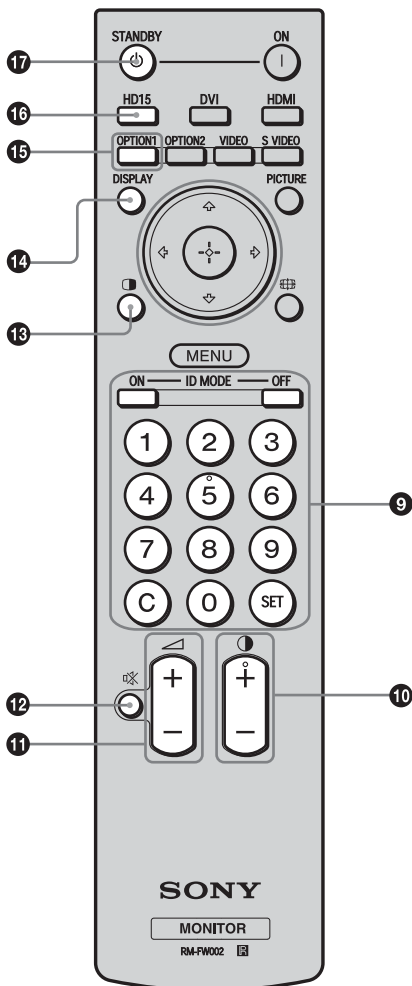
Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen. Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.



Einsetzen von Batterien

Zwei R6-Batterien der Größe AA werden für die Fernbedienung RM-FW002 mitgeliefert.

Verwenden Sie R6-Mangan- oder -Alkalibatterien der Größe AA. Andernfalls besteht Explosionsgefahr.



9 ID MODE Tasten (ON/0-9/SET/C/OFF)

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, indem Sie die „Indexnummer“ des betreffenden Monitors eingeben, ohne die anderen zu beeinflussen.

- Taste ON: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ am Bildschirm anzuzeigen.
- Taste 0-9: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ des zu bedienenden Monitors einzugeben.
- Taste SET: Drücken Sie diese Taste, um die eingegebene „Indexnummer“ zu bestätigen.
- Taste C: Drücken Sie diese Taste, um die eingegebene „Indexnummer“ zu löschen.
- Taste OFF: Drücken Sie diese Taste, um in den normalen Modus zurückzuschalten (Seite 18).

10 Taste +/-

Zum Einstellen des Bildkontrasts.

11 Taste +/-

Zum Einstellen der Lautstärke.

12 Taste

Zum Stummschalten des Tons. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie den Ton wieder hören wollen.

13 Taste

Drücken Sie diese Taste, um das Display von Einzelbild auf Zusatzbild (PinP) umzuschalten. Drücken Sie zum Anzeigen des Einzelbildes die Taste erneut (Seite 17).

14 DISPLAY Taste

Zum Anzeigen des ausgewählten Eingangs, des Eingangssignaltyps und der Einstellung für „Seitenverhältnis“ auf dem Bildschirm. Drücken Sie zum Ausblenden der Informationen die Taste erneut. Wenn die angezeigten Informationen kurze Zeit angezeigt werden, ohne dass Sie eine Funktion ausführen, werden sie automatisch wieder ausgeblendet.

15 OPTION1 Taste

Wenn ein Zusatzadapter installiert ist, wählen Sie hiermit das Signal von dem an den Zusatzadapter angeschlossenen Gerät aus. Wenn der installierte Zusatzadapter über mehrere Eingänge verfügt, wird mit jedem Tastendruck zwischen den Eingangssignalen gewechselt.

16 HD15 Taste

Zum Auswählen des Eingangssignals am Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT). Das RGB- oder Farbdifferenzsignal wird je nach den Menüeinstellungen automatisch oder manuell ausgewählt.

17 STANDBY Taste

Mit dieser Taste wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

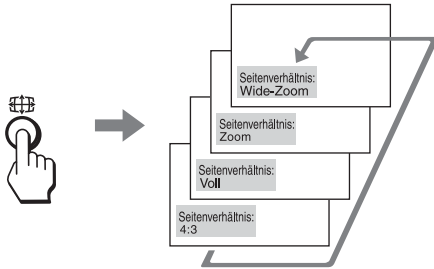
Nützliche Tasten auf der Fernbedienung

Der Breitbildmodus

Sie können für die Anzeige am Bildschirm das Bildformat ändern.

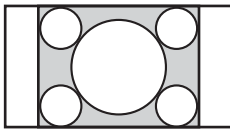
Tip

Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „Seitenverhältnis“ unter „Bildschirm“ vornehmen (Seite 28).

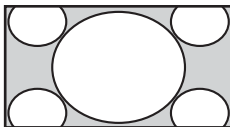


Bei Eingangssignalen von Videogeräten, DVD-Geräten usw. (außer bei einem PC als Eingangsquelle)

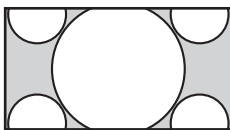
4:3-Originalbildquelle



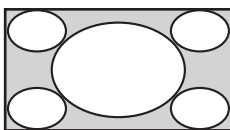
Wide-Zoom



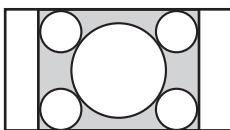
Zoom



Voll



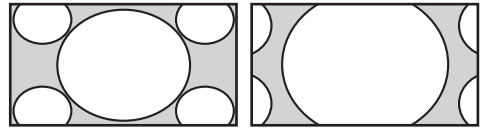
4:3



16:9-Originalbildquelle



Wide-Zoom



Zoom



Voll



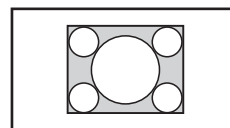
4:3



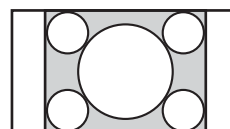
Bei einem PC als Eingangsquelle

Die Abbildungen unten zeigen eine Eingangssignalaufösung von 800x600.

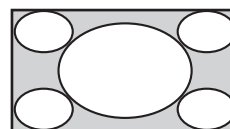
Original



Voll 1



Voll 2



Hinweis

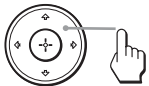
Wenn die Eingangssignalaufösung höher ist als die Bildschirmaufösung (1920x1080), sieht die Anzeige bei „Original“ genauso aus wie bei „Voll 1“.

Einstellen von PAP

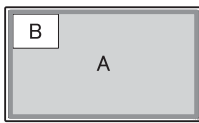
Das Zusatzbild wird im Hauptbild angezeigt. Sie können die Position und Größe des Zusatzbildes ändern. Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „PAP einstellen“ unter „Bildschirm“ vornehmen (Seite 26). Verwenden Sie einen anderen Videoeingang als VIDEO IN zur Anzeige von Zusatzbild (PinP).

Hinweis

Ein FBAS-Signal vom Anschluss VIDEO IN unterstützt nicht PinP.

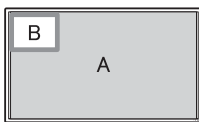


Cursor zeigt aktives Bild an



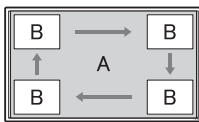
Das Zusatzbild (B) wird im Hauptbild (A) angezeigt.

↓ Drücken Sie die Taste \leftarrow/\rightarrow .



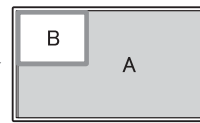
Das Zusatzbild (B) wird zum aktiven Bild.

↓ Drücken Sie die Taste \oplus .



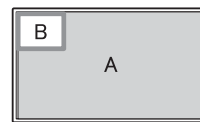
Die Position des Zusatzbildes (B) ändert sich.

Drücken Sie die Taste \updownarrow .



Das Zusatzbild (B) wird größer.

↓ Drücken Sie die Taste \downarrow .



Das Zusatzbild (B) wird kleiner.

Tipps

- Der Cursor, der das aktive Bild kennzeichnet, wird nach 5 Sekunden ausgeblendet.
- 2 Größen von Zusatzbildern können gewählt werden.

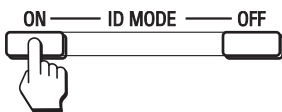
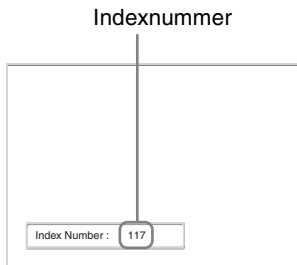
DE

Die Taste ID MODE verwenden

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, indem Sie die „Indexnummer“ des betreffenden Monitors eingeben, ohne die anderen zu beeinflussen.

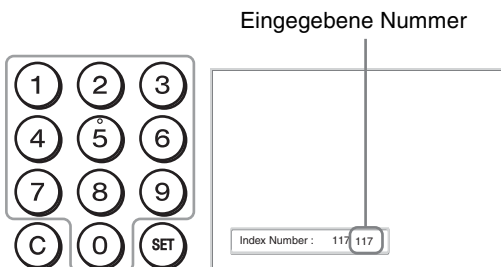
1 Drücken Sie die Taste **ON**.

Die „Indexnummer“ des Monitors erscheint in Schwarz im Bildschirmmenü unten links. (Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene „Indexnummer“ zwischen 1 und 255 zugeordnet.)



2 Geben Sie mit den Tasten 0 - 9 auf der Fernbedienung die „Indexnummer“ des Monitors ein, den Sie steuern wollen.

Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der „Indexnummer“ des jeweiligen Monitors.



3 Drücken Sie die Taste **SET**.

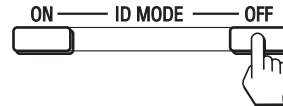
Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun grün angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.



Sie können nun ausschließlich den Monitor mit den grün angezeigten Zeichen bedienen. Nur die Taste ON (Einschalten) und die Taste STANDBY/ID MODE-OFF funktionieren auch noch bei den anderen Monitoren.

4 Nachdem Sie alle gewünschten Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste **OFF**.

Auf dem Bildschirm erscheint wieder die normale Anzeige.



So korrigieren Sie die Indexnummer

Löschen Sie zunächst mit der Taste **C** die aktuelle „Indexnummer“. Geben Sie nun, wie in Schritt 2 erläutert, eine neue „Indexnummer“ ein.



Tip

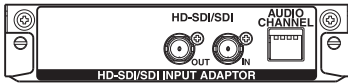
Wie Sie die „Indexnummer“ des Monitors ändern, erfahren Sie unter „Indexnummer“ in „Steuerung einst.“ auf Seite 29.

Zusatzadapter

Beim OPTION-Anschlussbereich ① (Seite 11) unten an der Rückseite des Monitors handelt es sich um einen Steckplatz. Sie können dort die folgenden Zusatzadapter (nicht mitgeliefert) installieren. Näheres zur Installation erfahren Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Detaillierte Erläuterungen zu den Zusatzadaptern zur Systemerweiterung finden Sie in der jeweiligen Bedienungsanleitung zusätzlich zu dieser Anleitung.

HD-SDI/SDI EINGANGS-Adapter BKM-FW16



Zum Anschließen an den HD-SDI-Signalausgang eines Videogeräts.

Vorbereitungen

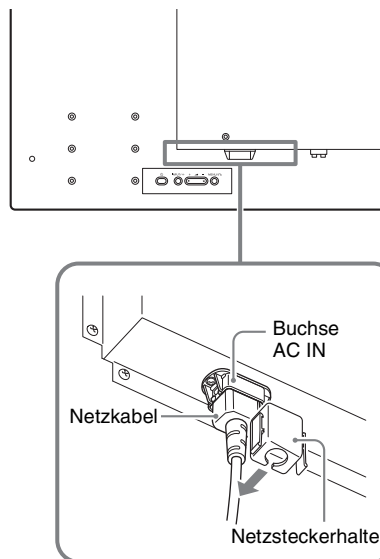
- Achten Sie darauf, dass alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Schließen Sie die Kabel an, indem Sie die Stecker ganz in die Buchsen stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie bitte auch in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), damit der Netzstecker sicher hält.

Anschließen der Lautsprecher

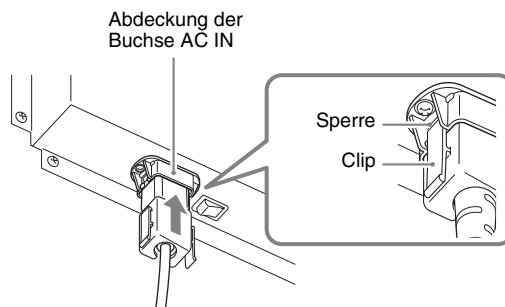
Schließen Sie die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) an. Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf Seite 21.

Anschließen des Netzkabels

- 1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



- 2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.



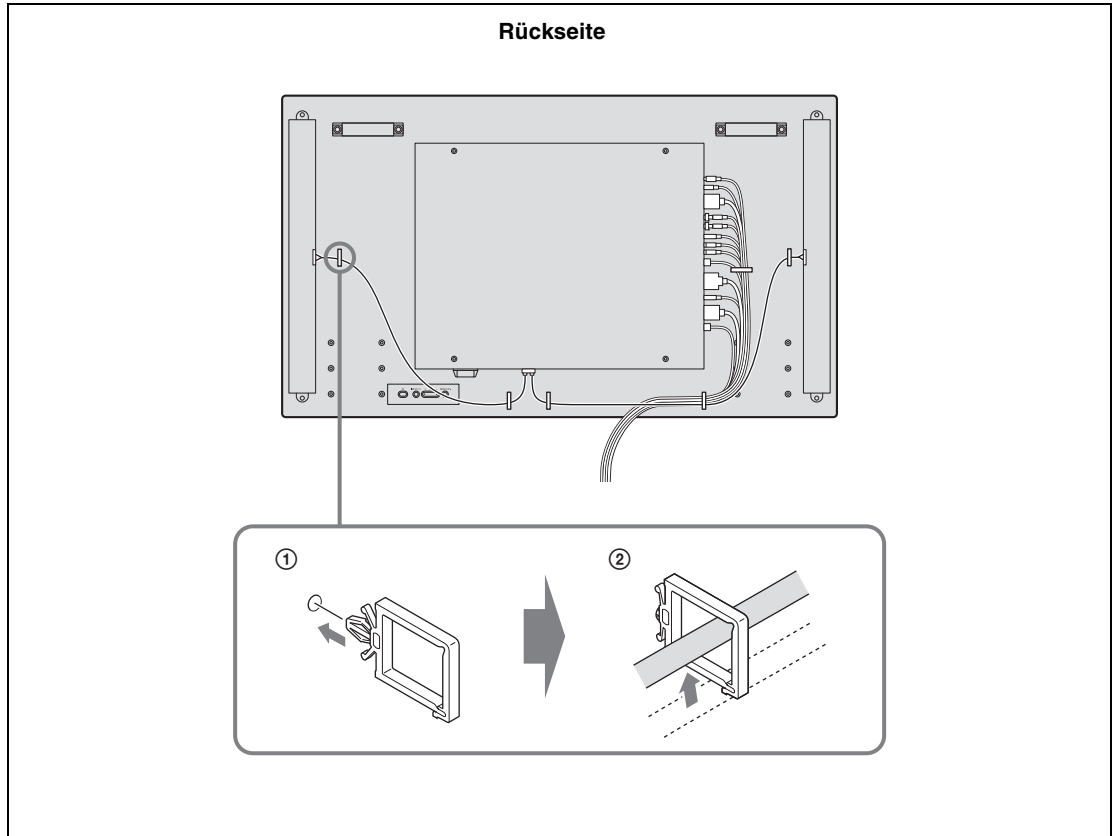
So nehmen Sie das Netzkabel ab

Lösen Sie die Clips des Netzsteckerhalters aus der Sperre der AC IN Buchsenabdeckung und ziehen Sie dann das Netzkabel am Stecker heraus.

Umgang mit den Kabeln

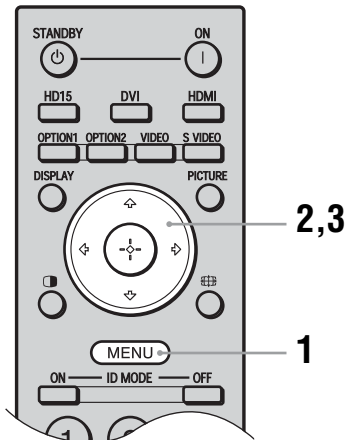
Anbringen der Kabelhalter

Die Kabel lassen sich mit den mitgelieferten Kabelhaltern (×6) ideal bündeln. Bringen Sie die Kabelhalter wie in der Abbildung unten dargestellt an.



DE

Übersicht über die Menüs



- 1** Drücken Sie die Taste MENU.
- 2** Heben Sie mit der Taste \uparrow/\downarrow die gewünschte Menüoption hervor.
- 3** Drücken Sie \leftarrow oder \rightarrow .
Um das Menü auszublenden, drücken Sie erneut die Taste MENU.

So wechseln Sie die Sprache für die Bildschirmanzeigen

Sie können die gewünschte Sprache für die Menüs und Meldungen auf dem Bildschirm auswählen: „English“, „Deutsch“, „Français“, „Español“, „Italiano“ oder „日本語“.
Standardmäßig ist „English“ (Englisch) eingestellt (Seite 29).

Über die Einstellungen in den einzelnen Menüs haben Sie Zugriff auf folgende Funktionen:

Einstellungen

Bild/Ton



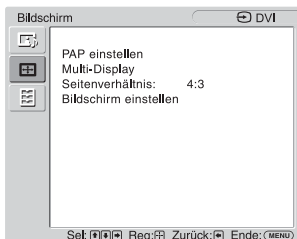
Auswählbare/einstellbare Optionen

Bild-Modus: (Seite 23)
Bildmodus einstellen (Seiten 23, 24, 25)
Ton-Modus: (Seite 25)
Tonmodus einstellen (Seite 25)

Hinweis

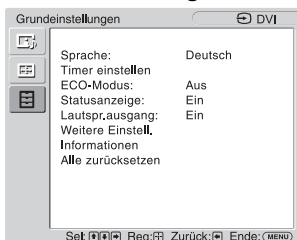
Sie können nicht „Bild-Modus“ oder „Bildmodus einstellen“ einstellen oder ändern, wenn kein Signal anliegt.

Bildschirm



PAP einstellen (Seite 26)
Multi-Display (Seite 27)
Seitenverhältnis: (Seite 28)
Bildschirm einstellen (Seite 28)

Grundeinstellungen



Sprache: (Seite 29)
Timer einstellen (Seite 29)
ECO-Modus: (Seite 29)
Statusanzeige: (Seite 29)
Lautspr.ausgang: (Seite 29)
Weitere Einstell. (Seiten 29, 30, 31, 32)
Informationen (Seite 32)
Alle zurücksetzen (Seite 32)

* Je nach den Einstellungen stehen die Menüsymbole unten am Bildschirm unter Umständen nicht zur Verfügung.

Bild/Ton Einstellungen

Einzelheiten zur Einstellmethode finden Sie unter „Übersicht über die Menüs“ (Seite 22).

*: Nicht bei PC-Eingabe gewählt.

Menü	Funktion und Bedienung	
Bild-Modus	Sie können eine Bildqualität entsprechend dem Bildtyp und der Umgebungshelligkeit wählen. Tipp Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Bild-Modus“ können Sie stattdessen auch PICTURE (Seite 14) auf der Fernbedienung verwenden.	
Brilliant	Verbessert die Bildschärfe und maximiert den Kontrast.	
Standard	Flache Einstellung.	
Anwender	Für detailliertere Einstellungen.	
Konferenz	Zum Einstellen der Bildqualität für Videokonferenzen im Licht von Leuchtstoffröhren. Hinweis „Konferenz“ ist je nach der Umgebung bei der Verwendung oder dem verwendeten Videokonferenzsystem möglicherweise nicht wirksam. Stellen Sie in diesem Fall das Bild mit „Bildmodus einstellen“ (Seite 23) ein, oder schalten Sie auf eine andere „Bild-Modus“-Einstellung als „Konferenz“ um.	
TC Control	Gewählt, wenn „True Color Control“ (Seite 25) eingestellt ist. Wenn Sie nicht „True Color Control“ einstellen, ist das angezeigte Bild für „TC Control“ das gleiche wie für „Brilliant“. Hinweis Wenn Sie „TC Control“ wählen, ist „Helligkeit erhöhen“ (Seite 24) auf „Aus“ gestellt.	
Bildmodus einstellen	Sie können die Bildqualität für jedes „Bild-Modus“ detaillierter einstellen. Sie können einzelne Optionen von „Bildmodus einstellen“ nicht justieren, je nachdem welcher „Bild-Modus“ gewählt ist. Hinweis Bei der PC-Eingabe können Sie nicht „Chrominanz“, „Phase“, „Bildschärfe“, „Rauschvermind.“ oder „CineMotion“ einstellen.	
Ht. Grd. Licht	Zum Einstellen der Helligkeit auf dem LCD-Bildschirm.	
Kontrast	Zum Verstärken oder Abschwächen des Kontrastes.	
Helligkeit	Zum Einstellen der Bildhelligkeit.	
Chrominanz *	Zum Einstellen der Farbintensität.	
Phase *	Zum Einstellen der Farbtöne des Bildes. Hinweis „Phase“ ist verfügbar, wenn das Farbsystem des Videosignals NTSC ist.	
Bildschärfe *	Zum Verstärken oder Abschwächen der Bildschärfe.	
Rauschvermind. *	Zum Verringern von Rauschen von angeschlossenen Geräten. Höhere Einstellungen sind wirksam, wenn ein hoher Rauschpegel vorhanden ist.	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>Aus/Niedrig/Mittel/ Hoch</td> </tr> </table>	Aus/Niedrig/Mittel/ Hoch	
Aus/Niedrig/Mittel/ Hoch		

DE

Menü		Funktion und Bedienung							
Bildmodus einstellen	CineMotion *	<p>Sie haben die Wahl zwischen „Automatisch“ und „Aus“. Wenn Sie „Automatisch“ wählen, optimiert das Gerät automatisch die Bildschirmanzeige durch Erkennen des Bildinhalts und indem es einen umgekehrten 3-2- oder 2-2-Pull-Down-Prozess durchführt. Dadurch verbessert sich die Bildschärfe, und das Bild wirkt natürlicher.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Die Einstellung von „CineMotion“ ist ungültig, wenn das Zusatzbild (PinP) angezeigt wird. • „CineMotion“ wird möglicherweise nicht richtig verarbeitet, je nach dem Eingangssignalmuster. 							
	Dynamisch. Bild	<p>Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Bei „Ein“ wird der Kontrast verstärkt, indem Weiß heller und Schwarz dunkler eingestellt wird.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sie können nur „Dynamisch. Bild“ einstellen, wenn ein FBAS-Signal von VIDEO IN eingespeist wird. • Sie können nicht „Dynamisch. Bild“ einstellen, wenn „Bild-Modus“ auf „Konferenz“ oder „TC Control“ gesetzt ist. 							
	Gamma-Korrektur	<p>Sorgt für einen Ausgleich zwischen den hellen und dunklen Bildbereichen. Höhere Einstellungen haben eine größere Gammakorrektur.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sie können nicht „Gamma-Korrektur“ einstellen, wenn „Bild-Modus“ auf „Konferenz“ gesetzt ist. • „DICOM GSDF Sim.“ ist die Gamma-Einstellung basierend auf der „Grayscale Standard Display Function“ (GSDF) der Norm „Digital Imaging and Communications in Medicine“ (DICOM). Diese Einstellung dient nur zur Bezugnahme und kann nicht für medizinische Diagnose verwendet werden. 							
	Hoch/Mittel/Niedrig/ DICOM GSDF Sim.								
	Farbtemperatur	<p>Der Weißton kann nach Wunsch eingestellt werden. Bei Lieferung ab Werk sind die Standardeinstellungen eingestellt.</p> <p>Tipp</p> <p>Zum Wiederherstellen der Standardeinstellungen wählen Sie „Zurücksetzen“ auf dem Bildschirm zum Einstellen der Farbtöne.</p>							
<table border="1"> <tr> <td>Kalt</td> <td>Gibt weißen Farben einen blauen Stich.</td> </tr> <tr> <td>Neutral</td> <td>Gibt weißen Farben einen neutralen Stich.</td> </tr> <tr> <td>Warm</td> <td>Gibt weißen Farben einen roten Stich.</td> </tr> <tr> <td>Anwender</td> <td>Erlaubt einen breiteren Bereich von Weißtönen zur Einstellung als oben.</td> </tr> </table>	Kalt	Gibt weißen Farben einen blauen Stich.	Neutral	Gibt weißen Farben einen neutralen Stich.	Warm	Gibt weißen Farben einen roten Stich.	Anwender	Erlaubt einen breiteren Bereich von Weißtönen zur Einstellung als oben.	
Kalt	Gibt weißen Farben einen blauen Stich.								
Neutral	Gibt weißen Farben einen neutralen Stich.								
Warm	Gibt weißen Farben einen roten Stich.								
Anwender	Erlaubt einen breiteren Bereich von Weißtönen zur Einstellung als oben.								
Helligkeit erhöhen	<p>Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, wird die Bildqualität angepasst, um Helligkeit zu betonen.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sie können „Helligkeit erhöhen“ einstellen, wenn „Bild-Modus“ auf „Brilliant“ gesetzt ist. • Wenn „Helligkeit erhöhen“ auf „Ein“ gesetzt ist, können Sie nicht die Einstellungen „Ht. Grd. Licht“, „Kontrast“, „Helligkeit“ oder „Farbtemperatur“ anpassen. • Wenn „Helligkeit erhöhen“ auf „Ein“ gesetzt ist, während „Ht. Grd. Licht“ auf „Max“ und „ECO-Modus“ auf „Aus“ gesetzt ist, ist die Helligkeit auf Maximum eingestellt. 								






Menü		Funktion und Bedienung
Bildmodus einstellen	True Color Control	<p>Sie können die „Farbton“ und „Sättigung“ von 4 Farben, „Rot“, „Grün“, „Gelb“ und „Blau“ einstellen, um bestimmte Farben eines Bildes hervorzuheben. Wählen Sie die einzustellende Farbe aus und sehen Sie, welcher Teil des aktuellen Bildes eingestellt wird. Sie können sie dann mit dem Matrixdialogfeld einstellen.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • „True Color Control“ kann eingestellt werden, wenn „Bild-Modus“ auf „TC Control“ gesetzt ist. • Sie können nicht „True Color Control“ einstellen, wenn das Zusatzbild (PinP) angezeigt wird. • Die Einstellungen von „True Color Control“ können ungültig sein, wenn das Zusatzbild (PinP) angezeigt wird.
	Zurücksetzen	Sie haben die Wahl zwischen „Abbrechen“ und „OK“. Wenn Sie „OK“ wählen, werden alle Einstellungen von „Bildmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen zurückgesetzt.
Ton-Modus		Unter „Ton-Modus“ können Sie verschiedene Einstellungen für den über die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) ausgegebenen Ton vornehmen.
	Dynamisch	Verstärkt Höhen und Tiefen.
	Standard	Flache Einstellung.
	Anwender	Für detailliertere Einstellung.
Tonmodus einstellen		<p>Sie können den Klangton detailliert einstellen.</p> <p>Tipp Sie können „Höhen“ und „Tiefen“ einstellen, wenn „Ton-Modus“ auf „Anwender“ gesetzt ist.</p>
	Höhen	Zum Verstärken oder Abschwächen der Höhen.
	Tiefen	Zum Verstärken oder Abschwächen der Tiefen.
	Balance	Stellt die linke/rechte Lautsprecherbalance ein.
	Raumklang	Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.
	Aus	Es wird kein Raumklang ausgegeben.
	Saal	Wenn Sie einen reicheren Stereoklang von Filmen oder Musikprogrammen erzielen möchten.
	Zurücksetzen	Sie haben die Wahl zwischen „Abbrechen“ und „OK“. Wenn Sie „OK“ wählen, werden alle Einstellungen von „Tonmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen zurückgesetzt.

Bildschirm Einstellungen

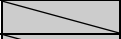
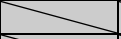
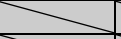
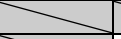
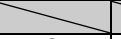
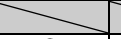
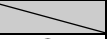
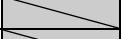
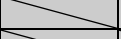
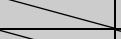
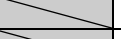
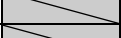
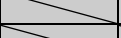
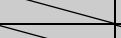
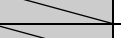
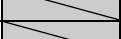


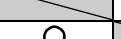
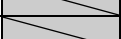
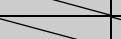
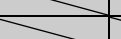
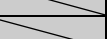
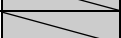
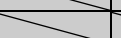
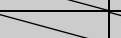
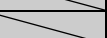




Einzelheiten zur Einstellmethode finden Sie unter „Übersicht über die Menüs“ (Seite 22).


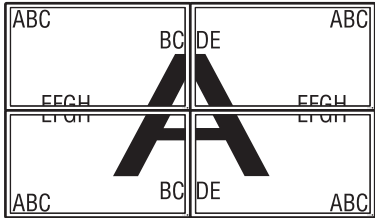
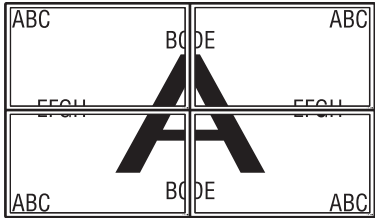

Hinweis


Wenn kein Signal ausgegeben, können „Seitenverhältnis“ und „Bildschirm einstellen“ nicht eingestellt werden.

Menü	Funktion und Bedienung
PAP einstellen	Zeigt zwei Typen von Videoeingangssignal gleichzeitig an. Einzelheiten dazu finden Sie unter Seite 17.
PAP	Sie haben die Wahl zwischen „Aus“ und „PinP“. Wählen Sie „PinP“ zum Anzeigen eines Zusatzbildes im Hauptbild.
Aktives Bild	Zum Auswählen des zu steuernden Bildschirms.
Haupt	Aktiviert das Hauptbild, um Funktionen daran auszuführen.
Zusatzbild	Aktiviert das Zusatzbild, um Funktionen daran auszuführen.
Tauschen	Zum Vertauschen des Haupt- und des Zusatzbildes.
Bildgröße	Zum Wählen der Größe des Zusatzbildes. Sie haben die Wahl zwischen „Groß“ und „Klein“.
Bildposition	Stellen Sie die Position des Zusatzbildes mit  /  /  /  ein und drücken Sie dann  .

Verfügbare Kombinationen für PinP

		Video	COMPONENT	HD15		DVI	HDMI	OPTION
				RGB	YUV			HDSI
Video								
COMPONENT						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
HD15	RGB					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	YUV					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DVI			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
HDMI			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
OPTION	HD SDI		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

Menü	Funktion und Bedienung
Multi-Display	<p>Zum Vornehmen der nötigen Einstellungen, wenn eine Videowand aus mehreren Monitoren zusammengestellt werden soll.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sie können nicht „Multi-Display“ einstellen, wenn das Zusatzbild (PinP) angezeigt wird. • Während der Videoeingabe zeigt „Multi-Display“ ein Bild an, das so nahe wie möglich an der aktuellen „Seitenverhältnis“-Einstellung ist. Aber bei der PC-Eingabe wird es mit Einstellung von „Seitenverhältnis“ auf „Voll 2“ angezeigt. • Wenn als „Position“ rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige  auch dann, wenn die Option „LED“ auf „Aus“ gesetzt ist. Die Anzeige leuchtet auch, wenn der Monitor ausgeschaltet (im Bereitschaftsmodus) ist, Fehler erkannt werden oder sich das Gerät im Energiesparmodus befindet, ebenso wenn kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.
Multi-Display	Einstellungen für eine Videowand vornehmen.
Aus	Es wird nur ein einziger Monitor verwendet.
2×2 3×3 4×4	Einstellungen zum Anschluss von 2, 3 oder 4 Monitoren vertikal und horizontal.
1×2 1×3 1×4	Einstellungen zum Anschluss von 2, 3 oder 4 Monitoren horizontal.
2×1 3×1 4×1	Einstellungen zum Anschluss von 2, 3 oder 4 Monitoren vertikal.
Position	Einstellungen für die Bildschirmposition jedes Monitors.
Ausgabeformat	Sie können ein Bildausgabeformat wählen. Die Bildposition wird automatisch angepasst, und Sie können eine geeignete Bildausgabe erzielen.
Fliesen	<p>Das gesamte Bildsignal erscheint auf den einzelnen Bildschirmen.</p> 
Fenster	<p>Zeigt das bild Bild als ein einziges, großes Bild. Ein Teil des Bildsignals verschwindet hinter den Blenden.</p> 
LED	Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, wird die Anzeige  an der Vorderseite (Seite 8) automatisch eingeschaltet.

Menü	Funktion und Bedienung
Seitenverhältnis	<p>Zum Wechseln des Bildseitenverhältnisses. Einzelheiten dazu finden Sie unter Seite 16.</p> <p>Tipps</p> <ul style="list-style-type: none"> • Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Seitenverhältnis“ können Sie stattdessen auch die Taste  auf der Fernbedienung verwenden. • Wählen Sie „Zoom“, wenn Sie Filme und andere DVD-Inhalte mit schwarzen Balken so anzeigen lassen wollen, dass sie den gesamten Anzeigebereich auf dem Bildschirm für Videoeingang füllen. <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Im Modus Zusatzbild (PinP) kann das Bildseitenverhältnis nicht gewechselt werden. Das Bild wird in dem Bildseitenverhältnis angezeigt, das zuletzt vor dem Umschalten auf PinP verwendet wurde. • Sie können nicht „Seitenverhältnis“ einstellen, während die Funktion „Multi-Display“ verwendet wird.
Wide-Zoom *	Das Bild wird vergrößert und füllt den Bildschirm, wobei Verzerrungen auf ein Minimum beschränkt werden.
Zoom *	Vergrößert das Bild und bewahrt das gleiche Bildseitenverhältnis.
Voll *	Vergrößert das Bild horizontal, so dass es den Bildschirm füllt, wenn die Bildquelle 4:3 ist (Standard Definition). Handelt es sich bei der Bildquelle um eine 16:9-Bildquelle (High Definition), so wird das Bild in dem gleichen 16:9-Bildseitenverhältnis angezeigt.
4:3 *	Zeigt alle Bildquellen in einem Bildseitenverhältnis von 4:3 an.
Voll 1 **	Vergrößert das Bild und bewahrt das gleiche Bildseitenverhältnis, so dass es den Bildschirm füllt und das gleiche Bildseitenverhältnis bewahrt. Das Bild wird mit schwarzen Streifen am Rand angezeigt.
Voll 2 **	Vergrößert das Bild, so dass es den Anzeigebereich füllt.
Original **	<p>Zeigt das Bild mit seiner Originalpixelanzahl.</p> <p>Hinweis</p> <p>Wenn die Eingangssignalauflösung höher ist als die Bildschirmauflösung (1920 × 1080), sieht die Anzeige bei „Original“ genauso aus wie bei „Voll 1“.</p>
Bildschirm einstellen	<p>Stellt die Größe und Position des Anzeigebereichs ein.</p> <p>Hinweis</p> <p>„Autom. einstellen“, „Phase“ und „Pitch“ stehen nicht zur Verfügung, wenn das PC-Signal digital mit einem DVI IN oder HDMI IN eingespeist wird.</p>
Autom. einstellen **	<p>Sie haben die Wahl zwischen „Abbrechen“ und „OK“. Wenn Sie „OK“ wählen, passt der Monitor automatisch die Position und Phase des Bildes an, wenn ein angeschlossener PC als Eingangsquelle dient. Beachten Sie bitte, dass „Autom. einstellen“ nicht bei allen Eingangssignalen optimal funktioniert. Stellen Sie die folgenden Optionen in solchen Fällen von Hand ein.</p> <p>Hinweis</p> <p>Zur richtigen Einstellung nehmen Sie die Anpassung vor, während der gesamte Bildschirm ein helles Bild anzeigt.</p>
Phase **	Stellt die Phase ein, falls das Bild flimmert.
Pitch **	Zum Einstellen des Pitch, wenn das Bild unerwünschte vertikale Streifen aufweist.
H. Größe	Zum Einstellen der horizontalen Größe des Bildes.
H. Position	Stellt die Bildposition links und rechts ein.
V. Größe	Zum Einstellen der vertikalen Größe des Bildes.
V. Position	Stellt die Bildposition nach oben/unten ein.
Zurücksetzen	Sie haben die Wahl zwischen „Abbrechen“ und „OK“. Wählen Sie „OK“ zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildschirm einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

☰ Grundeinstellungen Einstellungen

Einzelheiten zur Einstellmethode finden Sie im Abschnitt „Übersicht über die Menüs“ (Seite 22).

Menü	Funktion und Bedienung
Sprache	Wählen Sie unter den angezeigten Spracheinstellungen. Wählen Sie „English“, „Deutsch“, „Français“, „Español“, „Italiano“ oder „日本語“.
Timer einstellen	Mit diesem Menü können Sie die Uhrzeit einstellen, die Uhrzeit anzeigen lassen oder den Timer den Monitor zu einer vorbestimmten Zeit ein/aus schalten lassen. Hinweis Wenn der Hauptnetzschalter auf Aus-Stellung bleibt oder das Netzkabel lange Zeit abgetrennt bleibt, kann die eingebaute Uhr eine falsche Zeit anzeigen. Stellen Sie in diesem Fall die Uhr auf die richtige Zeit ein.
Uhr einstellen	Zum Einstellen von Datum und Uhrzeit.
Datum einst.	Stellt das Datum (Jahr, Monat, Tag) ein. Der Wochentag wird automatisch zugewiesen.
Uhrzeit einst.	Stellt die Zeit ein.
Uhrzeitanzeige	Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, wenn die Taste DISPLAY der Fernbedienung gedrückt wird, wird die aktuell eingestellte Zeit angezeigt.
Ein/Aus-Timer	Zum Einstellen des Datums und der Uhrzeit. Hinweis Diese Option kann nicht verwendet werden, wenn nicht „Timer einstellen“ eingestellt ist.
ECO-Modus	Verringert die Leistungsaufnahme durch Ändern der Helligkeit der Rückbeleuchtung. Durch Wählen von „Hoch“ wird der Stromverbrauch mehr als bei „Niedrig“ verringert.
Aus/Niedrig/Hoch	
Statusanzeige	Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, werden das Eingangssignal und die „Seitenverhältnis“ Einstellinformation etwa 5 Sekunden lang auf Bildschirm angezeigt, wenn der Monitor eingeschaltet wird. Wenn Sie das Eingangssignal umschalten, wird die Eingangssignalinformation etwa 5 Sekunden lang angezeigt. Tipp Sie können das Eingangssignal und die „Seitenverhältnis“-Einstellung durch Drücken der Taste DISPLAY an der Fernbedienung aufrufen.
Lautspr.ausgang	Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, wird Ton von den Lautsprechern ausgegeben.
Weitere Einstell.	Geben Sie detailliertere Einstellungen ein.
Steuerung einst.	Über dieses Menü können Sie die Bedienung des Monitors und die Fernbedienung einstellen.
Indexnummer	Bei Bedarf können Sie die Indexnummer des Monitors ändern. Stellen Sie die Indexnummer mit den Tasten ⏪/⏩ am Monitor ein und drücken Sie zur Bestätigung +. Hinweis Mit der Fernbedienung lässt sich die „Indexnummer“ nicht einstellen.

DE

Menü		Funktion und Bedienung
Weitere Einstell.	Steuerung	Zum Steuern des Monitors von der Fernbedienung oder über den Monitor verwenden. Hinweis Welche Einstellungen Sie auswählen können, hängt bei dieser Option davon ab, ob Sie die Auswahl mit der Fernbedienung oder am Monitor selbst vornehmen. Wenn Sie die Option mit der Taste (+) auf der Fernbedienung einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Fernbed.“ auswählen. Wenn Sie die Option mit der Taste + auf dem Monitor einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Display“ auswählen.
	Display+Fernbed.	Aktiviert Bedienung des Monitors mit den Bedienelementen am Monitor und mit der Fernbedienung.
	Nur Display	Aktiviert Bedienung des Monitors mit den Bedienelementen am Monitor. Sie können nur Tasten am Monitor zur Eingabe dieser Einstellung verwenden.
	Nur Fernbed.	Aktiviert Bedienung des Monitors mit der Fernbedienung. Sie können nur die Fernbedienung zur Eingabe dieser Einstellung verwenden.
Autom. Bildeinst		Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, werden Einstellungen wie Bildgröße und Position für jedes Eingangssignal gespeichert, und die letzten Einstellungen werden automatisch übernommen. Hinweis Die Funktion „Autom. Bildeinst“ arbeitet nur bei RGB-Eingabe.
Auto. ausschalten		Wählen Sie „Ein“ oder „Aus“. Wenn „Ein“ gewählt ist, schaltet das Display automatisch auf Bereitschaftsmodus oder Energiesparmodus, wenn etwa 30 Sekunden lang kein Signal von den DVI-, HDMI-, den HD15 (RGB/COMPONENT)- oder den COMPONENT-Eingängen angelegt wird. Wenn etwa 5 Minuten lang kein Signal vom VIDEO-Anschluss angelegt wird, schaltet das Display automatisch auf Bereitschaftsmodus. Tipps <ul style="list-style-type: none">• Diese Funktion steht zur Verfügung, wenn „Bildschirmschoner“ auf „Aus“ gesetzt ist.• Wenn „DPMS“ auf „Ein“ gestellt ist, können Sie die Einstellungen zum Aktivieren des Energiesparmodus wählen.
DPMS		Wählen Sie „Ein“ oder „Aus“. Wenn „Ein“ gewählt ist, schaltet das Display automatisch auf Energiesparmodus, wenn etwa 30 Sekunden lang kein Signal von den DVI-, den HDMI- oder den HD15 (RGB)-Eingängen angelegt wird. Wenn „Aus“ gewählt ist, schaltet das Display automatisch auf Bereitschaftsmodus, wenn etwa 30 Sekunden lang kein Signal von den DVI-, den HDMI- oder den HD15 (RGB)-Eingängen angelegt wird. Tipps <ul style="list-style-type: none">• Wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet, können Sie ihn mit der Taste ⏻ am Monitor oder der Taste ON auf der Fernbedienung einschalten. Im Energiesparmodus schaltet sich der Monitor automatisch ein, sobald ein Signal eingespeist wird.• Diese Funktion steht zur Verfügung, wenn „Bildschirmschoner“ auf „Aus“ gesetzt ist.• Diese Funktion steht zur Verfügung, wenn „Auto. ausschalten“ auf „Ein“ gesetzt ist.
Overscan		Zum Auswählen, ob Bilder mit Overscan oder Justscan angezeigt werden sollen.
	Automatisch	Bestimmt automatisch, ob es sich um ein DTV-Signal handelt, und führt dann Overscan aus und zeigt das Bild an.
	Ein	Das Bild wird mit Overscan angezeigt.
	Aus	Das Bild wird mit Justscan angezeigt. Hinweis Während das DTV-Signal anliegt, kann ein Bildschirm angezeigt werden wie bei Anliegen eines PC-Signals. Beispiel: 480P → 720 × 480/60

Menü		Funktion und Bedienung
Weitere Einstell.	Sync-Modus	Stellen Sie den Typ des Signaleingangs je nach dem Signal, das an Stift 13 des Anschlusses HD15 (RGB/COMPONENT) IN eingespeist wird, ein (Seite 43). Hinweise <ul style="list-style-type: none"> • „Sync-Modus“ steht nur zur Verfügung, wenn ein analoges RGB-Signal am Anschluss HD15 eingespeist werden. • Für einige Eingänge kann nur „H/Zus. gesetzt“ ausgewählt werden. Speisen Sie in diesem Fall horizontale/vertikale Synchronisationssignale über Stift 13 oder 14 der Anschlüsse ein. • Dieser Monitor unterstützt keine 576/60p-Signale mit dreiwertiger Synchronisation. • Wenn „Video“ in „Sync-Modus“ gewählt ist, können Sie nur die 575/50i- und 480/60i-Signale angepasst werden.
	H/Zus. gesetzt	Stellt einen horizontalen synchronen Signaleingang ein.
	Video	Stellt einen Videosignaleingang ein.
	RGB/YUV	Zum Einstellen des Signaltyps für ein Videogerät oder einen PC, das bzw. der an den Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT) des Monitors angeschlossen ist.
	Automatisch	Stellt automatisch ein, ob ein analoges RGB-Eingangssignal oder eines Farbdifferenzeingangssignal von einem angeschlossenen Gerät anliegt.
	RGB	Einstellen, wenn ein analoges RGB-Eingangssignal von einem angeschlossenen Gerät anliegt.
	YUV	Einstellen, wenn ein Farbdifferenzsignal von einem angeschlossenen Gerät anliegt.
	Farbsystem	Bei „Automatisch“ wird das Farbsystem automatisch ausgewählt. Bei „NTSC“ oder „PAL“ wird das Farbsystem ausgewählt. Hinweis „VIDEO IN“ ist verfügbar, wenn das Eingangssignal von einem Farbsystem-Anschluss anliegt (FBAS-Signal).
	RGB Signal	Stellen Sie ein, ob ein anliegendes 1280 × 720/60, 720 × 480/60 oder 1920 × 1080/60 RGB-Signal als PC-Signal oder als Videosignal angezeigt wird. Wählen Sie „HD15“, „DVI“ oder „HDMI“ entsprechend dem Eingangsanschluss, und wählen Sie dann jeweils „PC“ oder „Video“. Die folgenden Eingänge gelten für jede Einstellung „HD15“, „DVI“ oder „HDMI“. „HD15“: HD15 (RGB/COMPONENT) IN-Anschluss „DVI“: DVI IN-Anschluss „HDMI“: HDMI IN-Anschluss
	HD15/DVI/HDMI	
	Bildschirmschoner	Mit dieser Einstellung können Sie das Einbrennen von Bildern und damit die Nachbilder verhindern, die entstehen können, wenn auf dem Bildschirm lange Zeit dasselbe Standbild angezeigt wird.
	Aus	Zum Deaktivieren der Einstellung „Bildschirmschoner“.
	All White	Ein komplett weißer Bildschirm wird angezeigt. (Stoppt automatisch nach etwa 30 Minuten, und der Monitor schaltet auf Bereitschaftsmodus.)
	Sweep	Ein weißer Streifen läuft über den Bildschirm.
	Bereitschaft	Schaltet einen Bildschirmschoner für die in „Timer einstellen“ im Bereitschaftsbetrieb (Seite 8) eingestellte Zeit ein. (Der Monitor ist beim Bildschirmschonerbetrieb leer.) Wenn die Einstellzeit abgelaufen ist, schaltet der Monitor auf den normalen Bereitschaftszustand zurück.
	Menüposition	Ändert die Ausrichtung des Menübildschirms entsprechend der Installationsausrichtung des Monitors.
	Waagrecht	Horizontale Anzeige des Menübildschirms.
	Hochkant	Vertikale Anzeige des Menübildschirms.

Menü		Funktion und Bedienung
Weitere Einstell.	Netzwerkanschluss	<p>Stellt ein, welche Klemme mit dem PC verbunden ist, wenn der Monitor über den PC ferngesteuert wird.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sie können nicht REMOTE (STRAIGHT) und REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) gleichzeitig verwenden. • Wählen Sie „LAN“, wenn Sie „IP Address Setup“ oder „Speed Setup“ ausführen.
	RS-232C	Wählen, wenn Sie den Monitor und den PC über den REMOTE (STRAIGHT)-Anschluss verbinden.
	LAN	Wählen, wenn Sie den Monitor und den PC über den REMOTE ($\frac{\square}{\square}$)-Anschluss verbinden.
	IP Address Setup	<p>Zum Festlegen einer IP-Adresse für die Kommunikation zwischen dem Anschluss REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) des Monitors und einem über LAN-Kabel angeschlossenen Gerät wie einem PC.</p> <p>Weitere Einzelheiten zum Vornehmen der Einstellungen finden Sie im Abschnitt „Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen“ (Seite 33).</p>
	Speed Setup	<p>Zum Festlegen einer Kommunikationsgeschwindigkeit zwischen dem Anschluss REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) des Monitors und einem über LAN-Kabel angeschlossenen Gerät wie einem PC.</p> <p>Weitere Einzelheiten zum Vornehmen der Einstellungen finden Sie im Abschnitt „Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen“ (Seite 33).</p>
	Einschaltverzöger.	Stellt die Zeit vom Einschalten des Monitors bis zum Aufleuchten ein. Einstellung auf „Aus“ sowie auf 1 bis 120 Sekunden ist möglich. Dadurch wird eine plötzliche Lastschwankung bei Stromversorgungsgeräten verhindert, wenn mehrere Geräte angeschlossen sind.
	HDMI-Steuerung	<p>Wenn Sie mit HDMI-Steuerung kompatible Gerät an den HDMI-Eingang des Monitors anschließen, können die Geräte zusammen gesteuert werden.</p> <p>Hinweis</p> <p>Sie sollten die Fernbedienung verwenden, um den Monitor und angeschlossene Geräte ein-/auszuschalten.</p>
HDMI-Steuerung	<p>Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, arbeitet die HDMI-Gerätesteuerung, und sie kann auf „Autom. Gerät aus“ und „Autom. Monitor ein“ gesetzt werden.</p> <p>Hinweise</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wenn dies nicht funktioniert, können Sie auch die HDMI-Einstellungen am angeschlossenen Gerät einstellen. • Zur Steuerung muss das angeschlossene Gerät auf HDMI-Steuerkompatibilität gesetzt werden, und die HDMI-Gerätesteuerung muss aktiviert werden. • Je nach dem HDMI-Gerät kann dies möglicherweise in manchen Fällen nicht zusammen mit diesem Gerät arbeiten. 	
Autom. Gerät aus	Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, werden beim Ausschalten des Monitors die angeschlossenen HDMI-Geräte ebenfalls ausgeschaltet.	
Autom. Monitor ein	Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ und „Aus“. Wenn Sie „Ein“ wählen, wird bei Wiedergabe vom angeschlossenen HDMI-Gerät oder einer anderen Bedienung der Monitor ebenfalls eingeschaltet.	
Informationen		Zeigt „Datum“, „Modellname“, „Seriennummer“, „Betriebsdauer“, „Software-Ver“ und „IP Address“ auf Ihrem Display an.
Alle zurücksetzen		<p>Sie haben die Wahl zwischen „Abbrechen“ und „OK“. Wenn Sie „OK“ wählen, werden alle Justierungen und Einstellungen auf die Standardeinstellungen zurückgesetzt.</p> <p>Hinweis</p> <p>Manche Elemente der Option „Informationen“ und von „Indexnummer“ werden nicht zurückgesetzt.</p>

Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen

Sicherheitsmaßnahmen

- Die Softwarespezifikationen dieses Geräts unterliegen aufgrund von Verbesserungen unangekündigten Änderungen.
- Die Fenster der Anwendungssoftware können sich etwas von den Abbildungen in dieser Anleitung unterscheiden.
- Schließen Sie den Anschluss dieses Geräts aus Sicherheitsgründen nur an ein Netzwerk an, bei dem keine Gefahr von übermäßiger Spannung oder von Stoßspannungstößen besteht.
- Mit den Anweisungen in dieser Anleitung lässt sich der Betrieb nur in folgender Umgebung gewährleisten.

Betriebssystem:

Microsoft Windows XP/Windows Vista/
Windows 7

Browser:

Microsoft Internet Explorer 7.0 oder höher

- Um die Sicherheit im Netzwerk sicherzustellen, empfiehlt es sich, einen Benutzernamen und ein Kennwort zu definieren. Weitere Informationen dazu finden Sie im Abschnitt „Fenster „Setup“ (Grundeinstellungen)“ (Seite 36).
Fragen Sie Ihren Netzwerkadministrator nach Sicherheitseinstellungen.

Einstellen einer IP-Adresse

Der Monitor lässt sich mit einem 10BASE-T/100BASE-TX-LAN-Kabel an ein Netzwerk anschließen.

Beim Anschluss an ein LAN können Sie die IP-Adressen des Monitors anhand eines der beiden folgenden Verfahren einstellen. Fragen Sie Ihren Netzwerkadministrator nach Einzelheiten zur Auswahl der IP-Adresse.

- Zuweisen einer festen IP-Adresse für den Monitor
Normalerweise sollten Sie dieses Verfahren verwenden.
- Automatisches Beziehen einer IP-Adresse
Wenn das Netzwerk, an das der Monitor angeschlossen ist, über einen DHCP-Server verfügt, können Sie den DHCP-Server automatisch eine IP-Adresse zuweisen lassen. Beachten Sie, dass sich die IP-Adresse in diesem Fall bei jedem Einschalten des Monitors ändern kann.

Bevor Sie die IP-Adresse festlegen, schließen Sie das LAN-Kabel an den Monitor an, um den Netzwerkanschluss herzustellen. Schalten Sie den Monitor nach etwa 30 Sekunden ein und nehmen Sie dann die gewünschten Einstellungen vor.

-
- Microsoft und Windows sind eingetragene Markenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
 - Alle anderen in dieser Anleitung erwähnten Produkt- oder Firmennamen usw. sind Markenzeichen oder eingetragene Markenzeichen der jeweiligen Eigentümer.

Zuweisen einer festen IP-Adresse für den Monitor

- 1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.
- 2 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie \oplus .
- 3 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie \oplus .
- 4 Wählen Sie „Netzwerkanschluss“ mit \uparrow/\downarrow aus und drücken Sie \oplus .
- 5 Wählen Sie „LAN“ mit \uparrow/\downarrow aus und drücken Sie \oplus .
- 6 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie \oplus .
- 7 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Manual“ aus und drücken Sie \oplus .
- 8 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die einzustellende Option unter „IP Address“, „Subnet Mask“, „Default Gateway“, „Primary DNS“ bzw. „Secondary DNS“ aus und drücken Sie \oplus .
- 9 Geben Sie in jedes der vier Felder mit \uparrow/\downarrow am Monitor oder mit den Zahlentasten auf der Fernbedienung drei Ziffern (0 bis 255) ein und drücken Sie \oplus oder \rightarrow .
- 10 Stellen Sie den dreistelligen Wert (0 bis 255) für die vier Felder ein und drücken Sie \oplus . Wählen Sie, wie unter Schritt 6 erläutert, mit \uparrow/\downarrow die nächste einzustellende Option aus und drücken Sie \oplus .
- 11 Nachdem Sie die Werte für alle gewünschten Optionen eingestellt haben, wählen Sie mit \uparrow/\downarrow „Execute“ aus und drücken Sie \oplus .

Wählen Sie „Execute“ aus und drücken Sie \oplus . Damit haben Sie die IP-Adresse manuell festgelegt.

Automatisches Beziehen einer IP-Adresse

- 1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.
- 2 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie \oplus .
- 3 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie \oplus .
- 4 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie \oplus .

- 5 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „DHCP“ aus und drücken Sie \oplus .

Wählen Sie „Execute“ aus und drücken Sie \oplus . Eine IP-Adresse wird automatisch zugewiesen. Wenn Sie „Abbrechen“ wählen, wird die Einstellung nicht vorgenommen.

Hinweis

Wurde die IP-Adresse nicht korrekt festgelegt, werden je nach Art des Fehlers folgende Fehlercodes angezeigt.

Fehler 1: Kommunikationsfehler

Fehler 2: Die angegebene IP-Adresse wird bereits für ein anderes Gerät benutzt.

Fehler 3: IP-Adressfehler

Fehler 4: Gateway-Adressfehler

Fehler 5: Fehler in der primären DNS-Adresse

Fehler 6: Fehler in der sekundären DNS-Adresse

Fehler 7: Fehler in der Subnetzmaske

Anzeigen der automatisch zugewiesenen IP-Adresse

- 1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.
- 2 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie \oplus .
- 3 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Informationen“ aus und drücken Sie \oplus .

Die zurzeit geltende IP-Adresse wird angezeigt.

Tipp

Wenn eine IP-Adresse nicht richtig übernommen werden kann, wird die vorher übernommene IP-Adresse in „Informationen“ und in „Manual“ unter „IP Address Setup“ gezeigt.

Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit

- 1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.
- 2 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie \oplus .
- 3 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie \oplus .
- 4 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Speed Setup“ aus und drücken Sie \oplus .
- 5 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow unter „Auto“, „10Mbps Half“, „10Mbps Full“, „100Mbps Half“ und „100Mbps Full“ die gewünschte Option für die Kommunikationsgeschwindigkeit aus und drücken Sie \oplus .

Wenn Sie „Auto“ wählen, wird automatisch eine zu Ihrer Netzwerkkonfiguration passende Kommunikationsgeschwindigkeit eingestellt.

- 6 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow „Execute“ aus und wenden Sie mit \oplus die Einstellung an.

PC-Betrieb

Steuern des Monitors

Sie können vom PC-Bildschirm aus verschiedene Einstellungen für den Monitor vornehmen. Vergewissern Sie sich, dass der Monitor, der PC sowie Router bzw. Hub ordnungsgemäß über das Netzkabel verbunden sind. Schalten Sie dann den Monitor, den PC und den Router oder Hub ein. Für den Monitor stehen vier Fenster mit unterschiedlichen Steuerfunktionen zur Verfügung: Fenster „Information“, Fenster „Configure“, Fenster „Control“ und Fenster „Setup“. Nähere Erläuterungen zu den Funktionen der einzelnen Tasten finden Sie in den Anweisungen zu den Monitorfunktionen.

- 1 Starten Sie den Browser des PCs (Internet Explorer 7.0 oder höher).
- 2 Geben Sie die IP-Adresse ein, die dem Monitor auf der vorhergehenden Seite in der Form „http://xxx.xxx.xxx.xxx“ zugewiesen wurde, und drücken Sie dann ENTER auf der Tastatur.
Wenn ein Benutzername und ein Kennwort definiert wurden, erscheint der Bildschirm „Network Password“ (Netzwerkennwort). Geben Sie den definierten Benutzernamen und das Kennwort ein und fahren Sie dann mit dem nächsten Schritt fort.
- 3 Klicken Sie auf die Funktionsregisterkarte oben im Fenster und wählen Sie das gewünschte Fenster aus.

Einstellen von Optionen in den einzelnen Fenstern

Bei Verwendung der LAN-Funktionen des Monitors

Fenster „Information“ (Information)

In diesem Fenster werden der Modellname, die Seriennummer und andere Monitorinformationen sowie der Stromversorgungsstatus und die Eingangssignalauswahl angezeigt.

In diesem Fenster werden Informationen nur angezeigt. Sie können hier keine Optionen einstellen.

Fenster „Configure“ (Konfiguration)

Timer (Timer)

Zum Vornehmen von Einstellungen für die Timer-Funktion.

Klicken Sie abschließend auf „Apply“ (Übernehmen).

Screen Saver (Bildschirmschoner)

Zum Vornehmen von Einstellungen für die Bildschirmschoner-Funktion.

Klicken Sie abschließend auf „Apply“ (Übernehmen).

Picture and Picture (Bild und Bild)

Zum Vornehmen von Einstellungen für die Bild- und Bild-Funktion.

Klicken Sie abschließend auf „Apply“ (Übernehmen).

Hinweis

Ehe Sie die Funktion „Timer“ (Timer) verwenden können, muss im Bildschirm „Setup“ (Grundeinstellungen) (Seite 36) die Uhrzeit eingestellt werden.

Fenster „Control“ (Steuerung)

POWER (Netzschalter)

Zum Ein- und Ausschalten des Monitors.

INPUT (Eingangswählschalter)

Zum Auswählen des Eingangssignals.

PICTURE MODE (Bildmodus)

Zum Auswählen des Bildmodus.

ASPECT (Bildformat)

Zum Wechseln des Bildseitenverhältnisses.

Tasten „Contrast +/-“ (Kontrast)

Zum Einstellen des Kontrasts auf dem Bildschirm.

Tasten „Brightness +/-“ (Helligkeit)

Zum Einstellen der Bildhelligkeit.

Tasten „Chroma +/-“ (Farbe)

Zum Einstellen der Farbintensität.

Tasten „Phase +/–“ (Phase)

Zum Einstellen der Farbbalance.

Taste Reset (Zurücksetzen)

Zum Zurücksetzen der Einstellungen von „Contrast“ (Kontrast) bis „Phase“ (Phase) auf ihre Standardwerte.

Hinweise

- Wenn ein Video-Signal eingespeist wird und es sich bei dem Farbsystem des Videosignals nicht um NTSC handelt, steht „Phase“ nicht zur Verfügung.
- „Chrominanz“ und „Phase“ stehen bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.
- „Normal“ bei der Einstellung ASPECT entspricht „4:3“ für Videoeingabe oder „Original“ für PC-Eingabe.

Fenster „Setup“ (Grundeinstellungen)

In diesem Fenster können Sie das Network Password (Netzwerkennwort) festlegen. Die werkseitig vorgegebenen Einstellungen sind folgendermaßen konfiguriert:

Name (Name): root
Password (Kennwort): pudadm

Wenn Sie Änderungen vorgenommen oder Daten eingegeben haben, klicken Sie auf „Apply“ (Übernehmen) unten im jeweiligen Fenster, um die Einstellungen zu aktivieren.

In die Textfelder können keine Sonderzeichen eingegeben werden.

Owner Information (Besitzer-Information)

Owner (Besitzer)

Geben Sie hier Informationen zum Eigentümer ein.

Display Location (Display-Platzierung)

Geben Sie hier Informationen zum Standort des Monitors ein.

Hinweis

Verwenden Sie beim Eingeben der Informationen keine Leerzeichen. Andernfalls wird der Dateiname möglicherweise nicht richtig angezeigt.

Memo (Notiz)

Hier können Sie Kommentare oder Notizen eingeben.

Time (Zeit)

Time (Zeit)

Geben Sie hier die Uhrzeit, den Wochentag, das Jahr, den Monat und den Tag ein.

Network (Netzwerk)

Internet Protocol (Internet-Protokoll) (TCP/IP)

Wählen Sie „Specify an IP address“ (IP-Adresse angeben), wenn Sie die einzelnen Ziffern der numerischen Zeichenfolge für die IP-Adresse manuell eingeben wollen.

Wählen Sie „Obtain an IP address (DHCP)“ (IP-Adresse automatisch beziehen (DHCP)), wenn die IP-Adresse automatisch vom DHCP-Server bezogen werden soll. Beachten Sie, dass sich die IP-Adresse in diesem Fall bei jedem Einschalten des Monitors ändern kann.

Hinweis

Die IP-Adresse kann über das Monitormenü festgelegt werden. Einzelheiten dazu finden Sie unter „IP Address Setup“ (Seite 32).

Password (Kennwort)

Hier können Sie Informationen zum Administrator, Benutzernamen und Kennwort eingeben. Der Administratormenü ist fest auf „root“ eingestellt. Sie können jeweils maximal 8 Zeichen eingeben. Wenn Sie einen Benutzernamen und ein Kennwort definiert haben, erscheint das Fenster „Network Password“ (Netzwerkennwort), wann immer das Fenster für die Bildschirmsteuerung des Monitors aufgerufen wird. Um die Sicherheit im Netzwerk sicherzustellen, empfiehlt es sich, einen Benutzernamen und ein Kennwort zu definieren.

Mail Report (E-Mail-Report)

Error Report (Fehlerbericht)

Wenn ein Monitorfunktionsfehler aufgetreten ist, wird sofort per E-Mail ein Fehlerbericht gesendet (Fehlerbenachrichtigung).

Status Report (Statusbericht)

Der Status des Monitors kann im ausgewählten Zeitintervall per E-Mail gemeldet werden.

Address (Ziel)

Geben Sie hier die E-Mail-Adresse des Empfängers ein. Sie können bis zu vier Adressen angeben, an die dann gleichzeitig ein Fehlerbericht gesendet wird. Die maximale Länge der einzelnen Adressen beträgt 64 Zeichen.

Mail Account (E-Mail-Konto)

Mail Address (E-Mail-Adresse):

Geben Sie hier die zugeordnete E-Mail-Adresse ein.

Die maximale Länge der Adresse beträgt 64 Zeichen.

Outgoing Mail Server (SMTP) (Server für ausgehende Mail (SMTP-Server)):

Geben Sie hier die Mail-Server-Adresse ein. Die maximale Länge der Adresse beträgt 64 Zeichen.

Send Test Mail (Test-Mail senden):

Wenn Sie testen wollen, ob E-Mails erfolgreich an die angegebene(n) Adresse(n) gesendet werden können, aktivieren Sie dieses Kontrollkästchen und klicken auf „Apply“ (Übernehmen). Eine Test-E-Mail wird gesendet.

Hinweis

Wenn eine der folgenden Angaben nicht vorhanden oder nicht richtig ist, erscheint eine Fehlermeldung und es kann keine Test-E-Mail gesendet werden:

- Zieladresse
- Adresse des E-Mail-Kontos und Adresse des Mail-Servers (SMTP)

Advanced (Weitere Einstellungen)

Hiermit haben Sie Zugriff auf weitere Einstellungen, die für die Verwendung verschiedener Anwendungen im Netzwerk erforderlich sind. Nehmen Sie die Einstellungen wie in der jeweiligen Anwendung erforderlich vor.

Advertisement (Ankündigung)

Zum Vornehmen von Einstellungen für die Funktionen „Advertisement“ (Ankündigung) und „Broadcast“ (Rundsendung) im Netzwerk.

ID Talk

Zum Vornehmen von Einstellungen für die Funktion „ID Talk“. „ID Talk“ ist ein Protokoll, das die netzwerkbasierte Steuerung des Monitors ermöglicht. Gesteuert werden können verschiedene Einstellungen, wie z. B. Farbtemperatur und Gamma. Informationen zu unterstützten ID Talk-Befehlen erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

SNMP

Der Monitor ist ein Netzwerkgerät, das SNMP (Simple Network Management Protocol) unterstützt. Neben dem Standard MIB-II wird auch Sony Enterprise MIB unterstützt. In diesem Fenster können Sie Einstellungen für SNMP vornehmen. Informationen zu unterstützten SNMP-Befehlen erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Zurücksetzen auf die Standardeinstellungen



Wenn alle Einstellungen, die Sie über das Fenster „Setup“ (Grundeinstellungen) vorgenommen haben, wieder auf die werkseitigen Standardeinstellungen zurückgesetzt werden sollen, wählen Sie die Option „All Reset“ (Alle zurücksetzen) und nehmen Sie dann erneut geeignete Einstellungen für das Netzwerk vor.

Störungsbehebung

Notieren Sie, ob die Anzeige  rot blinkt.


Wenn sie blinkt

Die Selbstdiagnosefunktion wurde aktiviert.

- 1 Überprüfen Sie, wie oft die Anzeige  blinkt und wie lange sie nicht blinkt.
Beispiel: Die Anzeige blinkt 2-mal, blinkt 3 Sekunden lang nicht und blinkt erneut 2-mal.
- 2 Schalten Sie den Monitor mit dem Schalter  (POWER) am Monitor und mit dem Hauptnetzschalter aus und trennen Sie das Netzkabel ab.
Teilen Sie Ihrem Händler oder dem Sony-Kundendienst mit, wie die Anzeige blinkt (Häufigkeit und Intervall).

Wenn sie nicht blinkt

- 1 Gehen Sie nach der folgenden Tabelle vor.
- 2 Wenn das Problem dennoch bestehen bleibt, lassen Sie den Monitor von qualifiziertem Fachpersonal reparieren.

Problem	Mögliche Abhilfemaßnahmen
Der Netzschalter und die Steuertasten am Monitor funktionieren nicht.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie die Einstellung für „Steuerung einst.“ (Seite 29).
Die Stromversorgung schaltet nicht ein, auch wenn der Schalter  (POWER) auf ON gestellt wird oder die Taste ON (Einschalten) an der Fernbedienung auf ON gestellt wird.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie, ob der Hauptnetzschalter nicht auf „OFF“ (Seite 11) gestellt ist.
Kein Videosignal wird von dem Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT) OUT ausgegeben.	<ul style="list-style-type: none"> • Es gibt keine Ausgabe von HD15 (RGB/COMPONENT) OUT, wenn dieses Gerät im Bereitschaftszustand ist oder die Netzversorgung ausgeschaltet ist.
Kein Signal wird von dem Anschluss HD-SDI OUT des BKM-FW16 ausgegeben.	<ul style="list-style-type: none"> • Es gibt keine Ausgabe von HD-SDI OUT, wenn dieses Gerät im Bereitschaftszustand ist oder die Netzversorgung ausgeschaltet ist.
Kein Signal wird von dem DVI OUT-Anschluss ausgegeben.	<ul style="list-style-type: none"> • Es gibt keine Ausgabe von DVI OUT, wenn dieses Gerät im Bereitschaftszustand ist oder die Netzversorgung ausgeschaltet ist.
Es wird kein Bild angezeigt.	
Es wird kein Bild angezeigt.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie die Verbindung zwischen dem angeschlossenen Videogerät und dem Monitor. • Überprüfen Sie die Einstellung für „RGB/YUV“ (Seite 31). • Wechseln Sie mit der Taste INPUT am Monitor oder mit der Fernbedienung den Eingang (Seiten 10, 14).
Der Monitor schaltet sich automatisch aus.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie, ob „Timer einstellen“ aktiviert ist (Seite 29). • Überprüfen Sie, ob die Funktion „Auto. ausschalten“ auf „Ein“ gesetzt ist (Seite 30). • Überprüfen Sie, ob die Zimmertemperatur nicht mehr als 40 °C beträgt.
Der Monitor schaltet sich automatisch ein oder aus.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie die Einstellungen unter „HDMI-Steuerung“ (Seite 32).



Problem	Mögliche Abhilfemaßnahmen
Die Bildqualität ist schlecht.	
Keine Farbe/Bild zu dunkel/Bild zu hell/Farbe fehlerhaft/Bild wird langsam dunkel/ Horizontale Störstreifen erscheinen im Bild	<ul style="list-style-type: none"> • Wählen Sie mit PICTURE den gewünschten „Bild-Modus“ (Seite 14). • Stellen Sie die Optionen für „Bildmodus einstellen“ unter den Einstellungen für „Bild/Ton“ ein (24, Seiten 23). • Überprüfen Sie den Zustand des Signalkabels. • Überprüfen Sie, ob die Zimmertemperatur nicht mehr als 40 °C beträgt. • Überprüfen Sie die Einstellungen in „ECO-Modus“ (Seite 29).
Der ganze Bildschirm ist grün oder violett getönt.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie die Einstellung für „RGB/YUV“ (Seite 31).
Es ist kein Ton zu hören oder der Ton ist verrauscht.	
Das Bild wird angezeigt, aber es ist kein Ton zu hören.	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie die Lautstärkeinstellung. • Drücken Sie  auf der Fernbedienung oder  +, so dass die „Stummschaltung“-Anzeige nicht mehr am Bildschirm angezeigt wird (Seite 15). • Überprüfen Sie die Einstellung für „Lautspr.ausgang“ (Seite 29).
Die Fernbedienung funktioniert nicht.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Überprüfen Sie, ob die Batterien polaritätsrichtig eingelegt sind, oder tauschen Sie die Batterien aus. • Richten Sie die Fernbedienung auf den Fernbedienungssensor am Monitor. • Achten Sie darauf, dass sich vor dem Fernbedienungssensor keine Hindernisse befinden. • Überprüfen Sie die Einstellung für „Steuerung einst.“ (Seite 29). • Leuchtstoffröhren können die Funktion der Fernbedienung stören. Schalten Sie solche Röhren aus.
Eine Verbindung zum Netzwerk kann nicht hergestellt werden.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Stecken Sie den Kabelstecker fest in den Anschluss REMOTE. • Überprüfen Sie die Netzwerkeinstellungen für den PC. • Setzen Sie alle Einstellungen über die Option „Alle zurücksetzen“ im Einstellmenü „Grundeinstellungen“ auf die Standardeinstellungen zurück und nehmen Sie dann erneut geeignete Einstellungen für das Netzwerk vor. • Überprüfen Sie die Einstellung für „Netzwerkanschluss“ (Seite 32).
Das Fenster für die Monitorsteuerung (das Web-Fenster mit der grafischen Benutzeroberfläche des Monitors) wird nicht angezeigt.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Klicken Sie im Web-Browser auf die Schaltfläche zum Auffrischen oder Aktualisieren. • Überprüfen Sie, ob die IP-Adresse korrekt ist. • Verwenden Sie Internet Explorer 7.0 oder höher. • Löschen Sie den Cache des Browsers.

Diagramm der Eingangssignale

PC-Signale

	Auflösung	Horizontal-Frequenz (kHz)	Vertikal-Frequenz (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640×480@60 Hz	31,5	60
3	Mac ^{b)} 13 Zoll	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA ^{c)} STD)	37,9	60
6	Mac 16 Zoll	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21 Zoll	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT ^{d)})	29,8	60
16	848 × 480@85 Hz (CVT)	43,0	85
17	1280 × 720@60 Hz (CVT)	44,8	60
18	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
19	1280 × 768@75 Hz (CVT)	60,3	75
20	1280 × 960@60 Hz (CVT)	59,7	60
21	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47,7	60
22	800 × 600@60 Hz (CVT)	37,4	60
23	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
24	1280 × 1024@60 Hz (CVT)	63,7	60
25	1400×1050@60 Hz (CVT)	65,3	60
26	1600×1200@60 Hz (CVT)	74,5	60
27	1920 × 1080@60 Hz	66,6	60

Fernseh-/Videosignale

	Auflösung	Verfügbare Eingänge				
		Video	Farbdifferenz	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p		○	○	○	
10	1080/60p		○	○	○	
11	1080/24psf		○			

- a) VGA ist ein eingetragenes Markenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
 b) Macintosh ist ein Markenzeichen der Apple Inc., eingetragen in den USA und anderen Ländern.
 c) VESA ist ein eingetragenes Markenzeichen der Video Electronics Standards Association.
 d) VESA Coordinated Video Timing

Hinweise

- Speisen Sie bei HDTV-Signalen das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses HD15 (RGB/COMPONENT) IN ein.
- Wenn die Farben beim Einspeisen von DVD-Signalen in den Monitor zu hell sind, korrigieren Sie die Einstellung von „Chrominanz“ unter „Bild/Ton“.
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.
- Bei Signalen vom Macintosh-Computer kann nicht gewährleistet werden, dass der digitale RGB-Eingang erkannt wird.
- Zusammengesetzte Synchronisationssignale entsprechen den Nummern 2, 4, 5, 7, 12, 13 und 14 in der Signaltabelle links.
- Bei Videosignalen ohne Farb-Burst-Signal kann die Darstellung nicht garantiert werden.

Anzeigen zum Eingangssignal und zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeigen	Bedeutung
640 × 480 / 60 (Beispiel)	Das ausgewählte Eingangssignal ist ein PC-Signal.
480 / 60i (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Videosignal.
Signal nicht unterstützt	Das ausgewählte Eingangssignal wird nicht unterstützt.
Kein Signal	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
Farbdifferenz	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
HD15	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „Automatisch“ gesetzt.
HD15 RGB	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „RGB“ gesetzt.
HD15 Component	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „YUV“ gesetzt.
DVI	Als Eingangssignal ist DVI ausgewählt.
HDMI	Als Eingangssignal ist HDMI ausgewählt.
Video	Das FBAS-Signal ist ausgewählt.
Option HD SDI	Das HD SDI-Signal vom Option-Eingang ist ausgewählt.

Technische Daten

Bildverarbeitung

Bildschirmsystem	LCD-Bildschirm mit a-Si-TFT-Aktivmatrix
Anzeigeauflösung	FWD-S46H2 1.920 Punkte (horizontal) × 1.080 Zeilen (vertikal) FWD-S42H2 1.920 Punkte (horizontal) × 1.080 Zeilen (vertikal)
Abtastrate	13,5 MHz bis 165 MHz
Farbsystem	NTSC/PAL
Eingangssignal	Siehe Seite 40.
Pixelgröße	FWD-S46H2 0,53 (horizontal) mm × 0,53 (vertikal) mm FWD-S42H2 0,4845 (horizontal) mm × 0,4845 (vertikal) mm
Bildgröße	FWD-S46H2 1.018,1 (horizontal) mm × 572,7 (vertikal) mm FWD-S42H2 930,2 (horizontal) mm × 523,3 (vertikal) mm
Bildschirmgröße	FWD-S46H2: 46 Zoll (Diagonale) 1.168,1 mm FWD-S42H2: 42 1/8 Zoll (Diagonale) 1.067,3 mm

Eingänge und Ausgänge

REMOTE	Netzwerkanschluss (10BASE-T/100BASE-TX) D-Sub, 9-polig (weiblich) (× 1) (RS-232C)
AUDIO	AUDIO OUT (L/R) Cinchanschluss
VIDEO	VIDEO IN BNC (× 1) VIDEO OUT BNC (× 1) FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ± 2 dB, sync negativ, 75 Ω (automatischer Abschluss) AUDIO IN Stereominibuchse (× 1) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz
COMPONENT	COMPONENT (Y P _B /C _B P _R /C _R) IN Cinchanschluss

HD15 (RGB/COMPONENT)

HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-Sub, 15-polig (weiblich) (× 1)
(Siehe Seite 43.)

HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-Sub, 15-polig (weiblich) (× 1)
(Siehe Seite 43.)

AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe
Impedanz

DVI

DVI IN
(Konform mit der DVI-Spezifikation
Rev. 1.0)

DVI OUT
(Konform mit der DVI-Spezifikation
Rev. 1.0)

AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe
Impedanz

HDMI

HDMI IN
(HDMI (1080p))

SPEAKER

Lautsprecher Ausgang (L/R)
6 Ω 7W + 7W

Allgemeines

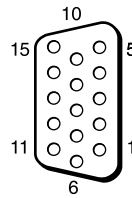
Betriebsspannung	100 V bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz FWD-S46H2: 1,4 A (max.) FWD-S42H2: 1,45 A (max.)
Leistungsaufnahme	FWD-S46H2: 140 W (max.) FWD-S42H2: 145 W (max.) 0,5 W (max. im Bereitschaftsmodus)
Betriebsbedingungen	Temperatur: 0 °C bis 40 °C Luftfeuchtigkeit: 20 % bis 90 % (nicht kondensierend)
Lager-/Transportbedingungen	Temperatur: -10 °C bis +40 °C Luftfeuchtigkeit: 20 % bis 90 % (nicht kondensierend)
Abmessungen	FWD-S46H2 1.053,6 mm × 608,2 mm × 84 mm 1.053,6 mm × 656,3 mm × 292,6 mm (einschließlich optionale Ständer) (B/H/T, ohne vorstehende Teile) FWD-S42H2 967,8 mm × 560,7 mm × 88 mm 967,8 mm × 608,8 mm × 292,6 mm (einschließlich optionale Ständer) (B/H/T, ohne vorstehende Teile)

- Gewicht**
- FWD-S46H2
 - ca. 22,7 kg
 - ca. 24,5 kg
 - (einschließlich optionale Ständer)
 - FWD-S42H2
 - ca. 20,2 kg
 - ca. 22,0 kg
 - (einschließlich optionale Ständer)
- Mitgeliefertes Zubehör**
- Netz kabel (1)
 - Netzsteckerhalter (2)
 - Kabelhalter (6)
 - Fernbedienung RM-FW002 (1)
 - R6-Manganbatterien der Größe AA (2)
 - Bedienungsanleitung (1)
- Sonderzubehör**
- Monitorständer SU-S02
 - Lautsprecher SS-SPG02
 - Zusatzadapter zur Systemerweiterung, BKM-FW-Serie
- Sicherheitsbestimmungen**
- UL 60950-1, CSA Nr. 60950-1-03 (c-UL), FCC Klasse B, IC Klasse B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung

HD15 RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig)



Stift-Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder C_R/P_R
2	Videosignal Grün oder Y
3	Videosignal Blau oder C_B/P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht verwendet
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal oder FBAS-Videosignal (als Synchronisationssignal)
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

Hinweis

Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den Stiften 13 und 14 einspeisen. Andernfalls wird das Bild möglicherweise nicht einwandfrei angezeigt.

Index

Numerics

4:3 16, 28

A

AC IN, Buchse 11, 20
Address (Ziel) 36
Advanced
(Weitere Einstellungen) 37
Advertisement (Ankündigung) 37
Aktives Bild 26
Alle zurücksetzen 22, 32
Anwender 23, 25
AUDIO IN, Anschluss 11, 12, 13
AUDIO OUT, Anschluss 11
Ausgabeformat 27
Auto. ausschalten 30
Autom. Bildeinst. 30
Autom. einstellen 28
Autom. Gerät aus 32
Autom. Monitor ein 32

B

Balance 25
Bild-/Toneinstellungen 22, 23
Bildgröße 26
Bild-Modus 22, 23
Bildmodus einstellen 22, 23
Bildposition 26
Bildschärfe 23
Bildschirm einstellen 22, 28
Bildschirmeinstellungen 22, 26
Bildschirmschoner 31
Breitbildmodus 16
Breitbildmodus, Taste 14, 16
Brilliant 23

C

Chrominanz 23
CineMotion 24

D

DISPLAY, Taste 15
DPMS 30
DVI IN/OUT, Anschluss 13
DVI, Anschluss 13
DVI, Taste 14
Dynamisch 25
Dynamisch. Bild 24

E

ECO-Modus 22, 29
Ein/Aus-Timer 29
Ein/Bereitschaft-Anzeige 8
Eingangssignal 40
Einschaltverzöger. 32
ENTER-Taste 10
Error Report (Fehlerbericht) 36

F

Farbsystem 31
Farbtemperatur 24
Fenster 27

Fenster „Configure“
(Konfiguration) 35
Fenster „Control“ (Steuerung) 35
Fenster „Information“ 35
Fenster „Setup“
(Grundeinstellungen) 36
Fernbedienungssensor 8
Fliesen 27

G

Gamma-Korrektur 24
Grundeinstellungen 22, 29

H

H. Größe 28
H. Position 28
Hauptnetzschalter 11
HD15 (RGB/COMPONENT) IN/
OUT, Anschluss 11
HD15 (RGB/COMPONENT),
Anschluss 11
HD15, Taste 15
HDMI, Anschluss 12
HDMI, Taste 14
HDMI-Steuerung 32
Helligkeit 23
Helligkeit erhöhen 24
Hintergrundbeleuchtung 23
Höhen 25

I

ID MODE, Tasten 15, 18
ID Talk 37
Indexnummer 15, 18, 29
Informationen 22, 32
INPUT, Taste 10
IP Address Setup 32

K

Kabelhalter 21
Konferenz 23
Kontrast 23
Kontrast, Taste 15

L

Lautspr.ausgang 22, 29
Lautstärke, Tasten 10, 15
LED 27

M

Mail Account (E-Mail-Konto) 36
Mail Report (E-Mail-Report) 36
MENU, Taste 10, 14, 22
Menüposition 31
Multi-Display 22, 27

N

Network (Netzwerk) 36
Netzwerkanschluss 32

O

ON (Einschalten)-Taste 14

OPTION 1, Taste 15
OPTION-Anschlussbereich 11
Original 16, 28
Overscan 30
Owner Information (Besitzer-
Information) 36

P

PAP einstellen 17, 22, 26
PAP, Taste 15, 17
Password (Kennwort) 36
Phase 23, 28
PICTURE, Taste 14
Pitch 28
Position 27
POWER (Ein)-Taste 10

R

Raumklang 25
Rauschvermind. 23
REMOTE, Anschluss 13
RETURN, Taste 10
RGB Signal 31
RGB/YUV 31
RS-232C 13, 32

S

Seitenverhältnis 16, 22, 28
SNMP 37
SPEAKER, Buchse 11
Speed Setup 32
Sprache 22, 29
Standard 23, 25
STANDBY, Taste 15
Status Report (Statusbericht) 36
Statusanzeige 22, 29
Steuerung 30
Steuerung einst. 29
Stummschaltung, Taste 15
Sync-Modus 31

T

Tauschen 26
TC Control 23
Tiefen 25
Timer einstellen 22, 29
Ton-Modus 22, 25
Tonmodus einstellen 22, 25

U

Uhr einstellen 29
Uhrzeitanzeige 29

V

V. Größe 28
V. Position 28
VIDEO IN-Anschluss 12
VIDEO, Taste 14
Voll 16, 28
Voll 1 16, 28
Voll 2 16, 28

W

Weitere Einstell. 22, 29
Wide-Zoom 16, 28

Z

Zoom 16, 28
Zurücksetzen 25, 28

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

Durante el transporte

Cuando transporte el monitor, sostenga la unidad, no los altavoces. Si no lo hace, los altavoces podrían separarse de la unidad y ésta podría caerse. Esto podría causar daños.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte la clavija de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte las clavijas de alimentación.

La toma de corriente debe estar instalada cerca del equipo y ser de fácil acceso.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, 108-0075 Japón.

El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Índice

Introducción

Precauciones	4
Recomendaciones para la instalación	6

Ubicación y función de componentes y controles

Parte frontal.....	8
Parte posterior.....	9
Mando a distancia.....	14
Descripción de los botones.....	14
Botones útiles del mando a distancia.....	16
Utilización del Modo ancho.....	16
Utilización del ajuste de PAP.....	17
Utilización del botón ID MODE.....	18
Adaptadores opcionales.....	19

Conexiones

Conexión de los altavoces	20
Conexión del cable de alimentación de ca.....	20
Organización de los cables	21

Uso de los ajustes

Descripción general de los menús.....	22
Ajustes de Imagen/Sonido	23
Ajustes de Pantalla	26
Ajustes de Ajustes.....	29

Funciones de red

Preparativos para la utilización de las funciones de red.....	33
Uso con un ordenador.....	35

Otra información

Solución de problemas.....	38
Tabla de referencia de señal de entrada	40
Especificaciones	42
Índice alfabético	44

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de ca, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.

Limpeza

Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación antes de limpiar el monitor.

Limpeza del monitor

Impida que objetos contundentes rayen o presionen la superficie de la pantalla del monitor o que algún objeto golpee la superficie de la pantalla, ya que podría dañarla. La pantalla del monitor cuenta con un tratamiento especial. Siga las instrucciones que se indican a continuación para evitar un rendimiento anormal debido a una manipulación indebida durante la limpieza.

- Retire con cuidado cualquier partícula de polvo de la superficie de la pantalla con un paño suave. Se recomienda utilizar un paño de limpieza o un paño para limpiar cristales.
- Si la suciedad es excesiva, limpie la superficie de la pantalla con un paño de limpieza suave ligeramente humedecido con agua.
- Nunca utilice alcohol, bencina, disolvente, soluciones de limpieza alcalinas o ácidos, limpiadores abrasivos o paños tratados químicamente, ya que podría dañar la superficie de la pantalla.

Limpeza de la carcasa

- Limpie las manchas con cuidado con un paño suave y seco. Las manchas difíciles se pueden eliminar con un paño ligeramente humedecido con una solución de detergente neutro; a continuación, limpie el área con un paño seco y suave.
- No utilice alcohol, bencina, disolvente ni insecticida. El uso de estos productos podría dañar el acabado de la superficie o borrar las marcas de la unidad.
- Existe el riesgo de que la pantalla resulte dañada si se frota con un paño sucio.
- Si permite un contacto prolongado de la unidad con productos de goma o plástico, ésta podría deformarse o el revestimiento protector podría desprenderse.

Panel LCD

- El panel LCD puede resultar dañado si se mantiene orientado hacia el sol durante un período de tiempo prolongado. Tenga esto en cuenta si instala la unidad en el exterior o junto a una ventana.

- No presione excesivamente ni raye la pantalla LCD. No coloque objetos sobre la pantalla. Si lo hace, la visualización podría interrumpirse o la pantalla LCD podría estropearse.
- Es posible que observe rayas horizontales en la pantalla o que aparezca una imagen residual. También es posible que la pantalla parezca más oscura cuando se utiliza en entornos a baja temperatura. Estos efectos no indican un fallo de funcionamiento de la pantalla. La pantalla regresará a su estado normal cuando aumente la temperatura ambiente.
- Si se deja visualizada una imagen fija durante mucho tiempo seguido, pueden producirse quemaduras o imágenes residuales en la pantalla. Las imágenes residuales desaparecen con el tiempo. Si se producen imágenes espectrales, utilice la función de protector de pantalla o bien algún tipo de software de imagen o vídeo para proporcionar un movimiento constante en la pantalla. Si se producen ligeras imágenes espectrales (imágenes residuales), es posible que sean menos llamativas, pero una vez que se han producido, nunca desaparecerán por completo.
- La superficie del panel, la carcasa o la estructura pueden calentarse durante su utilización. Esto no indica que se haya producido un problema.

Presencia de puntos brillantes y puntos oscuros en la pantalla LCD

A pesar de que la pantalla LCD se ha fabricado con tecnología de alta precisión con una resolución eficaz del 99,99% como mínimo, es posible que aparezcan puntos oscuros (defecto de los píxeles) o puntos brillantes (rojos, azules, verdes, etc.) que permanecen iluminados o parpadean. Se trata de fenómenos de las pantallas LCD que en ocasiones se generan debido a defectos de los píxeles y que pueden producirse después de haber utilizado el dispositivo durante un período de tiempo prolongado. No indican fallos de funcionamiento de la pantalla.

Instalación

- Verifique siempre que la unidad esté funcionando adecuadamente antes de utilizarla. **SONY NO SE HARÁ RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO INCLUYENDO, SIN LIMITARSE A ELLO, INDEMNIZACIÓN O REEMBOLSO POR LA PÉRDIDA DE BENEFICIOS ACTUALES O FUTUROS DEBIDO A UN FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DENTRO DEL PERÍODO DE GARANTÍA O DESPUÉS DE LA EXPIRACIÓN DE LA GARANTÍA, O POR CUALQUIER OTRO MOTIVO.**
- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.

- Cuando instale varios equipos con la unidad, es posible que se produzcan los siguientes problemas como, por ejemplo, un fallo de funcionamiento del mando a distancia, imagen con ruido o sonido con ruido, en función de la posición de la unidad y del otro equipo.

Embalaje

No se deshaga de la caja ni de los materiales de embalaje. Son un contenedor ideal para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Sobre las ilustraciones

Las ilustraciones de la pantalla del Manual de instrucciones son las del modelo FWD-S46H2.

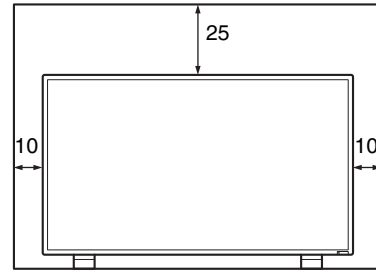
Recomendaciones para la instalación

Deje espacio suficiente alrededor del monitor

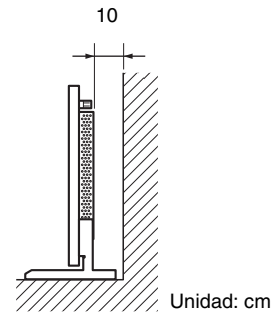
- Para evitar que el encierro de la unidad produzca un recalentamiento interno, asegúrese de permitir una ventilación adecuada dejando alrededor del monitor un espacio mínimo, como se muestra en la ilustración.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a 40 °C. Tenga cuidado cuando instale el monitor cerca del techo. La temperatura en esta ubicación puede ascender mucho más de lo normal, por lo que deberá reducir la temperatura ambiente.
- Cuando utilice un soporte, asegúrese de utilizar el soporte de sobremesa SU-S02 (no suministrado). Con respecto al método de fijación, consulte el manual de instrucciones del soporte de sobremesa.
- Consulte con personal autorizado por Sony para realizar una instalación con un brazo de montaje en la pared.
- El fabricante no puede especificar los productos correspondientes a la instalación de las piezas de montaje como, por ejemplo, abrazaderas, tornillos o pernos. Los distribuidores locales autorizados se encargarán de realizar la instalación adecuada de dichos componentes. Póngase en contacto con personal cualificado de Sony para realizar la instalación.
- Mientras el monitor está encendido, se genera una cierta cantidad de calor en el interior. Esto podría causar quemaduras. Evite tocar la parte superior o posterior del monitor cuando esté encendido o justo después de haber entrado en el modo de espera.

Utilización del soporte de sobremesa

Frontal



Lateral

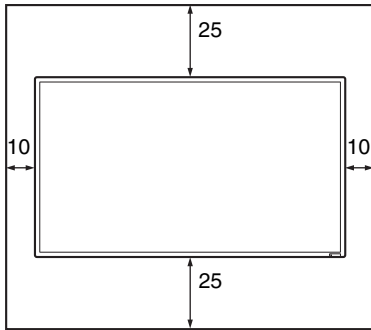


Nota

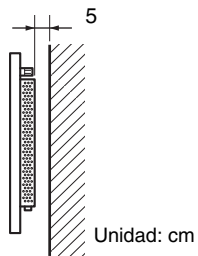
Si mueve o instala la pantalla con el soporte de sobremesa (no suministrado) montado, hágalo mediante al menos 2

Montaje del monitor en posición horizontal

Frontal



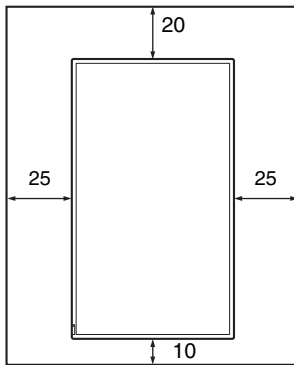
Lateral



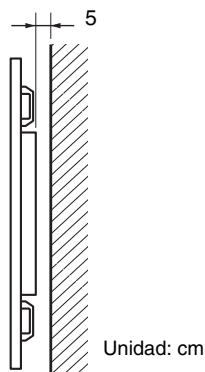
Montaje del monitor en posición vertical

Frontal

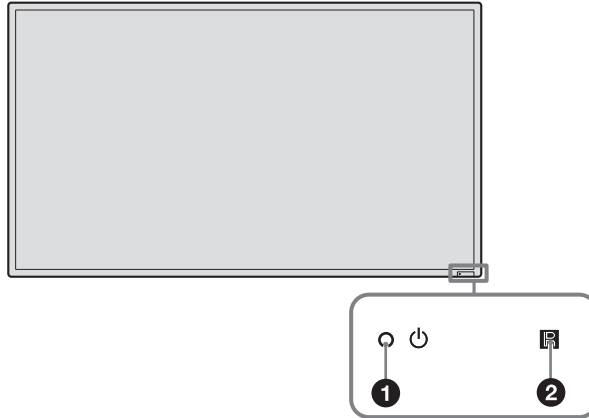
Asegúrese de que el interruptor (POWER) quede en la parte inferior izquierda.






Lateral

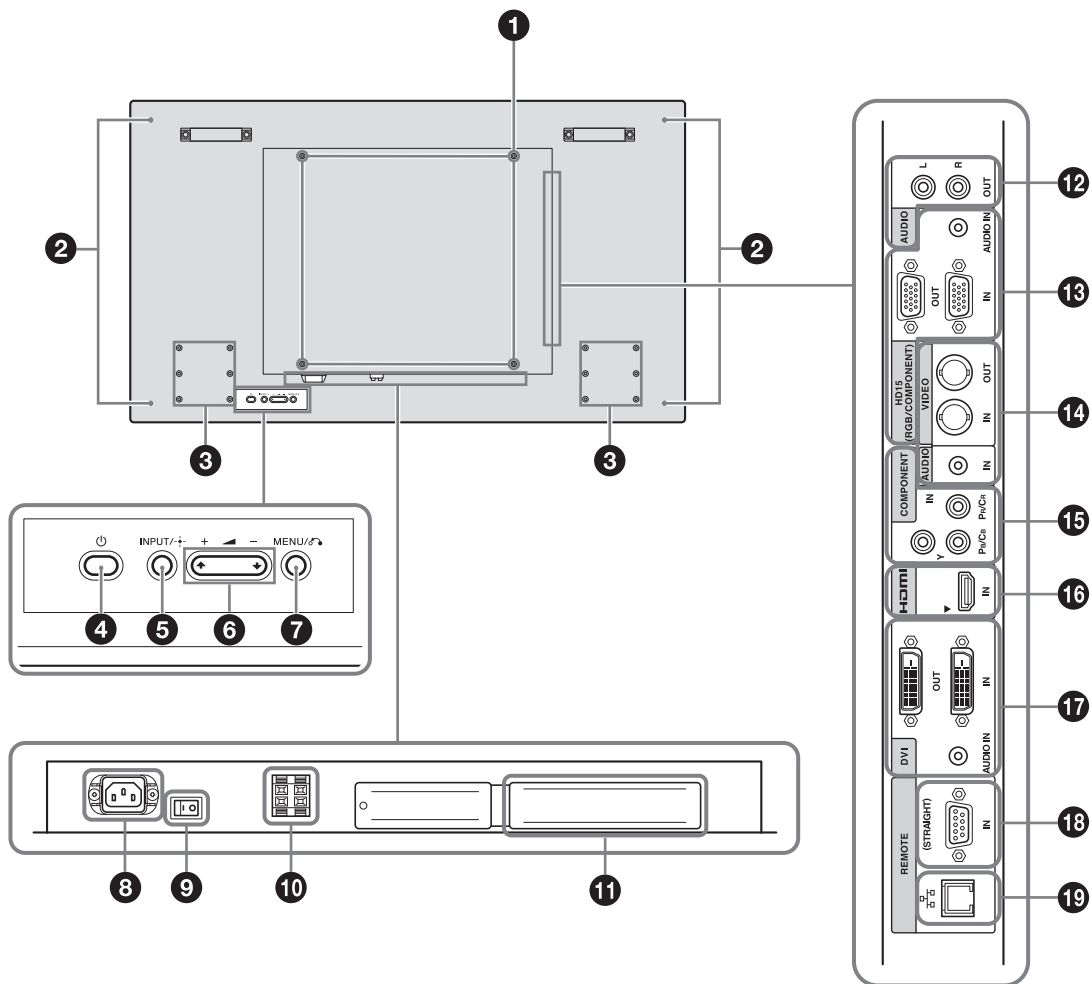


Parte frontal








Componentes	Descripción
1  Indicador (encendido/en espera)	<ul style="list-style-type: none">• Se ilumina en verde cuando la pantalla está encendida.• Se ilumina en rojo cuando la pantalla se encuentra en modo de espera. Se ilumina en naranja cuando la pantalla entra en modo de ahorro de energía mientras se envía una señal desde un ordenador. <p>Si el indicador  parpadea en rojo, consulte la página 38.</p>
Nota	
Si la opción “LED” de los ajustes de “Pantalla múltiple” está ajustada en “No” y la opción “Posición” no está ajustada en el botón derecho, el indicador no se iluminará en verde aunque la pantalla esté encendida, excepto en caso de que no haya señal o ésta no sea compatible.	
2  Sensor del mando a distancia	Receptor de luz del mando a distancia

Parte posterior



ES


Componentes	Descripción
1 Orificios para la instalación de la ménsula de montaje	Orificios para tornillos compatibles con el estándar VESA. (Paso de rosca: 400 mm × 400 mm) Nota Utilice tornillos con la rosca y la longitud apropiadas, y apriételes con el par de torsión apropiado. Diámetro de la rosca: M6 Longitud de la rosca: 10 mm Par de torsión: 20 kgf·cm
2 Orificios de instalación de los altavoces	Para fijar los altavoces SS-SPG02 (no suministrados).
3 Orificios para la instalación del soporte de sobremesa	Para fijar el soporte de sobremesa SU-S02 (no suministrado).
4 Botón  (POWER)	Enciende o apaga (modo en espera) la pantalla. Acciónelo cuando el interruptor de alimentación principal esté en “ON” (lado).
5 Botón INPUT (Selector de entrada) / + (ENTER)	Púselo para seleccionar una señal procedente del conector INPUT u OPTION. La señal entrante cambia de la siguiente manera cada vez que pulsa el botón INPUT. <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> → Video → Component → HD15 → DVI → HDMI → OPTION ← </div> Si no se ha instalado ningún adaptador opcional compatible con la señal de vídeo en la ranura OPTION, ésta se omitirá. Púselo para establecer la selección.
6 Botón +/-/◀/▶ (volumen/selección de elementos de menú)	Púselo para ajustar el volumen de los altavoces. Cuando se visualice el menú, púselo para seleccionar un elemento del menú o ajustar un valor. Púselo para establecer la selección.
7 Botón MENU /  (RETURN)	Púselo para mostrar los menús. Permite volver a la pantalla de menú anterior.

Componentes	Descripción
8 Toma AC IN	Conecte el cable de alimentación de ca a esta toma y a la toma de pared (página 20). Una vez conectado el cable de alimentación de ca, y de cerrar el interruptor de alimentación principal, el indicador  se ilumina en rojo y la pantalla entra en modo de espera.
9 Interruptor  / (alimentación principal)	Ponga el interruptor de alimentación principal en “ON” (pulse el lado) para configurar la pantalla. Cuando ponga el interruptor de alimentación principal en “OFF” (pulse el lado ), el consumo de energía será de 0 W.
10 Toma SPEAKER	Conecte los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) a esta toma. Para obtener más información acerca de la conexión de los altavoces, consulte el manual de instrucciones que acompaña a los altavoces. Para obtener más información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte la página 21.
11 Ranura OPTION (puerto VIDEO/COM)	Instale un adaptador opcional (serie BKM-FW) en esta ranura para ampliar las funciones del monitor (página 19).
12 AUDIO OUT (L/R) (Conector RCA)	Es el terminal de salida de audio del monitor para dispositivos externos. Da salida al sonido de la señal actualmente indicada en la pantalla. Emite una señal de audio correspondiente a la imagen activa* cuando se muestra imagen en imagen (PinP).
<p>Notas</p> <ul style="list-style-type: none"> • La configuración ajustada en “Modo sonido” o “Salida altavoz” no se percibirá. • El estado de reducción de ruido ajustado con el mando a distancia no se percibirá. 	
13 HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub de 15 contactos)	<p>HD15 (RGB/COMPONENT) IN: se conecta a la salida de señal RGB analógica o a la salida de señal de componentes de un equipo de vídeo o de un ordenador (página 43).</p> <p>HD15 (RGB/COMPONENT) OUT: se conecta a la salida de señal RGB analógica o a la entrada de señal de componentes de un equipo de vídeo o de un ordenador (página 43). Se emitirán las señales recibidas a través del conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN anterior.</p> <p>AUDIO IN: recibe una señal de audio. Se conecta con la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo u ordenador.</p> <p>Notas</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cuando la pantalla no está conectada a una fuente de alimentación de ca o si se encuentra en el modo de espera, no se emite ninguna señal a través de HD15 (RGB/COMPONENT OUT). • Cuando introduzca una señal de componentes, cerciórese de no aplicar señales de sincronización a los contactos 13 y 14. Si lo hiciese, la imagen podría no visualizarse adecuadamente.

*Estado en el que se emite sonido y la señal de entrada se puede cambiar.

Componentes	Descripción
14 VIDEO	<p>VIDEO IN (BNC): permite establecer una conexión con la salida de vídeo de un equipo de vídeo.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): permite establecer una conexión con la entrada de vídeo de un equipo de vídeo. Se emitirá la entrada de imágenes de VIDEO IN. Se emite independientemente del estado de conexión de la alimentación (incluyendo en espera).</p> <p>AUDIO IN(minitoma estéreo): se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo.</p>
15 COMPONENT (Conector RCA)	<p>COMPONENT (Y P_B/C_B P_R/C_R) IN: Se conecta con la salida de la señal de componentes de un equipo de vídeo u ordenador. .</p> <p>AUDIO IN: recibe una señal de audio. Se conecta con la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo u ordenador. Utilice el mismo conector que en 14 VIDEO.</p>
16 HDMI	<p>HDMI IN: HDMI (High-Definition Multimedia Interface) ofrece una interfaz entre la pantalla y cualquier dispositivo de audio y vídeo equipado con HDMI, así como ordenadores. Puede disfrutar de vídeo mejorado o de alta definición y de audio digital de dos canales.</p> <p>El modo apropiado para un dispositivo de audio y vídeo o un ordenador se selecciona automáticamente en función del equipo conectado.</p>
	<p>Nota</p> <p>Asegúrese de utilizar únicamente un cable HDMI (no suministrado) que contenga el logotipo HDMI. Recomendamos utilizar un cable HDMI Sony (tipo de alta velocidad).</p>

HDMI, High-Definition Multimedia Interface, y HDMI Logo son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de HDMI Licensing LLC en los Estados Unidos y otros países.

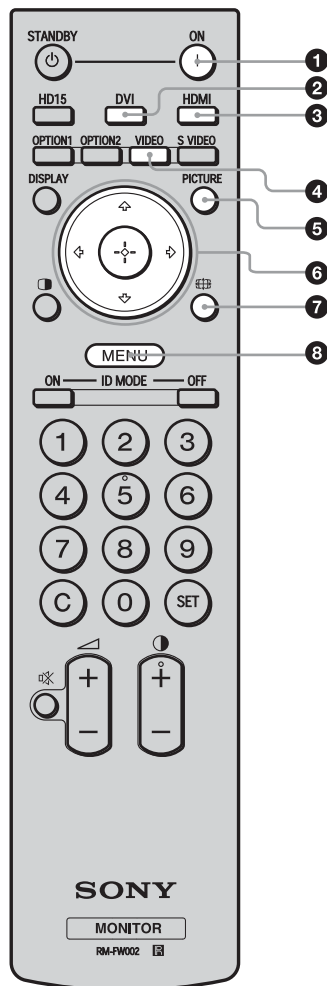
Componentes	Descripción
17 DVI (DVI-D de 24 contactos)	<p>DVI IN: se conecta al terminal de salida de señal digital del equipo de vídeo o del ordenador. Es compatible con la protección contra copia HDCP.</p> <p>DVI OUT: Se conecta con la entrada DVI digital de audio de un equipo de vídeo u ordenador. Saldrán las señales de entrada desde el conector DVI IN anterior.</p> <p>AUDIO IN: recibe una señal de audio. Se conecta a la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo, etc.</p> <p>Nota</p> <p>Cuando el monitor esté en el modo de espera o apagado, no habrá salida de señal desde DVI OUT.</p>
18 REMOTE (STRAIGHT) (D-sub de 9 contactos)	<p>Este conector permite controlar a distancia la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener más información, póngase en contacto con un distribuidor Sony autorizado.</p> <p>Nota</p> <p>Si utiliza este conector, seleccione “RS-232C” en “Puerto de red”. (página 32)</p>
19 REMOTE () (10BASE-T/100BASE-TX)	<p>Sirve para conectar la pantalla a una red, mediante un cable 10BASE-T/100BASE-TX LAN.</p> <p>Es posible asignar varias configuraciones de la pantalla y controlar la visualización a través de la red desde un ordenador.</p> <p>Precaución</p> <p>Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva. Siga las instrucciones de este puerto de conexión.</p> <p>Nota</p> <p>Si utiliza este conector, seleccione “LAN” en “Puerto de red”. (página 32)</p>

Mando a distancia

Nota

No es posible utilizar el botón S VIDEO ni el botón OPTION2 en esta pantalla.

Descripción de los botones



1 Botón ON (encendido)

Púlselo para encender la pantalla.

Acciónelo cuando el interruptor de alimentación principal de la parte posterior de la pantalla esté en "ON".

2 Botón DVI

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al puerto DVI.

3 Botón HDMI

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al conector HDMI IN desde un equipo de vídeo.

4 Botón VIDEO

Púlselo para cambiar entre las señales de entrada de VIDEO IN y COMPONENT IN.

5 Botón PICTURE

Selecciona "Modo imagen". Cada vez que se pulsa, se alterna entre "Vívido", "Estándar", "Personalizado", "Conferencia" y "TC Control".

6 Botones $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow/\oplus$

Pulse los botones $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ para mover el menú seleccionado y ajustar los valores.

Al pulsar \oplus se establecerán el menú seleccionado o los elementos de ajuste.

Cuando se esté mostrando imagen en imagen (PinP), podrá cambiar los ajustes de la imagen insertada (página 17).

7 Botón \square

Púlselo para cambiar la relación de aspecto (página 16).

8 Botón MENU

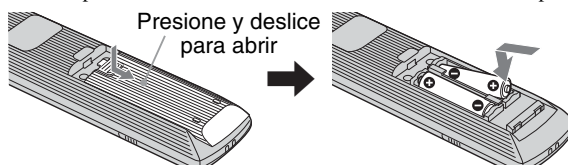
Púlselo para mostrar el menú en la pantalla. Vuelva a pulsarlo para ocultar el menú (página 22).

Notas

- El botón 5 y el botón \bullet cuentan con un punto táctil. Utilice el punto táctil como referencia cuando utilice la pantalla.
- Introduzca dos pilas AA (R6) (suministradas) haciendo coincidir los polos \oplus y \ominus de las pilas con el dibujo que se encuentra en el interior del compartimiento de las pilas del mando a distancia.

Precaución

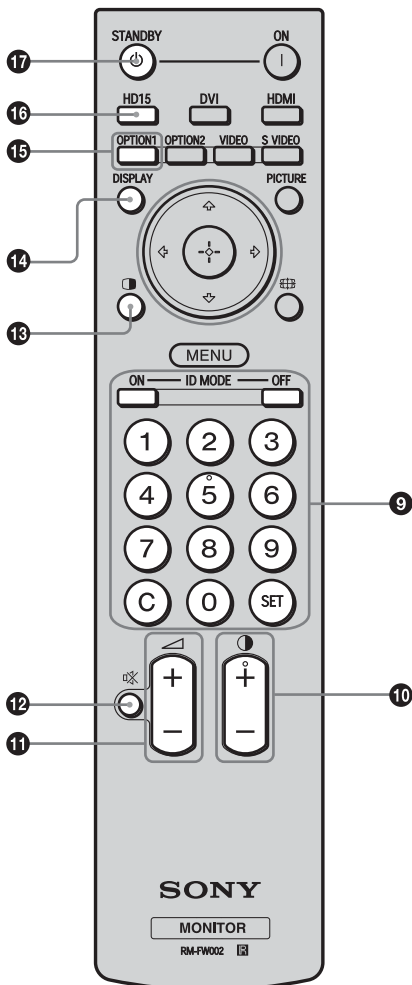
Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante. Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.



Colocación de las pilas

Se suministran dos pilas de tamaño AA (R6) para el mando a distancia RM-FW002.

Para evitar el riesgo de explosión, utilice pilas alcalinas o de manganeso de tamaño AA (R6).



9 Botones ID MODE (ON/O-9/SET/C/OFF)

Es posible utilizar una pantalla específica introduciendo el "Número índice" de tal pantalla sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

- Botón ON: Púlselo para mostrar el "Número índice" en la pantalla.
- Botones 0-9: Púlselos para introducir el "Número índice" de la pantalla que desea utilizar.
- Botón SET: Púlselo para ajustar el "Número índice" introducido.
- Botón C: Púlselo para borrar el "Número índice" introducido.
- Botón OFF: Púlselo para volver al modo normal (página 18).

10 Botón +/-

Ajusta el nivel de contraste de la imagen.

11 Botón +/-

Púlselo para ajustar el volumen.

12 Botón [Silencio]

Púlselo para silenciar el sonido. Púlselo de nuevo para restablecer el sonido.

13 Botón [PinP]

Púlselo para cambiar la pantalla del modo de pantalla única a imagen en imagen (PinP). Vuelva a pulsarlo para que se muestre la imagen única (página 17).

14 Botón DISPLAY

Púlselo para visualizar la entrada seleccionada en estos momentos, el tipo de señal de entrada y el ajuste de "Modo panorámico" de la pantalla. Vuelva a pulsarlo para ocultarlos. Si deja que la información permanezca en pantalla, ésta desaparecerá automáticamente transcurrido un breve período de tiempo.

15 Botón OPTION1

Cuando se instala un adaptador opcional, selecciona una señal de entrada desde el equipo conectado al adaptador opcional. Si el adaptador opcional instalado cuenta con varios conectores de entrada, cada vez que pulse el botón alternará entre las señales de entrada.

16 Botón HD15

Púlselo para seleccionar la señal de entrada del conector HD15 (RGB/COMPONENT). La señal RGB o la señal de componentes se seleccionan automáticamente o manualmente de acuerdo con los ajustes del menú.

17 Botón STANDBY

Púlselo para cambiar la pantalla al modo de espera.

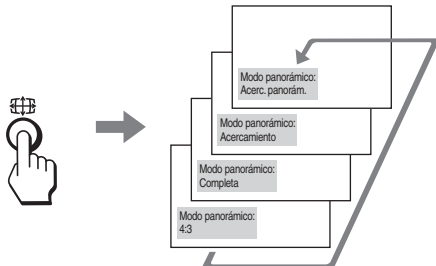
Botones útiles del mando a distancia

Utilización del Modo ancho

Es posible cambiar el formato de la pantalla.

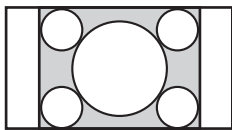
Sugerencia

Es posible acceder a los ajustes de “Modo panorámico” en los ajustes de “Pantalla” (página 28).

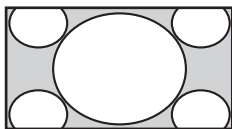


Para la entrada de un equipo de vídeo como, por ejemplo, un vídeo, un DVD, etc. (excepto la entrada del ordenador)

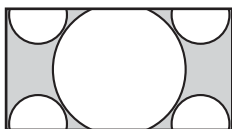
Fuente original 4:3



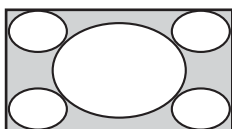
Acerc. panorám.



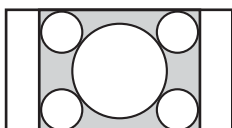
Acercamiento



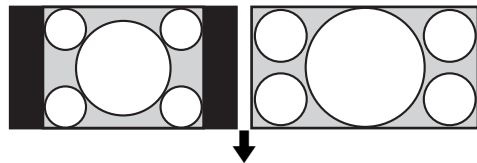
Completa



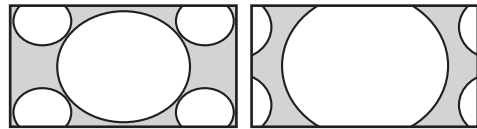
4:3



Fuente original 16:9



Acerc. panorám.



Acercamiento



Completa



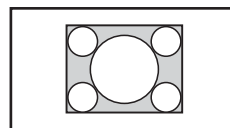
4:3



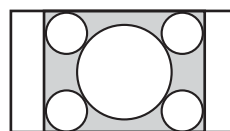
Para la entrada de ordenador

Las imágenes que aparecen a continuación muestran la resolución de entrada de 800×600

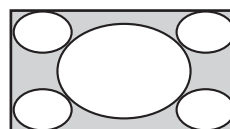
Real



Completa 1



Completa 2



Nota

Si la resolución de entrada es superior a la del panel (1.920 × 1.080), la visualización de la opción “Real” será la misma que la de la opción “Completa 1”.

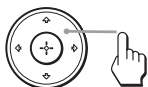
Utilización del ajuste de PAP

La imagen insertada se muestra dentro de la imagen principal. Es posible cambiar el tamaño de la imagen insertada. También puede acceder al "Ajuste de PAP" en los ajustes de "Pantalla" (página 26).

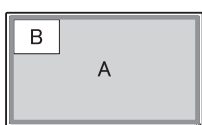
Utilice un conector de entrada de vídeo que no sea VIDEO IN para mostrar imagen en imagen (PinP).

Nota

Una señal de vídeo compuesto procedente del conector VIDEO IN no admite PinP.

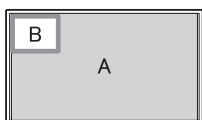


El cursor muestra la imagen activa



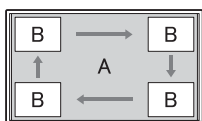
La imagen insertada (B) se muestra dentro de la imagen principal (A).

Pulse el botón \leftarrow/\rightarrow .



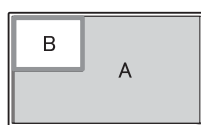
La imagen insertada (B) se convierte en la imagen activa.

Pulse el botón \oplus .



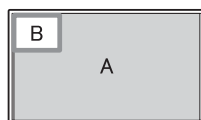
La posición de la imagen insertada (B) cambiará.

Pulse el botón \updownarrow .



El tamaño de la imagen insertada (B) se ampliará.

Pulse el botón \updownarrow .



El tamaño de la imagen insertada (B) se minimizará.

Sugerencias

- El cursor que indica que la imagen se encuentra activa desaparecerá en 5 segundos.
- Pueden seleccionarse 2 tamaños de imagen insertada.

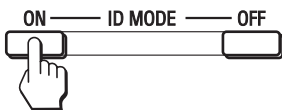
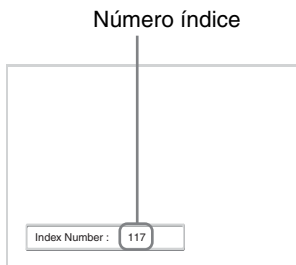
ES

Utilización del botón ID MODE

Es posible utilizar una pantalla específica introduciendo el “Número índice” de tal pantalla sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

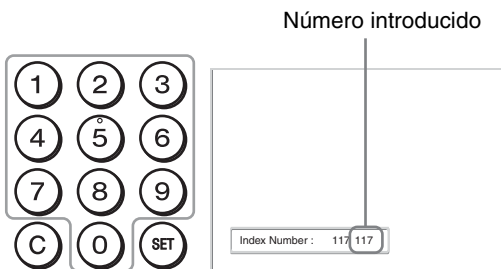
1 Pulse el botón **ON** .

El “Número índice” de la pantalla se muestra en caracteres negros en el menú de la parte inferior izquierda de la pantalla. (A cada pantalla se le asigna un “Número índice” individual predefinido de 1 a 255).



2 Introduzca el “Número índice” de la pantalla que desea utilizar mediante los botones 0 - 9 del mando a distancia.

El número introducido aparece al lado del “Número índice” de cada pantalla.



3 Pulse el botón **SET** .

Los caracteres de la pantalla seleccionada cambian a verde mientras que los otros cambian a rojo.

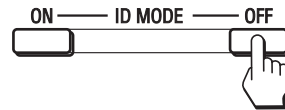


Puede utilizar sólo la pantalla específica indicada con caracteres verdes.

Sólo el funcionamiento del botón ON (encendido) y el botón STANDBY/ID MODE-OFF resulta también efectivo en otras pantallas.

4 Cuando haya terminado de cambiar los ajustes, pulse el botón **OFF**.

La visualización vuelve a la pantalla normal.



Para corregir el Número índice

Pulse el botón **C** para borrar el “Número índice” introducido actualmente. Vuelva al paso 2 e introduzca un nuevo “Número índice”.



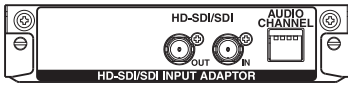
Sugerencia

Para cambiar el “Número índice” de la pantalla, consulte “Número índice” en “Ajuste de control” en la página 29.

Adaptadores opcionales

El terminal de la ranura OPTION ① (página 11) cerca de la parte inferior del lado posterior de la pantalla es de tipo ranura de inserción. Puede cambiarse por el siguiente adaptador opcional (no suministrado). Para obtener más información acerca de la instalación, póngase en contacto con su distribuidor Sony. Para obtener más información acerca de los adaptadores opcionales para la ampliación del sistema, consulte los manuales de instrucciones correspondientes junto con este manual.

Adaptador HD-SDI/SDI INPUT BKM-FW16



Se conecta a la salida de señales HD-SDI de un dispositivo de vídeo.

Antes de comenzar

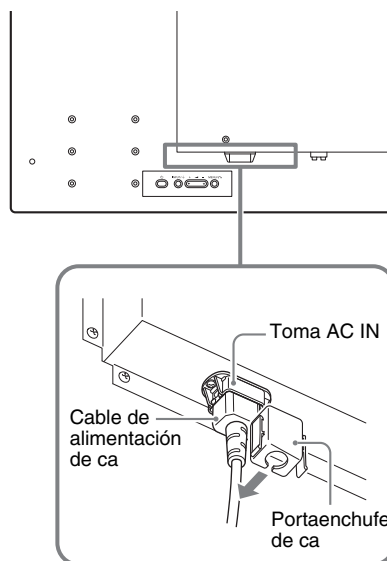
- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables adecuados para el equipo que vaya a conectar.
- Inserte los cables completamente en los conectores o las tomas para realizar la conexión. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- Asimismo, consulte el manual de instrucciones del equipo que va a conectar.
- Inserte la clavija firmemente en la toma AC IN.
- Utilice uno de los dos portaenchufes de ca (suministrados) para sujetar la clavija de ca firmemente.

Conexión de los altavoces

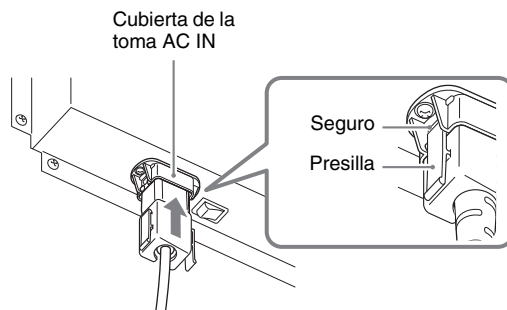
Conecte los altavoces SS-SPG02 (no suministrados). Asegúrese de conectar los altavoces correctamente. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos. Para obtener más información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte la página 21.

Conexión del cable de alimentación de ca

- 1 Enchufe el cable de alimentación de ca en la toma AC IN. A continuación, conecte el portaenchufe de ca (suministrado) al cable de alimentación de ca.



- 2 Deslice el portaenchufe de ca sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma de ca AC IN.



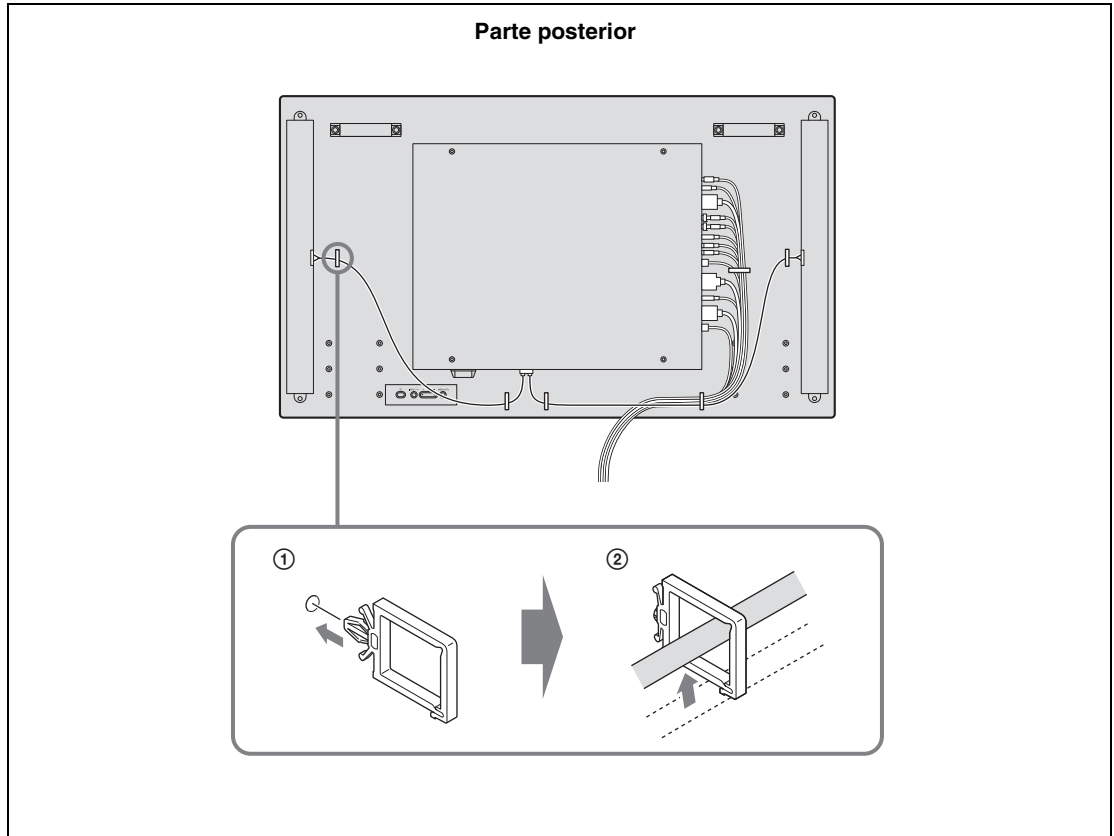
Para retirar el cable de alimentación de ca

Suelte las presillas del portaenchufe de ca del seguro de la tapa de la toma AC IN, sujete el enchufe, y tire del cable de alimentación de ca.

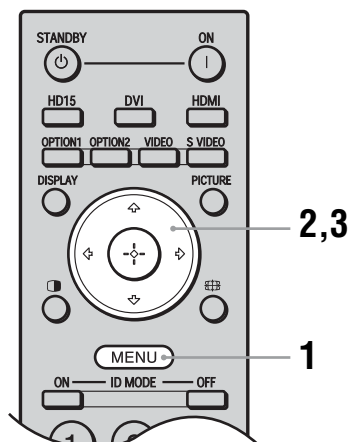
Organización de los cables

Uso de los portacables

Puede sujetar los cables de forma eficaz mediante los portacables (×6) suministrados. Conecte el portacables tal y como se muestra en la siguiente ilustración.



Descripción general de los menús



- 1 Pulse el botón MENU.
- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para resaltar el icono de menú deseado.
- 3 Pulse \leftarrow o \rightarrow .
Para salir del menú, pulse el botón MENU.

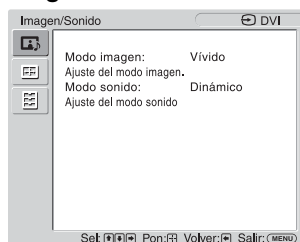
Para cambiar el idioma en pantalla

Seleccione el idioma deseado para los ajustes y mensajes en pantalla entre “English”, “Deutsch”, “Français”, “Español”, “Italiano” o “日本語”. “English” (inglés) está establecido como el ajuste predeterminado (página 29).

Los ajustes le proporcionan acceso a las siguientes funciones:

Ajuste

Imagen/Sonido



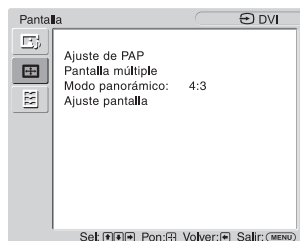
Le permite ajustar/cambiar

Modo imagen: (página 23)
Ajuste del modo imagen. (páginas 23, 24)
Modo sonido: (página 25)
Ajuste del modo sonido (página 25)

Nota

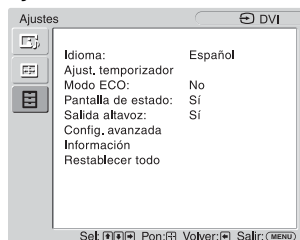
No podrá ajustar ni cambiar “Modo imagen” ni “Ajuste del modo imagen.” cuando no haya entrada de señal.

Pantalla



Ajuste de PAP (página 26)
Pantalla múltiple (página 27)
Modo panorámico: (página 28)
Ajuste pantalla (página 28)

Ajustes



Idioma: (página 29)
Ajust. temporizador (página 29)
Modo ECO: (página 29)
Pantalla de estado: (página 29)
Salida altavoz: (página 29)
Config. avanzada (páginas 29, 30, 31, 32)
Información (página 32)
Restablecer todo (página 32)

* En función de los ajustes realizados, es posible que los iconos del menú que se visualizan en la parte inferior de la pantalla no funcionen.

Ajustes de Imagen/Sonido

Para obtener información acerca del método de ajuste, consulte “Descripción general de los menús” (página 22).

*: No se selecciona durante la entrada de ordenador.

Menú	Función y operación
Modo imagen	<p>Puede elegir una calidad de imagen para hacer que su tipo de imagen concuerde con el brillo del entorno.</p> <p>Sugerencia Para cambiar de una opción de “Modo imagen” a otra, también puede utilizar en su lugar el botón PICTURE (página 14) del mando a distancia.</p>
Vívido	Permite mejorar la nitidez de la imagen, y aumentar al máximo el contraste.
Estándar	Ajuste normal.
Personalizado	Permite ajustar con mayor detalle.
Conferencia	<p>Permite ajustar la calidad de imagen para videoconferencias con iluminación fluorescente.</p> <p>Nota Es posible que “Conferencia” no surta efecto en función del entorno de utilización de su sistema de videoconferencia. En tal caso, ajuste la calidad de imagen utilizando “Ajuste del modo imagen.” (página 23), o cambie a una ajuste de “Modo imagen” que no sea “Conferencia”.</p>
TC Control	<p>Seleccionado cuando se ajusta “True Color Control” (página 24). Si no ajusta “True Color Control”, la imagen mostrada para “TC Control” será la misma que para “Vívido”.</p> <p>Nota Cuando seleccione “TC Control”, “Mejora de brillo” (página 24) se ajustará a “No”.</p>
Ajuste del modo imagen.	<p>Es posible ajustar la calidad de la imagen para cada “Modo imagen” con mayor detalle. Es posible que no pueda ajustar algunos elementos de “Ajuste del modo imagen.” dependiendo del “Modo imagen” que haya seleccionado.</p> <p>Nota Durante la entrada de ordenador, no podrá ajustar “Crominancia”, “Fase”, “Nitidez”, “Reducción de ruido” ni “CineMotion”.</p>
Luz de fondo	Permite ajustar el brillo de la pantalla LCD.
Contraste	Permite aumentar o disminuir el contraste.
Brillo	Permite ajustar el brillo de la imagen.
Crominancia *	Permite ajustar la intensidad del color.
Fase *	<p>Permite ajustar los tonos de color de la imagen.</p> <p>Nota “Fase” estará disponible si el sistema de color de la señal de vídeo es NTSC.</p>
Nitidez *	Permite aumentar la nitidez o suavizar la imagen.
Reducción de ruido *	Permite reducir el ruido procedente del equipo conectado. Los ajustes más altos serán efectivos cuando haya mucho ruido.
No/Bajo/Medio/Alto	
CineMotion *	<p>Seleccione “Automático” o “No”. Si selecciona “Automático”, se para optimizará automáticamente la visualización de la pantalla mediante la detección del contenido de la imagen y la aplicación de un proceso de pull-down inverso de 3-2 o 2-2. La imagen aparecerá más clara y natural.</p> <p>Notas</p> <ul style="list-style-type: none"> El ajuste de “CineMotion” no será válido cuando se muestre imagen en imagen (PinP). “CineMotion” puede no procesarse correctamente dependiendo del patrón de la señal de entrada.

ES

Menú	Función y operación	
Ajuste del modo imagen.	Imagen Dinámica	Seleccione “Sí” o “No”. Seleccione “Sí” para mejorar el contraste haciendo el blanco más luminoso y el negro más oscuro. Notas <ul style="list-style-type: none"> • Solamente podrá ajustar “Imagen Dinámica” cuando se introduzca una señal de vídeo compuesto desde VIDEO IN. • No podrá realizar el ajuste de “Imagen Dinámica” cuando “Modo imagen” esté ajustado en “Conferencia” o “TC Control”.
	Correc. gama Alto/Medio/Bajo/ DICOM GSDF Sim.	ajusta automáticamente el balance entre las partes claras y oscuras de las imágenes. Cuanto más alto sea el ajuste, mayor será la corrección de gamma. Notas <ul style="list-style-type: none"> • No podrá realizar el ajuste de “Correc. gama” cuando “Modo imagen” esté ajustado en “Conferencia”. • “DICOM GSDF Sim.” es el ajuste de gama basado en la función GSDF (Grayscale Standard Display Function) de las normas DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine). Este ajuste sólo sirve de referencia y no puede utilizarse para diagnósticos médicos.
	Temp. color	El tono blanco puede ajustarse según las preferencias personales. Al salir de fábrica están establecidos los ajustes predeterminados. Sugerencia Seleccione “Restablecer” en la pantalla de ajustes de tonos para restaurar los ajustes predeterminados.
	Fría	Permite dar a los colores blancos un tinte azul.
	Neutra	Permite dar a los colores blancos un tinte neutro.
	Cálida	Permite dar a los colores blancos un tinte rojo.
	Personalizado	Permite ajustar una gama más amplia de tono blanco que lo anterior.
	Mejora de brillo	Seleccione “Sí” o “No”. Si selecciona “Sí”, la calidad de la imagen se ajustará para enfatizar el brillo. Notas <ul style="list-style-type: none"> • Podrá realizar el ajuste de “Mejora de brillo” cuando “Modo imagen” esté ajustado en “Vívido”. • Si “Mejora de brillo” está ajustado en “Sí”, no se pueden cambiar los ajustes “Luz de fondo”, “Contraste”, “Brillo” ni “Temp. color”. • Cuando “Mejora de brillo” esté ajustado en “Sí”, con “Luz de fondo” ajustado en “Máx” y “Modo ECO” ajustado en “No”, el brillo será el máximo.
	True Color Control	Puede ajustar la “Tinte” y la “Saturación” de 4 colores, “Rojo”, “Verde”, “Amarillo” y “Azul”, para resaltar colores específicos de una imagen. Seleccione el color que desea ajustar, y compruebe qué parte de la imagen actual que se ajustará. Podrá ajustarla mediante el cuadro de diálogo de matriz del color. Notas <ul style="list-style-type: none"> • “True Color Control” puede ajustarse cuando “Modo imagen” está ajustado en “TC Control”. • No podrá ajustar “True Color Control” cuando se muestre imagen en imagen (PinP). • Los ajustes de “True Color Control” pueden no ser válidos cuando se muestre imagen en imagen (PinP).
	Restablecer	Seleccione “Cancelar” o “Aceptar”. Si selecciona “Aceptar”, todos los ajustes de “Ajuste del modo imagen.” se restablecerán a sus valores predeterminados.

Menú	Función y operación
Modo sonido	Es posible ajustar la salida de sonido de los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) mediante varios ajustes de "Modo sonido".
Dinámico	Permite mejorar la calidad de los agudos y graves.
Estándar	Ajuste normal.
Personalizado	Para ajustar con mayor detalle.
Ajuste del modo sonido	Podrá ajustar con detalle el sonido. Sugerencia Podrá realizar el ajuste de "Agudos" y "Graves" cuando "Modo sonido" esté ajustado en "Personalizado".
Agudos	Permite aumentar o disminuir los agudos.
Graves	Permite aumentar o disminuir los graves.
Balance	Permite acentuar el balance entre los altavoces izquierdo/derecho.
Envolvente	Permite seleccionar el modo envolvente según el tipo de imagen.
No	Sin salida de sonido envolvente.
Sala	Cuando desee obtener un sonido estéreo todavía mejor de películas o programas de música.
Restablecer	Seleccione "Cancelar" o "Aceptar". Si selecciona "Aceptar", todos los ajustes de "Ajuste del modo sonido" se restablecerán a sus valores predeterminados.

Ajustes de Pantalla

Para obtener información acerca del método de ajuste, consulte “Descripción general de los menús” (página 22).


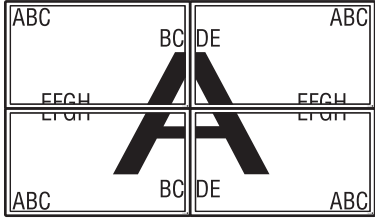
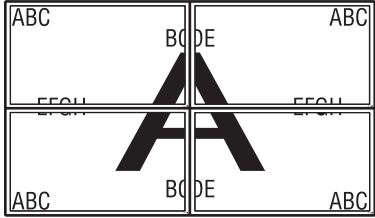

Nota

Si no se está aplicando señal, no se podrá seleccionar “Modo panorámico” ni “Ajuste pantalla”.

Menú	Función y operación
Ajuste de PAP	Muestra simultáneamente dos tipos de señal de entrada de vídeo. Para obtener más información, consulte página 17.
PAP	Seleccione “No” o “PinP”. Seleccione “PinP” para que se visualice la imagen insertada dentro de la imagen principal.
Imagen activa	Permite seleccionar la pantalla que se va a utilizar.
Principal	Permite activar la imagen principal para poder utilizarla.
Sub	Permite activar la imagen insertada para poder utilizarla.
Cambiar	Permite cambiar las imágenes principal e insertada.
Tamaño imagen	Permite seleccionar el tamaño de la imagen insertada. Seleccione entre “Grande” o “Pequeña”.
Posición de la imagen	Ajuste la posición de la imagen insertada con $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow$ y, a continuación, pulse \oplus .


Combinaciones disponibles para PinP

		Vídeo	COMPONENT	HD15		DVI	HDMI	OPTION
				RGB	YUV			HDSI
Vídeo								
COMPONENT						○	○	○
HD15	RGB					○	○	○
	YUV					○	○	○
DVI			○	○	○			
HDMI			○	○	○			
OPTION	HD SDI		○	○	○			

Menú	Función y operación
Pantalla múltiple	<p>Permite establecer ajustes para conectar varios monitores y formar una solución integrada de paneles de imágenes (video wall).</p> <p>Notas</p> <ul style="list-style-type: none"> No podrá ajustar “Pantalla múltiple” cuando se muestre imagen en imagen (PinP). Durante la entrada de vídeo, “Pantalla múltiple” mostrará una imagen lo más cercana posible al ajuste de “Modo panorámico” actual. Pero durante la entrada de ordenador, la imagen se mostrará con “Modo panorámico” ajustado en “Completa 2”. Cuando la opción “Posición” se ajuste en el extremo inferior derecho, el indicador  se iluminará aunque “LED” esté ajustado en “No”. El indicador también se ilumina aunque el monitor esté apagado (modo de espera), se hayan detectado errores o el monitor esté en modo de reposo, incluido en el caso de ausencia de señal o señal no compatible.
Pantalla múltiple	Realice ajustes para formar una vídeo wall.
No	Se utiliza una única pantalla.
2x2 3x3 4x4	Ajustes para la conexión de 2, 3 o 4 pantallas tanto en posición vertical como horizontal.
1x2 1x3 1x4	Ajustes para la conexión de 2, 3 o 4 pantallas en posición horizontal.
2x1 3x1 4x1	Ajustes para la conexión de 2, 3 o 4 pantallas en posición vertical.
Posición	Ajustes para la posición de cada pantalla.
Formato de salida	Puede seleccionar un formato de salida de imagen. La posición de la imagen se ajustará automáticamente, y podrá obtener una salida de imagen adecuada.
Mosaico	<p>Muestra la señal completa de cada pantalla.</p> 
Ventana	<p>Muestra una imagen de gran tamaño con pantalla múltiple de manera natural. Parte de la señal se encontrará detrás del área del marco.</p> 
LED	Seleccione “Sí” o “No”. Si selecciona “Sí”, el indicador  del panel frontal (página 8) permanecerá continuamente encendido.

* No se selecciona durante la entrada de ordenador.

** Se selecciona durante la entrada de ordenador.

Menú	Función y operación
Modo panorámico	<p>Cambiar la relación de aspecto de la pantalla. Para obtener más información, consulte página 16.</p> <p>Sugerencias</p> <ul style="list-style-type: none"> • Para cambiar de una opción de “Modo panorámico” a otra, también es posible utilizar el botón  del mando a distancia. • Seleccione “Acercamiento” para visualizar películas y otro contenido en DVD con franjas negras, utilizando toda el área visible de la pantalla para entrada de vídeo. <p>Notas</p> <ul style="list-style-type: none"> • No es posible modificar la relación de aspecto durante la visualización de imagen en imagen (PinP). La imagen se visualiza con la relación de aspecto utilizada antes de PinP. • No es posible ajustar el “Modo panorámico” mientras se utiliza la función “Pantalla múltiple”.
Acerc. panorám. *	Permite ampliar la imagen hasta llenar la pantalla con una distorsión mínima.
Acercamiento *	Permite ampliar la imagen, manteniendo la misma relación de aspecto .
Completa *	Permite ampliar la imagen original horizontalmente hasta llenar la pantalla cuando la fuente de la imagen sea de 4:3 (definición estándar). Cuando la fuente de la imagen sea 16:9 (alta definición), visualizará con la misma relación de aspecto de 16:9.
4:3 *	Permite visualizar todas las fuentes de imagen con la relación de aspecto de 4:3.
Completa 1 **	Permite ampliar la imagen para que ocupe la pantalla en dirección vertical, manteniendo la misma relación de aspecto . Puede aparecer un marco negro alrededor de la imagen.
Completa 2 **	Permite ampliar la imagen para que ocupe la pantalla.
Real **	<p>Permite visualizar la imagen con el número de puntos original.</p> <p>Nota</p> <p>Si la resolución de entrada es superior a la del panel (1.920 × 1.080), la visualización de la opción “Real” será la misma que la de la opción “Completa 1”.</p>
Ajuste pantalla	<p>Permite ajustar el tamaño y la posición de la pantalla.</p> <p>Nota</p> <p>“Ajuste automático”, “Fase” y “Inclinación” no se encuentran disponibles cuando la señal de entrada de ordenador se aplica digitalmente utilizando un conector DVI IN o HDMI IN.</p>
Ajuste automático **	<p>Seleccione “Cancelar” o “Aceptar”. Si selecciona “Aceptar”, la pantalla ajustará automáticamente la posición y la fase de la imagen cuando reciba una señal de entrada desde el ordenador conectado. Tenga en cuenta que es posible que “Ajuste automático” no funcione bien con ciertas señales de entrada. En estos casos, ajuste manualmente las siguientes opciones.</p> <p>Nota</p> <p>Para ajustar correctamente, ajuste mientras toda la pantalla esté mostrando una imagen brillante.</p>
Fase **	Permite ajustar la fase cuando la pantalla parpadea.
Inclinación **	Permite ajustar la inclinación cuando la imagen presenta rayas verticales no deseadas.
Dimen. horizontal	Permite ajustar horizontalmente el tamaño de la imagen.
Pos. horizontal	Permite ajustar la posición de la imagen hacia la izquierda y derecha.
Dimen. vertical	Permite ajustar verticalmente el tamaño de la imagen.
Pos. vertical	Permite ajustar la posición de la imagen hacia arriba/abajo.
Restablecer	Seleccione “Cancelar” o “Aceptar”. Seleccione “Aceptar” restaurar todos los ajustes de “Ajuste pantalla” a los predeterminados.

☰ Ajustes de Ajustes

Para obtener información acerca del método de ajuste, consulte la sección de “Descripción general de los menús” (página 22).

Menú	Función y operación
Idioma	Permite seleccionar los ajustes de idioma mostrados. Seleccione “English”, “Deutsch”, “Français”, “Español”, “Italiano” o “日本語”.
Ajust. temporizador	Es posible ajustar la hora, visualizar el reloj incorporado o ajustar el temporizador para hacer que la unidad se encienda o se apague a una hora predeterminada. Nota Si deja el interruptor de alimentación principal abierto o el cable de alimentación de ca desconectado durante mucho tiempo, el reloj incorporado puede atrasar o adelantarse de forma significativa. En este caso, reajuste el reloj a la hora correcta.
Config. reloj	Permite ajustar la fecha y la hora del día.
Ajuste de fecha	Permite ajustar la fecha (año, mes, día). El día de la semana se ajustará automáticamente.
Ajuste de hora	Permite ajustar la hora.
Pantalla reloj	Seleccione “Sí” o “No”. Si selecciona “Sí”, cuando pulse el botón DISPLAY del mando a distancia, se mostrará la hora actual ajustada.
Tempor. sí/no	Permite ajustar la hora y el día de la semana. Nota No podrá ajustarse a menos que se haya ajustado “Ajust. temporizador”.
Modo ECO	Permite reducir el consumo de energía cambiando el brillo de la luz de fondo. La selección de “Alto” reducirá el consumo de energía más que “Bajo”.
No/Bajo/Alto	
Pantalla de estado	Seleccione “Sí” o “No”. Si selecciona “Sí”, la información de la señal de entrada y del ajuste de “Modo panorámico” se mostrará en la pantalla durante unos 5 segundos cuando se encienda el monitor. Cuando cambie la señal de entrada, la información de la señal de entrada se mostrará durante unos 5 segundos. Sugerencia Puede hacer que se muestre la información sobre la señal de entrada y el ajuste de “Modo panorámico” pulsando el botón DISPLAY del mando a distancia.
Salida altavoz	Seleccione “Sí” o “No”. Si selecciona “Sí”, saldrá sonido a través de los altavoces.
Config. avanzada	Introducción de ajustes más detallados.
Ajuste de control	Este menú se utiliza para establecer ajustes sobre el funcionamiento del monitor y del mando a distancia.
Número índice	Es posible cambiar el número índice de la pantalla cuando sea necesario. Ajuste el número índice de la pantalla con los botones ⏪/⏩ del monitor, y pulse el botón + para confirmar el ajuste. Nota El “Número índice” no se puede ajustar con el mando a distancia.

ES

Menú		Función y operación
Config. avanzada	Modo control	<p>Ajuste para controlar la pantalla desde el mando a distancia o desde el monitor.</p> <p>Nota</p> <p>Al utilizar este elemento, los modos que se pueden seleccionar variarán en función de si se realiza la selección mediante el mando a distancia o el monitor. Al ajustar este elemento mediante el botón \oplus del mando a distancia, sólo es posible seleccionar “Monitor+Remoto” o “Sólo remoto”. Al ajustar este elemento mediante el botón + del monitor, sólo es posible seleccionar “Monitor+Remoto” o “Sólo monitor”.</p>
	Monitor+Remoto	Permite utilizar la pantalla con los botones de control del monitor y del mando a distancia.
	Sólo monitor	Permite utilizar la pantalla con los botones de control del monitor. No es posible utilizar los botones del monitor para introducir este ajuste.
	Sólo remoto	Permite utilizar la pantalla con los botones del mando a distancia. No es posible utilizar los botones del mando a distancia para introducir este ajuste.
Aj. autom. pant.		<p>Seleccione “Sí” o “No”. Si selecciona “Sí”, los ajustes como el tamaño y la posición de la imagen se guardarán para cada señal de entrada, y los últimos ajustes se aplicarán automáticamente.</p> <p>Nota</p> <p>La función “Aj. autom. pant.” sólo funciona durante la entrada de RGB.</p>
Apagado auto		<p>Seleccione “Sí” o “No”. Cuando seleccione “Sí”, el monitor entrará automáticamente en modo de espera o en el modo de ahorro de energía si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada DVI, HDMI, HD15 (RGB/COMPONENT) o COMPONENT durante unos 30 segundos.</p> <p>Si no se recibe señal a través del conector VIDEO durante unos 5 minutos, el monitor entrará automáticamente en el modo de espera.</p> <p>Sugerencias</p> <ul style="list-style-type: none"> • Esta función estará disponible cuando “Protector de pantalla” esté ajustado en “No”. • Si “DPMS” está ajustado a “Sí”, podrá seleccionar los ajustes para activar el modo de ahorro de energía.
DPMS		<p>Seleccione “Sí” o “No”. Cuando seleccione “Sí”, el monitor entrará automáticamente en modo de ahorro de energía si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada DVI, HDMI o HD15 (RGB) durante unos 30 segundos.</p> <p>Cuando seleccione “No”, el monitor entrará automáticamente en modo de espera si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada DVI, HDMI o HD15 (RGB) durante unos 30 segundos.</p> <p>Sugerencias</p> <ul style="list-style-type: none"> • En el modo de espera, pulse el botón ⏻ del monitor o el botón ON del mando a distancia para encender el monitor. En el modo de ahorro de energía, el monitor se encenderá automáticamente al recibir una señal. • Esta función estará disponible cuando “Protector de pantalla” esté ajustado en “No”. • Esta función estará disponible cuando “Apagado auto” esté ajustado en “Sí”.
Sobreexploración		Permite determinar si las imágenes van a mostrarse con sobreexploración o exploración precisa.
Automático		Determina automáticamente si es una señal de DTV, y después sobreexplora y muestra la imagen.
Sí		Muestra imágenes con sobreexploración.
No		<p>Muestra imágenes con exploración precisa.</p> <p>Nota</p> <p>Durante la entrada de una señal de DTV, puede mostrar una pantalla como cuando se introduce una señal de ordenador.</p> <p>Ejemplo: 480P → 720 × 480/60</p>

Menú	Función y operación	
Config. avanzada	Modo sinc.	<p>Permite ajustar el tipo de entrada de señal en el contacto 13 del conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN (página 43).</p> <p>Notas</p> <ul style="list-style-type: none"> • “Modo sinc.” se encuentra disponible únicamente cuando el conector HD15 recibe una señal de RGB analógica. • En el caso de algunas entradas sólo puede seleccionarse “Comp. H”. En tal caso, reciba las señales de sincronización vertical u horizontal a través de los contactos 13 ó 14 de los conectores. • Este monitor no es compatible con el formato de sincronización de tres valores de 576/60p. • Cuando se ha seleccionado “Vídeo” en “Modo sinc.”, sólo podrá ajustar las señales 575/50i y 480/60i.
	Comp. H	Permite ajustar una entrada de señal de sincronización horizontal.
	Vídeo	Permite ajustar una entrada de señal de vídeo.
RGB/YUV	RGB/YUV	Permite ajustar el tipo de señal para un dispositivo de un equipo de vídeo u ordenador conectado al conector HD15 (RGB/COMPONENT) del monitor.
	Automático	Establece automáticamente si desde un dispositivo conectado entra una señal RGB analógica o una señal de componentes.
	RGB	Ajuste cuando aplique una señal RGB analógica desde un dispositivo conectado.
YUV	Ajuste cuando aplique una señal de componentes desde un dispositivo conectado.	
Sistema de color	<p>Seleccione “Automático” para ajustar el sistema de color automáticamente. Seleccione “NTSC” o “PAL” para ajustar el sistema de color.</p> <p>Nota</p> <p>“Sistema de color” estará disponible cuando la señal de entrada proceda de un conector VIDEO IN (señal de vídeo compuesta).</p>	
RGB Señal	<p>Ajuste si una señal de entrada RGB de 1280 × 720/60, 720 × 480/60 o 1920 × 1080/60 desea visualizarse como señal de ordenador o señal de vídeo.</p> <p>Seleccione “HD15”, “DVI” o “HDMI” de acuerdo con el conector de entrada, y después seleccione “PC” o “Vídeo” para cada ajuste. Los conectores de entrada siguientes son válidos para cada ajuste “HD15”, “DVI” o “HDMI”.</p> <p>“HD15”: conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN</p> <p>“DVI”: conector DVI IN</p> <p>“HDMI”: conector HDMI IN</p>	
Protector de pantalla	<p>Éste es un ajuste para impedir o reducir el calentamiento del monitor o la aparición de la imagen residual que puede producirse cuando la misma imagen se muestra en la pantalla durante un período de tiempo prolongado.</p>	
No	Desactiva el ajuste de “Protector de pantalla”.	
All White	Muestra una pantalla totalmente blanca. (Se detiene automáticamente unos 30 minutos después y la visualización se establece en el modo de espera.)	
Sweep	Desplaza una barra blanca sobre la pantalla.	
En espera	Activa el protector de pantalla durante el tiempo especificado en “Ajust. temporizador” en espera (página 8). (La visualización será en blanco durante la operación del protector de pantalla.) Cuando haya transcurrido el tiempo establecido, la visualización volverá al estado de espera normal.	
Posición del menú	<p>Permite cambiar la orientación de la pantalla del menú para que coincida con la orientación de instalación del monitor.</p>	
Paisaje	Muestra la pantalla del menú horizontalmente.	
Retrato	Muestra la pantalla del menú verticalmente.	

Menú		Función y operación
Config. avanzada	Puerto de red	Permite ajustar qué terminal se conecta al ordenador cuando el monitor se controla a distancia mediante el ordenador. Notas <ul style="list-style-type: none"> • REMOTE (STRAIGHT) y REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) no se pueden utilizar simultáneamente. • Seleccione "LAN" cuando realice "IP Address Setup" o "Speed Setup".
	RS-232C	Seleccione esta opción cuando conecte el monitor y un ordenador a través del conector REMOTE (STRAIGHT).
	LAN	Seleccione esta opción cuando conecte el monitor y un ordenador a través del conector REMOTE ($\frac{\square}{\square}$).
	IP Address Setup	Permite ajustar una dirección IP para habilitar la comunicación entre el conector REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) del monitor y un dispositivo como un ordenador conectado mediante un cable LAN. Para obtener detalles acerca de cómo realizar los ajustes, consulte la sección de "Preparativos para la utilización de las funciones de red" (página 33).
	Speed Setup	Permite ajustar una velocidad de comunicación entre el conector REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) del monitor y un dispositivo como un ordenador conectado mediante un cable LAN. Para obtener detalles acerca de cómo realizar los ajustes, consulte la sección de "Preparativos para la utilización de las funciones de red" (página 33).
	Retardo encendido	Permite ajustar el tiempo desde que se conecta la alimentación hasta que se enciende realmente la pantalla. Se ajusta en "No", y 1 a 120 segundos. De este modo se suprimen las fluctuaciones súbitas de la carga al equipo de alimentación cuando se han conectado varias unidades.
	Control de HDMI	Si conecta un equipo compatible con control de HDMI al conector de entrada HDMI del monitor, el equipo podrá controlarse conjuntamente. Nota Para encender/apagar el visualizador y el equipo conectado tendrá que utilizar el mando a distancia.
	Control de HDMI	Seleccione "Sí" o "No". Si selecciona "Sí", el control del equipo HDMI trabajará, y podrá ajustarse en "Apagado auto dispos." y "Encendido auto monitor". Notas <ul style="list-style-type: none"> • Si no trabaja, realice también los ajustes de HDMI en el equipo conectado. • Para controlar el equipo conectado, éste deberá ser compatible con el control de HDMI, y habrá que habilitar el control de equipo HDMI. • Dependiendo del equipo HDMI, en posible que en algunos casos no funcione conjuntamente con este dispositivo.
	Apagado auto dispos.	Seleccione "Sí" o "No". Si selecciona "Sí", cuando apague el monitor, también se apagará el equipo HDMI conectado.
	Encendido auto monitor	Seleccione "Sí" o "No". Si selecciona "Sí", cuando seleccione reproducción u otro control del equipo HDMI, también se encenderá conjuntamente el monitor.
Información	Muestra la "fecha", el "Nombre modelo", el "Número serie", el "Tiempo función", la "Versión soft", y la "IP Address" de su monitor.	
Restablecer todo	Seleccione "Cancelar" o "Aceptar". Si selecciona "Aceptar", todos los ajustes y opciones se restablecerán a sus valores predeterminados. Nota Algunos elementos de la opción "Información" y el "Número índice" no se restablecerán.	

Preparativos para la utilización de las funciones de red

Precauciones

- Las especificaciones de software de esta unidad están sujetas a cambios de mejora sin previo aviso.
- Las pantallas mostradas por el software de aplicación pueden variar ligeramente con respecto a las ilustraciones que se muestran en este manual.
- Para su seguridad, conecte el puerto de esta unidad a una red que no pueda superar el límite de voltaje o las fuentes de voltaje.
- Los pasos descritos en este manual solamente se garantizan cuando se utilizan con las siguientes condiciones de entorno.

Sistema operativo:

Microsoft Windows XP/Windows Vista/
Windows 7

Navegador:

Microsoft Internet Explorer 7.0 o posterior

- Para garantizar la seguridad en la red, se recomienda configurar un nombre de usuario y una contraseña. Para obtener más información acerca de cómo realizar estos ajustes, consulte la sección “Pantalla Setup (Instalación)” (página 36).

Para obtener información acerca de los ajustes de seguridad, consulte a su administrador de red.

Asignación de una dirección IP

Es posible conectar el monitor a una red mediante un cable 10BASE-T/100BASE-TX LAN.

Al conectar el dispositivo a una red LAN, las direcciones IP del monitor se pueden ajustar mediante uno de los dos métodos que se indican a continuación. Póngase en contacto con el administrador de red para obtener información acerca de la selección de la dirección IP.

- **Asignación de una dirección IP fija al monitor**
Por lo general, se debe utilizar este método.
- **Obtención automática de una dirección IP**
Si la red a la que está conectada el monitor dispone de un servidor DHCP, puede hacer que el servidor DHCP asigne una dirección IP automáticamente. Tenga en cuenta que en este caso es posible que la dirección IP cambie cada vez que se encienda el monitor en el que está instalada la pantalla.

Antes de ajustar la dirección IP, conecte el cable LAN al monitor para establecer la red. Al cabo de unos 30 segundos, encienda el monitor y, a continuación, empiece a realizar los ajustes deseados.

-
- Microsoft y Windows son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y/o en otros países.
 - Los demás nombres de productos, empresas, etc. que se mencionan en este manual son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios.

Asignación de una dirección IP fija al monitor

- 1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.
- 2 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón \oplus .
- 3 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón \oplus .
- 4 Seleccione "Puerto de red" con \uparrow/\downarrow y pulse \oplus .
- 5 Seleccione "LAN" con \uparrow/\downarrow y pulse \oplus .
- 6 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "IP Address Setup" y pulse el botón \oplus .
- 7 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Manual" y pulse el botón \oplus .
- 8 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar un elemento deseado entre "IP Address", "Subnet Mask", "Default Gateway", "Primary DNS" y "Secondary DNS" y pulse el botón \oplus .
- 9 Utilice los botones \uparrow/\downarrow del monitor o los botones numéricos del mando a distancia para introducir un número de tres dígitos (de 0 a 255) para cada una de las cuatro casillas y pulse \oplus o \Rightarrow .
- 10 Introduzca el número de tres dígitos (de 0 a 255) para cada una de las cuatro casillas y pulse \oplus . Repita el procedimiento que se indica en el paso 6 y seleccione el siguiente elemento deseado mediante los botones \uparrow/\downarrow y pulse el botón \oplus .

- 11 Una vez ajustados los valores de todos los elementos deseados, utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Execute", y pulse el botón \oplus .

Seleccione "Execute" y pulse el botón \oplus . Se ajustará una dirección IP manualmente.

Obtención automática de una dirección IP

- 1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.
- 2 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón \oplus .
- 3 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón \oplus .
- 4 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "IP Address Setup" y pulse el botón \oplus .

- 5 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "DHCP" y pulse el botón \oplus .

Seleccione "Execute" y pulse el botón \oplus . Se ajustará una dirección IP automáticamente.

Si selecciona "Cancelar", la configuración no se ejecutará.

Nota

Si no se ajusta correctamente una dirección IP, aparecerán los siguientes códigos de error en función de la causa del error.

Error 1: Error de comunicaciones

Error 2: otro equipo ya utiliza la dirección IP especificada

Error 3: error en la dirección IP

Error 4: error en la dirección de Gateway

Error 5: error en la dirección DNS primaria

Error 6: error en la dirección DNS secundaria

Error 7: error en la máscara de subred

Comprobación de la dirección IP asignada automáticamente

- 1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.
- 2 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón \oplus .
- 3 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Información" y pulse el botón \oplus .

Se visualiza la dirección IP actualmente asignada.

Sugerencia

Cuando no pueda adquirirse correctamente la dirección IP, la dirección IP previamente adquirida se mostrará en "Información" y en "Manual" de "IP Address Setup".

Asignación de una velocidad de comunicación

- 1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.
- 2 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón \oplus .
- 3 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón \oplus .
- 4 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Speed Setup" y pulse el botón \oplus .
- 5 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar la velocidad de comunicación deseada entre "Auto", "10Mbps Half", "10Mbps Full", "100Mbps Half" o "100Mbps Full" y pulse el botón \oplus .

Si se selecciona "Auto", la velocidad de comunicación adecuada para su configuración de red se ajustará automáticamente.

- 6 Utilice los botones \uparrow/\downarrow para seleccionar "Execute" y pulse \oplus aplicar el ajuste.

Uso con un ordenador

Control del monitor

Puede realizar distintos ajustes del monitor en la pantalla del ordenador.

Asegúrese de que el monitor, el ordenador y el enrutador o el concentrador están conectados correctamente mediante el cable de red.

A continuación, encienda el monitor, el ordenador y el enrutador o el concentrador.

Existen cuatro pantallas de visualización, divididas por la función: Pantalla Information (Información), Configure (Configuración), Control y Setup (Instalación).

Para obtener más información acerca de las funciones de los botones, consulte las instrucciones para cada función del monitor.

- 1** Inicie el navegador del ordenador (Internet Explorer 7.0 o posterior).
- 2** Introduzca la dirección IP que se ha asignado al monitor en la página anterior como "http://xxx.xxx.xxx.xxx" y, a continuación, pulse la tecla ENTER del teclado.
Si ha configurado un nombre de usuario y una contraseña, aparecerá la pantalla "Network Password" (Contraseña de red). Escriba el nombre de usuario y la contraseña que ha establecido y, a continuación, prosiga con el paso siguiente.
- 3** Haga clic en la ficha de las funciones de la parte superior de la pantalla para seleccionar la pantalla que desee.

Ajuste de los elementos en las respectivas pantallas

Cuando utilice la función LAN del monitor

Pantalla Information (Información)

Esta pantalla muestra el nombre del modelo, el número de serie y otros datos acerca del monitor, así como el estado de la alimentación y la selección de la señal de entrada.

Esta pantalla sólo muestra información. No es posible ajustar ningún elemento.

Pantalla Configure (Configuración)

Timer (Temporizador)

Permite ajustar la función del temporizador.

Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply" (Aplicar).

Screen Saver (Protector de pantalla)

Permite ajustar la función del protector de pantalla.

Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply" (Aplicar).

Picture and Picture (Imagen e imagen)

Permite ajustar la función Picture and Picture (Imagen e imagen).

Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply" (Aplicar).

Nota

Antes de ajustar la función "Timer" (Temporizador), asegúrese de configurar la hora en la pantalla Setup (Instalación) (página 36).

Pantalla Control

POWER (interruptor de alimentación)

Permite encender o apagar el monitor.

INPUT (Selector de entrada)

Permite seleccionar la señal de entrada.

PICTURE MODE (Modo de imagen)

Permite seleccionar el modo de imagen.

ASPECT (Formato)

Permite cambiar el formato de la imagen.

Botones Contrast (Contraste) +/-

Permiten ajustar el contraste de la pantalla.

Botones Brightness (Brillo) +/-

Permiten ajustar el brillo de la imagen.

Botones Chroma (Crominancia) +/-

Permiten ajustar la intensidad del color.

Botones Phase (Fase) +/-

Permiten ajustar los tonos del color.

Botón Reset (Restablecer)

Permite restablecer los ajustes de “Contrast” (Contraste) a “Phase” (Fase) a los valores predeterminados de fábrica.

Notas

- Si la señal de entrada es Vídeo y el sistema de color de la señal de vídeo no es NTSC, “Fase” no está disponible.
- “Los ajustes de “Crominancia” y “Fase” no están disponibles para la entrada de ordenador.
- “Normal” en el ajuste de ASPECT (Formato) corresponde a “4:3” para entrada de vídeo o “Real” para entrada de ordenador.

Pantalla Setup (Instalación)

Esta pantalla permite realizar los ajustes de Network Password (Contraseña de red). Los ajustes predeterminados de fábrica son los siguientes:

Name (Nombre): root

Password (Contraseña): pudadm

Después de realizar cambios o introducir información, haga clic en “Apply” (Aplicar) en la parte inferior de cada pantalla para activar los ajustes.

No es posible utilizar caracteres especiales en los campos de texto.

Owner Information (Información del propietario)

Owner (Propietario)

Introduzca la información acerca del propietario en este campo.

Display Location (Ubicación del monitor)

Introduzca información acerca de la ubicación de instalación del monitor en este campo.

Nota

No utilice espacios al introducir la información. Si lo hace, es posible que el nombre del archivo no se visualice correctamente.

Memo (Notas)

Permite introducir información complementaria.

Time (Hora)

Time (Hora)

Introduzca la hora, día de la semana, año, mes y día.

Network (Red)

Internet Protocol (TCP/IP) (Protocolo de Internet (TCP/IP))

Seleccione “Specify an IP address” (“Especificar una dirección IP”) para introducir cada valor en la secuencia numérica de la dirección IP.

Seleccione “Obtain an IP address (DHCP)” (“Obtener una dirección IP (DHCP)”) para adquirir una dirección IP automáticamente del servidor DHCP. Tenga en cuenta que en este caso es posible que la dirección IP cambie cada vez que se encienda el monitor en el que está instalada la pantalla.

Nota

La dirección IP se puede ajustar desde el menú de la pantalla. Para obtener más información, consulte “IP Address Setup” (página 32).

Password (Contraseña)

Permite introducir la información acerca de la contraseña y el nombre del administrador y del usuario. El nombre del administrador queda establecido permanentemente como “root”.

Pueden tener un máximo de 8 caracteres cada uno. Cuando haya ajustado un nombre de usuario y una contraseña, siempre que acceda a la pantalla de control del monitor del dispositivo, aparecerá la pantalla “Network Password” (Contraseña de red). Para garantizar la seguridad en la red, se recomienda configurar un nombre de usuario y una contraseña.

Mail Report (Informe por correo)

Error Report (Informe de error)

Si se produce un error de funcionamiento en el monitor, el sistema informa inmediatamente del error mediante el envío de un mensaje de correo electrónico (informe de error).

Status Report (Informe de estado)

Es posible informar del estado del monitor mediante el envío de un mensaje de correo electrónico según el intervalo de tiempo seleccionado.

Address (Dirección)

Introduzca la dirección de correo electrónico de destino en este campo. El informe de error puede enviarse hasta a cuatro direcciones a la vez. La longitud máxima para cada una de las direcciones es de 64 caracteres.

Mail Account (Cuenta de correo)

Mail Address (Dirección de correo):

Introduzca la dirección de correo electrónico asignada en este campo.

El número máximo de caracteres que puede utilizarse en la dirección es de 64.

Outgoing Mail Server (SMTP) (Servidor de correo saliente (SMTP)):

Introduzca la dirección del servidor de correo en este campo.

El número máximo de caracteres que puede utilizarse en la dirección es de 64.

Send Test Mail (Enviar correo de prueba):

Seleccione esta casilla de verificación y haga clic en “Apply” (Aplicar) para probar si se puede enviar correctamente un mensaje de correo electrónico a las direcciones especificadas. Se enviará un mensaje de correo electrónico de prueba.

Nota

Si no se ajustan los elementos siguientes o si los valores son incorrectos, aparecerá un mensaje de error y no se podrá enviar el mensaje de correo electrónico de prueba:

- Dirección de destino
- Dirección de la cuenta de correo y dirección del servidor de correo (SMTP)

Advanced (Avanzado)

Proporciona acceso a la configuración avanzada, que permite utilizar varias aplicaciones en la red. Realice los ajustes según sea necesario para aplicación correspondiente.

Advertisement (Anuncio)

Permite realizar ajustes para las funciones Advertisement (Anuncio) y Broadcast (Emisión) en la red.

ID Talk

Permite ajustar la función ID Talk. ID Talk es un protocolo que permite el control basado en red del monitor. Los elementos controlados incluyen varias configuraciones y ajustes, como temperatura del color y gamma. Para obtener más información acerca de los comandos ID Talk compatibles, póngase en contacto con el distribuidor Sony local.

SNMP

El monitor es un dispositivo de red compatible con SNMP (Protocolo simple de administración de redes). Además del protocolo MIB-II estándar, también es compatible con el protocolo MIB de Sony Enterprise. Esta pantalla permite realizar ajustes del protocolo SNMP.

Para obtener más información acerca de los comandos SNMP compatibles, póngase en contacto con el distribuidor Sony local.

Restablecimiento de los valores predeterminados



Si desea restaurar todos los ajustes realizados en la pantalla “Setup” (Instalación) a los valores predeterminados de fábrica, aplique el ajuste “Restablecer todo” y, a continuación, vuelva a asignar los ajustes correspondientes de la red.

Solución de problemas

Verifique si el indicador  está parpadeando en rojo.


Cuando parpadea

La función de autodiagnóstico está activada.

- 1 Compruebe el número de veces que el indicador  parpadea y el intervalo de tiempo entre parpadeos.
Por ejemplo, el indicador parpadea 2 veces, deja de parpadear durante 3 segundos y parpadea 2 veces.
- 2 Pulse  (POWER) en el monitor y después el interruptor de alimentación principal para apagarlo, y luego desconecte el cable de alimentación.
Informe a su distribuidor o centro de servicio Sony sobre el modo de parpadear del indicador (el número de parpadeos y la duración del período sin luz).

Cuando no parpadea

- 1 Verifique los elementos en la tabla a continuación.
- 2 Si el problema persiste, haga reparar el monitor por personal capacitado.

Problema	Posibles soluciones
El interruptor de encendido y los botones de control del monitor no funcionan.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique la configuración de “Ajuste de control” (página 29).
La alimentación no se conecta aunque el interruptor  (POWER) se ponga en ON, o el botón ON (encendido) del mando a distancia se ponga en ON.	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe que el interruptor de alimentación principal no esté en “OFF” (página 11).
No se emite ninguna señal de vídeo desde el terminal HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.	<ul style="list-style-type: none"> • No hay salida HD15 (RGB/COMPONENT) OUT cuando este dispositivo está en el estado de espera no cuando se ha desconectado la alimentación de ca.
No se emite ninguna señal desde el terminal HD-SDI OUT de BKM-FW16.	<ul style="list-style-type: none"> • No hay salida HD-SDI OUT cuando este dispositivo está en el estado de espera no cuando se ha desconectado la alimentación de ca.
No se emite ninguna señal desde el terminal DVI OUT .	<ul style="list-style-type: none"> • No hay salida DVI OUT cuando este dispositivo está en el estado de espera ni cuando se ha desconectado la alimentación de ca.
No aparece ninguna imagen.	
No aparece ninguna imagen.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique la conexión entre el equipo de vídeo y el monitor. • Verifique la configuración de “RGB/YUV” (página 31). • Pruebe a cambiar la fuente de entrada mediante el botón INPUT (Selector de entrada) del monitor o el mando a distancia (páginas 10, 14).
El monitor se apaga automáticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique si la función “Ajust. temporizador” está activada (página 29). • Compruebe que la función “Apagado auto” esté ajustada en “Sí” (página 30). • Compruebe que la temperatura ambiente no es superior a 40°C.
El monitor se enciende o apaga automáticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe la configuración de “Control de HDMI” (página 32).



Problema	Posibles soluciones
Mala calidad de imagen.	
La imagen carece de color, es oscura o demasiado brillante, el color de la imagen no es adecuado, la imagen se oscurece de manera gradual o aparece ruido horizontal en la imagen	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse PICTURE para seleccionar el ajuste de “Modo imagen” deseado (página 14). • Seleccione las opciones de “Ajuste del modo imagen.” en los ajustes de “Imagen/Sonido” (páginas 23, 24). • Verifique el estado del cable de la señal. • Compruebe que la temperatura ambiente no es superior a 40°C. • Verifique la configuración de “Modo ECO” (página 29).
Toda la pantalla adquirirá una tonalidad verde o violeta.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique la configuración de “RGB/YUV” (página 31).
No se emite ningún sonido o el sonido que se emite es muy ruidoso.	
Se muestra la imagen, pero sin sonido.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique el control del volumen. • Pulse  en el mando a distancia o  + para que “Muting” (silenciamiento) desaparezca de la pantalla (página 15). • Verifique el ajuste de “Salida altavoz” (página 29).
El mando a distancia no funciona.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe la polaridad de las pilas o reemplácelas. • Oriente el mando a distancia hacia el sensor del monitor. • Mantenga el área del sensor del mando a distancia libre de obstáculos. • Verifique la configuración de “Ajuste de control” (página 29). • Los tubos fluorescentes pueden causar interferencias en el funcionamiento del mando a distancia; pruebe a apagar los tubos fluorescentes.
No es posible conectar el dispositivo a la red.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Conecte el cable firmemente al conector REMOTE. • Compruebe la configuración de red del ordenador. • Asigne el ajuste “Restablecer todo” en el menú de configuración “Ajustes” y, a continuación vuelva a asignar los ajustes adecuados de la red para restaurar los ajustes predeterminados. • Verifique la configuración de “Puerto de red” (página 32).
La pantalla de control de visualización (la pantalla web que muestra la GUI de la pantalla) no se muestra.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Haga clic en el botón de actualizar o de recarga del navegador Web. • Asegúrese de que la dirección IP es correcta. • Utilice Internet Explorer 7.0 o posterior. • Borre la caché del navegador.

Tabla de referencia de señal de entrada

Señales del ordenador

	Resolución	Frecuencia horizontal (kHz)	Frecuencia vertical (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac ^{b)} 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA ^{c)} STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT ^{d)})	29,8	60
16	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
17	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
18	1280 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
19	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
20	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
21	1360 × 768@60Hz (CVT)	47,7	60
22	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
23	1024 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
24	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
25	1400 × 1050@60Hz (CVT)	65,3	60
26	1600 × 1200@60Hz (CVT)	74,5	60
27	1920 × 1080@60Hz	66,6	60

Señales de televisión/vídeo

	Resolución	Entradas disponibles				
		Vídeo	Componente	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p		○	○	○	
10	1080/60p		○	○	○	
11	1080/24psf		○			

- a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE. UU.
 b) Macintosh es una marca comercial de Apple Inc., registrada en los EE.UU. y en otros países.
 c) VESA es una marca comercial registrada de la Video Electronics Standards Association.
 d) Sincronización de vídeo coordinado VESA.

Notas

- Para recibir una señal HDTV, reciba la señal de sincronización de tres niveles a través del segundo contacto del conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN.
- Si los colores se muestran demasiado claros después de recibir una señal de DVD en la pantalla, ajuste "Crominancia" en los ajustes de "Imagen/Sonido".
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.
- No se garantiza que las señales de ordenadores Macintosh reconozcan la entrada digital RGB.
- Las señales de sincronización compuesta corresponden a los n.º 2, 4, 5, 7, 12, 13 y 14 de la tabla de señales que aparece a la izquierda.
- La reproducción de señales de vídeo sin señales subportadoras de crominancia no está garantizada.

Indicaciones en pantalla sobre la señal de entrada y el estado del monitor

Indicación en pantalla	Significado
640 × 480 / 60 (ejemplo)	La señal de entrada seleccionada es una señal de ordenador.
480/60I (ejemplo)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ejemplo)	La señal de entrada seleccionada es una señal de vídeo.
Señal no compatible	La señal de entrada seleccionada es una señal no compatible.
No hay señal	No hay señal de entrada.
Componente	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
HD15	La entrada seleccionada es HD15. “RGB/YUV” se ha ajustado en “Automático”.
HD15 RGB	La entrada seleccionada es HD15. “RGB/YUV” se ha ajustado en “RGB”.
Componente HD15	La entrada seleccionada es HD15. “RGB/YUV” se ha ajustado en “YUV”.
DVI	La señal de entrada seleccionada es DVI.
HDMI	La señal de entrada seleccionada es HDMI.
Vídeo	Se ha seleccionado la señal de vídeo compuesto.
Option HD SDI	Se ha seleccionado la señal HD SDI de la entrada Option.

Especificaciones

Procesamiento de vídeo

Sistema de panel	Panel LCD de matriz activa TFT a-Si
Resolución de pantalla	FWD-S46H2 1.920 puntos (horizontal) × 1.080 líneas (vertical) FWD-S42H2 1.920 puntos (horizontal) × 1.080 líneas (vertical)
Índice de muestreo	De 13,5 MHz a 165 MHz
Sistema de color	NTSC/PAL
Señal de entrada	Consulte la página 40.
Inclinación de píxeles	FWD-S46H2 0,53 (horizontal) mm × 0,53 (vertical) mm FWD-S42H2 0,4845 (horizontal) mm × 0,4845 (vertical) mm
Tamaño de la imagen	FWD-S46H2 1.018,1 (horizontal) mm × 572,7 (vertical) mm FWD-S42H2 930,2 (horizontal) mm × 523,3 (vertical) mm
Tamaño del panel	FWD-S46H2: 46 pulgadas (1.168,1 mm en diagonal) FWD-S42H2: 42 ¹ / ₈ pulgadas (1.067,3 mm en diagonal)

Entradas y salidas

REMOTE	Puerto de red (10BASE-T/100BASE-TX) D-sub de 9 contactos (hembra) (× 1) (RS-232C)
AUDIO	AUDIO OUT (L/R) Conector RCA
VIDEO	VIDEO IN BNC (× 1) VIDEO OUT BNC (× 1) Vídeo compuesto, 1 V _{p-p} ± 2 dB sincronización negativa, 75 Ω (terminación automática) AUDIO IN Minitoma estéreo (× 1) 500 mVrms, alta impedancia

COMPONENT	COMPONENT (Y P _B /C _B P _R /C _R) IN Conector RCA
HD15 (RGB/COMPONENT)	HD15 (RGB/COMPONENT) IN D-sub de 15 contactos (hembra) (× 1) (Consulte la página 43.) HD15 (RGB/COMPONENT) OUT D-sub de 15 contactos (hembra) (× 1) (Consulte la página 43.) AUDIO IN Minitoma estéreo (× 1) 500 mVrms, alta impedancia
DVI	DVI IN (compatible con la especificación DVI Rev. 1.0) DVI OUT (compatible con la especificación DVI Rev. 1.0) AUDIO IN Minitoma estéreo (× 1) 500 mVrms, alta impedancia
HDMI	HDMI IN (HDMI (1080p))
SPEAKER	Salida de altavoz (L/R) 6 Ω 7W + 7W

Generales

Requisitos de alimentación	100 V a 240 V ca, 50/60 Hz, FWD-S46H2: 1,4 A (máximo) FWD-S42H2: 1,45 A (máximo)
Consumo de energía	FWD-S46H2: 140 W (máximo) FWD-S42H2: 145 W (máximo) 0,5 W (máximo en el modo de espera)
Condiciones de funcionamiento	Temperatura: de 0 °C a 40 °C Humedad: Del 20% al 90% (sin condensación)
Condiciones de almacenamiento/transporte	Temperatura: de -10 °C a +40 °C Humedad: Del 20% al 90% (sin condensación)
Dimensiones	FWD-S46H2 1.053,6 mm × 608,2 mm × 84 mm 1.053,6 mm × 656,3 mm × 292,6 mm (incluyendo soportes opcionales) (an/al/prf, partes salientes excluidas) FWD-S42H2 967,8 mm × 560,7 mm × 88 mm 967,8 mm × 608,8 mm × 292,6 mm (incluyendo soportes opcionales) (an/al/prf, partes salientes excluidas)

Peso FWD-S46H2
 Aprox. 22,7 kg
 Aprox. 24,5 kg
 (incluyendo soportes opcionales)
 FWD-S42H2
 Aprox. 20,2 kg
 Aprox. 22,0 kg
 (incluyendo soportes opcionales)

Accesorios suministrados

Cable de alimentación de ca (1)
 Portaenchufe de ca (2)
 Portacables (6)
 Mando a distancia RM-FW002 (1)
 Pilas manganeso de tamaño AA (R6) (2)
 Manual de instrucciones (1)

Accesorios opcionales

Soporte de pantalla SU-S02
 Altavoces SS-SPG02
 Adaptadores opcionales para ampliación del sistema, serie BKM-FW

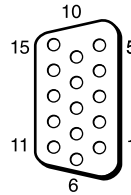
Normas de seguridad

UL 60950-1, CSA N° 60950-1-03 (c-UL), FCC Clase B, IC Clase B,
 EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Asignación de contactos

Conector HD15 RGB/COMPONENT (D-sub de 15 contactos)



N° de contacto	Señal
1	Vídeo rojo o C _R /P _R
2	Vídeo verde o Y
3	Vídeo azul o C _B /P _B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización horizontal, sincronización compuesta o vídeo compuesto (como señal de sincronización)
14	Sincronización vertical
15	SCL

Nota

Cuando introduzca una señal de componentes, cerciórese de no aplicar señales de sincronización a los contactos 13 y 14. Si lo hiciese, la imagen podría no visualizarse adecuadamente.

Índice alfabético

Números

4:3 16, 28

A

Acerc. panorám. 16, 28
Acercamiento 16, 28
Address (Dirección) 36
Advanced (Avanzado) 37
Advertisement (Anuncio) 37
Agudos 25
Aj. autom. pant. 30
Ajust. temporizador 22, 29
Ajuste automático 28
Ajuste de control 29
Ajuste de PAP 17, 22, 26
Ajuste del modo imagen. 22, 23
Ajuste del modo sonido. 22, 25
Ajuste pantalla 22, 28
Ajustes de Ajustes 22, 29
Ajustes de Imagen/Sonido 22, 23
Ajustes de Pantalla 22, 26
Apagado auto 30
Apagado auto dispos. 32
Aspecto 16

B

Balance 25
Botón de contraste 15
Botón de volumen 10, 15
Botón DISPLAY 15
Botón DVI 14
Botón ENTER 10
Botón HD15 15
Botón HDMI 14
Botón INPUT 10
Botón MENU 10, 14, 22
Botón Modo ancho 14, 16
Botón ON (encendido) 14
Botón OPTION 1 15
Botón PAP 15, 17
Botón PICTURE 14
Botón POWER 10
Botón RETURN 10
Botón silenciador 15
Botón STANDBY 15
Botón VIDEO 14
Botones ID MODE 15, 18
Brillo 23

C

Cambiar 26
CineMotion 23
Completa 16, 28
Completa 1 16, 28
Completa 2 16, 28
Conector AUDIO IN 11, 12, 13
Conector AUDIO OUT 11
Conector DVI 13
Conector DVI IN/OUT 13

Conector HD15 (RGB/
COMPONENT) 11
Conector HD15 (RGB/
COMPONENT) IN/OUT 11
Conector HDMI 12
Conector REMOTE 13
Conector VIDEO IN 12
Conferencia 23
Config. avanzada 22, 29
Config. reloj 29
Contraste 23
Control de HDMI 23
Correc. gama 24
Crominancia 23

D

Dimen. horizontal 28
Dimen. vertical 28
Dinámico 25
DPMS 30

E

Encendido auto monitor 32
Envolvente 25
Error Report (Informe de error) 36
Estándar 23, 25

F

Fase 23, 28
Formato de salida 27

G

Graves 25

I

ID Talk 37
Idioma 22, 29
Imagen activa 26
Imagen Dinámica 24
Inclinación 28
Indicador de encendido/en espera 8
Información 22, 32
Interruptor de alimentación principal 11
IP Address Setup (Configuración de dirección IP) 32

L

LED 27
Luz de fondo 23

M

Mail Account (Cuenta de correo) 36
Mail Report (Informe por correo) 36
Mejora de brillo 24
Modo ancho 16
Modo control 30
Modo ECO 22, 29
Modo imagen 22, 23
Modo panorámico 22, 28
Modo sinc. 31
Modo sonido 22, 25

Mosaico 27

N

Network (Red) 36
Nitidez 23
Número índice 15, 18, 29

O

Owner Information (Información del propietario) 36

P

Pantalla Configure (Configuración) 35
Pantalla Control 35
Pantalla de estado 22, 29
Pantalla Information (Información) 35
Pantalla múltiple 22, 27
Pantalla reloj 29
Pantalla Setup (Instalación) 36
Password (Contraseña) 36
Personalizado 23, 25
Portacables 21
Pos. horizontal 28
Pos. vertical 28
Posición 27
Posición de la imagen 26
Posición del menú 31
Protector de pantalla 31
Puerto de red 32

R

Ranura OPTION 11
Real 16, 28
Reducción de ruido 23
Restablecer 24, 25, 28
Restablecer todo 22, 32
Retardo encendido 32
RGB Señal 31
RGB/YUV 31
RS-232C 13, 32

S

Salida altavoz 22, 29
Señal de entrada 40
Sensor del mando a distancia 8
Sistema de color 31
SNMP 37
Sobreexploración 30
Speed Setup (Configuración de velocidad) 32
Status Report (Informe de estado) 36

T

Tamaño imagen 26
TC Control 23
Temp. color 24
Tempor. sí/no 29
Toma AC IN 11, 20
Toma SPEAKER 11

V

Ventana 27

Vívido 23

ES

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

AVVERTENZA

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

Trasporto

Durante il trasporto del display, tenere l'apparecchio stesso, non i diffusori. Diversamente, è possibile che i diffusori fuoriescano dall'apparecchio e che quest'ultimo cada provocando ferite.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifici un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Giappone.

La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

AVVERTENZA

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina conformi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, rivolgersi al personale qualificato.

Indice

Introduzione

Precauzioni	4
Consigli relativi all'installazione	6

Posizione e funzione delle parti e dei comandi

Parte anteriore	8
Parte posteriore.....	9
Telecomando	14
Descrizione dei tasti.....	14
Tasti utili del telecomando.....	16
Usò del Modo ampio.....	16
Usò dell'impostazione PAP	17
Usò del tasto ID MODE.....	18
Adattatori opzionali.....	19

Collegamenti

Collegamento dei diffusori.....	20
Collegamento del cavo di alimentazione CA.....	20
Sistemazione dei cavi	21

Usò delle impostazioni

Panoramica dei menu	22
Impostazioni Immagine/Audio	23
Impostazioni del menu Schermo.....	26
Impostazioni del menu Impostazione.....	29

Funzioni di rete

Operazioni preliminari per l'usò delle funzioni di rete.....	33
Usò del PC	35

Altre informazioni

Guida alla risoluzione dei problemi	38
Tabella di riferimento dei segnali di ingresso	40
Caratteristiche tecniche.....	42
Indice analitico	44

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione d'uso, il consumo energetico e altri dati ancora è situata posteriormente all'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel mobile si deve scollegare l'apparecchio dalla presa di rete e farlo controllare da personale qualificato prima di continuare ad usarlo.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo si raccomanda di scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA lo si deve afferrare dalla spina. Non si deve mai tirare il cavo stesso.

Pulizia

Prima di procedere alla pulizia del display si deve scollegare il cavo di alimentazione.

Pulizia del display

Prestare attenzione affinché oggetti pesanti non graffino, esercitino pressione o colpiscano la superficie dello schermo del display, onde evitare che quest'ultima si danneggi.

Lo schermo del display dispone di una superficie speciale che deve essere trattata con cura.

Seguire le istruzioni riportate di seguito per evitare una riduzione delle prestazioni a causa del maneggio errato durante la pulizia.

- Rimuovere con cura la polvere dalla superficie dello schermo utilizzando un panno morbido. Si consiglia di utilizzare un apposito panno di pulizia o un panno per la pulizia dei vetri.
- Se la superficie dello schermo è particolarmente sporca, pulirla con un panno di pulizia morbido leggermente inumidito con acqua.
- Non utilizzare alcol, benzene, trielina, solventi detergenti acidi o alcalini, detergenti abrasivi o panni trattati chimicamente, onde evitare di danneggiare la superficie dello schermo.

Pulizia del mobile

- Per la pulizia si deve usare un panno asciutto e morbido. Per la rimozione delle macchie persistenti si deve usare un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente neutra, quindi asciugare la parte interessata con un panno morbido e asciutto.
- Non utilizzare alcol, benzene, trielina o insetticidi. Diversamente è possibile che la finitura della superficie si danneggi o che le indicazioni sull'apparecchio vengano rimosse.
- Se pulito con un panno sporco, lo schermo potrebbe danneggiarsi.
- Se l'apparecchio rimane in contatto per un periodo di tempo prolungato con prodotti in gomma o in plastica è possibile che subisca alterazioni o che il rivestimento protettivo si stacchi.

Informazioni sul pannello LCD

- L'esposizione prolungata al sole del pannello LCD lo potrebbe danneggiare. Tenere in considerazione questa eventualità durante l'installazione dell'apparecchio in ambienti esterni o in prossimità di una finestra.
- Non premere forzatamente o graffiare lo schermo LCD. Non posizionare oggetti sullo schermo. Diversamente è possibile che il display si guasti o che lo schermo LCD subisca danni.
- È possibile che sullo schermo appaiano delle strisce orizzontali o un'immagine residua. È inoltre possibile che lo schermo appaia più scuro quando l'apparecchio viene utilizzato in un ambiente freddo. Non si tratta di problemi di funzionamento dello schermo. Lo schermo torna allo stato di funzionamento normale non appena la temperatura ambiente aumenta.
- Se si lascia visualizzata un'immagine statica per lungo tempo lo schermo potrebbe "bruciarsi" o lasciare un'immagine residua. Questa tuttavia scomparirà con il tempo. In caso di presenza di immagini residue si raccomanda di usare la funzione salvaschermo oppure un software video o grafico in modo che sullo schermo sia sempre visualizzata un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi, il fenomeno non potrà essere risolto completamente.
- È possibile che la superficie del pannello, il mobile o la cornice si surriscaldino durante l'uso. Ciò non costituisce tuttavia alcun problema.

Punti luminosi e scuri sullo schermo LCD

Benché questo schermo LCD sia ad alta tecnologia e offra una risoluzione effettiva di almeno il 99,99%, potrebbe mostrare punti scuri (pixel difettosi) o luminosi (rossi, blu, gialli, ecc.) continuamente accesi o lampeggianti. Si tratta di un fenomeno comune a tutti gli schermi LCD, che a volte si verifica a causa di pixel difettosi. Questi ultimi possono verificarsi nel caso in cui si usi il display per un periodo di tempo molto lungo.

Non si tratta però di un problema di funzionamento dello schermo.

Installazione

- Verificare sempre che l'apparecchio funzioni correttamente prima di utilizzarlo. **SONY NON È RESPONSABILE DI DANNI DI ALCUN GENERE INCLUSI, MA NON LIMITATAMENTE A, RISARCIMENTO O RIMBORSO PER LA PERDITA DI REDDITO PRESENTE O POTENZIALE DOVUTA A GUASTO DELL'APPARECCHIATURA, DURANTE IL PERIODO DI GARANZIA O DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.**
- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccarne le prese di ventilazione.

- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Quando si installano più apparecchi insieme al display, a seconda della posizione degli apparecchi e del display, potrebbero verificarsi problemi quali il malfunzionamento del telecomando, immagini o audio disturbati.

Reimballaggio

Non eliminare il materiale di imballaggio.

Esso potrebbe infatti risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso si raccomanda di reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio si prega di rivolgersi a un rivenditore Sony autorizzato.

Nota sulle illustrazioni

Le illustrazioni del display nelle Istruzioni per l'uso sono del modello FWD-S46H2.

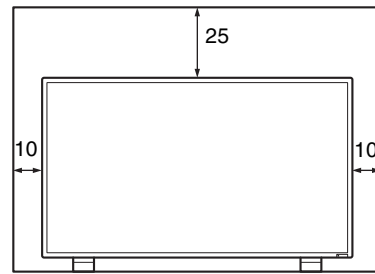
Consigli relativi all'installazione

Installare il display in un luogo spazioso

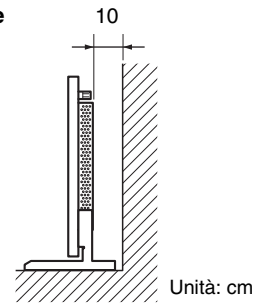
- Per evitare il surriscaldamento interno ci si deve accertare che lo spazio che circonda il display sia sufficiente per garantire la ventilazione corretta, come illustrato nella figura riportata di seguito.
- La temperatura ambientale deve essere compresa tra 0 °C e 40 °C. Prestare particolare attenzione quando s'installa il display vicino al soffitto. In questi punti infatti la temperatura potrebbe diventare più elevata rispetto alla normale temperatura della stanza.
- Per l'uso su supporto, utilizzare il supporto da tavolo appropriato SU-S02 (non in dotazione). Per il metodo di applicazione vedere il manuale di installazione del supporto da tavolo.
- Rivolgersi al personale qualificato Sony per l'installazione a parete.
- Per l'installazione di materiali quali staffe, viti o bulloni non è possibile specificarne il tipo. Per la loro installazione si prega di rivolgersi ai rivenditori locali autorizzati. Per l'installazione del display si raccomanda di rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Quando il display è acceso, si accumula una certa quantità di calore all'interno. Ciò potrebbe causare ustioni. Quando il display è acceso o appena è entrato in standby non toccare la parte superiore o posteriore.

Installazione del display con supporto da tavolo

Parte anteriore



Parte laterale

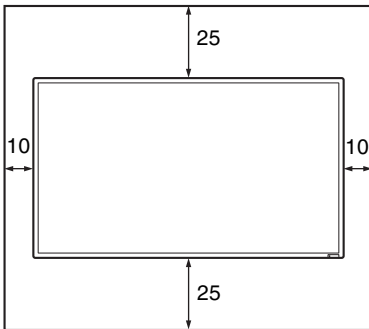


Nota

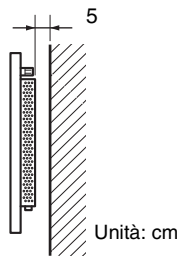
Per spostare o installare il display quando questo è applicato al supporto da tavolo (non in dotazione), assicurarsi che l'operazione venga effettuata da almeno 2 persone.

Installazione del display in posizione orizzontale

Parte anteriore



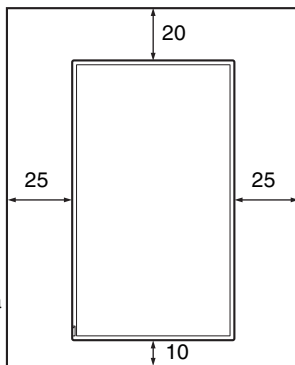
Parte laterale



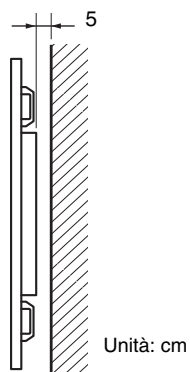
Installazione del display in posizione verticale

Parte anteriore

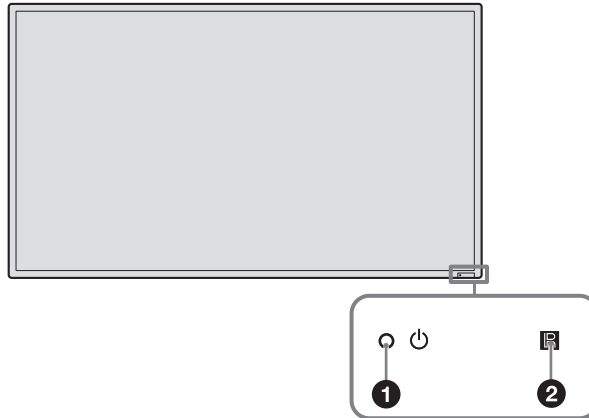
Assicurarsi che l'interruttore (POWER) si vengano a trovare nella parte inferiore sinistra.






Parte laterale

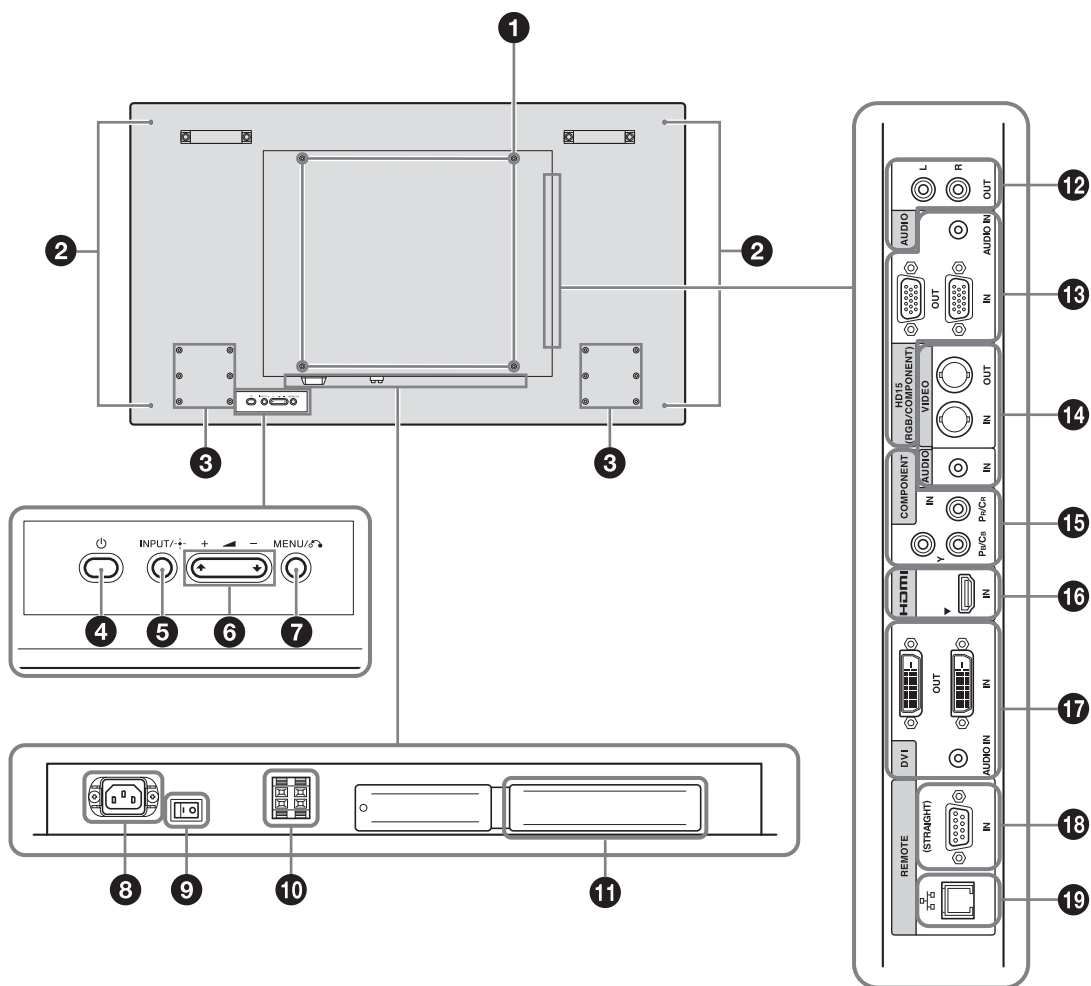


Parte anteriore








Parti	Descrizione
1  Indicatore (Power/Standby)	<ul style="list-style-type: none">• Si illumina di verde quando il display è acceso.• Si illumina di rosso quando il display si trova in standby. Quando il display entra in modalità di risparmio energetico la luce diventa arancione e un segnale di input viene trasmesso dal PC. Quando l'indicatore  lampeggia di colore rosso vedere pagina 38.
Nota	
Se l'opzione "LED" nelle impostazioni di "Display multiplo" è impostata su "No" e l'opzione "Posizione" non è impostata sulla parte inferiore destra, l'indicatore non si illumina in verde anche se il display è acceso, tranne in caso di assenza di segnale o di un segnale non compatibile.	
2  Sensore del telecomando	Sensore di ricezione luminoso del telecomando

Parte posteriore



IT

Parti	Descrizione
❶ Fori di installazione della staffa di montaggio	Fori per viti conformi allo standard VESA (passo: 400 mm × 400 mm) Nota Utilizzare viti di lunghezza e filettatura corrette e serrarle alla coppia specificata. Diametro filettatura: M6 Lunghezza filettatura: 10 mm Coppia: 20 kgf-cm
❷ Fori per l'installazione dei diffusori	Per l'attacco degli altoparlanti SS-SPG02 (non fornito).
❸ Fori di installazione del supporto della tavola di arresto.	Per l'attacco del supporto della tavola di arresto SU-S02 (non fornito).
❹ Tasto  (POWER)	Accende o spegne il display (standby). Funziona se l'interruttore di alimentazione principale è su "ON" (lato).
❺ Tasto INPUT/ + (ENTER)	Premere questo tasto per selezionare un segnale in ingresso dalla presa INPUT o OPTION. Ad ogni pressione del tasto INPUT, il segnale da immettere cambia come segue. → Video → Component → HD15 → DVI → HDMI → OPTION → Se nella sezione dei connettori OPTION non è stato installato l'adattatore opzionale che supporta il segnale video, OPTION verrà ignorato. Premere per confermare l'impostazione.
❻ Tasto +/-/⏮/⏭ (volume/selezione voce di menu)	Da premere per regolare il volume dei diffusori. Quando il menu è visualizzato, premere questo tasto per selezionare una voce di menu o impostare un valore. Premere per confermare l'impostazione.
❼ Tasto MENU/  (RETURN)	Da premere per visualizzare i menu. Torna alla precedente schermata del menu.

Parti	Descrizione
8 Presa AC IN	Collegare il cavo di alimentazione CA, fornito in dotazione, a questa presa e a una presa di rete (pagina 20). Una volta collegato il cavo di alimentazione CA e acceso l'interruttore di alimentazione principale, l'indicatore  si illumina di rosso e il display entra in standby.
9 Interruttore  / (alimentazione principale)	Portare l'interruttore di alimentazione principale su "ON" (premere il lato) quando si imposta il display. Quando l'interruttore di alimentazione principale è su "OFF" (premere il lato ) , l'assorbimento di energia è 0 W.
10 Presa SPEAKER	A questa presa si devono collegare i diffusori SS-SPG02 (non in dotazione). Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori, consultare il relativo manuale delle istruzioni. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori vedere pagina 21.
11 Alloggiamento OPTION (porta VIDEO/COM)	Qui si può installare un adattatore opzionale (serie BKM-FW) per estendere le funzioni di controllo (pagina 19).
12 AUDIO OUT (L/R) (presa RCA)	Questa è la presa d'uscita audio del display alla quale collegare un apparecchio esterno. Emette l'audio del segnale attualmente indicato sullo schermo. Emette un segnale audio corrispondente all'immagine attiva* durante la visualizzazione Picture in Picture (PinP).

Note

- Le impostazioni assegnate in "Modo audio" o "Uscita diffusori" non saranno visualizzate.
- Lo stato di riduzione dei disturbi impostato con il telecomando non è visualizzato.

13 HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub a 15 contatti)	HD15 (RGB/COMPONENT) IN: collega all'uscita del segnale RGB o all'uscita del segnale componente di un apparecchio video o di un PC (pagina 43). HD15 (RGB/COMPONENT) OUT: collega all'uscita del segnale RGB o all'ingresso del segnale componente di un apparecchio video o di un PC (pagina 43). Verranno trasmessi i segnali immessi dal connettore HD15 (RGB/COMPONENT) IN di cui sopra. AUDIO IN: inserisce un segnale audio. Collega all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un PC.
--	--


Note

- Quando il monitor non è collegato a un alimentatore CA o si trova nel modo di attesa, da HD15 (RGB/COMPONENT) OUT non viene emesso alcun segnale.
- Quando s'inserisce un segnale componente non si devono inserire segnali di sincronizzazione ai contatti 13 e 14. Diversamente è possibile che l'immagine non appaia correttamente.

* È possibile passare dallo stato di emissione dell'audio a quello d'ingresso del segnale.

Parti	Descrizione
14 VIDEO	<p>VIDEO IN (BNC): collega all'uscita video di un apparecchio video.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): collega all'ingresso video di un apparecchio video. Verranno emesse immagini immesse dall'ingresso VIDEO IN. La visualizzazione prescinde dallo stato di accensione o di spegnimento (standby compreso) del display.</p> <p>AUDIO IN (minipresa stereo): collega all'uscita audio di un apparecchio video.</p>
15 COMPONENT (presa RCA)	<p>COMPONENT (Y P_B/C_B P_R/C_R) IN: Collega all'uscita del segnale componente di un apparecchio video o di un PC.</p> <p>AUDIO IN: inserisce un segnale audio. Collega all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un PC. Utilizzare la stessa presa di 14 VIDEO</p>
16 HDMI	<p>HDMI IN: HDMI (High-Definition Multimedia Interface) fornisce un'interfaccia tra il display e un apparecchio audio/video dotato di connettore HDMI e un PC. È possibile visualizzare video potenziati o ad alta definizione e ascoltare l'audio digitale a due canali. Il modo corretto per un apparecchio audio/video o un PC viene selezionato automaticamente in base all'apparecchio collegato.</p> <p>Nota</p> <p>Accertarsi di utilizzare esclusivamente un cavo HDMI (non in dotazione) che rechi il logo HDMI. Si raccomanda di utilizzare un cavo HDMI di Sony (del tipo ad alta velocità).</p>

HDMI, High-Definition Multimedia Interface, e the HDMI Logo sono marchi di fabbrica o marchi registrati di HDMI Licensing LLC negli Stati Uniti e in altri paesi.

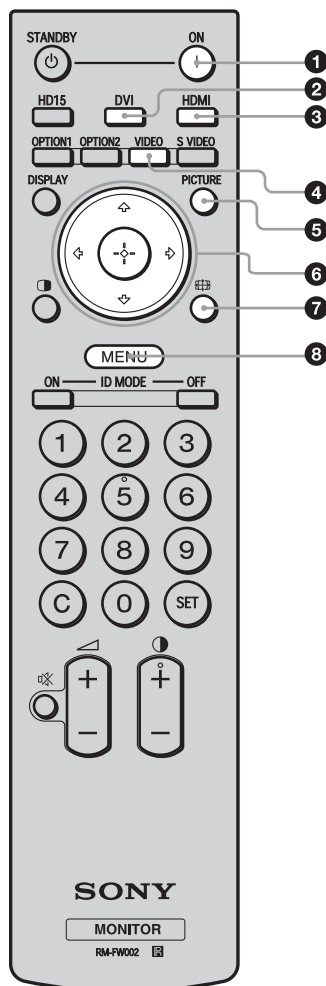
Parti	Descrizione
17 DVI (DVI-D a 24 contatti)	<p>DVI IN: collega al connettore di uscita del segnale digitale di un apparecchio video o di un PC. È compatibile con la funzione di protezione da copia HDCP.</p> <p>DVI OUT: collega all'ingresso digitale DVI di un apparecchio video o di un PC. Emette i segnali in ingresso dal suddetto connettore DVI IN.</p> <p>AUDIO IN: inserisce un segnale audio. Collega all'uscita del segnale audio di un apparecchio video, ecc.</p> <p>Nota</p> <p>Quando il display è in standby o è spento, nessun segnale viene emesso da DVI OUT.</p>
18 REMOTE (STRAIGHT) (D-sub a 9 piedini)	<p>Questa presa permette di controllare a distanza il display mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni si prega di rivolgersi a un rivenditore Sony autorizzato.</p> <p>Nota</p> <p>Quando si usa questa presa, in "Porta di rete" occorre selezionare "RS-232C". (pagina 32)</p>
19 REMOTE () (10BASE-T/100BASE-TX)	<p>Collega il display alla rete mediante un cavo LAN 10BASE-T/100BASE-TX. Da un PC è possibile assegnare varie impostazioni e controllare il display attraverso la rete.</p> <p>Attenzione</p> <p>Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta. Seguire le istruzioni per questa porta.</p> <p>Nota</p> <p>Quando si usa questa presa, in "Porta di rete" occorre selezionare "LAN". (pagina 32)</p>

Telecomando

Nota

Con questo display non è possibile usare il tasto S VIDEO e il tasto OPTION2.

Descrizione dei tasti



1 Tasto ON (accensione)

Da premere per accendere il display.
Utilizzare quando l'interruttore di alimentazione principale sul retro del display è su "ON."

2 Tasto DVI

Premere questo tasto per selezionare il segnale trasmesso alla porta DVI.

3 Tasto HDMI

Da premere per selezionare il segnale d'ingresso alla presa HDMI IN da un apparecchio video.

4 Tasto VIDEO

Premere per passare dal segnale di ingresso VIDEO IN a COMPONENT IN e viceversa

5 Tasto PICTURE

Seleziona "Modo immagine". Ad ogni pressione il modo si alterna tra "Vivid", "Standard", "Personalizzato", "Conferenza" e "TC Control".

6 Tasti $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$

Premere i tasti $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ per andare alla voce di menu da selezionare. Premendo \oplus è possibile impostare il menu o le voci di impostazione selezionati.

Nella visualizzazione Picture in Picture (PinP), è possibile cambiare le impostazioni dell'immagine secondaria (pagina 17).

7 Tasto P

Da premere per cambiare il rapporto di formato dell'immagine (pagina 16).

8 Tasto MENU

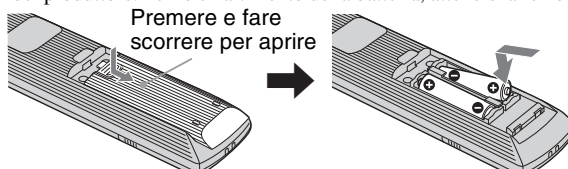
Premere per visualizzare il menu sullo schermo. Premere di nuovo per nascondere il menu (pagina 22).

Note

- Sui tasti 5 e P è presente un punto tattile. Esso è utilizzabile come riferimento durante l'uso del display.
- Inserire due pile formato AA (R6) (in dotazione) allineando i simboli \oplus e \ominus sulle pile allo schema riportato all'interno dello scomparto pile del telecomando.

Attenzione

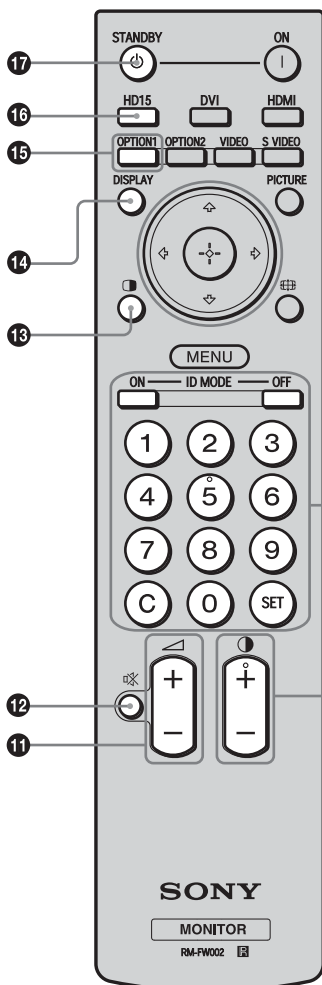
Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore. Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.



Inserimento delle pile

Due pile formato AA (R6) sono fornite in dotazione per il telecomando RM-FW002.

Per evitare il rischio di esplosione, utilizzare pile formato AA (R6) al manganese o alcaline.



9 Tasti ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

È possibile utilizzare un display specifico inserendo il “Numero indice” di tale display senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

- Tasto ON: da premere per visualizzare il “Numero indice” sullo schermo.
- Tasti 0-9: da premere per inserire il “Numero indice” del display che si desidera usare.
- Tasto SET: da premere per impostare il “Numero indice”.
- Tasto C: da premere per annullare l'impostazione del “Numero indice”.
- Tasto OFF: da premere per tornare al modo normale (pagina 18).

10 Tasto +/-

Da premere per regolare il livello (contrasto) dell'immagine.

11 Tasto +/-

Da premere per regolare il volume.

12 Tasto

Da premere per disattivare l'audio. Premerlo di nuovo per ripristinarlo.

13 Tasto

Premere per modificare il display dall'immagine singola a Picture in Picture (PinP). Premere di nuovo per visualizzare l'immagine singola (pagina 17).

14 Tasto DISPLAY

Premere per visualizzare sullo schermo l'ingresso e il tipo del segnale attualmente selezionato, nonché l'impostazione “Aspetto”. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione. Le informazioni visualizzate scompaiono automaticamente dopo alcuni secondi.

15 Tasto OPTION1

Quando è installato un adattatore opzionale, permette di selezionare il segnale di ingresso dall'apparecchio collegato all'adattatore opzionale.

Se l'adattatore opzionale installato è dotato di prese di ingresso multiple, ad ogni pressione del tasto è possibile alternare tra i segnali di ingresso.

16 Tasto HD15

Da premere per selezionare il segnale d'ingresso della presa HD15 (RGB/COMPONENT). Il segnale RGB o il segnale componente vengono selezionati automaticamente o manualmente in base alle impostazioni del menu.

17 Tasto STANDBY

Da premere per portare il display in standby.

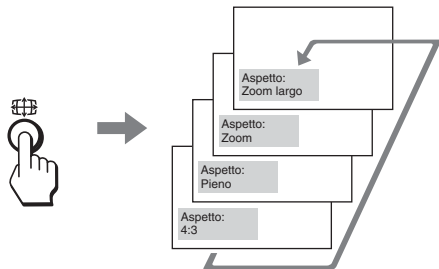
Tasti utili del telecomando

Uso del Modo ampio

È possibile modificare il rapporto di formato dello schermo.

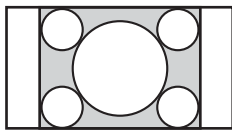
Suggerimento

È inoltre possibile accedere alle impostazioni di “Aspetto” dalle impostazioni di “Schermo” (pagina 28).

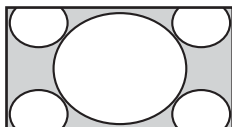


Per l'ingresso da apparecchi video quali Video, DVD, ecc. (ad eccezione dell'ingresso dal PC)

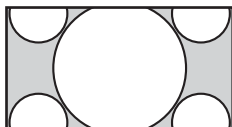
Sorgente di origine 4:3



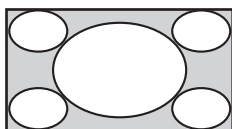
Zoom largo



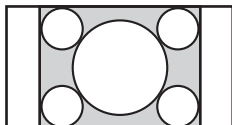
Zoom



Pieno



4:3



Sorgente di origine 16:9



Zoom largo



Zoom



Pieno



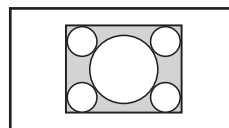
4:3



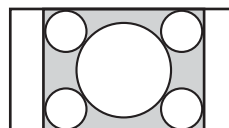
Per l'ingresso del PC

Le illustrazioni riportate di seguito indicano la risoluzione d'ingresso 800x600

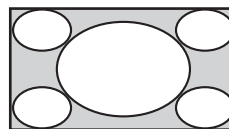
Reale



Pieno 1



Pieno 2



Nota

Se la risoluzione d'ingresso è maggiore della risoluzione dello schermo (1920x1080) la visualizzazione “Reale” corrisponde a “Pieno 1”.

Uso dell'impostazione PAP

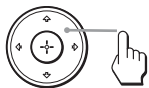
L'immagine secondaria viene mostrata all'interno dell'immagine principale. È possibile modificare la posizione e le dimensioni dell'immagine secondaria.

È inoltre possibile accedere alle "Impostazione PAP" nelle impostazioni "Schermo" (pagina 26).

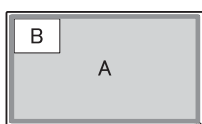
Utilizzare una presa di ingresso video diversa da VIDEO IN per visualizzare Picture in Picture (PiP).

Nota

Il segnale video composto dal connettore VIDEO IN non supporta la funzione PiP.

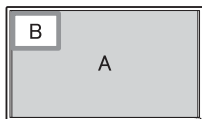


Cursore indicante l'immagine attiva



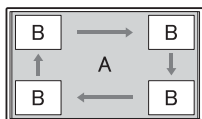
L'immagine secondaria (B) viene mostrata all'interno dell'immagine principale (A).

↓ Premere il tasto \leftarrow/\rightarrow .



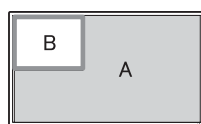
L'immagine secondaria (B) diventa l'immagine attiva.

↓ Premere il tasto \oplus .



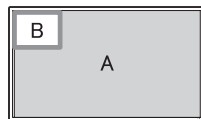
La posizione dell'immagine secondaria (B) verrà modificata.

↓ Premere il tasto \diamond .



Le dimensioni dell'immagine secondaria (B) aumentano.

↓ Premere il tasto \diamond .



Le dimensioni dell'immagine secondaria (B) diminuiscono.

Suggerimenti

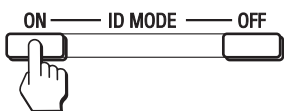
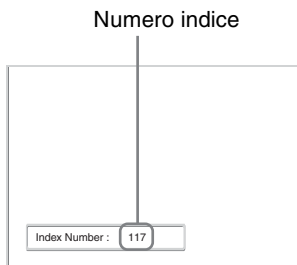
- Il cursore che indica l'immagine attiva scomparirà dopo 5 secondi.
- È possibile selezionare 2 dimensioni per l'immagine secondaria.

Uso del tasto ID MODE

È possibile utilizzare un display specifico inserendo il “Numero indice” di tale display senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

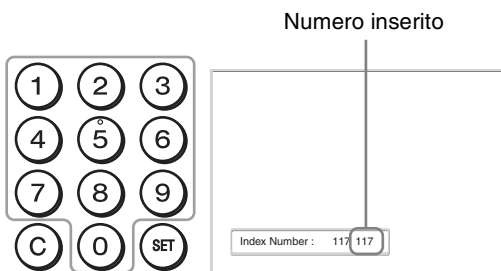
1 Premere il tasto **ON**.

Il “Numero indice” del display appare in caratteri neri nel menu visualizzato nella parte inferiore sinistra dello schermo. Ad ogni display è assegnato un “Numero indice” preimpostato compreso tra 1 e 255.



2 Con i tasti 0 - 9 del telecomando inserire il “Numero indice” del display da usare.

Il numero inserito appare accanto al “Numero indice” di ogni display.



3 Premere il tasto **SET**.

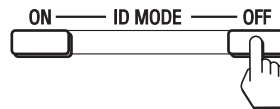
I caratteri relativi al display selezionato diventano di colore verde, mentre gli altri diventano di colore rosso.



È possibile usare esclusivamente il display specificato indicato dai caratteri verdi. Solo il funzionamento del tasto ON (accensione) e del tasto STANDBY/ID MODE-OFF è efficace anche per gli altri display.

4 Una volta modificate tutte le impostazioni premere il tasto **OFF**.

Sul display appare di nuovo lo schermo normale.



Per correggere il Numero indice

Premere il tasto **C** per cancellare il “Numero indice” inserito. Tornare al punto 2 e inserire un nuovo “Numero indice”.



Suggerimento

Per istruzioni sulla modifica del “Numero indice” del display si prega vedere “Numero indice” in “Impostaz. controllo” a pagina 29.

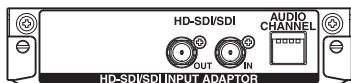
Adattatori opzionali

Il terminale dell'alloggiamento OPTION 11 (pagina 11) in basso sul retro del display è del tipo a inserimento. Può essere installato sul seguente adattatore opzionale (non in dotazione).

Per ulteriori informazioni sull'installazione si prega di rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Per ulteriori informazioni sugli adattatori opzionali per l'espansione del sistema si prega di consultare i rispettivi manuali d'uso.

Adattatore INPUT HD-SDI/SDI BKM-FW16



Permette di effettuare il collegamento all'uscita del segnale HD-SDI di un apparecchio video.

Operazioni preliminari

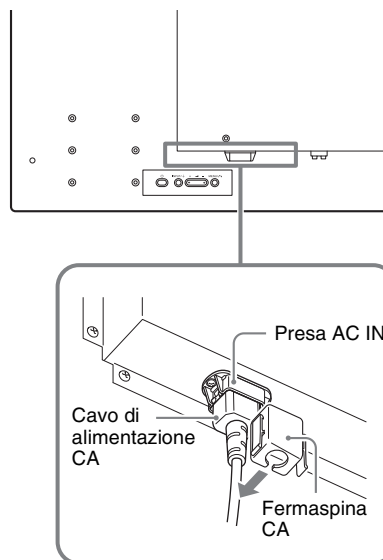
- Accertarsi innanzi tutto che tutti gli apparecchi siano disalimentati.
- Usare cavi adatti agli apparecchi da collegare.
- Collegare i cavi inserendoli completamente nelle rispettive prese. Diversamente potrebbero verificarsi disturbi.
- Per scollegare i cavi li si deve afferrare per la spina. Non tirare mai i cavi stessi.
- Fare inoltre riferimento al manuale d'uso dell'apparecchio da collegare.
- Inserire in modo saldo la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA si raccomanda di usare uno dei due appositi fermi (in dotazione).

Collegamento dei diffusori

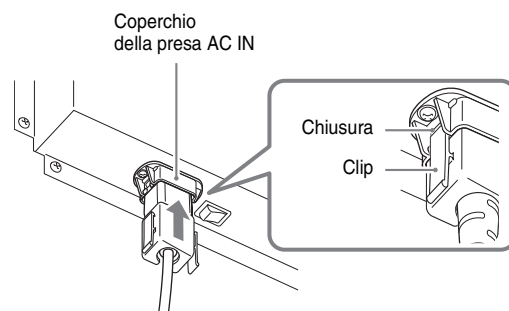
Collegare i diffusori SS-SPG02 (non in dotazione). Assicurarsi di collegare i diffusori in modo corretto. Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori, consultare il relativo manuale delle istruzioni. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori vedere pagina 21.

Collegamento del cavo di alimentazione CA

- 1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il fermaspina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.



- 2 Fare scorrere il fermaspina CA sul cavo per inserirlo nel coperchio della presa AC IN.



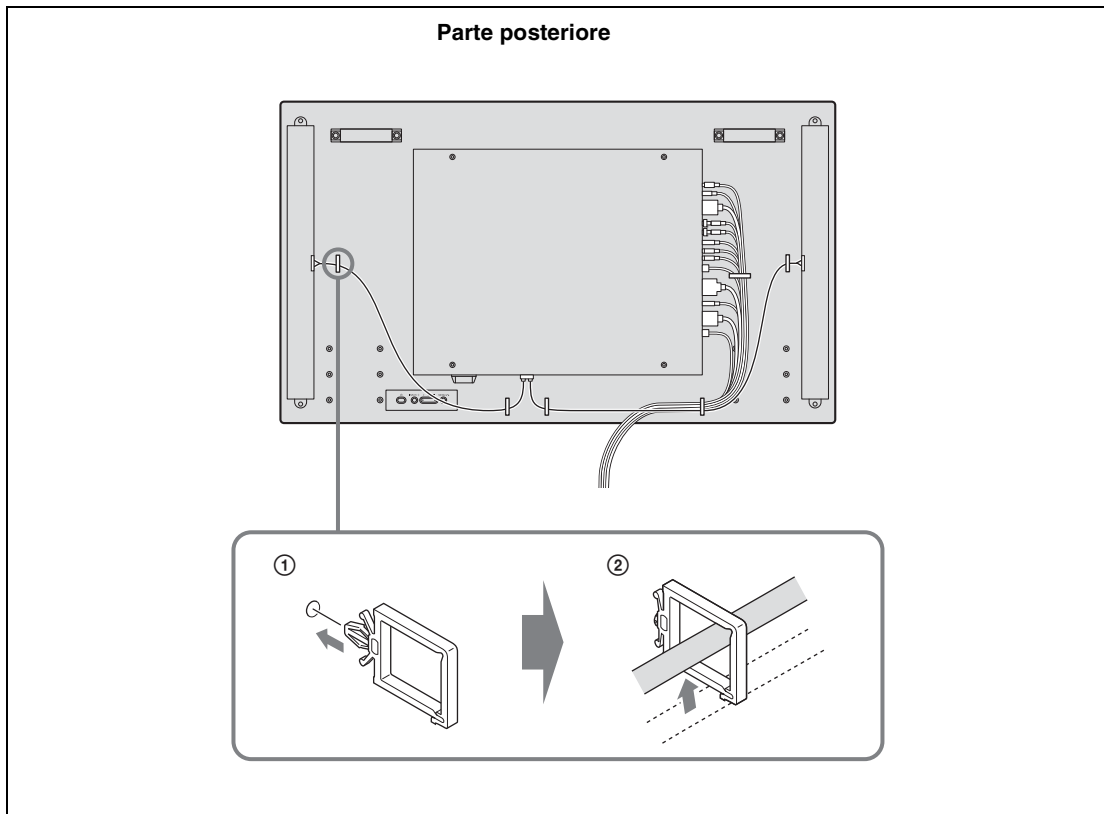
Per scollegare il cavo di alimentazione CA

Rilasciare le clip del fermaspina AC dalla chiusura del coperchio della presa AC IN, quindi tenere la spina e tirare fuori il cavo di alimentazione AC.

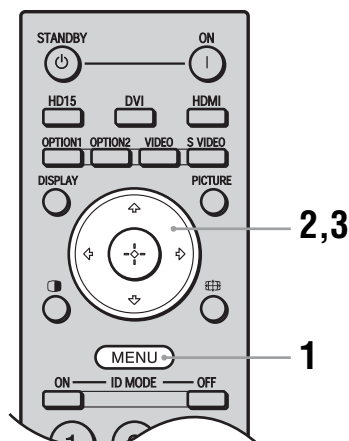
Sistemazione dei cavi

Uso dei fermacavi

È possibile fissare in modo ordinato i cavi utilizzando gli appositi fermacavi (x6) in dotazione. Applicare i fermacavi come raffigurato di seguito.



Panoramica dei menu



- 1 Premere il tasto MENU.
- 2 Premere \uparrow/\downarrow per evidenziare l'icona di menu desiderata.
- 3 Premere \oplus o \rightleftarrows .
Per uscire dal menu premere il tasto MENU.

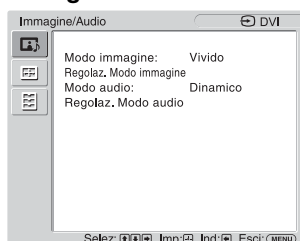
Per cambiare la lingua delle indicazioni a schermo

Selezionare la lingua desiderata per la visualizzazione delle impostazioni e dei messaggi tra "English", "Deutsch", "Français", "Español", "Italiano" o "日本語".
"English" (inglese) è l'impostazione predefinita (pagina 29).

Con queste impostazioni è possibile accedere alle funzioni riportate di seguito:

Impostazioni

Immagine/Audio



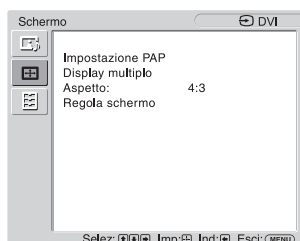
Per impostare/modificare

Modo immagine: (pagina 23)
Regolaz. Modo immagine (pagine 23, 24)
Modo audio: (pagina 25)
Regolaz. Modo audio (pagina 25)

Nota

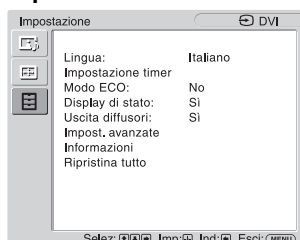
Non è possibile impostare o modificare "Modo immagine" o "Regolaz. Modo immagine" quando non vi è un segnale in ingresso.

Schermo



Impostazione PAP (pagina 26)
Display multiplo (pagina 27)
Aspetto: (pagina 28)
Regola schermo (pagina 28)

Impostazione



Lingua: (pagina 29)
Impostazione timer (pagina 29)
Modo ECO: (pagina 29)
Display di stato: (pagina 29)
Uscita diffusori: (pagina 29)
Impost. avanzate (pagine 29, 30, 31, 32)
Informazioni (pagina 32)
Ripristina tutto (pagina 32)

* A seconda delle impostazioni è possibile che le icone di menu visualizzate nella parte inferiore dello schermo non siano disponibili.

Impostazioni Immagine/Audio

Per il metodo di impostazione, vedere “Panoramica dei menu” (pagina 22).

*: Non selezionato durante l'ingresso PC.

Menu	Funzione e uso
Modo immagine	È possibile scegliere la qualità dell'immagine in base al tipo di immagine e alla luminosità circostante. Suggerimento Per alternare tra un'opzione di “Modo immagine” e l'altra si può inoltre usare il tasto PICTURE (pagina 14) del telecomando.
Vivido	Migliora la nitidezza dell'immagine e ottimizza il contrasto.
Standard	Impostazione standard.
Personalizzato	Consente una regolazione più dettagliata.
Conferenza	Consente di regolare la qualità dell'immagine per le videoconferenze in ambienti illuminati da lampade a fluorescenza. Nota “Conferenza” potrebbe non avere effetto a seconda dell'ambiente di utilizzo del sistema di videoconferenza in uso. In questo caso regolare l'immagine utilizzando “Regolaz. Modo immagine” (pagina 23), oppure passare a un'impostazione di “Modo immagine” diversa da “Conferenza”.
TC Control	Selezionato quando si imposta “True Color Control” (pagina 25). Se non si imposta “True Color Control”, l'immagine visualizzata per “TC Control” è la stessa di “Vivido”. Nota Quando si seleziona “TC Control”, “Potenziam. lumin.” (pagina 24) è impostato su “No”.
Regolaz. Modo immagine	È possibile regolare la qualità dell'immagine in maniera più dettagliata per ogni “Modo immagine”. A seconda della modalità “Modo immagine” selezionata, non è possibile regolare alcuni degli elementi “Regolaz. Modo immagine”. Nota Durante l'ingresso da PC non è possibile regolare “Colore”, “Fase”, “Nitidezza” “Riduz. disturbi” o “CineMotion”.
Retroillum	Consente di regolare la luminosità dello schermo LCD.
Contrasto	Consente di aumentare o diminuire il contrasto.
Luminosità	Consente di regolare la luminosità dell'immagine.
Colore *	Consente di regolare l'intensità del colore.
Fase *	Consente di regolare le tonalità di colore dell'immagine. Nota “Fase” è disponibile se lo standard colore del segnale video è NTSC.
Nitidezza *	Consente di aumentare o ridurre la nitidezza dell'immagine.
Riduz. disturbi *	Riduce le interferenze provenienti dall'apparecchiatura collegata. Le impostazioni più alte sono efficaci in presenza di forte interferenza.
	No/Basso/Medio/Alto

IT

Menu		Funzione e uso
Regolaz. Modo immagine	CineMotion *	<p>Selezionare “Automatico” o “No”. Se si seleziona “Automatico”, la visualizzazione a schermo si ottimizza automaticamente in modo da individuare il contenuto dell’immagine e applicare un processo pull-down 3-2 o 2-2 inverso. L’immagine apparirà più nitida e naturale.</p> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • L’impostazione di “CineMotion” non è valida quando è attiva la visualizzazione Picture in Picture (PinP). • “CineMotion” potrebbe non essere elaborata correttamente in base alla sequenza del segnale in ingresso.
	Immag. Dinamica	<p>Selezionare “Sì” o “No”. Selezionare “Sì” per aumentare il contrasto rendendo più chiaro il bianco e più scuro il nero.</p> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • È solo possibile impostare “Immag. Dinamica” quando viene immesso un segnale video composto da VIDEO IN. • Non è possibile impostare “Immag. Dinamica” quando “Modo immagine” è impostato su “Conferenza” o su “TC Control”.
	Correz. gamma	<p>Consente di bilanciare le sezioni chiare e scure delle immagini. Alle impostazioni più alte corrisponde una maggiore correzione gamma.</p> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • Non è possibile impostare “Correz. gamma” quando “Modo immagine” è impostato su “Conferenza”. • “DICOM GSDF Sim.” è l’impostazione gamma basata sulla funzione GSDF (Grayscale Standard Display Function) degli standard DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine). È solo un’impostazione indicativa e non può pertanto essere usata per la diagnosi medica.
	Alto/Medio/Basso/ DICOM GSDF Sim.	
	Temp. colore	<p>Consente di regolare a piacere i toni bianchi. Le impostazioni predefinite sono impostate prima della spedizione dalla fabbrica.</p> <p>Suggerimento</p> <p>Consente di ripristinare le impostazioni predefinite selezionando “Ripristina” nella schermata di regolazione dei toni.</p>
	Fredda	Conferisce ai bianchi una sfumatura azzurra.
	Neutra	Conferisce ai bianchi una sfumatura neutra.
	Calda	Conferisce ai bianchi una sfumatura rossa.
	Personalizzato	Consente una gamma più ampia di toni bianchi rispetto alle impostazioni che precedono.
	Potenziam. lumin.	<p>Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì” la qualità dell’immagine viene regolata in modo da accentuare la luminosità.</p> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • È possibile impostare “Potenziam. lumin.” quando “Modo immagine” è impostato su “Vivido”. • Quando “Potenziam. lumin.” è impostato su “Sì” non è possibile regolare “Retroillum”, “Contrasto”, “Luminosità” e “Temp. colore”. • Quando “Potenziam. lumin.” è impostato su “Sì”, con “Retroillum” impostato su “Max” e “Modo ECO” impostato “No”, la luminosità è al massimo.




Menu	Funzione e uso
Regolaz. Modo immagine	<p>True Color Control</p> <p>È possibile regolare la “Tinta” e “Saturazione” di 4 colori, “Rosso”, “Verde”, “Giallo” e “Blu”, per evidenziare colori specifici in un'immagine. Selezionare il colore che si desidera regolare e osservare per vedere quale parte dell'immagine corrente viene regolata. È quindi possibile regolare quella stessa parte usando la finestra di dialogo a matrice.</p> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • L'opzione “True Color Control” può essere regolata quando “Modo immagine” è impostato su “TC Control”. • Non è possibile impostare “True Color Control” durante la visualizzazione Picture in Picture (PiP). • Le impostazioni di “True Color Control” possono non essere valide quando è attiva la visualizzazione Picture in Picture (PiP).
	<p>Ripristina</p> <p>Selezionare “Annulla” o “Esegui”. Se si seleziona “Esegui” vengono ripristinati i valori predefiniti di tutte le impostazioni di “Regolaz. Modo immagine”.</p>
Modo audio	<p>È possibile regolare l'uscita audio dai diffusori SS-SPG02 (non in dotazione) con varie impostazioni del “Modo audio”.</p>
	<p>Dinamico</p> <p>Consente di potenziare gli acuti e i bassi.</p>
	<p>Standard</p> <p>Impostazione standard.</p>
	<p>Personalizzato</p> <p>Per una regolazione più precisa.</p>
Regolaz. Modo audio	<p>È possibile regolare il tono audio in maniera più precisa.</p> <p>Suggerimento</p> <p>È possibile impostare “Acuti” e “Bassi” quando il “Modo audio” è impostato su “Personalizzato”.</p>
	<p>Acuti</p> <p>Consente di aumentare o diminuire gli acuti.</p>
	<p>Bassi</p> <p>Consente di aumentare o diminuire i bassi.</p>
	<p>Bilanciamento</p> <p>Consente di regolare il bilanciamento sinistro/destro dei diffusori.</p>
	<p>Surround</p> <p>Consente di selezionare la modalità surround a seconda del tipo di immagine.</p>
	<p>No</p> <p>Nessuna uscita surround.</p>
	<p>Hall</p> <p>Quando si desidera ricevere un suono stereo ancora più ricco dai film o dai programmi musicali.</p>
<p>Ripristina</p> <p>Selezionare “Annulla” o “Esegui”. Se si seleziona “Esegui” vengono ripristinati i valori predefiniti di tutte le impostazioni di “Regolaz. Modo audio”.</p>	

Impostazioni del menu Schermo


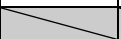


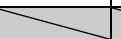

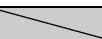
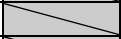
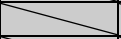
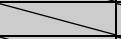
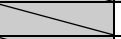
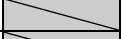
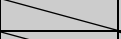
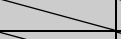
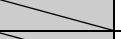
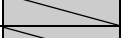

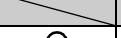

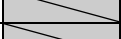
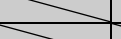
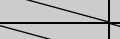
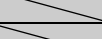
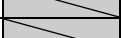
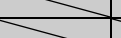
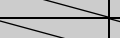
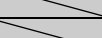




Per il metodo di impostazione, vedere “Panoramica dei menu” (pagina 22).


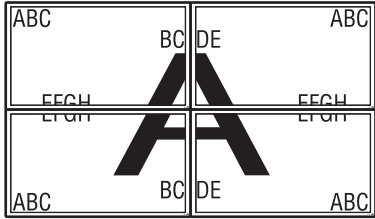
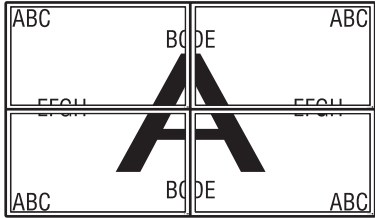

Nota

Se non viene immesso nessun segnale, non è possibile impostare “Aspetto” e “Regola schermo”.

Menu	Funzione e uso
Impostazione PAP	Consente di visualizzare contemporaneamente due tipi segnali di ingresso video. Per ulteriori informazioni si prega di vedere pagina 17.
PAP	Selezionare “No” o “PinP”. Selezionare “PinP” per visualizzare un’immagine secondaria all’interno dell’immagine principale.
Immagine attiva	Consente di selezionare lo schermo da utilizzare.
Principale	Attiva l’immagine principale in modo che sia possibile interagire con essa.
Secondario	Attiva l’immagine secondaria in modo che sia possibile interagire con essa.
Inverti	Consente di invertire le immagini principale e secondaria.
Dimens. immagine	Consente selezionare le dimensioni dell’immagine secondaria. Selezionare “Grande” o “Piccolo”.
Posizione immagine	Regolare la posizione dell’immagine secondaria con  /  , quindi premere  .


Combinazioni disponibili per PinP

		Video	COMPONENT	HD15		DVI	HDMI	OPTION
				RGB	YUV			HDSI
Video								
COMPONENT						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
HD15	RGB					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	YUV					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DVI			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
HDMI			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
OPTION	HD SDI		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

Menu	Funzione e uso
Display multiplo	<p>Permette di definire le impostazioni per connettere molteplici display sino a formare una parete video.</p> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • Non è possibile impostare “Display multiplo” durante la visualizzazione Picture in Picture (PiP). • Durante l'ingresso video, “Display multiplo” visualizza un'immagine il più simile possibile all'impostazione attuale di “Aspetto”. Durante l'ingresso da PC, tuttavia, l'immagine viene visualizzata con “Aspetto” impostato su “Pieno 2”. • Se è stata selezionata una “Posizione” inferiore destra l'indicatore  si illumina anche se l'opzione “LED” è impostata su “No”. L'indicatore si illumina anche nei seguenti casi: display spento (standby), errori rilevati, display in modo di sospensione, nessun segnale trasmesso o segnale trasmesso non compatibile.
Display multiplo	Selezionare le impostazioni in modo da formare una parete video.
No	Viene utilizzato come un solo schermo.
2x2 3x3 4x4	Impostazioni per collegare 2, 3 o 4 display in verticale e orizzontale.
1x2 1x3 1x4	Impostazioni per collegare 2, 3 o 4 display in orizzontale.
2x1 3x1 4x1	Impostazioni per collegare 2, 3 o 4 display in verticale.
Posizione	Impostazioni per la posizione dello schermo di ogni display.
Formato uscita	È possibile selezionare un formato di uscita dell'immagine. La posizione dell'immagine viene regolata automaticamente ed è possibile ottenere un'uscita immagine adeguata.
Mattonelle	<p>Mostra tutto il segnale su ogni schermo.</p> 
Finestra	<p>Consente di visualizzare in modo naturale su più display un'immagine di grandi dimensioni. Parte del segnale si estende al di fuori dell'area di visualizzazione.</p> 
LED	Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì”, l'indicatore  sul pannello anteriore (pagina 8) rimane costantemente acceso.

* Non selezionato durante l'ingresso PC.

** Selezionato durante l'ingresso PC.



Menu	Funzione e uso																
Aspetto	<p>Consente di modificare il rapporto di formato dello schermo. Per ulteriori informazioni si prega di vedere pagina 16.</p> <p>Suggerimenti</p> <ul style="list-style-type: none"> • Per alternare tra un'opzione di "Aspetto" e l'altra è inoltre possibile usare il tasto  del telecomando. • Selezionare "Zoom" per visualizzare i filmati e altri contenuti di DVD con bande nere usando l'intera area di visualizzazione dello schermo per l'ingresso video. <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • Non è possibile modificare il rapporto di formato durante la visualizzazione Picture in Picture (PiP). L'immagine viene visualizzata nel rapporto di formato che era in uso prima di selezionare PiP. • Non è possibile impostare "Aspetto" quando è in uso la funzione "Display multiplo". <table border="1" data-bbox="158 517 1231 986"> <tr> <td data-bbox="158 517 458 555">Zoom largo *</td> <td data-bbox="458 517 1231 555">Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo con una distorsione minima.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 555 458 592">Zoom *</td> <td data-bbox="458 555 1231 592">Ingrandisce l'immagine mantenendo lo stesso rapporto di formato.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 592 458 677">Pieno *</td> <td data-bbox="458 592 1231 677">Allarga l'immagine orizzontalmente in modo da riempire lo schermo quando la sorgente dell'immagine è di tipo 4:3 (definizione standard). Quando la sorgente dell'immagine è 16:9 (alta definizione), viene visualizzata nello stesso rapporto di formato 16:9.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 677 458 714">4:3 *</td> <td data-bbox="458 677 1231 714">Visualizza tutte le sorgenti di immagine nel rapporto di formato 4:3.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 714 458 799">Pieno 1 **</td> <td data-bbox="458 714 1231 799">Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo in direzione verticale, mantenendo lo stesso rapporto di formato. Intorno all'immagine potrebbe essere visualizzata una cornice nera.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 799 458 836">Pieno 2 **</td> <td data-bbox="458 799 1231 836">Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 836 458 986">Reale **</td> <td data-bbox="458 836 1231 986"> <p>Visualizza l'immagine con il numero di punti originale.</p> <p>Nota</p> <p>Se la risoluzione d'ingresso è maggiore della risoluzione dello schermo (1920 x 1080) la visualizzazione "Reale" corrisponde a "Pieno 1".</p> </td> </tr> </table>	Zoom largo *	Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo con una distorsione minima.	Zoom *	Ingrandisce l'immagine mantenendo lo stesso rapporto di formato.	Pieno *	Allarga l'immagine orizzontalmente in modo da riempire lo schermo quando la sorgente dell'immagine è di tipo 4:3 (definizione standard). Quando la sorgente dell'immagine è 16:9 (alta definizione), viene visualizzata nello stesso rapporto di formato 16:9.	4:3 *	Visualizza tutte le sorgenti di immagine nel rapporto di formato 4:3.	Pieno 1 **	Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo in direzione verticale, mantenendo lo stesso rapporto di formato. Intorno all'immagine potrebbe essere visualizzata una cornice nera.	Pieno 2 **	Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo.	Reale **	<p>Visualizza l'immagine con il numero di punti originale.</p> <p>Nota</p> <p>Se la risoluzione d'ingresso è maggiore della risoluzione dello schermo (1920 x 1080) la visualizzazione "Reale" corrisponde a "Pieno 1".</p>		
Zoom largo *	Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo con una distorsione minima.																
Zoom *	Ingrandisce l'immagine mantenendo lo stesso rapporto di formato.																
Pieno *	Allarga l'immagine orizzontalmente in modo da riempire lo schermo quando la sorgente dell'immagine è di tipo 4:3 (definizione standard). Quando la sorgente dell'immagine è 16:9 (alta definizione), viene visualizzata nello stesso rapporto di formato 16:9.																
4:3 *	Visualizza tutte le sorgenti di immagine nel rapporto di formato 4:3.																
Pieno 1 **	Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo in direzione verticale, mantenendo lo stesso rapporto di formato. Intorno all'immagine potrebbe essere visualizzata una cornice nera.																
Pieno 2 **	Ingrandisce l'immagine in modo da riempire lo schermo.																
Reale **	<p>Visualizza l'immagine con il numero di punti originale.</p> <p>Nota</p> <p>Se la risoluzione d'ingresso è maggiore della risoluzione dello schermo (1920 x 1080) la visualizzazione "Reale" corrisponde a "Pieno 1".</p>																
Regola schermo	<p>Consente di regolare le dimensioni e la posizione dello schermo.</p> <p>Nota</p> <p>"Regolaz. automatica", "Fase" e "Passo" non sono disponibili quando il segnale del PC viene immesso digitalmente utilizzando un connettore DVI IN o HDMI IN.</p> <table border="1" data-bbox="158 1127 1231 1679"> <tr> <td data-bbox="158 1127 458 1371">Regolaz. automatica **</td> <td data-bbox="458 1127 1231 1371"> <p>Selezionare "Annulla" o "Esegui". Se si seleziona "Esegui", il display regola automaticamente la posizione e la fase dell'immagine quando riceve un segnale in ingresso dal PC collegato. Si noti che con alcuni segnali d'ingresso "Regolaz. automatica" potrebbe non funzionare correttamente. In questi casi occorre regolare manualmente le opzioni riportate di seguito.</p> <p>Nota</p> <p>Per regolarle correttamente, eseguire le regolazione quando sull'intero schermo è visualizzata un'immagine luminosa.</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 1371 458 1408">Fase **</td> <td data-bbox="458 1371 1231 1408">Consente di regolare la fase nel caso si verificano sfarfallii.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 1408 458 1465">Passo **</td> <td data-bbox="458 1408 1231 1465">Consente di regolare il passo qualora sull'immagine vengano visualizzate strisce verticali indesiderate.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 1465 458 1502">Dim. orizz.</td> <td data-bbox="458 1465 1231 1502">Consente di regolare orizzontalmente la dimensione dell'immagine.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 1502 458 1540">Posiz. orizz.</td> <td data-bbox="458 1502 1231 1540">Consente di regolare la posizione dell'immagine a sinistra e a destra.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 1540 458 1577">Dim. vert.</td> <td data-bbox="458 1540 1231 1577">Consente di regolare verticalmente la dimensione dell'immagine.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 1577 458 1615">Posiz. vert.</td> <td data-bbox="458 1577 1231 1615">Consente di regolare la posizione su/giù dell'immagine.</td> </tr> <tr> <td data-bbox="158 1615 458 1679">Ripristina</td> <td data-bbox="458 1615 1231 1679">Selezionare "Annulla" o "Esegui". Selezionare "Esegui" per ripristinare i valori predefiniti di tutte le impostazioni di "Regola schermo".</td> </tr> </table>	Regolaz. automatica **	<p>Selezionare "Annulla" o "Esegui". Se si seleziona "Esegui", il display regola automaticamente la posizione e la fase dell'immagine quando riceve un segnale in ingresso dal PC collegato. Si noti che con alcuni segnali d'ingresso "Regolaz. automatica" potrebbe non funzionare correttamente. In questi casi occorre regolare manualmente le opzioni riportate di seguito.</p> <p>Nota</p> <p>Per regolarle correttamente, eseguire le regolazione quando sull'intero schermo è visualizzata un'immagine luminosa.</p>	Fase **	Consente di regolare la fase nel caso si verificano sfarfallii.	Passo **	Consente di regolare il passo qualora sull'immagine vengano visualizzate strisce verticali indesiderate.	Dim. orizz.	Consente di regolare orizzontalmente la dimensione dell'immagine.	Posiz. orizz.	Consente di regolare la posizione dell'immagine a sinistra e a destra.	Dim. vert.	Consente di regolare verticalmente la dimensione dell'immagine.	Posiz. vert.	Consente di regolare la posizione su/giù dell'immagine.	Ripristina	Selezionare "Annulla" o "Esegui". Selezionare "Esegui" per ripristinare i valori predefiniti di tutte le impostazioni di "Regola schermo".
Regolaz. automatica **	<p>Selezionare "Annulla" o "Esegui". Se si seleziona "Esegui", il display regola automaticamente la posizione e la fase dell'immagine quando riceve un segnale in ingresso dal PC collegato. Si noti che con alcuni segnali d'ingresso "Regolaz. automatica" potrebbe non funzionare correttamente. In questi casi occorre regolare manualmente le opzioni riportate di seguito.</p> <p>Nota</p> <p>Per regolarle correttamente, eseguire le regolazione quando sull'intero schermo è visualizzata un'immagine luminosa.</p>																
Fase **	Consente di regolare la fase nel caso si verificano sfarfallii.																
Passo **	Consente di regolare il passo qualora sull'immagine vengano visualizzate strisce verticali indesiderate.																
Dim. orizz.	Consente di regolare orizzontalmente la dimensione dell'immagine.																
Posiz. orizz.	Consente di regolare la posizione dell'immagine a sinistra e a destra.																
Dim. vert.	Consente di regolare verticalmente la dimensione dell'immagine.																
Posiz. vert.	Consente di regolare la posizione su/giù dell'immagine.																
Ripristina	Selezionare "Annulla" o "Esegui". Selezionare "Esegui" per ripristinare i valori predefiniti di tutte le impostazioni di "Regola schermo".																

☰ Impostazioni del menu Impostazione

Per il metodo di impostazione, vedere la sezione di “Panoramica dei menu” (pagina 22).

Menu	Funzione e uso
Lingua	Selezionare tra le impostazioni di lingua indicate. Selezionare “English”, “Deutsch”, “Français”, “Español” “Italiano” o “日本語”.
Impostazione timer	È possibile regolare l’ora, visualizzare l’orologio incorporato oppure impostare il timer affinché il monitor si accenda/spenga ad un’ora preimpostata. Nota Se l’interruttore di alimentazione di rete viene lasciato spento o il cavo di alimentazione AC viene rimosso per lungo tempo, l’orologio incorporato potrebbe essere notevolmente in ritardo o in anticipo. In questo caso, resettare l’orologio secondo l’ora corretta.
Impostaz. ora	Consente di impostare la data e l’ora del giorno.
Impostaz. data	Consente di impostare la data (anno, mese, giorno). Il giorno della settimana viene impostato automaticamente.
Impostaz. ora	Imposta l’ora.
Display ora	Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì”, quando si preme il tasto DISPLAY del telecomando, viene visualizzata l’ora attuale che è stata impostata.
Timer sì/no	Consente di impostare il giorno della settimana e l’ora. Nota Non può essere utilizzato se non è stato impostato “Impostazione timer”.
Modo ECO	Riduce l’assorbimento di energia modificando la luminosità dello schermo. Se si seleziona “Alto” si riduce maggiormente il consumo di energia rispetto all’impostazione “Basso”.
No/Basso/Alto	
Display di stato	Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì”, le informazioni relative al segnale di ingresso e all’impostazione di “Aspetto” vengono visualizzate sullo schermo per circa 5 secondi quando si accende il display. Quando si cambia il segnale di ingresso le informazioni corrispondenti vengono visualizzate per circa 5 secondi. Suggerimento È possibile visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e alle impostazioni di “Aspetto” premendo il tasto DISPLAY del telecomando.
Uscita diffusori	Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì”, l’audio verrà emesso dai diffusori.
Impost. avanzate	Consente di inserire impostazioni più dettagliate.
Impostaz. controllo	Questo menu consente di regolare le impostazioni di funzionamento del display e del telecomando.
Numero indice	Se necessario, è possibile cambiare il numero indice del display. Selezionare per impostare il numero del display con i tasti \leftarrow/\rightarrow del display e premere il tasto \rightarrow per confermare l’impostazione. Nota Non è possibile impostare il “Numero indice” dal telecomando.

IT

Menu		Funzione e uso
Impost. avanzate	Modo controllo	<p>Consente di impostare se comandare il display dal telecomando o dal display.</p> <p>Nota</p> <p>Durante l'uso di questa opzione i modi selezionabili variano in base alla selezione effettuata dal telecomando o direttamente dal display. Se per l'impostazione si usa il tasto  del telecomando è possibile selezionare soltanto "Display+Telecom." o "Solo telecom.". Se per l'impostazione si usa il tasto + del display è possibile selezionare soltanto "Display+Telecom." o "Solo display".</p>
	Display+Telecom.	Consente di utilizzare il display tramite i tasti di comando sul display e sul telecomando.
	Solo display	Consente di utilizzare il display tramite i tasti sul display. È possibile utilizzare solo i tasti del display per inserire questa impostazione.
	Solo telecom.	Consente di utilizzare il display tramite il telecomando. Per inserire questa impostazione è possibile utilizzare solo il telecomando.
Reg. auto schermo		<p>Selezionare "Sì" o "No". Se si seleziona "Sì", vengono salvate solo impostazioni quali la dimensione dell'immagine e la posizione di ogni segnale di ingresso, mentre le ultime impostazioni vengono applicate automaticamente.</p> <p>Nota</p> <p>L'opzione "Reg. auto schermo" funziona soltanto mentre è in ingresso un segnale RGB.</p>
Spegnimento autom.		<p>Selezionare "Sì" o "No". Quando si seleziona "Sì", il display passa automaticamente al modo di standby o al modo di risparmio energetico se non riceve alcun segnale dalle prese di ingresso DVI, HDMI, HD15 (RGB/COMPONENT) o COMPONENT per circa 30 secondi.</p> <p>Se non riceve alcun segnale dalla presa VIDEO per circa 5 minuti, il display passa automaticamente al modo di standby.</p> <p>Suggerimenti</p> <ul style="list-style-type: none"> • Questa funzione è disponibile se "Salva schermo" è impostato su "No". • Se "DPMS" è impostato su "Sì", è possibile selezionare le impostazioni per attivare il modo di risparmio energetico.
DPMS		<p>Selezionare "Sì" o "No". Quando si seleziona "Sì", il display passa automaticamente al modo di risparmio energetico se non riceve alcun segnale dalle prese di ingresso DVI, HDMI o HD15 (RGB) per circa 30 secondi.</p> <p>Quando si seleziona "No", il display passa automaticamente al modo di standby se non riceve alcun segnale dalle prese di ingresso DVI, HDMI o HD15 (RGB) per circa 30 secondi.</p> <p>Suggerimenti</p> <ul style="list-style-type: none"> • Per accendere il display nel modo di attesa, premere il tasto  del display oppure il tasto ON del telecomando. Nel modo di risparmio energetico il display si accende automaticamente quando giunge in ingresso un segnale. • Questa funzione è disponibile se "Salva schermo" è impostato su "No". • Questa funzione è disponibile se "Spegnimento autom." è impostato su "Sì".
Sovrascansione		Consente di specificare se visualizzare le immagini con sovrascansione o scansione semplice.
Automatico		Determina automaticamente se il segnale è di tipo DTV, quindi esegue la sovrascansione e visualizza l'immagine.
Sì		Visualizza l'immagine con sovrascansione.
No		<p>Visualizza l'immagine con scansione semplice.</p> <p>Nota</p> <p>Durante la ricezione di un segnale DTV in ingresso, potrebbe visualizzare una schermata analoga a quella di un segnale di ingresso PC. Esempio: 480P → 720 × 480/60</p>

Menu		Funzione e uso
Impost. avanzate	Modo sincron.	Consente di impostare il tipo di segnale di ingresso sul contatto 13 del connettore HD15 (RGB/COMPONENT) IN (pagina 43). Note <ul style="list-style-type: none"> • “Modo sincron.” è disponibile solo quando il segnale RGB viene trasmesso alla presa HD15. • Vi sono alcuni ingressi per i quali possono essere selezionati solo i segnali “O/Comp.”. In questo caso occorre inserire segnali di sincronizzazione orizzontale/verticale attraverso il contatto 13 o 14 delle prese. • Questo display non è compatibile con i tre valori del formato sincronico di 576/60p. • Quando in “Modo sincron.” si seleziona “Video” è possibile impostare esclusivamente i segnali 575/50i e 480/60i.
	O/Comp.	Imposta un segnale di ingresso orizzontale sincrono.
	Video	Imposta un segnale di ingresso video.
	RGB/YUV	Consente di impostare il tipo di segnale per un apparecchio video o un computer collegati al connettore HD15 (RGB/COMPONENT) del display.
	Automatico	Imposta automaticamente se viene trasmesso un segnale d’ingresso RGB analogico o un segnale d’ingresso componente da un dispositivo collegato.
	RGB	Consente di impostare quando viene trasmesso un segnale d’ingresso RGB analogico da un dispositivo collegato.
	YUV	Consente di impostare quando viene trasmesso un segnale d’ingresso componente da un dispositivo collegato.
	Standard colore	Selezionare “Automatico” per impostare automaticamente lo standard colore. Selezionare “NTSC” o “PAL” per impostare automaticamente lo standard colore. Nota “Standard colore” è disponibile quando il segnale d’ingresso proviene da una presa VIDEO IN (segnale video composito).
	RGB Segnale	Consente di scegliere se un segnale d’ingresso RGB 1280 × 720/60, 720 × 480/60 o 1920 × 1080/60 verrà visualizzato come segnale PC o segnale video. Selezionare “HD15”, “DVI” o “HDMI” a seconda della presa d’ingresso, quindi selezionare “PC” o “Video” per ciascuno di essi. Per ogni impostazione “HD15”, “DVI” o “HDMI” sono valide le seguenti prese di ingresso. “HD15”: presa HD15 (RGB/COMPONENT) IN “DVI”: presa DVI IN “HDMI”: presa HDMI IN
	HD15/DVI/HDMI	
	Salva schermo	Questa impostazione consente di impedire o ridurre il fenomeno delle immagini residue che può verificarsi in seguito alla visualizzazione prolungata della stessa immagine sul display.
	No	Disattiva l’impostazione del “Salva schermo”.
	All White	Consente di visualizzare una schermata completamente bianca (si arresta automaticamente dopo 30 minuti e il display entra in standby).
	Sweep	Fa scorrere una barra bianca sullo schermo.
	Standby	Attiva un salva schermo per il tempo impostato in “Impostazione timer” in standby (pagina 8) (durante il funzionamento del salva schermo il display non mostra alcuna immagine). Quando il tempo impostato è trascorso, il display torna al normale stato di standby.
Posizione menu	Modifica l’orientamento della schermata del menu in modo che corrisponda all’orientamento in cui è stato installato il display.	
Paesaggio	Mostra la schermata del menu in orizzontale.	
Ritratto	Mostra la schermata del menu in verticale.	

Menu		Funzione e uso
Impost. avanzate	Porta di rete	Consente di impostare quale terminale si collega al PC quando il display è comandato in remoto dal PC. Note <ul style="list-style-type: none"> • Non è possibile utilizzare REMOTE (STRAIGHT) e REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) contemporaneamente. • Selezionare “LAN” quando si specificano le opzioni “IP Address Setup” o “Speed Setup”.
	RS-232C	Selezionare questa opzione quando si collega il display al PC tramite la presa REMOTE (STRAIGHT).
	LAN	Selezionare questa opzione quando si collega il display al PC tramite la presa REMOTE ($\frac{\square}{\square}$).
	IP Address Setup	Consente di impostare un indirizzo IP per permettere la comunicazione tra la presa REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) del display e un dispositivo quale un PC collegato con un cavo LAN. Per informazioni dettagliate su come eseguire le impostazioni, vedere la sezione corrispondente di “Operazioni preliminari per l’uso delle funzioni di rete” (pagina 33).
	Speed Setup	Consente di impostare la velocità di comunicazione tra la presa REMOTE ($\frac{\square}{\square}$) del display e un dispositivo quale un PC collegato con un cavo LAN. Per informazioni dettagliate su come eseguire le impostazioni, vedere la sezione corrispondente di “Operazioni preliminari per l’uso delle funzioni di rete” (pagina 33).
	Attiva ritardo	Regola il tempo che intercorre tra l'accensione del display e quando il display si accende effettivamente. Questa opzione può essere impostata su “No” e da 1 a 120 secondi. Essa sopprime le fluttuazioni improvvise di carico sul sistema di alimentazione elettrica in caso di connessione di più display.
	Controllo HDMI	Se si collega apparecchiatura compatibile con il comando HDMI alla presa dell'ingresso HDMI del display, l'apparecchiatura può essere comandata insieme. Nota Utilizzare il telecomando per spegnere/accendere il display e l'apparecchiatura collegata.
	Controllo HDMI	Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì”, il controllo dell'apparecchiatura HDMI funziona e può essere impostato su “Spegn. aut. Periferica” o “Acc. Aut. Display”. Note <ul style="list-style-type: none"> • Se non funziona, configurare le impostazioni di HDMI anche sull'apparecchiatura collegata. • Per poterla controllare è necessario che l'apparecchiatura collegata sia compatibile con il controllo HDMI, e deve essere configurata in modo che sia abilitato il controllo dell'apparecchiatura HDMI. • A seconda dell'apparecchiatura HDMI, in alcuni casi essa potrebbe non funzionare con questo dispositivo.
	Spegn. aut. Periferica	Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì”, quando si spegne l'alimentazione del display si spegne insieme anche l'alimentazione dell'apparecchiatura HDMI.
	Acc. Aut. Display	Selezionare “Sì” o “No”. Se si seleziona “Sì”, quando si seleziona il comando di riproduzione o un altro comando dell'apparecchiatura HDMI collegata, si accende insieme anche l'alimentazione del display.
Informazioni	Visualizza la “data”, “Nome modello”, “Numero di serie”, “Tempo funzionam.”, “Vers. software” e “IP Address” del proprio display.	
Ripristina tutto	Selezionare “Annulla” o “Esegui”. Se si seleziona “Esegui” vengono ripristinati i valori predefiniti di tutte le regolazioni e le impostazioni. Nota Alcuni elementi dell'opzione “Informazioni” e “Numero indice” non verranno resettati.	

Operazioni preliminari per l'uso delle funzioni di rete

Precauzioni

- Le caratteristiche tecniche del software del display sono soggette a modifiche senza preavviso allo scopo di migliorarlo.
- Le schermate effettive del software applicativo potrebbero lievemente differire da quelle mostrate in questo manuale.
- Per motivi di sicurezza si deve collegare la presa del display soltanto a una rete ove non vi sia pericolo di tensione eccessiva o di sovratensione.
- Le procedure descritte nel presente manuale sono garantite solo per l'uso nelle seguenti condizioni ambientali.

Sistema operativo:

Microsoft Windows XP/Windows Vista/
Windows 7

Browser:

Microsoft Internet Explorer 7.0 o versione successiva

- Per garantire la sicurezza in rete si raccomanda di impostare sempre il nome utente e la password. Per informazioni su come effettuare queste impostazioni si prega di vedere la sezione "Schermata Impostazione" (pagina 36).
Per le impostazioni di sicurezza si prega di rivolgersi all'amministratore della rete.

Assegnazione dell'indirizzo IP

È possibile collegare il display alla rete utilizzando il cavo LAN 10BASE-T/100BASE-TX.

Quando si collega il display alla rete LAN gli indirizzi IP possono essere impostati mediante uno dei due seguenti metodi. Per ulteriori informazioni sulla selezione dell'indirizzo IP si prega di rivolgersi all'amministratore della rete.

- Assegnazione al display di un indirizzo IP fisso
Normalmente si dovrebbe usare questo metodo.
- Acquisizione automatica dell'indirizzo IP
Se la rete a cui viene collegato il display è dotata di un server DHCP è possibile che l'indirizzo IP venga assegnato automaticamente dal server stesso. Si noti che in questo caso l'indirizzo IP potrebbe cambiare ad ogni accensione del display.

Prima di assegnare l'indirizzo IP si deve collegare il cavo LAN al display in modo da stabilirne la connessione alla rete. Dopo circa 30 secondi accendere il display e definire le impostazioni desiderate.

-
- Microsoft e Windows sono marchi di fabbrica registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
 - Tutti gli altri nomi di prodotti o aziende citati nel presente manuale sono marchi di fabbrica o marchi di fabbrica registrati dei rispettivi proprietari.

Assegnazione al display di un indirizzo IP fisso

- 1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.
- 2 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Impostazione" e premere \oplus .
- 3 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Impost. avanzate" e premere \oplus .
- 4 Selezionare "Porta di rete" con \uparrow/\downarrow e premere \oplus .
- 5 Selezionare "LAN" con \uparrow/\downarrow e premere \oplus .
- 6 Con \uparrow/\downarrow selezionare "IP Address Setup" e premere \oplus .
- 7 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Manual" e premere \oplus .
- 8 Con \uparrow/\downarrow selezionare tra "IP Address", "Subnet Mask", "Default Gateway", "Primary DNS" e "Secondary DNS" l'opzione desiderata da impostare e premere quindi \oplus .
- 9 Impostare le tre cifre (da 0 a 255) per ognuno dei quattro campi d'inserimento con \uparrow/\downarrow del display o con i tasti del telecomando e premere \oplus o \rightarrow .
- 10 Impostare le tre cifre (da 0 a 255) per ognuno dei quattro campi e premere \oplus . Ripetere la stessa procedura indicata al punto 6 e selezionare la voce successiva da impostare con \uparrow/\downarrow , premendo quindi \oplus .
- 11 Dopo aver impostato i valori per tutte le voci desiderate selezionare "Execute" con \uparrow/\downarrow e premere quindi \oplus .

Selezionare "Execute" e premere \oplus . L'indirizzo IP è stato così impostato manualmente.

Acquisizione automatica dell'indirizzo IP

- 1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.
- 2 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Impostazione" e premere \oplus .
- 3 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Impost. avanzate" e premere \oplus .
- 4 Con \uparrow/\downarrow selezionare "IP Address Setup" e premere \oplus .
- 5 Con \uparrow/\downarrow selezionare "DHCP" e premere \oplus .

Selezionare "Execute" e premere \oplus . L'indirizzo IP è stato così impostato automaticamente.

Quando si seleziona "Annulla" l'impostazione non viene eseguita.

Nota

Se non s'impone correttamente l'indirizzo IP appaiono i seguenti codici di errore con la relativa causa.

Errore 1: errore di comunicazione

Errore 2: l'indirizzo IP specificato è già usato da un altro apparecchio.

Errore 3: errore relativo all'indirizzo IP

Errore 4: errore relativo all'indirizzo gateway

Errore 5: errore relativo all'indirizzo DNS primario

Errore 6: errore relativo all'indirizzo DNS secondario

Errore 7: errore relativo alla subnet mask

Controllo dell'indirizzo IP assegnato automaticamente

- 1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.
- 2 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Impostazione" e premere \oplus .
- 3 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Informazioni" e premere \oplus .

Appare l'indirizzo IP attualmente acquisito.

Suggerimento

Quando non è possibile acquisire correttamente l'indirizzo IP in "Informazioni" e in "Manual" di "IP Address Setup" appare quello acquisito in precedenza.

Impostazione della velocità di comunicazione

- 1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.
- 2 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Impostazione" e premere \oplus .
- 3 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Impost. avanzate" e premere \oplus .
- 4 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Speed Setup" e premere \oplus .
- 5 Con \uparrow/\downarrow selezionare tra "Auto", "10Mbps Half", "10Mbps Full", "100Mbps Half" e "100Mbps Full" la velocità di comunicazione desiderata e premere quindi \oplus .

Quando si seleziona "Auto" s'impone automaticamente la velocità di comunicazione appropriata alla configurazione della rete in uso.

- 6 Con \uparrow/\downarrow selezionare "Execute" e premere quindi \oplus per visualizzare l'impostazione.

Uso del PC

Controllo del display

È possibile impostare il display da un PC.

Assicurarsi che il display, il PC e il router o l'hub siano collegati correttamente mediante il cavo di rete. Accendere quindi il display, il PC e il router o l'hub. Sono disponibili le seguenti quattro schermate suddivise per funzione: schermata Informazioni, schermata Configure (Configurazione), schermata Control (Controllo) e schermata Impostazione.

Per ulteriori dettagli sulla funzione dei pulsanti si prega di vedere le istruzioni per ogni funzione del display.

- 1 Avviare il browser del PC (Internet Explorer 7.0 o versione successiva).
- 2 Inserire l'indirizzo IP che è stato assegnato al display nella pagina precedente come, cioè "http://xxx.xxx.xxx.xxx" e premere quindi il tasto ENTER della tastiera del PC. Una volta impostati un nome utente e una password, viene visualizzata la schermata "Network Password" (Password di rete). Inserire il nome utente e la password precedentemente impostati e passare quindi al punto successivo.
- 3 Fare clic sulla scheda relativa alla funzione nella parte superiore della schermata e selezionare quindi la schermata desiderata.

Impostazione delle opzioni nelle rispettive schermate

Durante l'uso della funzione LAN del display

Schermata Informazioni

In questa schermata sono visualizzati il nome del modello, il numero di serie e altre informazioni relative al display, nonché lo stato dell'alimentazione e la selezione del segnale d'ingresso.

Questa schermata è solo informativa. Non vi sono infatti opzioni impostabili.

Schermata Configure (Configurazione)

Timer

Consente di impostare il timer.

Una volta effettuata l'impostazione, fare clic su "Apply" (Applica).

Screen Saver (Salva schermo)

Consente di impostare la funzione salvaschermo.

Una volta effettuata l'impostazione, fare clic su "Apply" (Applica).

Picture and Picture (Immagine e immagine)

Consente di impostare la funzione Picture and Picture.

Una volta effettuata l'impostazione, fare clic su "Apply" (Applica).

Nota

Prima di impostare la funzione "Timer", è necessario configurare la data e l'ora nella schermata Impostazione (pagina 36).

IT

Schermata Control (Controllo)

POWER (ALIMENTAZIONE)

Permette di accendere o spegnere il display.

INPUT (INGRESSO)

Permette di selezionare il segnale d'ingresso.

PICTURE MODE (MODO IMMAGINE)

Permette di selezionare il modo immagine.

ASPECT (ASPETTO)

Permette di selezionare il rapporto di formato dell'immagine.

Tasti Contrast (Contrasto) +/-

Per la regolazione del contrasto dello schermo.

Tasti Brightness (Luminosità) +/-

Per la regolazione della luminosità dell'immagine.

Tasti Chroma (Colore) +/-

Per la regolazione dell'intensità del colore.

Tasti Phase (Fase) +/-

Per la regolazione del bilanciamento del colore.

Tasto Reset (Ripristina)

Ripristina i valori predefiniti delle impostazioni di "Contrasto" e "Fase".

Note

- Quando il segnale d'ingresso è Video e lo standard colore del segnale video non è NTSC, "Fase" non è disponibile.
- "Colore" e "Fase" non sono disponibili per l'ingresso del PC.
- "Normale" nell'impostazione ASPETTO corrisponde a "4:3" per l'ingresso video o a "Reale" per l'ingresso dal PC.

Schermata Impostazione

Questa schermata consente di impostare la password di rete. Di seguito sono riportate le impostazioni predefinite:

Name: (Nome:) root
Password: pudadm

Dopo avere apportato le modifiche o immesso le informazioni, nella parte inferiore di ciascuna schermata fare clic su "Apply" (Applica) per attivare le impostazioni.

Nei campi di testo non è possibile utilizzare i caratteri speciali.

Owner Information (Informazioni sull'utente)

Owner (Utente)

In questo campo inserire le informazioni relative all'utente.

Display Location (Posizione display)

In questo campo inserire le informazioni relative alla posizione d'installazione del display.

Nota

Non utilizzare spazi durante l'inserimento delle informazioni. Diversamente è possibile che il nome del file non appaia correttamente.

Memo (Promemoria)

In questo campo è possibile inserire informazioni aggiuntive.

Time (Ora)

Time (Ora)

In questo campo, inserire l'ora, il giorno della settimana, l'anno, il mese e il giorno.

Network (Rete)

Internet Protocol (TCP/IP) (Protocollo Internet (TCP/IP))

Selezionare "Specify an IP address" (Specifica un indirizzo IP) per immettere ogni valore nella stringa numerica dell'indirizzo IP.

Selezionare "Obtain an IP address (DHCP)" (Ottieni un indirizzo IP tramite DHCP) per acquisire un indirizzo IP automaticamente dal server DHCP. Si noti che in questo caso l'indirizzo IP potrebbe cambiare ad ogni accensione del display.

Nota

L'indirizzo IP può essere impostato dal menu del display. Per ulteriori informazioni si prega di vedere "IP Address Setup" (pagina 32).

Password

Qui s'inseriscono il nome e la password dell'amministratore e dell'utente. Il nome dell'amministratore è impostato su "root" in modo permanente.

Ciascuna voce può contenere un massimo di 8 caratteri.

Una volta impostati un nome utente e una password, viene visualizzata la schermata "Network Password" (Password di rete) quando viene richiamata la schermata di controllo del display. Per garantire la sicurezza in rete si raccomanda di impostare sempre il nome utente e la password.

Mail Report (Notifica via posta elettronica)

Error Report (Notifica di errore)

Se si verifica un errore della funzione del display, viene inviata immediatamente una notifica via posta elettronica (notifica di errore).

Status Report (Rapporto dello stato)

Lo stato del display può essere notificato via posta elettronica a seconda della fascia oraria selezionata.

Address (Indirizzo)

In questo campo si deve inserire l'indirizzo e-mail del destinatario. La notifica di errore può essere inviata a quattro indirizzi contemporaneamente. Ogni indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.

Mail Account (Account di posta elettronica)

Mail Address (Indirizzo di posta elettronica):

Inserire l'indirizzo di posta elettronica assegnato. L'indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.

Outgoing Mail Server (SMTP) (Server di posta in uscita SMTP)

Inserire l'indirizzo del server di posta elettronica. L'indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.

Send Test Mail (Invia messaggio di prova):

Per verificare se la posta arriva senza problemi all'indirizzo o agli indirizzi specificati, selezionare questa casella di controllo, quindi fare clic su "Apply" (Applica). Il display invierà così un messaggio di posta elettronica di prova.

Nota

Se una delle voci riportate di seguito non è impostata o se non è impostata correttamente appare un messaggio d'errore e il messaggio di posta elettronica di prova non viene inviato:

- Indirizzo di destinazione
- Indirizzo dell'account di posta elettronica e indirizzo del server di posta elettronica (SMTP)

Advanced (Impostazioni avanzate)

Permette di definire le impostazioni avanzate necessarie per utilizzare vari software applicativi in rete. Effettuare le impostazioni come richiesto dai rispettivi software applicativi.

Advertisement (Pubblicità)

Permette d'impostare le funzioni di pubblicità e trasmissione in rete.

ID Talk

Permette d'impostare la funzione ID Talk. ID Talk è un protocollo che consente il controllo in rete del display. Le voci controllate includono varie impostazioni e regolazioni quali la temperatura e la gamma di colore. Per informazioni sui comandi ID Talk supportati si prega di rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

SNMP


Il display è un dispositivo di rete compatibile con il protocollo SNMP (Simple Network Management Protocol). Oltre a MIB-II standard è compatibile con Sony Enterprise MIB. Questa schermata permette di effettuare le impostazioni SNMP.

Per informazioni sui comandi SNMP supportati si prega di rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Ripristino delle impostazioni predefinite



Per ripristinare tutte le impostazioni definite nella schermata "Impostazione" ai valori predefiniti occorre ripristinare le impostazioni predefinite assegnando l'impostazione "Ripristina tutto" e, successivamente, assegnare di nuovo alla rete le impostazioni appropriate.

Guida alla risoluzione dei problemi

Verificare se l'indicatore  lampeggia di colore rosso.


Se lampeggia

La funzione di autodiagnosi è attivata.

- 1 Verificare quante volte l'indicatore  lampeggia e per quanto tempo cessa di lampeggiare.
Ad esempio, l'indicatore lampeggia 2 volte, cessa di lampeggiare per 3 secondi e quindi lampeggia ancora 2 volte.
- 2 Premere l'interruttore  (POWER) del display e l'interruttore di alimentazione principale per spegnere l'alimentazione, quindi scollegare il cavo di alimentazione.
Rivolgersi al proprio rivenditore di fiducia o a un centro di assistenza Sony riferendo le informazioni sull'indicatore (numero di lampeggiamenti e intervalli senza lampeggiamento).

Se non lampeggia

- 1 Controllare la tabella riportata di seguito.
- 2 Se il problema persiste è necessario richiedere l'intervento di un tecnico qualificato.

Problema	Soluzioni possibili
L'interruttore di alimentazione e i tasti di comando del display non funzionano.	<ul style="list-style-type: none"> • Controllare le impostazioni di "Impostaz. controllo" (pagina 29).
L'alimentazione non si accende anche se l'interruttore  (POWER) è acceso, oppure il tasto ON (accensione) sul telecomando è acceso.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare che l'interruttore di alimentazione principale non sia su "OFF" (pagina 11).
Dalla presa HD15 (RGB/COMPONENT) OUT non proviene alcun segnale video.	<ul style="list-style-type: none"> • Quando il display è in standby o è disalimentato non vi è alcuna uscita da HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.
Dalla presa HD-SDI OUT del BKM-FW16 non proviene alcun segnale.	<ul style="list-style-type: none"> • Quando il display è in standby o è disalimentato non vi è alcuna uscita da HD-SDI OUT.
Dalla presa DVI OUT non proviene alcun segnale.	<ul style="list-style-type: none"> • Quando il display è in standby o è disalimentato non vi è alcuna uscita da DVI OUT.
Non appaiono le immagini.	
Non appaiono le immagini.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare il collegamento tra l'apparecchio video e il display. • Controllare le impostazioni di "RGB/YUV" (pagina 31). • Impostare l'ingresso utilizzando il tasto INPUT del display o del telecomando (pagine 10, 14).
Il display si disattiva automaticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • Controllare se "Impostazione timer" è attivato (pagina 29). • Controllare se la funzione "Spegnimento autom." è impostata su "Si" (pagina 30). • Controllare che la temperatura ambiente non sia superiore a 40°C.
Il display si accende o si spegne automaticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • Controllare l'impostazione di "Controllo HDMI" (pagina 32).



Problema	Soluzioni possibili
La qualità delle immagini è insoddisfacente.	
Assenza di colore/Immagine scura/Immagine eccessivamente chiara/Colori errati/L'immagine diventa gradualmente scura/L'immagine è disturbata dalla comparsa di linee orizzontali	<ul style="list-style-type: none"> • Premere PICTURE per selezionare il “Modo immagine” desiderato (pagina 14). • In “Immagine/Audio” regolare le opzioni di “Regolaz. Modo immagine” (pagine 23, 24). • Verificare le condizioni del cavo del segnale. • Controllare che la temperatura ambiente non sia superiore a 40°C. • Controllare le impostazioni di “Modo ECO” (pagina 29).
L'intero schermo tende al verde o al porpora.	<ul style="list-style-type: none"> • Controllare le impostazioni di “RGB/YUV” (pagina 31).
Assenza di audio/Audio disturbato.	
Le immagini appaiono ma non si sente l'audio.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare la regolazione del volume. • Premere  del telecomando oppure + affinché l'indicazione “Muting” (Audio disattivato) scompaia (pagina 15). • Controllare l'impostazione di “Uscita diffusori” (pagina 29).
Il telecomando non funziona.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare la polarità delle pile oppure sostituirle. • Puntare il telecomando in direzione del relativo sensore di telecomando ubicato sul display. • Accertarsi che non vi siano ostacoli nell'area attorno al sensore di telecomando. • Controllare le impostazioni di “Impostaz. controllo” (pagina 29). • Le fonti di illuminazione a fluorescenza possono interferire con il funzionamento del telecomando; spegnere quindi le eventuali lampade a fluorescenza accese.
Impossibile connettersi alla rete.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Collegare saldamente il cavo alla presa REMOTE. • Controllare le impostazioni di rete del PC. • Ripristinare le impostazioni predefinite assegnando l'impostazione “Ripristina tutto” dal menu “Impostazione” e, successivamente, assegnare di nuovo alla rete le impostazioni appropriate. • Controllare le impostazioni di “Porta di rete” (pagina 32).
Lo schermo di controllo del display (lo schermo Web che visualizza l'interfaccia grafica utente del display) non appare.	
	<ul style="list-style-type: none"> • Fare clic sul pulsante di aggiornamento o ricaricamento del browser. • Assicurarsi che l'indirizzo IP sia corretto. • Utilizzare Internet Explorer 7.0 o una versione successiva. • Cancellare la memoria di cache del browser.

Tabella di riferimento dei segnali di ingresso

Segnali del PC

	Risoluzione	Frequenza orizzontale (kHz)	Frequenza verticale (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac ^{b)} 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA ^{c)} STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT ^{d)})	29,8	60
16	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
17	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
18	1280 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
19	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
20	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
21	1360 × 768@60Hz (CVT)	47,7	60
22	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
23	1024 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
24	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
25	1400 × 1050@60Hz (CVT)	65,3	60
26	1600 × 1200@60Hz (CVT)	74,5	60
27	1920 × 1080@60Hz	66,6	60

Segnali TV/video

	Risoluzione	Ingressi disponibili				
		Video	Componente	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p		○	○	○	
10	1080/60p		○	○	○	
11	1080/24psf		○			

- a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, U.S.A.
 b) Macintosh è un marchio di fabbrica di Apple Inc., registrato negli Stati Uniti d'America e in altri Paesi.
 c) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
 d) VESA Coordinated Video Timing (Video Timing Coordinato VESA)

Note

- Per i segnali HDTV trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al secondo contatto della presa HD15 (RGB/COMPONENT) IN.
- Se dopo avere trasmesso il segnale DVD al display i colori risultano eccessivamente chiari, regolare l'opzione "Colore" nel menu "Immagine/Audio".
- Se si regola nuovamente la fase la risoluzione si riduce.
- Con i segnali provenienti da computer Macintosh non è garantito il riconoscimento dell'ingresso digitale RGB.
- I segnali composti sincroni corrispondono ai numeri 2, 4, 5, 7, 12, 13 e 14 nella tabella dei segnali riportata a sinistra.
- Non sono garantiti i segnali video privi di segnale di sincronizzazione del colore.

Indicazioni a schermo del segnale d'ingresso e di stato del display

Indicazione a schermo	Significato
640 × 480 / 60 (ad es.)	È stato selezionato un segnale d'ingresso PC.
480 / 60I (ad es.)	È stato selezionato un segnale d'ingresso video componente.
NTSC (ad es.)	È stato selezionato un segnale d'ingresso video.
Segnale non compatibile	È stato selezionato un segnale d'ingresso non compatibile.
Nessun segnale	Non è stato trasmesso alcun segnale d'ingresso.
Componente	È stato selezionato un segnale d'ingresso video componente.
HD15	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "Automatico".
RGB HD15	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "RGB".
Componente HD15	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "YUV".
DVI	Il segnale di ingresso selezionato è DVI.
HDMI	È stato selezionato un segnale d'ingresso HDMI.
Video	È stato selezionato un segnale video composito.
Option HD SDI	È stato selezionato il segnale HD SDI dell'ingresso Option.

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Pannello	LCD a matrice attiva a-Si TFT
Risoluzione dello schermo	FWD-S46H2 1.920 punti (orizzontali) × 1.080 righe (verticali) FWD-S42H2 1.920 punti (orizzontali) × 1.080 righe (verticali)
Frequenza di campionamento	Da 13,5 MHz a 165 MHz
Standard colore	NTSC/PAL
Segnale d'ingresso	Vedere pagina 40.
Passo pixel	FWD-S46H2 0,53 mm (orizzontale) × 0,53 mm (verticale) FWD-S42H2 0,4845 mm (orizzontale) × 0,4845 mm (verticale)
Dimensioni dell'immagine	FWD-S46H2 1.018,1 mm (orizzontale) × 572,7 mm (verticale) FWD-S42H2 930,2 mm (orizzontale) × 523,3 mm (verticale)
Dimensioni del display	FWD-S46H2: 46-pollici (diagonale) 1.168,1 mm FWD-S42H2: 42 1/8-pollici (diagonale) 1.067,3 mm

Ingressi e uscite

REMOTE	Porta di rete (10BASE-T/100BASE-TX) D-sub da 9 contatti (femmina) (× 1) (RS-232C)
AUDIO	AUDIO OUT (L/R) Presa RCA
VIDEO	VIDEO IN BNC (× 1) VIDEO OUT BNC (× 1) Video composito, 1 V _{p-p} ± 2 dB sincronismo negativo, 75 Ω (terminazione automatica)
COMPONENT	AUDIO IN minipresa stereo (× 1) 500 mVrms ad alta impedenza COMPONENT (Y P _B /C _B P _R /C _R) IN Presa RCA

HD15 (RGB/COMPONENT)

HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub da 15 contatti (femmina)(× 1)
(Vedere pagina 43.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub da 15 contatti (femmina)(× 1)
(Vedere pagina 43.)

AUDIO IN

minipresa stereo (× 1)
500 mVrms ad alta impedenza

DVI

DVI IN

(conforme alle specifiche DVI Rev. 1.0)

DVI OUT

(conforme alle specifiche DVI Rev. 1.0)

AUDIO IN

Minipresa stereo (× 1)
500 mVrms ad alta impedenza

HDMI

HDMI IN

(HDMI(1080p))

SPEAKER

Uscita diffusori (L/R)
6 Ω 7W + 7W

Caratteristiche generali

Alimentazione

Da 100 V a 240 V CA, 50/60 Hz,
FWD-S46H2: 1,4 A (massimo)
FWD-S42H2: 1,45 A (massimo)

Consumo elettrico

FWD-S46H2: 140 W (massimo)
FWD-S42H2: 145 W (massimo)
0,5 W (massimo in standby)

Condizioni d'uso

Temperatura: 0 °C - 40 °C
Umidità: Dal 20% al 90%
(non condensante)

Condizioni di conservazione/trasporto

Temperatura: -10 °C - +40 °C
Umidità: Dal 20% al 90%
(non condensante)

Dimensioni

FWD-S46H2

1.053,6 mm × 608,2 mm × 84 mm
1.053,6 mm × 656,3 mm × 292,6 mm
(inclusi i supporti opzionali)
(l/a/p, escluse le parti sporgenti)

FWD-S42H2

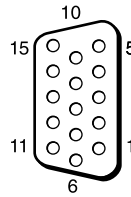
967,8 mm × 560,7 mm × 88 mm
967,8 mm × 608,8 mm × 292,6 mm
(inclusi i supporti opzionali)
(l/a/p, escluse le parti sporgenti)

- Peso
- FWD-S46H2
 - Circa 22,7 kg
 - Circa 24,5 kg
 - (inclusi i supporti opzionali)
 - FWD-S42H2
 - Circa 20,2 kg
 - Circa 22,0 kg
 - (inclusi i supporti opzionali)
- Accessori in dotazione
- Cavo di alimentazione CA (1)
 - Fermaspina CA (2)
 - Fermacavo (6)
 - Telecomando RM-FW002 (1)
 - Pile formato AA (R6) al manganese (2)
 - Istruzioni per l'uso (1)
- Accessori opzionali
- Supporto per display SU-S02
 - Diffusori SS-SPG02
 - Adattatori opzionali per l'espansione del sistema, serie BKM-FW
- Normative sulla sicurezza
- UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B,
 - EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei contatti

Presca HD15 RGB/COMPONENT (D-sub da 15 contatti)



N. contatto	Segnale
1	Video rosso o C_R/P_R
2	Video verde o Y
3	Video blu o C_B/P_B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non usato
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo orizzontale, composito o video composito (come segnale sincronico)
14	Sincronismo verticale
15	SCL

Nota

Quando s'inserisce un segnale componente non si devono inserire segnali di sincronizzazione ai contatti 13 e 14. Diversamente è possibile che l'immagine non appaia correttamente.

Indice analitico

Numeri

4:3 16, 28

A

Acc. Aut. Display 32
Acuti 25
Address (Indirizzo) 36
Advanced (Impostazioni avanzate) 37
Advertisement (Pubblicità) 37
Alloggiamento OPTION 11
Aspetto 16, 22, 28
Attiva ritardo 32

B

Bassi 25
Bilanciamento 25

C

CineMotion 24
Colore 23
Conferenza 23
Contrasto 23
Controllo HDMI 32
Correz. gamma 24

D

Dim. orizz. 28
Dim. vert. 28
Dimens. immagine 26
Dinamico 25
Display di stato 22, 29
Display multiplo 22, 27
Display ora 29
DPMS 30

E

Error Report (Notifica di errore) 36

F

Fase 23, 28
Fermacavo 21
Finestra 27
Formato uscita 27

I

ID Talk 37
Immag. Dinamica 24
Immagine attiva 26
Impost. avanzate 22, 29
Impostaz. controllo 29
Impostaz. ora 29
Impostazione PAP 17, 22, 26
Impostazione timer 22, 29
Impostazioni del menu Impostazione 22, 29
Impostazioni del menu Schermo 22, 26
Impostazioni Immagine/Audio 22, 23
Indicatore Power/Standby 8
Informazioni 22, 32
Interruttore di alimentazione

principale 11
Inverti 26
IP Address Setup 32

L

LED 27
Lingua 22, 29
Luminosità 23

M

Mail Account (Account di posta elettronica) 36
Mail Report (Notifica via posta elettronica) 36
Mattonelle 27
Modo ampio 16
Modo audio 22, 25
Modo controllo 30
Modo ECO 22, 29
Modo immagine 22, 23
Modo sincron. 31

N

Network (Rete) 36
Nitidezza 23
Numero indice 15, 18, 29

O

Owner Information (Informazioni sull'utente) 36

P

Passo 28
Password 36
Personalizzato 23, 25
Pieno 16, 28
Pieno 1 16, 28
Pieno 2 16, 28
Porta di rete 32
Posiz. orizz. 28
Posiz. vert. 28
Posizione 27
Posizione immagine 26
Posizione menu 31
Potenziam. lumin. 24
Presa AC IN 11, 20
Presa AUDIO IN 11, 12, 13
Presa AUDIO OUT 11
Presa DVI 13
Presa DVI IN/OUT 13
Presa HD15 (RGB/COMPONENT) 11
Presa HD15 (RGB/COMPONENT) IN/OUT 11
Presa HDMI 12
Presa REMOTE 13
Presa SPEAKER 11
Presa VIDEO IN 12

R

Reale 16, 28
Reg. auto schermo 30

Regola schermo 22, 28
Regolaz. automatica 28
Regolaz. Modo audio 22, 25
Regolaz. Modo immagine 22, 23
Retroilluminazione 23
RGB Segnale 31
RGB/YUV 31
Riduz. disturbi 23
Ripristina 25, 28
Ripristina tutto 22, 32
RS-232C 13, 32

S

Salva schermo 31
Schermata Configure (Configurazione) 35
Schermata Control (Controllo) 35
Schermata Impostazione 36
Schermata Informazioni 35
Segnale di ingresso 40
Sensore del telecomando 8
SNMP 37
Sovrascansione 30
Speed Setup 32
Spegn. aut. Periferica 32
Spegnimento autom. 30
Standard 23, 25
Standard colore 31
Status Report (Rapporto dello stato) 36
Surround 25

T

Tasti ID MODE 15, 18
Tasto del contrasto 15
Tasto del volume 10, 15
Tasto di disattivazione dell'audio 15
Tasto DISPLAY 15
Tasto DVI 14
Tasto ENTER 10
Tasto HD15 15
Tasto HDMI 14
Tasto INPUT 10
Tasto MENU 10, 14, 22
Tasto Modo ampio 14, 16
Tasto ON (accensione) 14
Tasto OPTION 1 15
Tasto PAP 15, 17
Tasto PICTURE 14
Tasto POWER 10
Tasto RETURN 10
Tasto STANDBY 15
Tasto VIDEO 14
TC Control 23
Temp. colore 24
Timer sì/no 29

U

Uscita diffusori 22, 29

V

Vivido 23

Z

Zoom 16, 28

Zoom largo 16, 28

平板宽屏监视器

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

警告

此设备必须接地。

关于搬运

搬运本机时请抓住显示器本身，切勿抓住扬声器。否则，扬声器可能会脱落，而本机也可能随之落下。这会导致受伤。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

插座应安装于本装置附近且易于插拔之处。

警告

1. 请使用经过认可的电源线（3 芯电源线）/ 设备接口 / 带有接地点的插头，并且都要符合所在国家的安全法规。
2. 请使用符合特定额定值（电压、电流）的电源线（3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果在使用上述电源线 / 设备接口 / 插头时有任何疑问，请咨询合格的维修人员。

电池使用安全须知

- 不得将电池充电。
- 不得将电池投入火中，加热、分解或改造。
- 应使用指定种类的电池。
- 应使用推荐期限内的电池。
- 应按极性正确安装电池。
- 应及时取出耗尽电池。
- 不得将电池新旧混用。
- 不得将电池弃于水、海水，或弄湿。
- 不得将电池放在小孩容易触及的地方。
- 严禁直接焊接电池。
- 应正确安装电池以防止电池短路。

目录

介绍

使用前须知	4
关于安装的建议.....	6

部件和控制器的位置和功能

前视图	8
后视图	9
遥控器	14
按钮说明	14
遥控器上的可用按钮	16
使用宽模式	16
使用 PAP 设定	17
使用 ID MODE 按钮.....	18
可选购的适配器.....	19

连接

连接扬声器	20
连接交流电源线.....	20
电缆布置	21

使用设定

菜单综述	22
Picture/Sound 设定	23
Screen 设定.....	26
Setup 设定.....	29

网络功能

使用网络功能的准备工作	33
个人电脑操作	35

其它信息

故障排除	38
输入信号参照表.....	40
规格	42
索引	44

使用前须知

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机壳内，请拔下本机的电源插头，并经具备资格的专业人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从壁挂电源插座中拔下本机的电源插头。
- 断开交流电源线的连接时，请捏紧插头拔出。切勿拉扯电源线。

清洁

在清洁显示器之前务必拔掉电源线。

清洁显示器

勿让硬物刮擦，或重击显示屏表面，或使物体碰撞屏幕表面，因为这样会损坏屏幕表面。

显示屏有专门的表面处理方法。

按照以下说明操作，以防因清洁时的不当处理而损害性能。

- 用软布轻轻地擦掉屏幕表面的灰尘。最好用干净的布或擦眼镜布。
- 如果屏幕过脏，请用一块用水稍微浸湿的干净软布清洁屏幕表面。
- 切勿使用酒精、汽油、稀释剂、酸或碱性清洁溶剂、擦洗剂或经过化学处理的布，因为它们会损坏屏幕表面。

清洁机壳

- 用一块干燥的软布轻轻地擦掉污点。要擦除肮脏的污迹，需要将布用中性清洁剂稍微浸湿后擦拭，然后再用一块干燥软布将该处擦净。
- 请勿使用酒精、汽油、稀释剂或杀虫剂。否则可能会损坏表面涂漆或擦掉机器的标记。
- 如果用脏布擦拭，有损坏屏幕的危险。
- 本机和橡胶或塑料制品持续接触可能会使机器变形或引起保护层脱落。

LCD 面板

- 使LCD面板长时间面对太阳会损坏面板。当您本机安装在户外或窗户旁边时，请考虑到这种情况。
- 请勿用力按或刮擦LCD显示屏。请勿将物品放在屏幕上。否则可能会使显示中断或损坏 LCD 显示屏。
- 您可能发现屏幕会水平显示条纹或屏幕出现残留图像。在低温环境下使用本机，屏幕还可能看起来较暗。但这些并不表示屏幕出现故障。当环境温度升高时，屏幕将返回至正常状态。
- 如果一个静态图像在屏幕上停留了较长时间，说明可能有屏幕烧录或残留图像产生。随着时间的推移，残留图像会自行消失。如果出现重影，请使用屏幕保护功能，或使用某些视频或图像软件在屏幕上提供连续的动作。如果出现轻微重影（残影），效果可能不明显，但一旦出现残影，将不会完全消失。
- 使用过程中，面板表面、机壳或框架可能会变热。这不是故障。

LCD 显示屏上的亮点和暗点

尽管 LCD 显示屏是以有效分辨率至少达 99.99% 的精湛技术制造的，屏幕中也可能会出现暗点（像素缺陷），或是有持续发亮或闪光的亮点（红、蓝或绿色等）。LCD 显示屏出现的这些现象有时是由像素缺陷造成的。本装置使用较长一段时间后可能会出现这些现象。

这些并不是屏幕故障。

安装

- 使用之前，应始终检查并确保本机运转正常。SONY 恕不对任何类型的损坏承担责任，包括但不限于对因本机在保修期间或在保修期外发生故障或是因其他任何原因而导致不能展示或预期利润损失而做的补偿或退款。
- 保证良好的空气流通以防内部积热。请勿将本机放在地毯、毛毯等上面或窗帘、幔幔旁边，否则通风孔会受阻。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 当将多台设备与本机安装在一起时，视本机与其它设备的位置而定，可能会出现以下问题，如遥控器故障、图像干扰、杂音等。

重新包装

请保存原装的纸箱和包装填料。

它们是搬运本机的理想包装箱。搬运本机时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

插图

本使用说明书中的显示屏插图针对的是 FWD-S46H2。

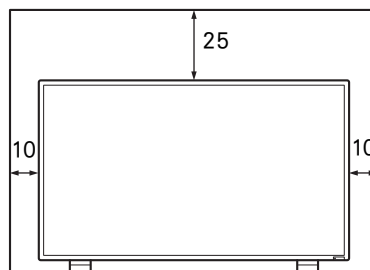
关于安装的建议

在显示器周围留出充足的空间

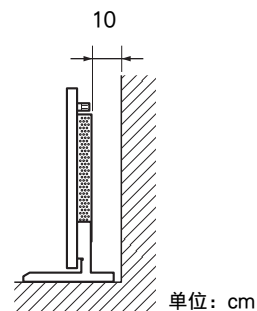
- 为防止因密闭显示器导致内部积热，必须确保在显示器周围至少留出下图所示的最小空间以保证适当的通风。
- 环境温度必须在 0°C 至 40°C 之间。将显示器安装在天花板附近时请小心操作。安装位置附近的温度可能会比室内高度较低处的正常温度高很多。
- 使用支架时，必须使用适用的桌面支架 SU-S02（未附带）。关于安装方法，请参阅桌面支架的安装说明书。
- 有关安装支架、墙壁安装的说明，请咨询 Sony 专业人员。
- 关于五金件的安装，例如托架、螺钉或螺栓，此处无法指定产品。实际安装取决于当地授权经销商。安装方面请咨询具备资格的 Sony 专业人员。
- 显示器电源打开期间，内部会集聚一定量的热量。这会导致灼伤。在显示器电源打开时或刚进入待机模式时，应避免触摸显示器的顶部或背面。

使用桌面支架

前视图



侧视图

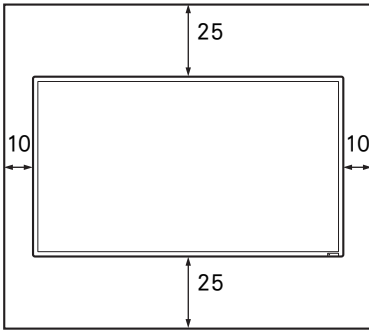


注

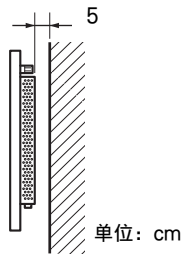
显示器连接着桌面支架（未附带）时，移动或安装显示器至少需要 2 个人。

水平安装显示器

前视图

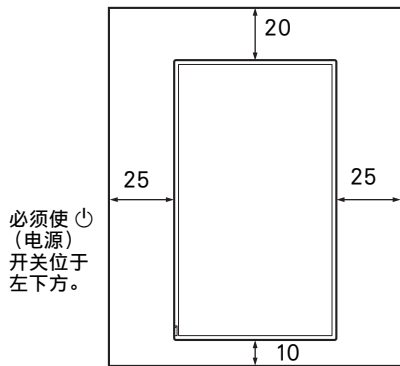


侧视图

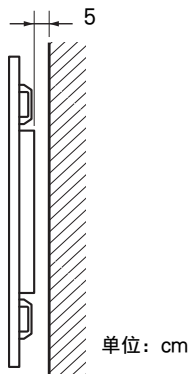


垂直安装显示器

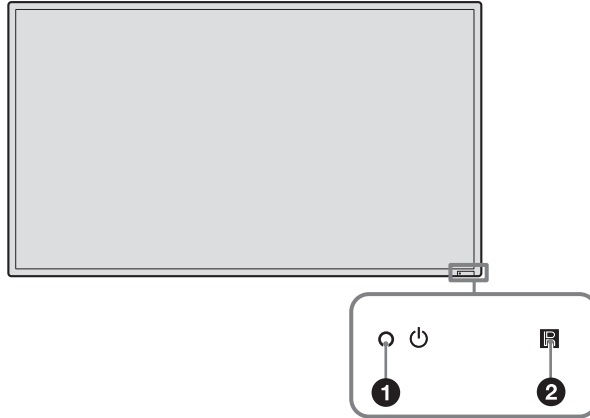
前视图






侧视图

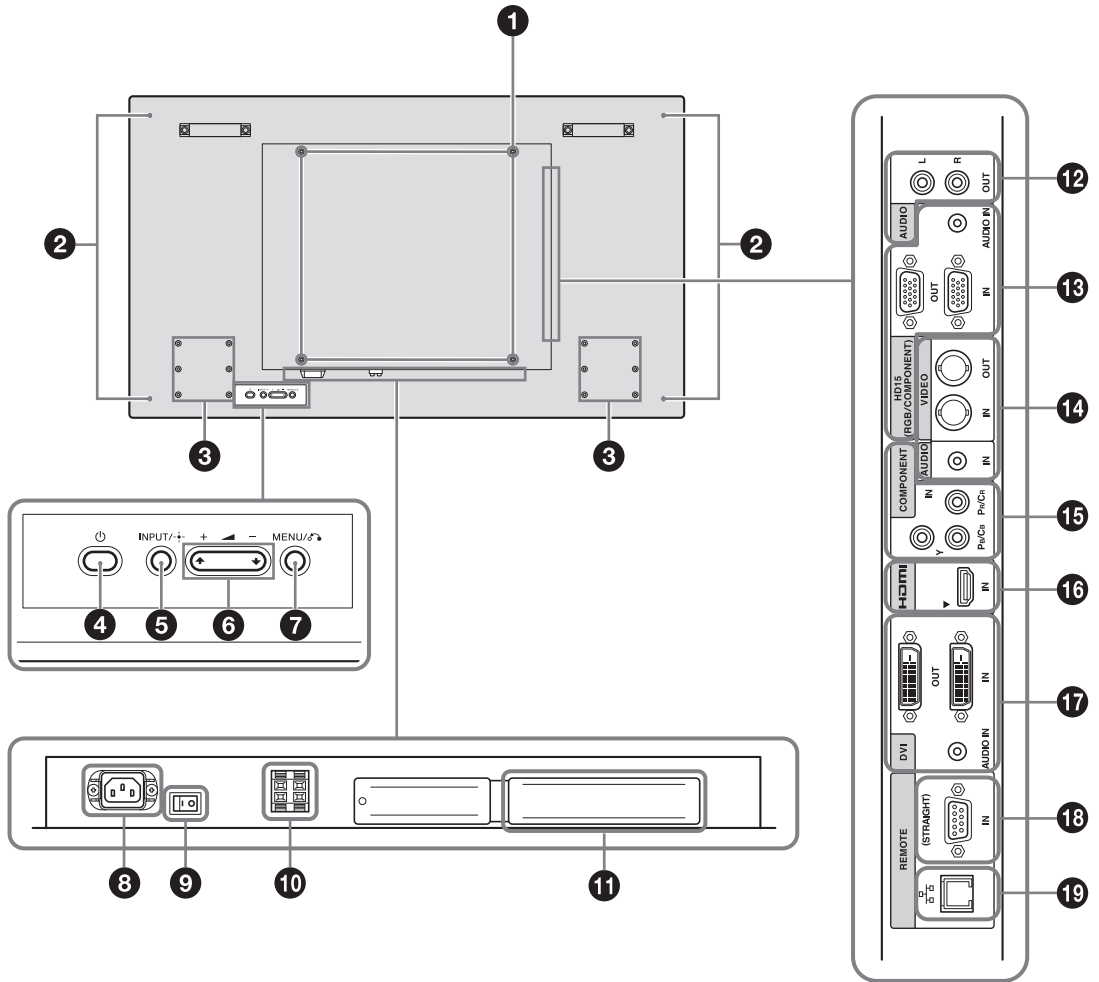


前视图




部件	说明
①  (电源 / 待机) 指示灯	<ul style="list-style-type: none">当显示器打开时点亮为绿色。当显示器处于待机模式时点亮为红色。如果信号是从个人电脑输入，则当显示器进入节电模式时将点亮为橙色。 当  指示灯以红色闪烁时，请参阅第 38 页。
②  遥控传感器	<p>注</p> 当“Multi Display”设定中的“LED”选项设定为“Off”，并且“Position”选项未设定到右下方，则即使显示器已打开，该指示灯也不会点亮为绿色，除没有信号或不支持该信号的情况之外。遥控光感器。

后视图



CS

部件	说明
❶ 安装托架安装孔	符合 VESA 标准的螺孔。（间距：400mm × 400mm）
	<p>注</p> <p>请使用螺纹和长度均适合的螺丝，并以正确扭矩拧紧。 螺纹直径：M6 螺纹长度：10 mm 扭矩：20 kgf·cm</p>
❷ 扬声器安装孔	用于连接扬声器 SS-SPG02（未附带）。
❸ 桌面支架安装孔	用于安装桌面支架 SU-S02（未附带）。
❹ ⏻（电源）按钮	打开或关闭（待机）显示器。 当主电源开关位于“ON”位置（ 一侧）时有效。
❺ INPUT/ +（执行）按钮	<p>按此按钮选择来自 INPUT 或 OPTION 连接器的信号。 每按一次 INPUT 按钮，输入信号按如下顺序循环切换。</p> <p>→ Video → Component → HD15 → DVI → HDMI → OPTION</p> <p>如果 OPTION 插槽没有安装支持视频信号的可选购的适配器，则 OPTION 将被跳过。 按此按钮确定选择。</p>
❻ +/-/⏮/⏭（音量 / 菜单项选择）按钮	<p>按下可控制扬声器的音量。当显示菜单时，按下可选择菜单项或设置某个值。 按此按钮确定选择。</p>
❼ MENU/⏪（返回）按钮	<p>按此按钮显示菜单。 按此按钮将返回前一个菜单画面。</p>

部件	说明
⑧ AC IN 插座	将附送的交流电源线连接至此插座和壁装电源插座（第 20 页）。一旦连接了交流电源线并打开主电源开关，则  指示灯将点亮为红色，并且显示器将进入待机模式。
⑨ ○/ （主电源）开关	设置显示器时，请将主电源开关转至“ON”位置（按 一侧）。当主电源开关位于“OFF”位置时（按○一侧），功耗为 0W。
⑩ SPEAKER 插座	将扬声器 SS-SPG02（非附送）连接至此插座。关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器附带的操作手册。关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参阅第 21 页。
⑪ OPTION 插槽 (VIDEO/COM 端口)	在此插槽中装入一个选购适配器（BKM-FW 系列）以扩充监视器功能（第 19 页）。
⑫ AUDIO OUT（L/R） (RCA 连接器)	这是外部设备的音频监视器输出端子。输出屏幕上当前所显示信号的音频。当显示画中画（PinP）时，输出与动态 * 图像一致的音频信号。
注	
<ul style="list-style-type: none"> 在“Sound Mode”或“Speaker Out”中指定的设定将不会被反映出来。 由遥控器所设定的降噪状态不会被反映出来。 	
⑬ HD15 (RGB/ COMPONENT) (D-sub 15 芯)	<p>HD15 (RGB/COMPONENT) IN: 连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输出（第 43 页）。</p> <p>HD15 (RGB/COMPONENT) OUT: 连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输入（第 43 页）。从上述 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 连接器输入的信号将被输出。</p> <p>AUDIO IN: 输入音频信号。连接至视频设备或个人电脑的音频信号输出。</p>
注	
<ul style="list-style-type: none"> 当显示器未连接至交流电源或处于待机模式时，没有信号从 HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 输出。 当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至管脚 13 和 14。否则，可能无法正确显示图像。 	

* 声音输出及输入信号可以切换时的状态。

部件	说明
14 VIDEO	<p>VIDEO IN (BNC): 连接至视频设备的视频输出。</p> <p>VIDEO OUT (BNC): 连接至视频设备的视频输入。将输出从 VIDEO IN 输入的图像。输出与电源的开关状态 (包括待机) 无关。</p> <p>AUDIO IN (立体声微型插孔): 连接至视频设备的音频输出。</p>
15 COMPONENT (RCA 连接器)	<p>COMPONENT (Y PB/CB PR/CR) IN: 连接至视频设备或个人电脑的分量信号输出。</p> <p>AUDIO IN: 输入音频信号。连接至视频设备或个人电脑的音频信号输出。使用与 14 VIDEO 中相同的连接器。</p>
16 HDMI	<p>HDMI IN: HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 提供显示器与任何配有 HDMI 的音频 / 视频设备及个人电脑之间的接口。您可以享受效果增强的或高清晰度的视频, 以及双声道数字音频。</p> <p>将根据所连接的设备自动为音频 / 视频设备或个人电脑选择适当的模式。</p> <p>注</p> <p>请务必仅使用标有 HDMI 标识的 HDMI 电缆 (非附送)。建议您使用 Sony HDMI 电缆 (高速型)。</p>

HDMI、High-Definition Multimedia Interface 和 the HDMI Logo 是 HDMI Licensing LLC 在美国及其他国家 / 地区的商标或注册商标。

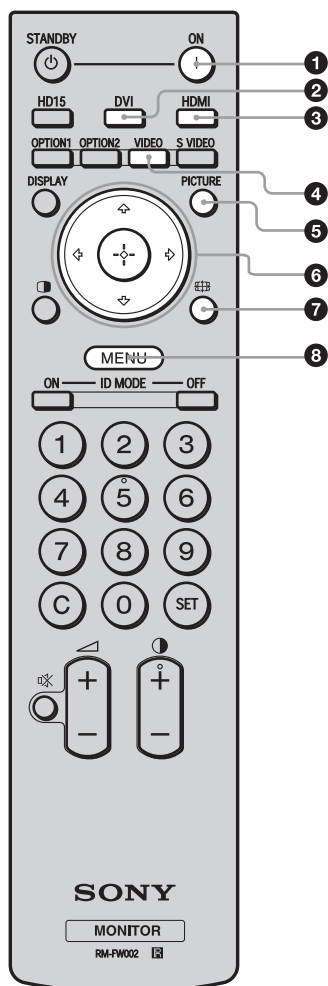
部件	说明
17 DVI (DVI-D 24 芯)	<p>DVI IN: 连接到视频装置或个人电脑的数字信号输出端子。支持 HDCP 复制保护。</p> <p>DVI OUT: 连接至视频设备或个人电脑的数字 DVI 输入。将输出从上面的 DVI IN 连接器输入的信号。</p> <p>AUDIO IN: 输入音频信号。连接至视频设备等的音频信号输出。</p> <p>注</p> <p>当显示器处于待机状态或关闭电源时, DVI OUT 没有输出信号。</p>
18 REMOTE (STRAIGHT) (D-sub 9 芯)	<p>此连接器允许采用 RS-232C 协议遥控显示器。有关详细说明, 请联系授权的 Sony 经销商。</p> <p>注</p> <p>使用此连接器时, 请在“Network Port”中选择“RS-232C”。(第 32 页)</p>
19 REMOTE (10BASE-T/100BASE-TX) (10BASE-T/100BASE-TX)	<p>此连接器可用 10BASE-T/100BASE-TX LAN 电缆将显示器连接至网络。您可以通过个人电脑的网络指定各种设定并控制显示器。</p> <p>注意</p> <p>为安全起见, 请勿将可能有过高电压的外围设备配线用连接器连接到本端口上。按照本端口的说明操作。</p> <p>注</p> <p>使用此连接器时, 请在“Network Port”中选择“LAN”。(第 32 页)</p>

遥控器

注

在本显示器中不可使用 S VIDEO 按钮和 OPTION2 按钮。

按钮说明



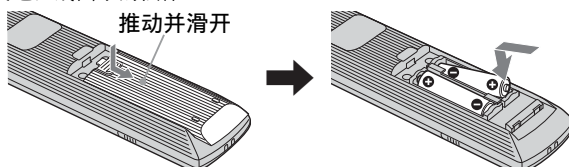
- 1 ON (电源打开) 按钮**
按此按钮打开显示器电源。
当显示器背面的主电源开关位于“ON”位置时有效。
- 2 DVI 按钮**
按此按钮选择输入 DVI 端口的信号。
- 3 HDMI 按钮**
按此按钮选择从视频设备输入 HDMI IN 连接器的信号。
- 4 VIDEO 按钮**
按此按钮在来自 VIDEO IN 与来自 COMPONENT IN 的输入信号之间切换。
- 5 PICTURE 按钮**
选择“Picture Mode”。每按一次即在“Vivid”、“Standard”、“Custom”、“Conference”和“TC Control”之间切换。
- 6 方向键/中心键按钮**
按方向键移动所选的菜单项并设定值。
按中心键设定所选的菜单或设定项目。
当显示画中画 (PinP) 时, 可以更改插入图像的设定 (第 17 页)。
- 7 缩放按钮**
按此按钮更改纵横比 (第 16 页)。
- 8 MENU 按钮**
按此按钮可在画面上显示菜单。再按一次可隐藏菜单 (第 22 页)。

注

- 按钮 5 和 6 按钮各有一个触感圆点。在操作显示器时可使用触感圆点作为参照。
- 将两节 AA 尺寸 (R6) 电池 (附带) 装入, 使电池上的 ⊕ 和 ⊖ 与遥控器电池舱内的图示匹配。

注意

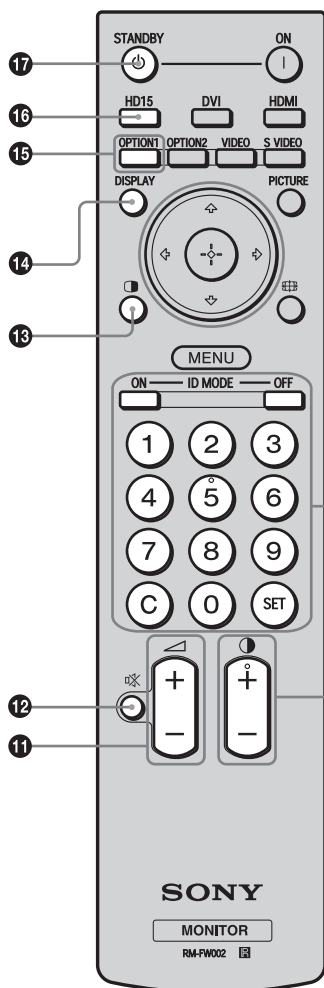
如果更换的电池不正确, 就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。
处理电池时, 必须遵守相关地区或国家的法律。



安装电池

附送两节 AA (R6) 遥控器 RM-FW002 电池。

为避免爆炸危险，请使用 AA (R6) 锰电池或碱性电池。



9 ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) 按钮

通过输入显示器的“Index Number”可以操作某个指定的显示器而不影响其它同时安装的显示器。

- ON 按钮：按此按钮可在画面上显示“Index Number”。
- 0-9 按钮：按此按钮输入想要操作的显示器的“Index Number”。
- SET 按钮：按此按钮设定输入的“Index Number”。
- C 按钮：按此按钮清除输入的“Index Number”。
- OFF 按钮：按此按钮返回正常模式（第 18 页）。

10 +/- 按钮

调节图像（对比度）等级。

11 +/- 按钮

按此按钮调节音量。

12 按钮

按此按钮消音。再按一次恢复声音。

13 按钮

按此按钮可将显示器从单画面切换至画中画（PinP）。再按一次则显示单画面（第 17 页）。

14 DISPLAY 按钮

按此按钮在屏幕上显示当前选定的输入、输入信号的类型以及“Aspect”设定。再按一次可将其隐藏。如果在短时间内没有动过这些显示的信息，则这些信息会自动消失。

15 OPTION1 按钮

如果安装了选购适配器，可选择来自与选购适配器相连接设备的输入信号。

如果所安装的选购适配器具有多个输入连接器，则每按一次按钮即在输入信号之间切换。

16 HD15 按钮

按此按钮选择 HD15 (RGB/COMPONENT) 连接器的输入信号。将根据菜单设定自动或手动选择 RGB 信号或分量信号。

17 STANDBY 按钮

按此按钮将显示器变为待机模式。

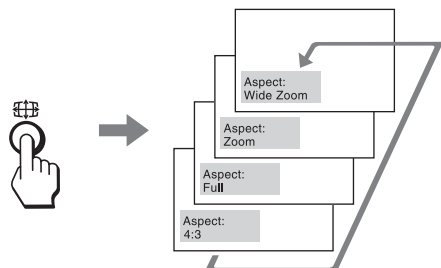
遥控器上的可用按钮

使用宽模式

您可改变画面的纵横比。

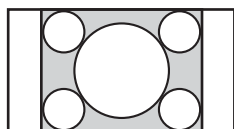
提示

另外也可访问“Screen”设定中的“Aspect”设定（第 28 页）。

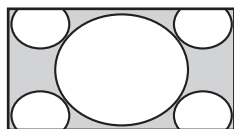


对于从 Video、DVD 等视频设备输入（个人电脑输入除外）

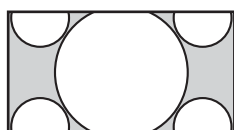
4:3 原始源



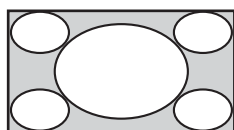
Wide Zoom



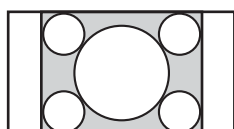
Zoom



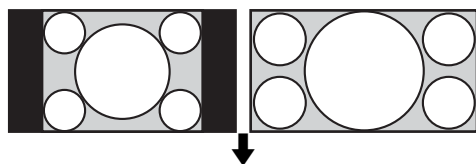
Full



4:3



16:9 原始源



Wide Zoom



Zoom



Full



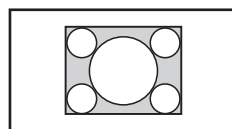
4:3



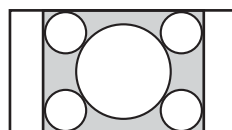
对于个人电脑输入

下图表示 800 × 600 输入分辨率

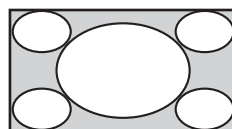
Real



Full 1



Full 2



注

如果输入分辨率比面板分辨率（1920 × 1080）高，则“Real”显示与“Full 1”相同。

使用 PAP 设定

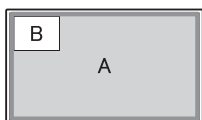
插入图像显示在主图像内。您可以更改插入图像的位置和尺寸。另外也可访问“Screen”设定中的“PAP Setting”设定（第 26 页）。使用除 VIDEO IN 外的视频输入连接器可显示画中画（PinP）。

注

来自 VIDEO IN 连接器的复合视频信号不支持 PinP。



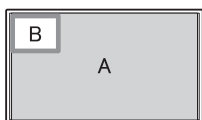
光标显示活动图像



插入图像（B）显示在主图像（A）内。



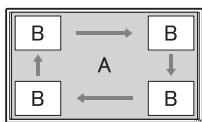
按 \leftarrow/\rightarrow 按钮。



插入图像（B）变为活动图像。

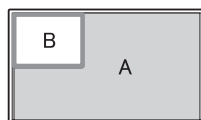


按 \oplus 按钮。



插入图像（B）的位置将改变。

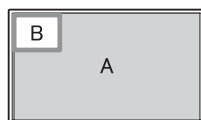
按 \diamond 按钮。



插入图像（B）的尺寸将变大。



按 \diamond 按钮。



插入图像（B）的尺寸将变小。

提示

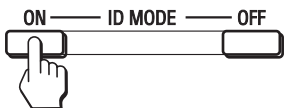
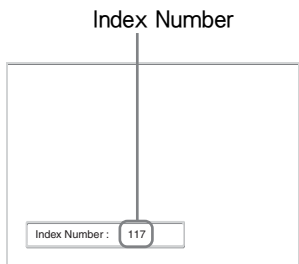
- 5 秒钟后，表示活动图像的光标将消失。
- 可以选择两种尺寸的插入图像。

使用 ID MODE 按钮

通过输入显示器的“Index Number”可以操作某个指定的显示器而不影响其它同时安装的显示器。

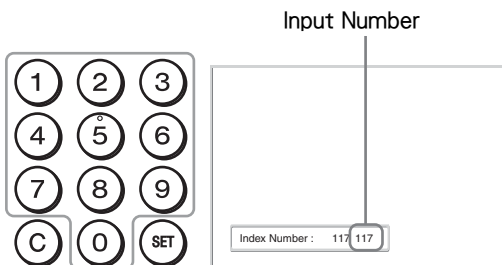
1 按 ON 按钮。

显示器的“Index Number”在屏幕的左下角菜单中以黑色字符显示。（每个显示器均分配有从 1 到 255 的单独预设“Index Number”。）



2 用遥控器上的 0 - 9 键输入想要操作的显示器的“Index Number”。

输入号码出现在各显示器“Index Number”的右边。



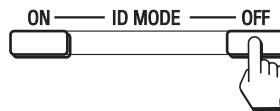
3 按 SET 按钮。

所选择的显示器上的字符变为绿色，而其它的则变为红色。



只可操作以绿色字符指示的指定显示器。同样，仅 ON（电源打开）按钮和 STANDBY/ID MODE-OFF 按钮的操作对其它显示器有效。

4 当完成所有设定变更后，按 OFF 按钮。显示器返回至正常画面。



若要更正 Index Number

按 C 按钮清除当前输入的“Index Number”。返回步骤 2，然后输入一个新的“Index Number”。



提示

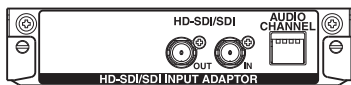
若要改变显示器的“Index Number”，请参阅第 30 页的“Control Setting”中的“Index Number”。

可选购的适配器

位于显示器背面靠近底部的 OPTION 插槽 ⑪（第 11 页）的端子为内槽型。可以将其连接至以下可选购的适配器（非附送）。

关于安装的详细说明，请咨询 Sony 经销商。
关于系统扩展用选购适配器的详细说明，请参阅其各自的使用说明书及本说明书。

HD-SDI/SDI INPUT 适配器 BKM-FW16



连接至视频设备的 HD-SDI 信号输出。

连接

开始之前

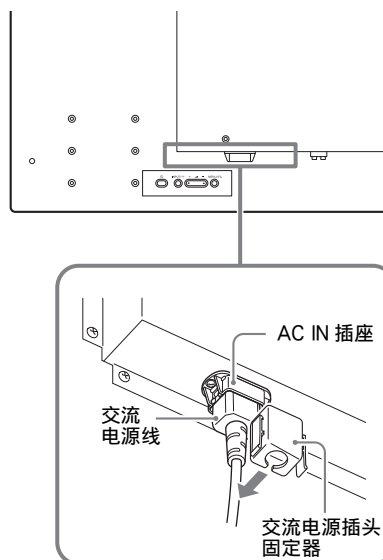
- 首先请确认各设备的电源已关闭。
- 请使用适合所要连接设备的电缆。
- 连接电缆，将其完全插入连接器或插孔。松动的连接可能会引起嗡嗡声和其它噪音。
- 断开电缆的连接时，请捏紧插头拔出。切勿拉拽电缆。
- 也可参阅所要连接设备的使用说明书。
- 请将插头牢牢插入 AC IN 插座。
- 请使用两个交流插头固定器（附送）之一以便牢牢固定交流插头。

连接扬声器

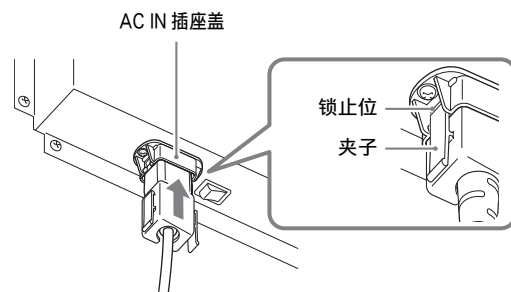
连接扬声器 SS-SPG02（非附送）。必须正确连接扬声器。关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器的操作手册。关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参阅第 21 页。

连接交流电源线

- 1 将交流电源线插入 AC IN 插座中。然后，将交流电源插头固定器（附送）装在交流电源线上。



- 2 将交流电源插头固定器盖住电源线滑动，直至其连接至 AC IN 插座盖上。



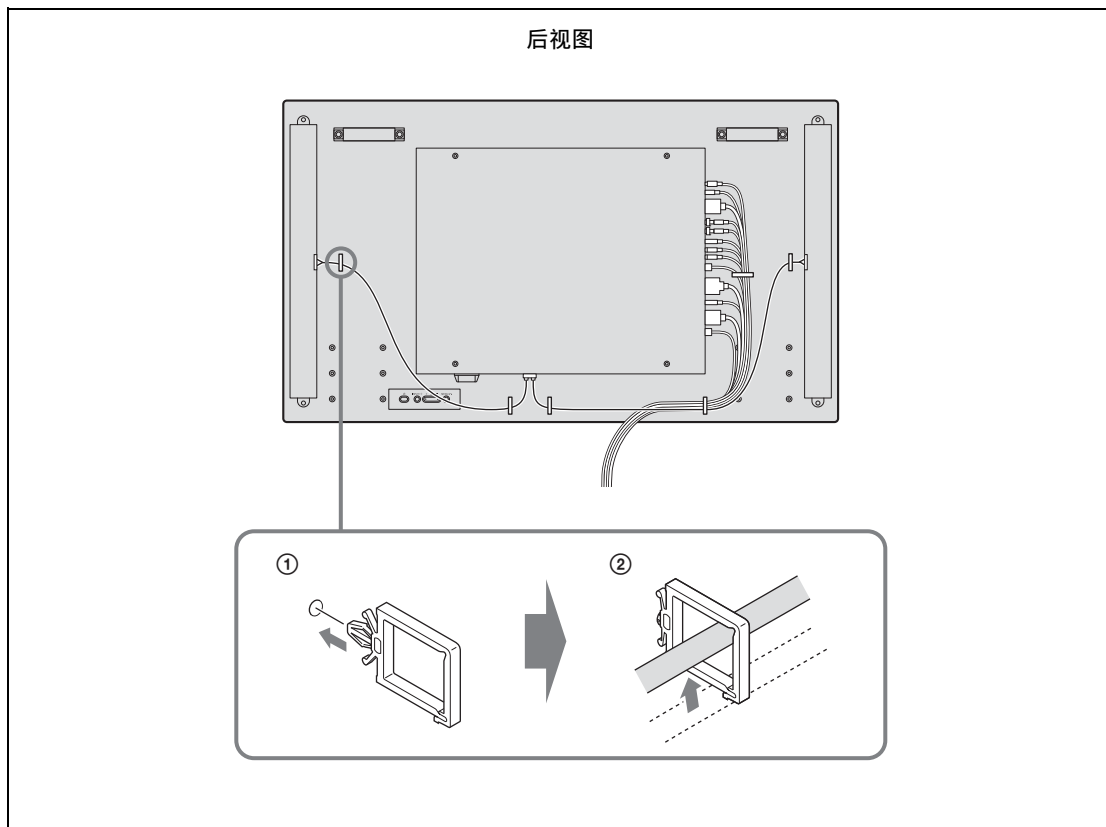
若要拔下交流电源线

从 AC IN 插座盖的锁止位将交流电源插头固定器的夹子松开，然后握住插头并将交流电源线拉出。

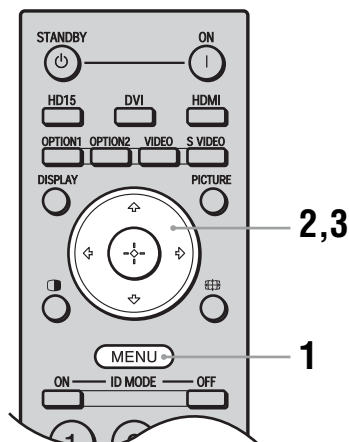
电缆布置

使用电缆夹

可用附送的电缆夹（×6）整齐地捆扎电缆。请按下图所示的方法安装电缆夹。



菜单综述



这些设定使您可以使用以下功能：

- 1 按 MENU 按钮。
- 2 按 \uparrow/\downarrow 加亮显示所需的菜单图标。
- 3 按 \leftarrow 或 \rightarrow 。
若要退出菜单，按 MENU 按钮。

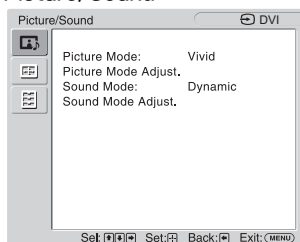
若要改变屏幕显示语言

从“English”、“Deutsch”、“Français”、“Español”、“Italiano”或“日本語”中选择所要的屏幕显示设定和信息语言。

“English”（英语）被设置为默认设定（第 29 页）。

设定

Picture/Sound



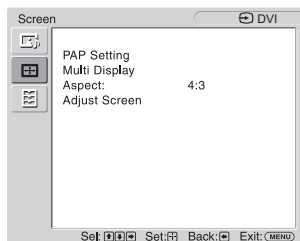
使您可以设定 / 更改

Picture Mode: (第 23 页)
Picture Mode Adjust. (第 23, 24 页)
Sound Mode: (第 25 页)
Sound Mode Adjust. (第 25 页)

注

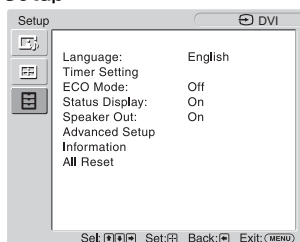
无输入信号时，不能设定或更改“Picture Mode”或“Picture Mode Adjust.”。

Screen



PAP Setting (第 26 页)
Multi Display (第 27 页)
Aspect: (第 28 页)
Adjust Screen (第 28 页)

Setup



Language: (第 29 页)
Timer Setting (第 29 页)
ECO Mode: (第 29 页)
Status Display: (第 29 页)
Speaker Out: (第 29 页)
Advanced Setup (第 30, 31, 32 页)
Information (第 32 页)
All Reset (第 32 页)

* 视设定而定，显示于画面底部的菜单图标可能不起作用。

Picture/Sound 设定

关于设定方法，请参阅“菜单综述”（第 22 页）。

*：在个人电脑输入期间不可选。

菜单	功能和操作
Picture Mode	<p>可以选择图像质量以匹配您的图像类型和环境亮度。</p> <p>提示 若要从“Picture Mode”的某个选项改变至其另一个选项，也可使用遥控器上的 PICTURE 按钮（第 14 页）。</p>
Vivid	增强图像锐度并令对比度达到最大。
Standard	适中设定。
Custom	进行更细微的调整。
Conference	<p>调节荧光灯下视频会议的图像质量。</p> <p>注 “Conference”可能无效，这要视使用环境或视频会议系统而定。此时，请使用“Picture Mode Adjust.”调节图像（第 23 页），或切换至除“Conference”外的某个“Picture Mode”设定。</p>
TC Control	<p>在设定“True Color Control”（第 24 页）时选择此项。如果不设定“True Color Control”，则“TC Control”的显示图像与“Vivid”的相同。</p> <p>注 当选择“TC Control”时，“Brightness Boost”（第 24 页）设定为“Off”。</p>
Picture Mode Adjust.	<p>可以更细微地调节各个“Picture Mode”的图像质量。取决于所选的“Picture Mode”，有些“Picture Mode Adjust.”项目将无法进行调节。</p> <p>注 在个人电脑输入期间不能调节“Chroma”、“Phase”、“Sharpness”、“Noise Reduction”或“CineMotion”。</p>
Backlight	调节 LCD 显示屏亮度。
Contrast	增大或减小对比度。
Brightness	调节画面亮度。
Chroma *	调节色彩浓度。
Phase *	<p>调节图像的色调。</p> <p>注 “Phase”在视频信号的色彩制式为 NTSC 时可用。</p>
Sharpness *	调节此项使图像变锐或柔和。
Noise Reduction *	降低所连接设备的噪音。当噪音较大时，可使用更高的设定值。
	Off/Low/Mid/High
CineMotion *	<p>选择“Auto”或“Off”。如果选择“Auto”，它就会通过检测影片内容并应用反转 3-2 降格或 2-2 降格处理，进而自动优化画面显示。图像看上去将显得更为清晰和自然。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> 当显示画中画（PinP）时，“CineMotion”的设定无效。 “CineMotion”可能无法予以正确处理，这要取决于输入信号类型。

菜单		功能和操作
Picture Mode Adjust.	Dynamic Picture	<p>选择“On”或“Off”。选择“On”可使白色更亮、黑色更黑，以此提高对比度。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> 如果是输入 VIDEO IN 的复合视频信号，则只能设定“Dynamic Picture”。 当“Picture Mode”设定为“Conference”或“TC Control”时，不能设定“Dynamic Picture”。
	Gamma Correct.	<p>平衡图像的明暗部分。设定值越高，伽玛校正越大。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> 当“Picture Mode”设定为“Conference”时，不能设定“Gamma Correct.”。 “DICOM GSDF Sim.”伽玛设定符合 DICOM（医学数码成像和通信标准）中对 GSDF（灰度标准显示函数）的规定。此设定仅供参考，不能用于医学诊断。
	High/Mid/Low/DICOM GSDF Sim.	
	Color Temp.	<p>可根据自己的喜好对白色调进行调节。出厂时已设置默认设定。</p> <p>提示</p> <p>在色调整画面面上选择“Reset”可恢复默认设定。</p>
	Cool	使白色偏蓝。
	Neutral	使白色为中性。
	Warm	使白色偏红。
	Custom	允许设定比上面幅度更宽的白色调。
Brightness Boost	<p>选择“On”或“Off”。如果选择“On”，可增强图像的亮度。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> 当“Picture Mode”设定为“Vivid”时，可以设定“Brightness Boost”。 当“Brightness Boost”设定为“On”时，不能调整“Backlight”、“Contrast”、“Brightness”或“Color Temp.”设定。 当“Brightness Boost”设定为“On”，且“Backlight”设定为“Max”，“ECO Mode”设定为“Off”时，亮度将达到最大值。 	
True Color Control	<p>您可以调节 4 种颜色：“Red”、“Green”、“Yellow”、“Blue”的“Hue”和“Saturation”，以便在图像中加亮显示指定的颜色。</p> <p>选择您想要调节的颜色，然后查看当前图像中将被调节的部分。然后您可以用矩阵对话框进行调节。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> “True Color Control”在“Picture Mode”设定为“TC Control”时可进行调节。 当显示画中画（PinP）时，不能设定“True Color Control”。 当显示画中画（PinP）时，“True Color Control”的设定可能无效。 	
Reset	<p>选择“Cancel”或“OK”。如果选择“OK”，它就会将“Picture Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。</p>	

菜单	功能和操作
Sound Mode	可使用多种“Sound Mode”设定调节从SS-SPG02扬声器（非附送）输出的声音。
Dynamic	增强高音和低音。
Standard	适中设定。
Custom	进行更细微的调整。
Sound Mode Adjust.	可以对音调进行细微调整。 提示 当“Sound Mode”设定为“Custom”时，可以设定“Treble”和“Bass”。
Treble	增强或减弱高音。
Bass	增强或减弱低音。
Balance	调节左侧 / 右侧扬声器的平衡。
Surround	根据图像类型选择环绕模式。
Off	无环绕输出。
Hall	当想让电影或音乐节目具有更丰富的立体声效果时选择此项。
Reset	选择“Cancel”或“OK”。如果选择“OK”，它就会将“Sound Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。

Screen 设定

关于设定方法，请参阅“菜单综述”（第 22 页）。


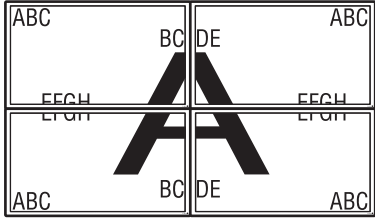
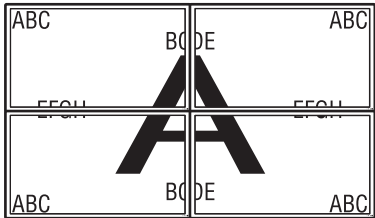

注

如果没有信号输入，则不能设定“Aspect”和“Adjust Screen”。

菜单	功能和操作
PAP Setting	同时显示两种视频输入信号。有关详情，请参阅第 17 页。
PAP	选择“Off”或“PinP”。选择“PinP”可在主图像内显示插入图像。
Active Picture	选择要操作的画面。
Main	激活主图像进行操作。
Sub	激活插入图像进行操作。
Swap	交换主图像和插入图像。
Picture Size	选择插入图像的尺寸。选择“Large”或“Small”。
Picture Position	用 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ 调节插入图像的位置，然后按 \oplus 。


PinP 的有效组合

	Video	COMPONENT	HD15		DVI	HDMI	OPTION
			RGB	YUV			HDSDI
Video							
COMPONENT					○	○	○
HD15	RGB				○	○	○
	YUV				○	○	○
DVI		○	○	○			
HDMI		○	○	○			
OPTION	HD SDI	○	○	○			

菜单	功能和操作
Multi Display	<p>可以对连接多个显示器形成的电视墙进行设定。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> 当显示画中画 (PinP) 时, 不能设定 “Multi Display”。 在视频输入期间, “Multi Display” 会显示一个与当前 “Aspect” 设定尽可能接近的图像。但在个人电脑输入期间, 显示时的 “Aspect” 被设定为 “Full 2”。 当 “Position” 设定为右下方时, 即使 “LED” 被设定为 “Off”,  指示灯也会点亮。即使当显示器关闭 (待机) 时, 此指示灯仍点亮, 则说明检测到错误, 或显示器处于睡眠模式, 包括无信号和不支持该信号的情况在内。
Multi Display	通过此项设定可形成电视墙。
Off	使用单个屏幕。
2 × 2 3 × 3 4 × 4	同时沿垂直和水平方向各连接 2 个、3 个或 4 个显示器时设定此项。
1 × 2 1 × 3 1 × 4	沿水平方向连接 2 个、3 个或 4 个显示器时设定此项。
2 × 1 3 × 1 4 × 1	沿垂直方向连接 2 个、3 个或 4 个显示器时设定此项。
Position	设定各个显示器的屏幕位置。
Output Format	可以选择图像输出格式。图像位置将自动进行调节, 从而获得最适合的图像输出。
Tiles	<p>在各个屏幕上显示完整信号。</p> 
Window	<p>用多个显示器自然地显示一幅大图像。部分信号会进入面板边框区域后面。</p> 
LED	选择 “On” 或 “Off”。如果选择 “On”, 将使前面板上的  指示灯 (第 8 页) 持续打开。

* 在个人电脑输入期间不可选。

** 在个人电脑输入期间可选。

菜单	功能和操作
Aspect	<p>改变屏幕的纵横比。有关详情，请参阅第 16 页。</p> <p>提示</p> <ul style="list-style-type: none"> • 若要从“Aspect”的某个选项改变至其另一个选项，您也可使用遥控器上的  按钮。 • 选择“Zoom”可使用屏幕上用于视频输入的整个可观看区域带黑带显示电影和其它 DVD 内容。 <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> • 在显示画中画 (PinP) 期间，不能更改纵横比。图像将以显示 PinP 之前所用的纵横比进行显示。 • 在使用“Multi Display”功能时，不能设定“Aspect”。
Wide Zoom *	以最小的失真放大并充满屏幕。
Zoom *	放大图像并保持原始纵横比。
Full *	当图像源为 4:3 (标准清晰源) 时，水平放大原始图像并充满屏幕。当图像源为 16:9 (高清晰源) 时，则以其原始纵横比 16:9 显示图像。
4:3 *	以 4:3 纵横比显示所有图像源。
Full 1 **	放大图像并沿垂直方向充满屏幕，同时保持原始纵横比。在图像的四周可能会出现一个黑框。
Full 2 **	放大图像并充满屏幕。
Real **	<p>以图像的原始像点数显示图像。</p> <p>注</p> <p>如果输入分辨率比面板分辨率 (1920 × 1080) 高，则“Real”的显示与“Full 1”相同。</p>
Adjust Screen	<p>调节屏幕尺寸和位置。</p> <p>注</p> <p>“Auto Adjustment”、“Phase”和“Pitch”在用 DVI IN 或 HDMI IN 连接器以数字形式输入个人电脑信号时不可用。</p>
Auto Adjustment **	<p>选择“Cancel”或“OK”。如果选择“OK”，即可在显示器接收到来自所连接的个人电脑的输入信号时，自动调节图像的显示位置和相位。请注意，对于某些输入信号，“Auto Adjustment”可能效果不佳。此时，请手动调节以下选项。</p> <p>注</p> <p>为确保正确无误，请在整个屏幕显示明亮的图像时再进行调节。</p>
Phase **	在屏幕抖动时调节相位。
Pitch **	在图像有多余垂直条纹时调节间距。
H Size	水平调节图像尺寸。
H Shift	左 / 右调节图像位置。
V Size	垂直调节图像尺寸。
V Shift	上 / 下调节图像位置。
Reset	选择“Cancel”或“OK”。选择“OK”会将“Adjust Screen”的全部设定恢复为默认设定。

Setup 设定

关于设定方法，请参阅“菜单综述”（第 22 页）。

菜单	功能和操作
Language	从所示的语言设定中进行选择。请选择“English”、“Deutsch”、“Français”、“Español”、“Italiano”或“日本語”。
Timer Setting	可调整时间、显示内置时钟或设定定时器使显示器电源在预设的时间打开/关闭。 注 如果长时间将主电源开关置于关闭状态或将交流电源线拔下，内置时钟的走时就可能明显失准。此时，请按正确时间校准时钟。
Clock Set	设定日期和时间。
Date Set	设定日期（年、月、日）。星期几是自动设定的。
Time Set	设定时间。
Clock Display	选择“On”或“Off”。如果选择“On”，当按下遥控器的 DISPLAY 按钮时，将显示所设定的当前时间。
On/Off Timer	设定星期几和时间。 注 除非已设定“Timer Setting”，否则将无法使用此项。
ECO Mode	通过更改背光亮度来降低功耗。选择“High”比选择“Low”能降低更多功耗。
Off/Low/High	
Status Display	选择“On”或“Off”。如果选择“On”，当打开显示器时，输入信号及“Aspect”设定信息将在屏幕上显示约 5 秒钟。切换输入信号时，输入信号信息将显示约 5 秒钟。 提示 通过按遥控器上的 DISPLAY 按钮可显示输入信号和“Aspect”设定信息。
Speaker Out	选择“On”或“Off”。如果选择“On”，声音将从扬声器输出。

CS

菜单	功能和操作
Advanced Setup	输入更为详细的设定。
Control Setting	此菜单用于操作显示器和遥控器的设定。
Index Number	<p>您可以根据需要更改显示器的索引号码。选择此项，用显示器上的 \swarrow/\searrow 按钮设定显示器的索引号码，然后按 + 按钮确认设定。</p> <p>注</p> <p>无法使用遥控器设定 “Index Number”。</p>
Control Mode	<p>设定为通过遥控器或显示器来控制显示器。</p> <p>注</p> <p>当操作此项目时，视通过遥控器还是显示器来进行选择的情况而定，可用模式将会有所不同。用遥控器上的 \oplus 按钮设定此项目时，您仅可选择 “Display+Remote” 或 “Remote Only”。用显示器上的 + 按钮设定此项目时，您仅可选择 “Display+Remote” 或 “Display Only”。</p>
Display+Remote	可使用显示器和遥控器上的控制按钮操作显示器。
Display Only	可使用显示器上的控制按钮操作显示器。您只能使用显示器上的按钮输入此设定。
Remote Only	可使用遥控器操作显示器。您只能使用遥控器输入此设定。
Auto Screen Adjust	<p>选择 “On” 或 “Off”。如果选择 “On”，它将保存每个输入信号的图像尺寸和位置等设定，并自动应用最后的设定。</p> <p>注</p> <p>“Auto Screen Adjust” 功能仅在 RGB 输入过程中有效。</p>
Auto Shut Off	<p>选择 “On” 或 “Off”。当选择 “On” 时，如果在约 30 秒内没有从 DVI、HDMI、HD15 (RGB/COMPONENT) 或 COMPONENT 输入连接器中输入信号，显示器就会自动进入待机模式或节能模式。</p> <p>如果在约 5 分钟内没有从 VIDEO 连接器中输入信号，显示器就会自动进入待机模式。</p> <p>提示</p> <ul style="list-style-type: none"> 该功能在 “Screen Saver” 设定为 “Off” 时可用。 如果 “DPMS” 被设定为 “On”，您可选择用于激活节电模式的设定。
DPMS	<p>选择 “On” 或 “Off”。当选择 “On” 时，如果在约 30 秒内没有从 DVI、HDMI 或 HD15 (RGB) 输入连接器中输入信号，显示器就会自动进入节电模式。</p> <p>当选择 “Off” 时，如果在约 30 秒内没有从 DVI、HDMI 或 HD15 (RGB) 输入连接器中输入信号，显示器就会自动进入待机模式。</p> <p>提示</p> <ul style="list-style-type: none"> 在待机模式中，按显示器上的 \odot 按钮或遥控器上的 ON 按钮将打开显示器。处于节电模式时，当有信号输入时显示器将自动打开电源。 该功能在 “Screen Saver” 设定为 “Off” 时可用。 该功能在 “Auto Shut Off” 设定为 “On” 时可用。
Overscan	选择是否以过扫描或原样扫描状态显示图像。
Auto	自动确定是否为 DTV 信号，然后执行过扫描并显示图像。
On	以过扫描状态显示图像。
Off	<p>以原样扫描状态显示图像。</p> <p>注</p> <p>在 DTV 信号输入期间，当有个人电脑信号输入时，可能会显示相应的屏幕。</p> <p>例如：480P \rightarrow 720 \times 480/60</p>

菜单		功能和操作
Advanced Setup	Sync Mode	设定 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 连接器的管脚 13 上输入的信号类型 (第 43 页)。 <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> “Sync Mode” 仅在输入 HD15 连接器的信号为模拟 RGB 信号时可用。 有些输入只能选择 “H/Comp”。此时，经由连接器的管脚 13 或 14 输入水平 / 垂直同步信号。 本显示器不支持 576/60p 的三值同步格式。 当在 “Sync Mode” 中选择 “Video” 时，只能设定 575/50i 和 480/60i 信号。
	H/Comp	设定水平同步信号输入。
	Video	设定视频信号输入。
	RGB/YUV	设定与显示器的 HD15 (RGB/COMPONENT) 连接器相连接的视频设备或个人电脑的信号类型。
	Auto	自动设定从所连接的设备中是输入模拟 RGB 信号还是分量信号。
	RGB	当从所连接的设备输入模拟 RGB 信号时设定此项。
	YUV	当从所连接的设备输入分量信号时设定此项。
	Color System	选择 “Auto” 自动设定色彩制式。选择 “NTSC” 或 “PAL” 设定色彩制式。 <p>注</p> “Color System” 在输入信号来自 VIDEO IN 连接器 (复合视频信号) 时可用。
	RGB Signal	设定是将 1280 × 720/60、720 × 480/60 或 1920 × 1080/60 RGB 输入信号显示为个人电脑信号还是视频信号。 请根据输入连接器选择 “HD15”、“DVI” 或 “HDMI”，然后分别为其选择 “PC” 或 “Video”。以下输入连接器对于设定 “HD15”、“DVI” 或 “HDMI” 而言有效。 <p>“HD15”：HD15 (RGB/COMPONENT) IN 连接器</p> <p>“DVI”：DVI IN 连接器</p> <p>“HDMI”：HDMI IN 连接器</p>
	HD15/DVI/HDMI	
	Screen Saver	此设定防止或减少由于屏幕长时间显示同一图像而可能产生的屏幕烧录或残留图像。
	Off	禁用 “Screen Saver” 设定。
	All White	显示为整个白屏。(大约 30 分钟后自动停止，显示器进入待机模式。)
	Sweep	白色条在画面上滚动。
	Standby	在 “Timer Setting” 中所设定的时间内，待机模式下将启动屏幕保护功能 (第 8 页)。(显示器在屏幕保护功能启动期间为黑屏。) 过了设定的时间后，显示器将返回正常待机状态。
Menu Position	改变菜单画面的方向，以便与显示器的安装方向匹配。	
Landscape	水平显示菜单画面。	
Portrait	垂直显示菜单画面。	

菜单		功能和操作
Advanced Setup	Network Port	设定在通过个人电脑遥控显示器时，个人电脑上所连接的端子。 注 <ul style="list-style-type: none"> 不能同时使用 REMOTE (STRAIGHT) 和 REMOTE ($\frac{\text{PC}}{\text{LAN}}$)。 执行“IP Address Setup”或“Speed Setup”时，请选择“LAN”。
	RS-232C	通过 REMOTE (STRAIGHT) 连接器来连接显示器与个人电脑时选择此项。
	LAN	通过 REMOTE ($\frac{\text{PC}}{\text{LAN}}$) 连接器来连接显示器与个人电脑时选择此项。
	IP Address Setup	设定 IP 地址，使显示器的 REMOTE ($\frac{\text{PC}}{\text{LAN}}$) 连接器与用 LAN 电缆连接的个人电脑等设备之间能够进行通讯。 关于设定方法的详细说明，请参阅“使用网络功能的准备工作”（第 33 页）。
	Speed Setup	设定显示器的 REMOTE ($\frac{\text{PC}}{\text{LAN}}$) 连接器与用 LAN 电缆连接的个人电脑等设备之间的通讯速度。 关于设定方法的详细说明，请参阅“使用网络功能的准备工作”（第 33 页）。
	Power On Delay	调节从打开显示器开关到显示器真正打开之间的时间。请设定为“Off”或 1-120 秒。这样可以防止电源设备在连接多个装置的情况下出现突然的负载变动。
	HDMI Control	如果将兼容 HDMI 控制器的设备连接到显示器的 HDMI 输入连接器上，可同时对此设备进行控制。 注 应使用遥控器来开 / 关显示器及所连接的设备。
	HDMI Control	选择“On”或“Off”。如果选择“On”，则 HDMI 设备控制器生效，可将其设定为“Auto Device Off”和“Auto Display On”。 注 <ul style="list-style-type: none"> 如果控制器不工作，请同时设置所连接设备上的 HDMI 设定。 为实现同步控制，所连接的设备必须与 HDMI 控制器兼容，且须设定为启用 HDMI 设备控制器。 取决于 HDMI 设备，该功能在有些情况下可能对本机无效。
	Auto Device Off	选择“On”或“Off”。如果选择“On”，当显示器电源关闭时，所连接的 HDMI 设备的电源也将同时予以关闭。
	Auto Display On	选择“On”或“Off”。如果选择“On”，当选择所连接的 HDMI 设备的播放或其他控制功能时，显示器的电源也将同时打开。
Information	显示有关显示器的“Date”、“Model Name”、“Serial Number”、“Operation Time”、“Software Version”及“IP Address”等信息。	
All Reset	选择“Cancel”或“OK”。如果选择“OK”，则所有调整和设定都将重设为默认值。 注 “Information”选项的某些项目及“Index Number”将不予重设。	

使用网络功能的准备工作

使用前须知

- 如本显示器的软件规格因改进而发生更改，恕不另行通知。
- 应用软件所显示的画面可能与本手册中的插图有细微不同。
- 为确保安全，仅可将本显示器的端口连接至无过高电压或电压浪涌危险的网络。
- 本手册中说明的操作步骤仅适用于以下环境条件。

操作系统：

Microsoft Windows XP/Windows Vista/
Windows 7

浏览器：

Microsoft Internet Explorer 7.0 或以上版本

- 为确保网络安全，建议设定用户名和密码。相关的设定信息，请参阅“设置画面”（第 36 页）。
- 关于安全设定，请咨询网络管理员。

设定 IP 地址

使用 10BASE-T/100BASE-TX LAN 电缆可以将显示器连接至网络。

连接到 LAN 时，可以使用以下两种方法之一设定显示器的 IP 地址。关于 IP 地址选择的详情，请咨询您的网络管理员。

- 为显示器指定一个固定的 IP 地址
通常应该使用这种方法。
- 自动获取 IP 地址
如果显示器连接的网络具有 DHCP 服务器，您可以让 DHCP 服务器自动指定一个 IP 地址。请注意，在这种情况下，安装显示器后显示器每次打开时，IP 地址都可能会改变。

设定 IP 地址之前，先将 LAN 电缆连接至显示器以建立网络。约 30 秒钟后，打开显示器，然后开始进行所需的设定。

-
- Microsoft 和 Windows 是微软公司在美国和 / 或其他国家的注册商标。
 - 本手册中提及的所有其他产品名称和公司名称等为其各自所属公司的商标或注册商标。

为显示器指定一个固定的 IP 地址

- 1 按 MENU 打开主菜单。
- 2 用 \triangle/\square 选择 “Setup”，然后按 \oplus 。
- 3 用 \triangle/\square 选择 “Advanced Setup”，然后按 \oplus 。
- 4 用 \triangle/\square 选择 “Network Port”，然后按 \oplus 。
- 5 用 \triangle/\square 选择 “LAN”，然后按 \oplus 。
- 6 用 \triangle/\square 选择 “IP Address Setup”，然后按 \oplus 。
- 7 用 \triangle/\square 选择 “Manual”，然后按 \oplus 。
- 8 用 \triangle/\square 从 “IP Address”、“Subnet Mask”、“Default Gateway”、“Primary DNS”、“Secondary DNS” 中选择所需设定的项目，然后按 \oplus 。
- 9 用显示器上的 \triangle/\square 或遥控器上的数字键为四个方框各设定三位数字（0-255），然后按 \oplus 或 \rightarrow 。
- 10 为四个方框各设定三位数字（0-255），然后按 \oplus 。重复与步骤 6 相同的操作，用 \triangle/\square 选择下一个所需设定的项目，然后按 \oplus 。
- 11 所有所需项目都设定了数值后，用 \triangle/\square 选择 “Execute”，然后按 \oplus 。

选择 “Execute”，然后按 \oplus 。手动设定了一个 IP 地址。

自动获取 IP 地址

- 1 按 MENU 打开主菜单。
 - 2 用 \triangle/\square 选择 “Setup”，然后按 \oplus 。
 - 3 用 \triangle/\square 选择 “Advanced Setup”，然后按 \oplus 。
 - 4 用 \triangle/\square 选择 “IP Address Setup”，然后按 \oplus 。
 - 5 用 \triangle/\square 选择 “DHCP”，然后按 \oplus 。
- 选择 “Execute”，然后按 \oplus 。自动设定了一个 IP 地址。
- 选择 “Cancel” 时，设定将不会被执行。

注

如果未正确设定 IP 地址，则根据错误原因将显示以下错误代码。

Error 1: 通讯错误

Error 2: 指定的 IP 地址已经被其它设备所使用

Error 3: IP 地址错误

Error 4: 网关地址错误

Error 5: 首选 DNS 地址错误

Error 6: 备用 DNS 地址错误

Error 7: 子网掩码错误

检查自动指定的 IP 地址

- 1 按 MENU 打开主菜单。
 - 2 用 \triangle/\square 选择 “Setup”，然后按 \oplus 。
 - 3 用 \triangle/\square 选择 “Information”，然后按 \oplus 。
- 显示当前获得的 IP 地址。

提示

无法正确获得 IP 地址时，以前获得的 IP 地址就会显示在 “IP Address Setup” 的 “Information” 和 “Manual” 中。

设定通讯速度

- 1 按 MENU 打开主菜单。
- 2 用 \triangle/\square 选择 “Setup”，然后按 \oplus 。
- 3 用 \triangle/\square 选择 “Advanced Setup”，然后按 \oplus 。
- 4 用 \triangle/\square 选择 “Speed Setup”，然后按 \oplus 。
- 5 用 \triangle/\square 从 “Auto”、“10Mbps Half”、“10Mbps Full”、“100Mbps Half”、或 “100Mbps Full” 中选择所需设定的通讯速度，然后按 \oplus 。

如果选择 “Auto”，则自动设定适合您网络配置的通讯速度。

- 6 用 \triangle/\square 选择 “Execute”，然后按 \oplus 反映出设定。

个人电脑操作

控制显示器

您可以在个人电脑屏幕上进行各项显示器设定。确认显示器、个人电脑和路由器或集线器均用网络电缆正确连接。然后打开显示器、个人电脑和路由器或集线器的电源。

有四种显示画面，按功能区分：Information（信息）画面、Configure（配置）画面、Control（控制）画面和 Setup（设置）画面。关于按钮功能的详细说明，请参阅显示器各功能的说明。

- 1 开启个人电脑浏览器（Internet Explorer 7.0 或更新版本）。
- 2 输入在上一页中分配到显示器的 IP 地址“http://xxx.xxx.xxx.xxx”，然后按键盘上的 ENTER 键。
如果已设定用户名和密码，将会出现“Network Password”画面。请输入设定的用户名和密码，然后执行下一步。
- 3 单击屏幕顶部的功能标签，然后选择所需的画面。

设定各画面上的项目

当使用显示器的 LAN 功能时

Information（信息）画面

该画面显示型号名称、序列号和显示器的其它信息，以及电源状态和输入信号选择。本画面只显示信息。没有可进行设定的项目。

Configure（配置）画面

Timer

使您可以对定时器功能进行设定。结束时，单击“Apply”。

Screen Saver

使您可以对屏幕保护功能进行设定。结束时，单击“Apply”。

Picture and Picture

使您可以对双画面功能进行设定。结束时，单击“Apply”。

注

在设定“Timer”功能前，请确保在设置画面（第 36 页）上配置时间设定。

Control（控制）画面

POWER

打开或关闭显示器。

INPUT

使您可以选择输入信号。

PICTURE MODE

使您可以选择图像模式。

ASPECT

使您可以调节图像的纵横比。

Contrast（对比度）+ / - 按钮

调节屏幕对比度。

Brightness（亮度）+ / - 按钮

调节画面亮度。

Chroma（色调）+ / - 按钮

调节色彩浓度。

Phase（相位）+ / - 按钮

调节色彩平衡。

Reset（复位）按钮

将从“对比度”到“相位”的设定重设为出厂默认的设置值。

注

- 如果输入信号为 Video，并且视频信号的色彩制式不是 NTSC 时，“Phase”无效。
- “Chroma”和“Phase”对于个人电脑输入无效。
- “Normal”（ASPECT 设定下）对应于视频输入的“4:3”或个人电脑输入的“Real”。

Setup（设置）画面

该画面使您可以设定网络密码。出厂默认设定如下：

用户名： root
密码： pudadm

当您做任何更改或输入信息后，单击每一画面底部的“Apply”使这些设定生效。
文本字段中不可使用特殊字符。

Owner Information（用户）信息

Owner

在此处输入用户信息。

Display Location

在此处输入有关显示器安装位置的信息。

注

输入信息时，切勿使用空格。否则将会导致文件名显示不正确。

Memo

在此处输入补充信息。

Time（时间）

Time（时间）

输入时间、星期几、年、月和日。

Network（网络）

Internet Protocol (TCP/IP)

选择“Specify an IP address”，输入 IP 地址数字型字符串中的每个数值。

选择“Obtain an IP address (DHCP)”，从 DHCP 服务器上自动获得 IP 地址。请注意，在这种情况下，安装显示器后显示器每次打开时，IP 地址都可能会改变。

注

可以从显示器的菜单设定 IP 地址。有关详情，请参阅“IP Address Setup”（第 32 页）。

Password

在此处输入管理员、用户名和密码信息。管理员的名称固定设为“root”。

每个字符串最长 8 个字符。

一旦设定了用户名和密码，无论何时调用显示器的显示器控制画面，即出现“Network Password”画面。为确保网络安全，建议设定用户名和密码。

Mail Report（邮件报告）

Error Report

如果显示器功能发生错误，系统立即通过电子邮件（错误通知）发送错误报告。

Status Report

显示器的状态可以根据所选择的时间间隔通过电子邮件进行报告。

Address

在此处输入目标电子邮件地址。错误报告可以同时发送到四个指定目的地。每个电子邮件地址最大长度为 64 个字符。

Mail Account（邮件帐户）

Mail Address:

在此处输入指定的邮件地址。
地址的最大长度为 64 个字符。

Outgoing Mail Server (SMTP):

在此处输入邮件服务器的地址。
地址的最大长度为 64 个字符。

Send Test Mail:

如要测试邮件是否成功发送到指定的目的地，勾选该复选框并单击“Apply”。将发送测试邮件。

注

如果未设定下列项目或设定不正确，会出现错误讯息且不能发送测试邮件：

- 目的地地址
- 邮件帐户的地址和邮件服务器的地址 (SMTP)

Advanced

进行高级设定以便使用各种网络应用软件。请按照各种应用软件的要求进行设定。

Advertisement

使您可以对网络上的广告和广播功能进行设定。

ID Talk

使您可以对 ID 会话功能进行设定。ID 会话是一个协议，允许显示器进行基于网络的控制。控制项目包括各种设定和调整，例如色温和伽玛。有关支持的 ID 会话命令的信息，请咨询您当地的 Sony 经销商。

SNMP


显示器是一个支持 SNMP（简单网络管理协议）的网络设备。除支持标准的 MIB-II 外，也支持 Sony Enterprise MIB。该画面使您可以对 SNMP 进行设定。

有关支持的 SNMP 命令的信息，请咨询您当地的 Sony 经销商。

返回到默认设定


若要将在“Setup”画面中所作的所有设定模式恢复至出厂默认状态，可通过指定“All Reset”设定恢复到默认设定，然后重新指定适当的网络设定。

故障排除


检查  指示灯是否以红色闪烁。

闪烁时

自检功能启用。

1 检查  指示灯闪烁的次数和停止闪烁的时间长度。

例如，指示灯闪烁 2 次，停止闪烁 3 秒，然后再闪烁 2 次。

2 按显示器上的  (电源) 开关和主电源开关将其关闭，断开电源线的连接。



将指示灯闪烁的方式 (闪烁次数和点亮的持续时间) 告知您的经销商或 Sony 服务中心。

不闪烁时

1 检查下表中的项目。

2 如果问题仍然存在，请将显示器交给有资格的专业人员进行维修。

问题	可能的解决方法
显示器上的电源开关和控制按钮不工作。	<ul style="list-style-type: none"> 检查 “Control Setting” 的设定 (第 30 页)。
即使打开  (电源) 开关或遥控器上的 ON (电源打开) 按钮，也无法开启电源。	<ul style="list-style-type: none"> 检查主电源开关是否位于 “OFF” 位置 (第 11 页)。
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子没有输出视频信号。	<ul style="list-style-type: none"> 当此设备处于待机状态或关闭交流电源时，不会有 HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 输出。
BKM-FW16 的 HD-SDI OUT 端子没有输出信号。	<ul style="list-style-type: none"> 当此设备处于待机状态或关闭交流电源时，不会有 HD-SDI OUT 输出。
DVI OUT 端子没有输出信号。	<ul style="list-style-type: none"> 当此设备处于待机状态或关闭交流电源时，不会有 DVI OUT 输出。
没有图像。	<ul style="list-style-type: none"> 检查视频设备和显示器之间的连接。 检查 “RGB/YUV” 的设定 (第 31 页)。 用显示器的 INPUT 按钮或遥控器尝试切换输入 (第 10、14 页)。
显示器自动关闭。	<ul style="list-style-type: none"> 检查 “Timer Setting” 是否已启用 (第 29 页)。 检查 “Auto Shut Off” 功能是否设定为 “On” (第 30 页)。 检查室温是否未超过 40 °C。
显示器自动打开或关闭。	<ul style="list-style-type: none"> 检查 “HDMI Control” 设定 (第 32 页)。
图像质量差。	<ul style="list-style-type: none"> 按 PICTURE 选择所需的 “Picture Mode” (第 14 页)。 调节 “Picture/Sound” 设定中的 “Picture Mode Adjust.” 选项 (第 23、24 页)。 检查信号电缆是否完好无损。 检查室温是否未超过 40 °C。 检查 “ECO Mode” 中的设定 (第 29 页)。
无彩色 / 图像暗 / 图像太亮 / 色彩不正确 / 图像逐渐变暗 / 图像上出现水平噪点	<ul style="list-style-type: none"> 按 PICTURE 选择所需的 “Picture Mode” (第 14 页)。 调节 “Picture/Sound” 设定中的 “Picture Mode Adjust.” 选项 (第 23、24 页)。 检查信号电缆是否完好无损。 检查室温是否未超过 40 °C。 检查 “ECO Mode” 中的设定 (第 29 页)。
整个画面呈淡绿或淡紫色。	<ul style="list-style-type: none"> 检查 “RGB/YUV” 的设定 (第 31 页)。

问题	可能的解决方法
无声音 / 杂音。	
图像显示，但无声音。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查音量控制。 • 按遥控器上的  或  +，使静音符号从屏幕上消失（第 15 页）。 • 检查“Speaker Out”的设置（第 29 页）。
遥控器无法操作。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查电池的极性或更换电池。 • 将遥控器指向显示器上的遥控传感器。 • 保持遥控传感器区域无障碍物阻挡。 • 检查“Control Setting”的设置（第 30 页）。 • 荧光灯会干扰遥控器操作；尝试关闭荧光灯。
无法连接至网络。	<ul style="list-style-type: none"> • 将电缆牢牢插入 REMOTE 连接器。 • 检查个人电脑的网络设定。 • 通过在“Setup”设定菜单上指定“All Reset”设定恢复至默认设定，然后重新指定适当的网络设定。 • 检查“Network Port”的设置（第 32 页）。
未出现显示器控制画面（Web 画面显示显示器的 GUI）。	<ul style="list-style-type: none"> • 单击 Web 浏览器中的刷新或重新载入按钮。 • 确认 IP 地址正确。 • 使用 Internet Explorer 7.0 或更新版本。 • 清除浏览器缓存。

输入信号参照表

个人电脑信号

	分辨率	水平频率 (kHz)	垂直频率 (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac ^{b)} 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA ^{c)} STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT ^{d)})	29.8	60
16	848 × 480@85Hz (CVT)	43.0	85
17	1280 × 720@60Hz (CVT)	44.8	60
18	1280 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
19	1280 × 768@75Hz (CVT)	60.3	75
20	1280 × 960@60Hz (CVT)	59.7	60
21	1360 × 768@60Hz (CVT)	47.7	60
22	800 × 600@60Hz (CVT)	37.4	60
23	1024 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
24	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63.7	60
25	1400 × 1050@60Hz (CVT)	65.3	60
26	1600 × 1200@60Hz (CVT)	74.5	60
27	1920 × 1080@60Hz	66.6	60

电视 / 视频信号

	分辨率	可用输入				
		Video	分量	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p		○	○	○	
10	1080/60p		○	○	○	
11	1080/24psf		○			

- a) VGA 是美国 International Business Machines Corporation 的注册商标。
 b) Macintosh 是 Apple Inc. 的商标，并已在美国及其他国家 / 地区注册。
 c) VESA 是 Video Electronics Standards Association 的注册商标。
 d) VESA 坐标视频计时器

注

- 对于 HDTV 信号，将三级同步信号输入到 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 连接器的第 2 芯。
- 如果将 DVD 信号输入至显示器后色彩显得太淡，可调整“Picture/Sound”设定中的“Chroma”。
- 如果相位经过了重新调整，则分辨率将会降低。
- 不保证来自 Macintosh 计算机的信号一定能够识别数字 RGB 输入。
- 复合同步信号对应左边信号表格中的第 2、4、5、7、12、13 和 14 项。
- 不含彩色脉冲信号的视频信号将不予保证。

输入信号和显示器状态的实际屏幕显示

屏幕显示	含义
640 × 480 / 60 (例)	所选择的输入信号为个人电脑信号。
480 / 60i (例)	所选择的输入信号为分量视频。
NTSC (例)	所选择的输入信号为视频信号。
Not Supported Signal	所选择的输入信号为不支持的信号。
No Signal	无输入信号。
Component	所选择的输入信号为分量视频。
HD15	所选的输入为 HD15。 “RGB/YUV” 被设定为“Auto”。
HD15 RGB	所选的输入为 HD15。 “RGB/YUV” 被设定为“RGB”。
HD15 Component	所选的输入为 HD15。 “RGB/YUV” 被设定为“YUV”。
DVI	所选择的输入信号为 DVI。
HDMI	所选择的输入信号为 HDMI。
Video	选择了复合视频信号。
Option HD SDI	选择了 Option 输入的 HD SDI 信号。

规格

视频处理

面板系统	a-Si TFT 主动式矩阵 LCD 面板
显示分辨率	FWD-S46H2 1920 点 (水平) × 1080 线 (垂直) FWD-S42H2 1920 点 (水平) × 1080 线 (垂直)
采样率	13.5 MHz 至 165 MHz
色彩制式	NTSC/PAL
输入信号	请参阅第 40 页。
像素间距	FWD-S46H2 0.53 (水平) mm × 0.53 (垂直) mm FWD-S42H2 0.4845 (水平) mm × 0.4845 (垂直) mm
图像尺寸	FWD-S46H2 1018.1 (水平) mm × 572.7 (垂直) mm FWD-S42H2 930.2 (水平) mm × 523.3 (垂直) mm
面板尺寸	FWD-S46H2: 46 英寸 (对角线) 1168.1 mm FWD-S42H2: 42 1/8 英寸 (对角线) 1067.3 mm

输入和输出

REMOTE	网络端口 (10BASE-T/100BASE-TX) D-sub 9 芯 (雌) (× 1) (RS-232C)
AUDIO	AUDIO OUT (L/R) RCA 连接器
VIDEO	VIDEO IN BNC (× 1) VIDEO OUT BNC (× 1) 复合视频, 1 V _{p-p} ± 2 dB 负同步, 75 Ω (自动终止)
	AUDIO IN 立体声微型插孔 (× 1) 500 mVrms, 高阻抗
COMPONENT	COMPONENT (Y P _B /C _B P _R /C _R) IN RCA 连接器
HD15 (RGB/COMPONENT)	HD15 (RGB/COMPONENT) IN D-sub 15 芯 (雌) (× 1) (请参阅第 43 页。) HD15 (RGB/COMPONENT) OUT D-sub 15 芯 (雌) (× 1) (请参阅第 43 页。) AUDIO IN 立体声微型插孔 (× 1) 500 mVrms, 高阻抗

DVI

DVI IN
(与 DVI 规格版本 1.0 兼容)
DVI OUT
(与 DVI 规格版本 1.0 兼容)

AUDIO IN
立体声微型插孔 (× 1)
500 mVrms, 高阻抗

HDMI

HDMI IN
(HDMI (1080p))

SPEAKER

扬声器输出 (L/R)
6 Ω 7W + 7W

基本规格

电源要求	100 V 至 240 V 交流, 50/60 Hz, FWD-S46H2: 1.4 A (最大) FWD-S42H2: 1.45 A (最大)
功率消耗	FWD-S46H2: 140 W (最大) FWD-S42H2: 145 W (最大) 0.5 W (待机模式下的最大值)
工作条件	温度: 0°C 至 40°C 湿度: 20% 至 90% (无结露)
储存 / 搬运条件	温度: -10 °C 至 +40°C 湿度: 20% 至 90% (无结露)
尺寸	FWD-S46H2 1053.6 mm × 608.2 mm × 84 mm 1053.6 mm × 656.3 mm × 292.6 mm (包括选购的支架) (宽 / 高 / 厚, 不包括突出部分) FWD-S42H2 967.8 mm × 560.7 mm × 88 mm 967.8 mm × 608.8 mm × 292.6 mm (包括选购的支架) (宽 / 高 / 厚, 不包括突出部分)
重量	FWD-S46H2 约 22.7 kg 约 24.5 kg (包括选购的支架) FWD-S42H2 约 20.2 kg 约 22.0 kg (包括选购的支架)
附件	交流电源线 (1) 交流电源插头固定器 (2) 电缆夹 (6) 遥控器 RM-FW002 (1) AA (R6) 锰电池 (2) 使用说明书 (1)
选购件	显示器支架 SU-S02 扬声器 SS-SPG02 用于系统扩展的选购适配器, BKM-FW 系列

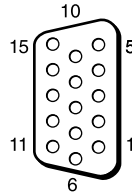
安全规则

UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03
(c-UL), FCC Class B,
IC Class B, EN 60950-1
(NEMKO), CE, C-Tick

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

管脚分配

HD15 RGB/COMPONENT 连接器
(D-sub 15 芯)



管脚编号	信号
1	红色视频或 C_R/P_R
2	绿色视频或 Y
3	蓝色视频或 C_B/P_B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步、复合同步或复合视频（作为同步信号）
14	V 同步
15	SCL

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至管脚 13 和 14。否则，可能无法正确显示图像。

CS

索引

数字

4:3 16, 28

A

AC IN 插座 11, 20
Active Picture 26
Address 36
Adjust Screen 22, 28
Advanced 36
Advanced Setup 22, 30
Advertisement 36
All Reset 22, 32
Aspect 16, 22, 28
AUDIO IN 连接器 11, 12, 13
AUDIO OUT 连接器 11
Auto Adjustment 28
Auto Device Off 32
Auto Display On 32
Auto Screen Adjust 30
Auto Shut Off 30

B

Backlight 23
Balance 25
Bass 25
Brightness 23
Brightness Boost 24

C

Chroma 23
CineMotion 23
Clock Display 29
Clock Set 29
Color System 31
Color Temp. 24
Conference 23
Contrast 23
Control Mode 30
Control Setting 30
Custom 23, 25

D

电缆夹 21
电源按钮 10
电源 / 待机指示灯 8
DISPLAY 按钮 15
DPMS 30
对比度按钮 15
DVI IN/OUT 连接器 13
DVI 按钮 14
DVI 连接器 13
Dynamic 25
Dynamic Picture 24

E

ECO Mode 22, 29
Error Report 36

F

返回按钮 10
Full 16, 28
Full 1 16, 28

Full 2 16, 28

G

Gamma Correct. 24

H

H Shift 28
H Size 28
HD15 (RGB/COMPONENT) IN/
OUT 连接器 11
HD15 (RGB/COMPONENT) 连接器
器 11
HD15 按钮 15
HDMI Control 32
HDMI 按钮 14
HDMI 连接器 12

I

ID MODE 按钮 15, 18
ID Talk 36
Index Number 15, 18, 30
Information 22, 32
INPUT 按钮 10
IP Address Setup 32

J

静音按钮 15

K

控制画面 35
宽模式 16
宽模式按钮 14, 16

L

Language 22, 29
LED 27

M

Menu Position 31
MENU 按钮 10, 14, 22
Multi Display 22, 27

N

Network Port 32
Noise Reduction 23

O

On/Off Timer 29
ON (电源打开) 按钮 14
OPTION 1 按钮 15
OPTION 插槽 11
Output Format 27
Overscan 30

P

PAP Setting 17, 22, 26
PAP 按钮 15, 17
Password 36
配置画面 35
Phase 23, 28
Picture Mode 22, 23
Picture Mode Adjust. 22, 23
Picture Position 26

Picture Size 26
Picture/Sound 设定 22, 23
PICTURE 按钮 14
Pitch 28
Position 27
Power On Delay 32

R

Real 16, 28
REMOTE 连接器 13
Reset 24, 25, 28
RGB Signal 31
RGB/YUV 31
RS-232C 13, 32

S

Screen Saver 31
Screen 设定 22, 26
Setup 设定 22, 29
Sharpness 23
设置画面 36
输入信号 40
SNMP 37
Sound Mode 22, 25
Sound Mode Adjust. 22, 25
Speaker Out 22, 29
SPEAKER 插座 11
Speed Setup 32
Standard 23, 25
STANDBY 按钮 15
Status Display 22, 29
Status Report 36
Surround 25
Swap 26
Sync Mode 31

T

TC Control 23
Tiles 27
Timer Setting 22, 29
Treble 25

V

V Shift 28
V Size 28
VIDEO IN 连接器 12
VIDEO 按钮 14
Vivid 23

W

网络 36
Wide Zoom 16, 28
Window 27

X

信息画面 35

Y

遥控传感器 8
音量按钮 10, 15
用户信息 36
邮件报告 36

邮件帐户 36

Z

执行按钮 10

主电源开关 11

Zoom 16, 28